

令和８年度第１回君津市介護保険運営協議会

日 時 令和８年５月２８日（木）
19時00分～
会 場 君津市役所６階災害対策室

１ 開 会

２ 議 題

- （１）高齢者の福祉と介護に関するアンケート調査結果報告
- （２）地域密着型サービス事業所の新規指定について
- （３）令和７年度地域包括支援センターの事業評価について
- （４）令和８年度君津市地域包括支援センターの事業計画及び
収支予算について

３ そ の 他

４ 閉 会

高齢者の福祉と介護に関するアンケート調査結果報告書 (第 10 期介護保険事業計画策定に係るアンケート調査結果報告)

～調査結果のポイントまとめ～

目次 本資料の構成

1.	今回の調査について	2
2.	高齢者の心身の状態は?	3
3.	認知症について	7
4.	介護をしている家族の状況	10
5.	介護で働く方々と事業所の状況	14
6.	地区による違い	16
7.	第9期計画の進み具合を評価	19
8.	国の方向性と君津市の調査結果のつながり	20
	用語の解説	23

1. 今回の調査について

■ 調査の目的

次の「第10期介護保険事業計画」（令和9～11年度）を作るための基礎資料として、令和8年1月～3月に5本のアンケート調査を行いました。

市民の生活の状況や介護のニーズを把握することが目的です。

■ 調査の種類

調査名	誰に聞いたか	答えた人の数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の要介護認定を受けていない方	2,173人	72.4%
②在宅介護実態調査	在宅で介護を受けている方	743人	57.2%
③在宅生活改善調査	ケアマネ事業所など	21事業所	65.6%
④居所変更実態調査	介護施設・住まい事業所	18事業所	56.3%
⑤介護人材実態調査	介護事業所	65事業所	61.9%

◆ 調査全体の規模

高齢者本人やそのご家族、介護で働く方々など、合計約3,000人・100事業所からご回答をいただきました。回収率は56～72%と、在宅介護実態調査以外は前回（令和4年度）の調査を上回る水準となりました。

Q. 5つ調査をする意味は？

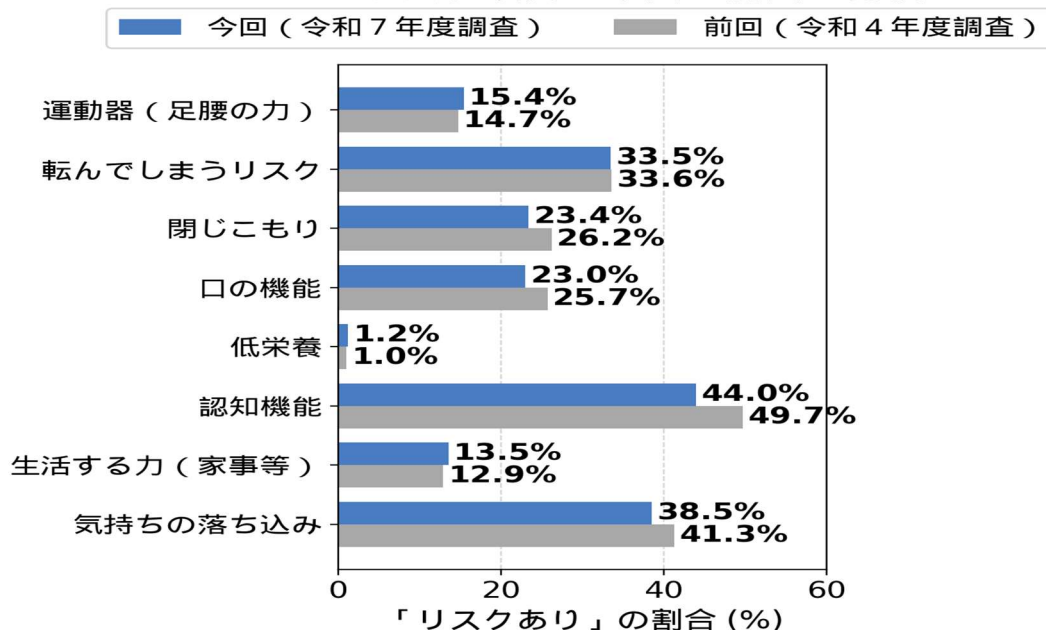
A. 高齢者本人、介護を受けている方、介護をしているご家族、介護で働く方、施設・事業所など、立場の違う方々の声を聞き、課題を把握するため、5つの角度から調査をしています。

2. 高齢者の心身の状態は？

■ 8つのリスク項目をチェック（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

65 歳以上の要介護認定を受けていない方々の体や気持ちの状態を、8つの観点から確認しました。前回（令和4年度）の調査と比べて、よくなっている項目と、少し気になる項目があります。

8つのリスク項目：今回と前回の比較



今回（R7）と前回（R4）の比較：4項目で改善、3項目で微増

● よくなっている（前回より改善）

- ・ 認知機能（-5.7pt）
- ・ 気持ちの落ち込み（-2.8pt）
- ・ 閉じこもり傾向（-2.8pt）
- ・ 口の機能（-2.7pt）

▲ 少し気になる（前回より微増）

- ・ 運動器機能の低下（+0.7pt）
- ・ 低栄養（+0.2pt）
- ・ 生活する力の低下（+0.6pt）

* 体の機能に関する項目で微増

◆ なぜ良くなった項目があるの？

改善した4項目（認知機能・気持ち・閉じこもり・口の機能）には、新型コロナによる外出自粛の影響からの回復が大きいと考えられます。前回調査の令和4年度はまだコロナ禍で、地域活動が止まっていた時期でした。

また、君津市が続けてきた「きみつ健康体操」などの介護予防の取組みも、一定の効果があったと考えられます。

一方、体の機能の低下（運動器・低栄養・生活する力）が微増したのは、85 歳以上の方が増えてきたという「高齢化そのもの」の影響と考えられます。

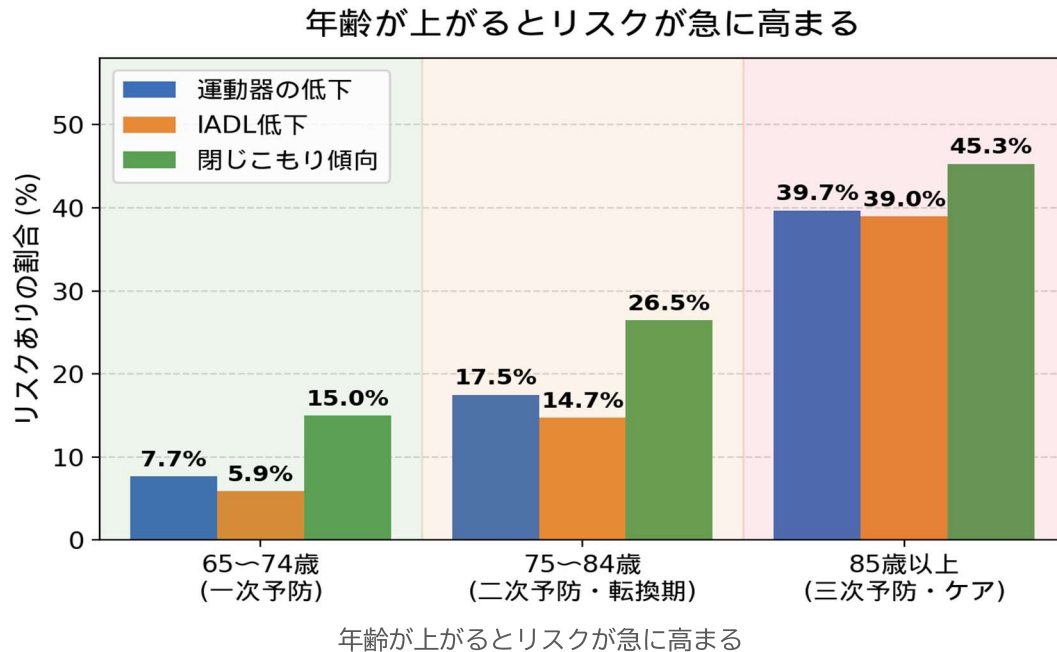
■ 8つのリスクって、どんなもの？

少し詳しく、それぞれのリスクの中身をご紹介します。

リスク項目	どんな状態？
運動器機能の低下	階段の上り下り、立ち上がり、長時間歩行などが難しくなっている状態
転倒リスク	過去1年に転んだ経験があり、また転倒の不安が大きい状態
閉じこもり傾向	週に2回以上の外出をしておらず、社会との接点が減っている状態
口腔機能の低下	固いものが食べにくい、お茶や汁物でむせる、口の渇きが気になる状態
低栄養	BMI が 18.5 未満、または6か月で2～3 kg 以上の体重減少がある状態
認知機能の低下	物忘れが多いと感じる状態
IADL（生活する力）の低下	買い物、お金の管理、外出、食事準備などの生活機能が低下している状態
うつ傾向	気分の落ち込みや、興味・関心の低下が続いている状態

■ 年齢が上がるとどうなる？（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

年齢階層別に見ると、85 歳以上で多くのリスクが大きく高まることがわかります。



◆ 予防は段階に応じて

85 歳以上で急に高まるなら、その手前の段階での予防がとても重要です。例えば閉じこもり傾向は、65～74 歳の 15%が、75～84 歳で 26%、85 歳以上で 45%と段階的に高まります。

つまり、65 歳からの早い段階で「健康づくり」を続け、75 歳前後で「ちょっとした変化」をキャッチして手当てしていくことが必要です。

- 65～74 歳：健康づくり・社会参加（一次予防）
- 75～84 歳：早めの気づきと対策（二次予防・転換期）
- 85 歳以上：重くならないようにする・介護で支える（三次予防・ケア）

Q. 君津市の介護予防事業は？

A. 「きみつ健康体操」（地域の集会所等で実施）、屋外「うんどう教室」、「保健事業・介護予防一体的実施事業」（フレイル予防出前講座等）、「介護予防把握事業」（看護師などが訪問）などです。

■ 外出について（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

「外出を控えている」と答えた方は、全体で 20%でした。年齢別に見ると、65～74 歳で 12%、85 歳以上で 44%と、年齢が上がると大きく増えます。

外出を控える理由	回答割合
足腰などの痛み	47.0%
トイレの心配（失禁など）	24.4%
交通手段がない	23.5%
外出の楽しみがない	15.9%
経済的に出られない	15.4%
病気	12.7%

◆ 外出を支える3つのポイント

外出を控える理由の上位3つは「足腰の痛み」「トイレの心配」「交通手段がない」でした。これらは別々に見えても、密接に関係しています。

- ・足腰の痛みケア（運動・リハビリ・通院支援）
- ・トイレ事情への配慮（公衆トイレの整備・福祉用具の活用）
- ・移動手段の確保（コミュニティバス・運転免許返納後の支援）

この3つを一体的に支えることが、外出促進＝閉じこもり防止につながるものと考えられます。

■ 相談相手について（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手についてお聞きしたところ、「医師・歯科医師・看護師」と回答した方が 22.5%と最も多く、「地域包括支援センター・市役所」が 14.7%、「自治会・町内会・老人クラブ」が 9.1%、「社会福祉協議会・民生委員」が 9.0%と続きました。また、「そのような人はいない」と回答した方の割合は 43.0%でした。

3. 認知症について

■ 認知症は他人事ではない（在宅介護実態調査）

約2人に1人 在宅で介護を受けている方のうち「認知症の症状あり」

在宅で介護を受けている方 743 人にお聞きしたところ、「医師から認知症と診断されている」と「症状はあるが診断は受けていない」を合わせて約半数（49.4%）でした。

一方で、認知症基本法（令和5年）が示す「新しい認知症観」（認知症になっても、その人らしく地域で暮らし続けられる）を「知らない」と答えた方が 65%にのびります。考え方の浸透が課題です。

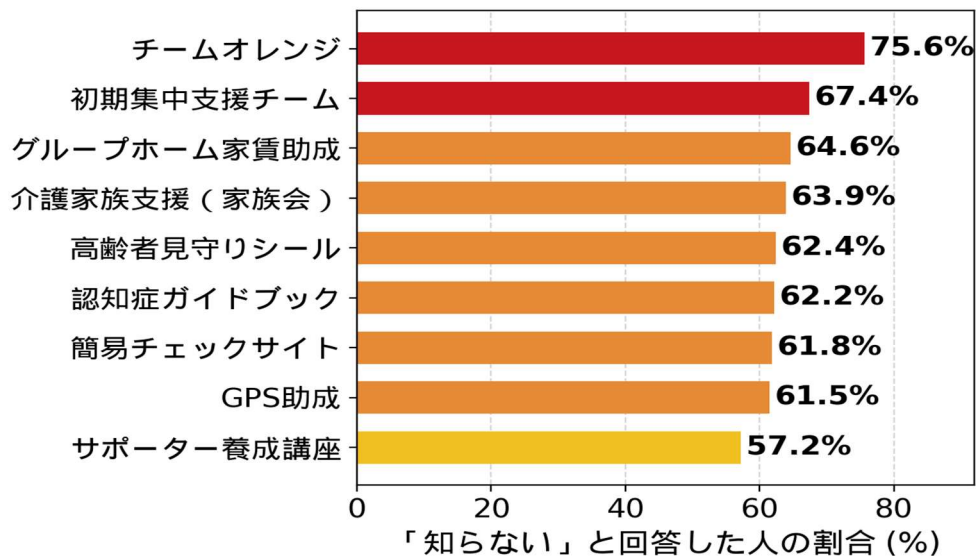
Q. 「新しい認知症観」とは？

A. 認知症になっても、すべてのことができなくなるわけではなく、本人の意思や能力を尊重しながら、家族や地域とともに暮らし続けられる——そんな考え方です。令和5年に成立した「認知症基本法」の根本にある理念で、本人の声を聞き、本人が参加することを大切にします。

■ 市の認知症の取組み、知っていますか？（在宅介護実態調査）

君津市は、認知症の方やご家族のために様々な事業を行っています。しかし、その認知度に大きな課題があることが分かりました。

認知症の市の取組み：「知らない」が60%超



市の認知症事業：ほとんどで「知らない」が60%超

◆ 認知度の課題

「サポーター養成講座」は比較的知られていますが、それ以外の事業（チームオレンジ、初期集中支援チーム、グループホーム家賃助成など）では6割以上の方が「知らない」と答えています。

広報の強化が求められる結果となっています。

■ 市の主な認知症関連事業

事業名	どんな内容？
認知症サポーター養成講座	認知症の方や家族の応援者となる「サポーター」を養成する講座（90分）
チームオレンジ	サポーターが認知症の方やご家族の困りごとに対応するチーム
認知症初期集中支援チーム	認知症の方又は疑いのある方を訪問し、医療・介護につなげる専門職チーム
徘徊高齢者位置探索（GPS）助成	GPS 端末の利用料を市が助成
認知症高齢者見守りシール	外出時に身に着ける QR コード付きシール（保護時の連絡に活用）
認知症ガイドブック（認知症ケアパス）	認知症に関する情報をまとめたガイドブック
GH 家賃等助成事業	認知症対応型グループホームの家賃補助
認知症介護家族支援	家族会の支援等

■ 認知症で不安に思うこと（在宅介護実態調査）

- ・「家族や周囲に負担をかける」77.0%
- ・「医療や介護のお金が心配」40.6%
- ・「介護してくれる人がいるか心配」36.2%
- ・「日常生活や運転が困難になる」35.7%
- ・「性格や行動が変わってしまう」23.3%

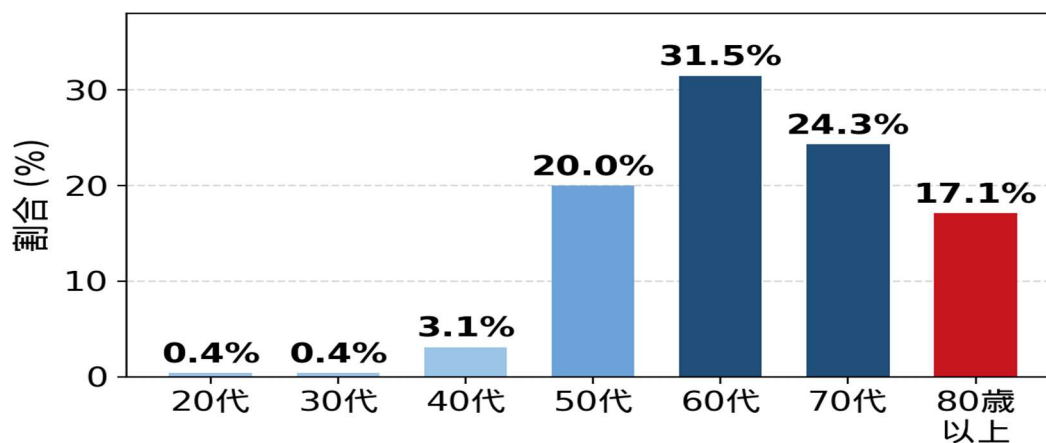
認知症の方やご家族が暮らしやすくなるために必要なこととしては、「緊急時に家族に代わって介護する人や施設の確保」（57.2%）、「早い段階から医療や介護のサポートを利用できる仕組み」（52.8%）、「相談窓口・体制の充実」（40.5%）が上位でした。

4. 介護をしている家族の状況

■ どんな方が介護をしている？（在宅介護実態調査）

在宅で介護を受けている方の主な介護者は、「子」が約半数（49.6%）、「配偶者」が約3分の1（35.6%）です。性別では女性60%、男性36%です。

介護をしている人の年齢：80歳以上が17%



介護をしている人の年齢分布

6人に1人 介護者が80歳以上（老老介護）

介護者の年齢では、60代31.5%、70代24.3%、80歳以上17.1%です。6人に1人の介護者が80歳以上の高齢者という「老老介護」の状況です。

※「主な介護者が20歳未満」と回答した方は、いませんでした。

Q. 「老老介護」による影響は？

A. 介護をしている方自身の体力や健康面に不安があり、介護がさらに続けば共倒れのリスクがあります。また、社会との接点が少なくなり、介護者が孤立しやすい点も大きな課題です。

■ どんなことが大変？（在宅介護実態調査）

介護者の方が日常的に行っていることは、「家事」80.7%、「外出付き添い」74.1%、「お金の管理」73.5%、「食事準備」73.3%と多岐にわたります。

このうち、特に不安に感じる介護内容は次のとおりでした。

不安に感じる介護内容	回答割合
夜間のトイレへの対応	34.8%
認知症の症状への対応	28.6%
外出への付き添い	27.2%
日中のトイレへの対応	25.3%
入浴・洗身	23.2%
食事の準備	22.8%

◆ 夜間の介護の負担を支える

夜間排泄が最大の不安となっています。夜中に何度も起こされ、十分な睡眠がとれない状況は、介護者の健康状態に大きく影響し、共倒れのリスクを高めます。

君津市では、第9期計画に基づき「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「看護小規模多機能型居宅介護」といった、夜間にも対応する地域密着型サービスの整備を計画していますが、令和6年度及び令和7年度の公募では「対象事業者なし」との結果となっています。

■ 仕事と介護の両立（在宅介護実態調査）

働きながら介護をしている方々にとって、仕事との両立は大きなテーマです。過去1年間に、介護を主な理由として主な介護者が仕事を辞めたケースが8.8%、転職も含めると11.3%にのぼっており、「介護離職」が現実には起きている状況がうかがえます。

勤務先に欲しい支援として、次のような声がありました。

- ・「介護休業制度などをもっと使えるようにしてほしい」31.6%
- ・「経済的な支援が欲しい」28.6%
- ・「介護のために制度を使いやすい職場づくり」23.5%
- ・「フレックス勤務など柔軟な働き方が選べる」21.8%

また、約16.6%の方が「今後、続けていくのは難しい」と感じており、介護離職のリスクがあります。

Q. 介護休業制度とは？

A. 労働者は、要介護状態の家族1人につき通算93日まで介護休業を取得できます。3回まで分割可能。介護休暇は年5日（家族2人以上で10日）取れます。育児・介護休業法（令和7年改正）では、企業に「両立支援」の取組みが義務化されました。

■ ひとり暮らしの方の状況（在宅介護実態調査）

ひとり暮らしの介護を受けている方では、「ときどき孤独を感じる」41.1%、「いつも孤独を感じる」8.6%と、約半数の方が孤独感を抱えています。

◆ 市民の声でいちばん多かった要望

介護を受けている方・介護事業所のいずれにおいても、「介護者向け支援の充実」がいちばんの要望でした（約半数の方が選択）。

家族（特にひとり暮らしや高齢のご夫婦）への支援メニューを「分かりやすく見える化する」ことが課題のひとつにあげられます。

■ 現場（ケアマネ事業所等）からみた認知症対応の課題（在宅生活改善調査）

市内の居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所等 21 事業所に、認知症高齢者やそのご家族に対する行政の支援・連携体制について評価をお聞きしました。

◆ 行政の支援・連携体制を「不十分」と感じる事業所が約 6 割

「やや不十分である」42.9%+「不十分である」19.0%=合計 61.9%が、行政支援・連携体制について課題があると評価しています。

「おおむね十分である」と評価したのは 23.8%にとどまり、現場の専門職から見て、認知症対応の連携・支援体制にまだ伸びしろがある状況です。

■ 在宅から施設への移行のきっかけ（居所変更実態調査）

市内の介護施設・住まい事業所 18 事業所に、過去 1 年間に居所変更（在宅から施設、施設から別の施設等）した方の理由を集計しました。

◆ 居所変更の最大要因は「医療的ケアの必要性」

居所変更した理由として「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が 14 件と最も多くなっています。

在宅で介護を受け続けるためには、医療的ケアにも対応できる訪問サービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護等）の整備が重要です。

5. 介護で働く方々と事業所の状況

■ 介護事業所の経営は厳しい（介護人材実態調査）

47.7% 事業所が「経営が厳しい」と回答

市内 65 事業所にお聞きしたところ、約半数が「経営が厳しい」（「やや厳しい」27.7%＋「かなり厳しい」20.0%）と答えました。一方、経営状況が「安定している」「おおむね安定している」との回答は、合せて 26.2%、「どちらともいえない」との回答も 26.2%でした。

Q. なぜ介護事業所の経営は厳しいのか？

A. 介護報酬（事業所が受け取るお金）は原則 3 年に 1 度しか改定されないため、急激な物価上昇に対応しにくい構造があります。また、人材確保のための賃上げと、報酬水準の整合がとれていない面もあります。

■ 人材の高齢化と若い人の不足（介護人材実態調査）

介護で働く方々の年代を見ると、50 代・40 代・60 代が中心で、20 代と 30 代が少ない状況です。

年代	1 事業所あたり平均人数
20 代	1.5 人
30 代	2.3 人
40 代	3.8 人
50 代	4.0 人（最多）
60 代	3.6 人
70 歳以上	2.5 人

事業所の自由記述では、「若い人の応募がほとんどない」「中学・高校生の職場体験などを考えたい」といった声がありました。

■ 外国人材の受入れ（介護人材実態調査）

- ・既に雇用している事業所：29.2%
- ・検討している事業所：9.2%
- ・予定はない事業所：40.0%

外国人材を受け入れている事業所からは、「日々の業務で職員教育の余裕がない」「定着のための相談窓口が欲しい」といった声がありました。

■ どんな職員が求められているか（介護人材実態調査）

特に不足が充足を上回っている職種は、「訪問介護員」と「介護職員」です。「やや不足」「大きく不足」を合わせると、介護職員では約半数（49.3%）、訪問介護員では約4分の1（23.1%）の事業所が不足を感じています。

職種	「不足」と感じる事業所
介護職員（直接介護を行う人）	49.3%
訪問介護員	23.1%
看護職員	13.8%
PT・OT・ST（機能訓練指導員等）	12.3%
介護助手（介護職員を補助する人）	12.3%
ケアマネジャー（計画作成担当者）	4.6%

■ この1年間における職員の定着について（介護人材実態調査）

直近1年間の職員の定着についてどのような状況なのか、お聞きしたところ、「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」が56.9%と最も高く、「定着し安定している」が32.3%、「離職者が多く、不安定である」が6.2%との回答でした。

■ 離職を防ぐ取組み（介護人材実態調査）

離職を防ぐための取組みとしては、「労働環境・条件の改善」70.8%、「賃金水準の向上」55.4%、「研修等」53.8%が上位でした。

◆ 事業所からの声

「中学・高校生の職場体験などを考えたい」

「介護に興味ある方が増えるような場に参加させていただけるとありがたい」

「特定技能外国人を受け入れているが、相談窓口があればいい」

「賃金の値上げを国がしっかり個人に渡してほしい」

6. 地区による違い

■ 75 歳以上人口に占める「在宅介護受給率」（在宅介護実態調査）

在宅介護を受けている方の多くは 75 歳以上の後期高齢者です。そこで「75 歳以上の人口に対して、何%の方が在宅介護を受けているか」という割合（受給率）を地区ごとに計算してみます。

これは、その地区の高齢者がどれだけ介護保険サービスを利用しているかを示す指標になります。

地区	75 歳以上人口	在宅介護受給者数 (推定)	75 歳以上に占める受給率	市平均との倍率
君津地区	10,076 人	約 905 人	9.0%	1.07 倍
小糸地区	1,791 人	約 146 人	8.2%	0.98 倍
小櫃地区	1,079 人	約 77 人	7.1%	0.85 倍
上総地区	1,679 人	約 121 人	7.2%	0.86 倍
清和地区	914 人	約 52 人	5.7%	0.68 倍
市全体	15,539 人	1,300 人	8.4%	1.00 倍

資料：75 歳以上人口は君津市住民基本台帳（令和 8 年 3 月末時点）／在宅介護受給者数は、市内の在宅認定者へ送付された調査票配布数 1,300 通を母数とし、本調査の地区別回答比率で按分した推定値

◆ 受給率の地区差は約 1.6 倍

75 歳以上人口に占める在宅介護受給率は、市全体の平均で 8.4%です。

最も高いのは君津地区の 9.0%（市平均の 1.07 倍）。最も低いのは清和地区の 5.7%（市平均の 0.68 倍）で、君津地区と清和地区では受給率に約 1.6 倍の差があります。

清和地区は高齢化率が市内最高（56.9%）にもかかわらず、75 歳以上のうち介護保険サービスを実際に利用している方の割合が最も低いことになります。

上総地区（7.2%）・小櫃地区（7.1%）も市平均を下回っており、本調査上では郊外圏域全体で介護サービスの受給率が低い傾向が見られます。

◆ 特に注目：清和地区

清和地区の高齢化率は 59.9%（市内最高）にもかかわらず、75 歳以上人口に占める在宅介護受給率は 5.7%（市内最低）と最も低い水準です。

高齢化率は高くても、もともとの人口が少ない（高齢者数 1,388 人）ことに加え、サービス事業所へのアクセスが難しい・家族介護で対応している等の理由で、介護保険サービス受給に結びついていない可能性があります。

また、地区内にある大規模な有料老人ホーム 2 施設の入居者（他市の在宅介護受給者）は計算に含まれていないことから在宅介護受給率に影響が出ている可能性もあるため、更なる分析を進めます。

■ 地区ごとの特徴（介護予防・日常生活圏域二エズ調査、在宅介護実態調査）

地区	特徴的な状況
君津地区	在宅介護受給者 69.6%が集中。徒歩での移動が中心（60.0%）。
小糸地区	認知機能の低下が 47.5%と最も高い。自家用車での移動 74.4%。
清和地区	閉じこもり傾向 28.5%が高い。自家用車依存 75.3%。
小櫃地区	運動器機能の低下が 18.3%と最も高い。
上総地区	閉じこもり傾向 27.8%。

◆ 郊外地区の課題

郊外の4地区（小糸・清和・小櫃・上総）では、自家用車での移動が中心です（各地区とも70%以上）。運転免許を返納した後、買い物や通院をどうするかが大きな課題になっています。

85歳以上では「自分で運転」が30.2%まで下がり、「人に乗せてもらう」が54.0%に増えます。地域での移動支援や見守りが必要です。

Q. 地区による対策の違いは？

A. 例えば認知機能の低下の割合が高い小糸地区では「認知症対策の重点化」、閉じこもり傾向が高い清和・上総地区では「外出促進・通いの場の充実」、運動器機能の低下が高い小櫃地区では「運動プログラムの強化」など、地区ごとの対策が求められる結果となっています。

■ 移動手段の地区差

外出する際の移動手段を地区別に見ると、はっきりとした違いが出ています。

地区	自分で運転	徒歩	人に乗せてもらう
君津地区	64.5%	60.0%	31.1%
小糸地区	74.4%	35.0%	26.0%
清和地区	75.3%	22.8%	29.8%
小櫃地区	73.4%	29.2%	29.2%
上総地区	72.7%	33.3%	26.6%

郊外4地区では「自分で運転」が72%以上で、「徒歩」は20～30%台にとどまります。一方、君津地区は「徒歩」60%と高く、市街地内の移動が中心です。

◆ 免許返納後をどう支えるか

人口減少地域では、これからの介護サービスの提供方法も検討が必要です。国（厚生労働省）も、人口減少地域での「特例介護サービス」（人員配置基準の柔軟化等）の議論を始めています。君津市の郊外圏域も、こうした議論の対象になりうる地域です。

コミュニティバス、デマンド交通、買い物支援、訪問型サービスの拡充など、複数の選択肢を組み合わせ、移動の足を確保していく必要があります。

7. 第9期計画の進み具合を評価

現在の第9期介護保険事業計画（令和6～8年度）の取組み状況について、調査結果から「中間評価」を行いました。

■ 評価のまとめ

評価する内容	評価	コメント
介護予防（フレイル予防）	○	認知機能・気持ちなど4項目で改善傾向。体の機能の低下は微増。
認知症の取組み	△	事業はあるが、認知度が低く市民に届いていない。
介護給付の適正化	○	事業者側は適正に実施。住民への分かりやすい説明が課題。
地域に密着したサービス整備	△	計画の遂行に課題。
介護で働く人の確保	△	事業所の経営の厳しさ・若年層採用が課題。
地域包括ケア（連携・総合相談）	○	基盤は整備済み。介護者支援の見える化が要望。

◆ 評価記号の意味

○ おおむね順調 / △ 一部に課題あり / × 大幅な遅れあり（今回はなし）

8. 国の方向性と君津市の調査結果のつながり

国（社会保障審議会介護保険部会）は、令和7年12月に「これからの介護保険制度をどうしていくか」についての意見をまとめました。市民の皆さまにわかりやすく整理すると、4つの大きな方向性があり、今回の本市の調査結果はそれぞれと深く関係しています。

■ 国の4つの方向性とは？

国は、これからの介護保険制度を次の4つの方向で考えています。

方向性	中身（やさしい言葉で）
①地域に応じた柔軟なサービス提供	人口減少地域でも介護サービスを維持できるように、ルールを柔軟にする
②地域でみんなで支える仕組みの強化	医療と介護の連携、認知症対応、相談窓口の充実、家族介護者の支援
③介護で働く人を支える	賃金改善、外国人材の受入れ、ICT・介護ロボットの活用、経営支援
④2040年を見据えた制度の持続	中長期推計、給付と負担のバランス、ケアマネジャー資格の見直し

以下、それぞれの方向性ごとに、君津市の調査結果との関係を見ていきます。

■ 方向性① 地域に応じた柔軟なサービス提供

▼ 国の方向性 国は、人口減少が進む地域（中山間・郊外地域）で介護サービスを維持できるように、新しい仕組みを検討しています。 ・ 人員配置基準の柔軟化 ・ 月単位の定額払いを選べる仕組み ・ 市町村が関与する事業によるサービス提供 ・ 地域密着型サービスの広域利用	▼ 君津市の調査結果 君津市の調査では、在宅介護受給者の69.6%が君津地区に集中、郊外4地区（小糸・清和・小櫃・上総）はサービスが薄い状況。 また、郊外地区では自家用車依存（72%以上）で、運転免許返納後の移動が大きな課題。 85歳以上では「自分で運転」が30%に下がり「乗せてもらう」が54%に。 → 君津市の郊外圏域も、国の新しい仕組みの検討対象になり得ます。
--	---

Q. 国の「特例介護サービス」とは？

A. 人材不足が深刻な人口減少地域で、サービスを維持するために、職員配置基準などを通常より柔軟にできる新しい仕組みです。市町村が必要と判断した場合に活用できる方向で検討されています。

■ 方向性② 地域でみんなで支える仕組みの強化

▼ 国の方向性

国は、地域包括ケアシステム（医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体に提供）をもっと深化させる方針です。

- ・医療と介護の連携を強化
- ・「新しい認知症観」を市民・現場に浸透
- ・地域包括支援センターの機能強化
- ・頼れる身寄りがない高齢者への対応
- ・家族介護者支援の充実
- ・地域包括支援センターの BCP（災害時計画）策定

▼ 君津市の調査結果

認知症の症状あり 49.4%（在宅介護を受けている方）。

「新しい認知症観」を「知らない」65%。

市の認知症事業の認知度が低い（多くが「知らない」60%超）。

単身世帯の孤独感 49.7%。

介護者の 17.1%が 80 歳以上の老老介護。

自由記述の上位は「介護者の心身負担」38 件、「相談窓口の不足」25 件。

→ 国の方向性と市の課題が重なっています。

■ 方向性③ 介護で働く人を支える

▼ 国の方向性

国は、介護で働く方々を支え、必要な人材を確保していくために、次の取組みを進める方針です。

- ・賃金水準の改善（処遇改善の継続）
- ・外国人材の受入環境整備
- ・介護テクノロジー（ICT・介護ロボット）の活用支援
- ・都道府県による「人材確保プラットフォーム」の構築
- ・経営改善支援

▼ 君津市の調査結果

市内事業所の 47.7%が経営「厳しい」。

職員は中高年偏重（50 代・40 代・60 代が中心）、若年層が少ない。

外国人材：すでに雇用 29%、予定なし 40%（消極的姿勢）。

ICT・介護ロボット導入は 13.8%にとどまる。

訪問介護員と介護職員で大きな不足感。

自由記述で「中高生との接点づくり」「外国人材の相談窓口」などのニーズ。

→ 国の方向性に沿いつつ、市レベルでの具体策が必要です。

■ 方向性④ 2040 年を見据えた制度の持続

▼ 国の方向性

国は、団塊ジュニア世代が高齢者になる 2040 年を見据え、制度を続けていくために、次の方針を出しています。

- ・3 年計画＋中長期推計（2040 年等の予測）の計画記載
- ・給付と負担のバランスの見直し
- ・ケアマネジャー資格の取得要件見直し
- ・データに基づく計画策定

▼ 君津市の調査結果

君津市の高齢化率は 34.2%（全国 29.5%）※と既に全国平均を大きく上回る。

85 歳以上でリスクが急増。今後さらに増加が見込まれる。

第 9 期保険料は月額 5,800 円（前期比+400 円）。

自由記述で「介護費用や保険料の経済的負担」が 27 件、認知症の不安として「経済的負担」40.6%。

住民の経済的負担への懸念が強い。

→ 透明な情報提供と、住民の理解を得ながら持続可能性を確保する必要があります。

※君津市は住民基本台帳人口（令和 8 年 3 月末）、全国は総務省「人口推計」（令和 8 年 4 月 1 日概算値）

■ まとめ：国の方向性と君津市の調査結果

国の4つの方向性と、君津市の調査結果は、いずれも深く関係しています。

国の方向性	君津市の主な調査結果	検討事項
①地域に応じた柔軟なサービス提供	君津地区集中（69.6%）／郊外で自家用車依存	郊外圏域でのサービス確保／移動支援
②地域でみんなで支える仕組み強化	認知症の症状あり 49.4%／「新しい認知症観」知らない 65%／介護者の17%が80歳以上の老老介護	認知症の認知度向上／本人参画／家族介護者支援の見える化
③介護で働く人を支える	事業所 47.7%が経営厳しい／若年層不足／ICT13.8%	中高生接点・外国人材受入・ICT導入支援
④2040年を見据えた制度の持続	高齢化率が全国平均を大きく上回る／住民の経済負担への懸念多数	中長期推計の活用／透明な情報提供

用語の解説

本資料に出てくる用語のうち、専門用語などの説明は以下のとおり。

用語	意味
フレイル	年齢とともに体や気持ちが少しずつ弱くなっていく状態。介護が必要になる手前の段階。
IADL（生活する力）	「手段的日常生活動作」のこと。買い物、お金の管理、電話、薬の管理、外出など、家事や社会活動に必要な力。
地域包括支援センター	高齢者の総合相談窓口。市内に複数あり、ケアマネジャーや看護師、社会福祉士などが対応する。
ケアマネジャー	介護が必要な方のケアプラン（利用するサービスの計画）を作る専門職。
看護小規模多機能型居宅介護（看多機）	「通い・泊まり・訪問」の介護に「訪問看護」を組み合わせた、医療ニーズの高い方向けのサービス。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間も含めて定期的に訪問し、必要な時には呼び出しでも対応する訪問介護・看護のサービス。
新しい認知症観	認知症基本法（令和5年）が示す考え方。認知症になっても、その人らしく地域で暮らし続けられるという考え。
チームオレンジ	認知症サポーターが、認知症の方やそのご家族の困りごとに対応するチーム。
認知症初期集中支援チーム	認知症が疑われる方やそのご家族を訪問し、必要な医療や介護につなげる専門職チーム。
一次予防／二次予防／三次予防	それぞれ、病気にならないようにする・早期に発見する・重くならないようにする予防のこと。
介護給付の適正化	介護保険の使われ方が適切かをチェックし、本当に必要な方に必要なサービスが届くようにすること。
要介護認定	介護保険サービスを利用するために必要な認定。要支援1～2、要介護1～5の7段階。
介護報酬	介護サービスを提供した事業者が受け取るお金。3年に1度見直される。
認知症基本法	令和5年6月に成立した法律。認知症の人と家族が安心して暮らせる社会の実現を目指す。
特例介護サービス	人口減少地域で人員配置基準などを柔軟にして、サービスを維持する新しい仕組み（国が検討中）。
地域包括ケアシステム	医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する地域の仕組み。

第 10 期介護保険事業計画策定スケジュールについて

1 第 10 期介護保険事業計画策定について

市町村は、介護保険法（第 117 条第 5 項）において、日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案した市町村介護保険事業計画を作成するよう努めることとされています。

本市では、令和 6 年 3 月に「君津市第 9 期介護保険事業計画」を策定しており、令和 8 年度をもって計画期間が終了となるため、令和 9 年度から令和 11 年度までを計画期間とする新たな「君津市第 10 期介護保険事業計画」を策定します。

2 今後の計画策定スケジュール

令和 7 年度中に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、介護保険制度改正の動向や、国が現在見直しを進めており、計画作成上のガイドラインの役割を果たしている「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本指針」などに沿って作成を進めるとともに、「介護保険運営協議会」で協議・検討を行います。あわせて、素案作成後にまちづくり意見公募手続（パブリックコメント）を実施し、広く意見を把握し反映に努めます。

第 10 期介護保険事業計画策定スケジュール（案）

時期	内容
令和 8 年 5 月 28 日	介護保険運営協議会（アンケート調査結果報告）
令和 8 年 4 月～6 月頃	現状分析・評価・課題分析
令和 8 年 6 月頃～11 月頃	計画骨子案、素案の作成
令和 8 年 8 月～9 月頃	介護保険運営協議会（素案について）
令和 8 年 11 月	介護保険運営協議会（素案、パブリックコメントについて）
令和 8 年 12 月初旬～令和 9 年 1 月	パブリックコメントの実施
令和 9 年 1 月～2 月	計画原案の作成
令和 9 年 2 月	介護保険運営協議会（計画原案について）
令和 9 年 3 月	第 10 期介護保険事業計画 印刷製本等

※上記スケジュールは、現時点で示されている国資料及び第 9 期計画の策定スケジュールを参考として作成したものであり、今後の状況により変更する可能性があります。

■介護・介助が必要になった主な原因は何ですか？(介護予防・日常生活圏域二一ズ調査)

・令和7年度調査と令和4年度調査の結果の違いについて

介護や介助が必要になった主な原因について、今回の調査結果と前回の調査結果を比べてみると「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が減った一方、「高齢による衰弱」の割合が大幅に増加していました。

「高齢による衰弱」の割合が大きく増加した原因としては、令和4年度と比べて後期高齢者の数が増加したことが原因の一つと考えられます。

令和8年3月末現在	総人口	78,266人	後期高齢者	15,539人（19.9%）
令和5年3月末現在	総人口	80,764人	後期高齢者	14,220人（17.6%）

単位：％								
区分	脳 （脳）	脳	が （脳）	聴 の病 （聴）	子 聞 の病 （子）	マ ー 病 （マ）	パ ー 病	脳
令和4年度調査	11.5	9.6	6.5	6.7	7.8	11.9	1.3	10.8
令和7年度調査	8.2	10.2	8.6	4.3	6.9	6.3	2.3	11.5
差	-3.3	+0.6	+2.1	-2.4	-0.9	-5.6	+1	+0.7

区分	脳 （透）	脳	脳	脳	弱 は 弱	の 他	明	脳
令和4年度調査	2.2	9.3	15.0	3.9	25.8	9.1	0.4	25.2
令和7年度調査	3.9	7.9	14.8	5.6	39.1	9.2	0.0	20.7
差	+1.7	-1.4	-0.2	+1.7	+13.3	+0.1	-0.4	-4.5

※令和7年度調査結果の詳細は、議題1 参考資料 「高齢者の福祉と介護に関するアンケート調査結果報告書」の10ページを参照。

高齢者の福祉と介護に関する
アンケート調査結果報告書
(第10期介護保険事業計画策定に係る
アンケート調査結果報告)

令和8年3月
君津市

【目 次】

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	2
2. 調査対象および調査方法	2
3. 回収状況	2
4. 本報告書の留意点	3

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査対象者・回答者の属性	6
問1 あなたのご家族や生活状況について	8
問2 からだを動かすことについて	17
問3 食べることについて	25
問4 毎日の生活について	31
問5 地域での活動について	42
問6 たすけあいについて	44
問7 健康について	49
問8 認知症予防や生活支援について	56
回答結果によるリスク集計	66

第3章 在宅介護実態調査

調査対象者・回答者の属性	76
A 票 ご本人について、お伺いします	77
B 票 主な介護者の方について、お伺いします	99

第4章 在宅生活改善調査

1. 過去1年間の実績	114
2. 現在の利用者の状況	115
3. 認知症施策や支援について	124

第5章 居所変更実態調査

1. 過去1年間の退居・退所者に占める居所変更・死亡の割合	128
2. 地域内の居所移動の実態	129
3. 居所変更した理由	133
4. 受け入れ可能な医療処置の種類	133

第6章 介護人材実態調査

1. 事業所調査	136
2. 職員票（訪問系）	146

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、令和9年度から令和11年度を計画期間とする第10期介護保険事業計画の策定にあたり、65歳以上の高齢者やその家族等を対象に、日常生活や社会参加、介護予防の状況、支援のニーズ等を把握するほか、介護サービス事業者を対象に、施策・事業に対するご意見、今後の意向等を把握することを目的に実施した。

2. 調査対象および調査方法

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査対象者	市内在住の65歳以上の高齢者（要介護1～5の認定を受けている方を除く）
調査方法	郵送配布・回収（Web回収も含む）
調査時期	令和8年1月30日～2月18日

②在宅介護実態調査

調査対象者	市内在住の要支援又は要介護認定者のうち、在宅で生活している方
調査方法	郵送配布・回収（Web回収も含む）
調査時期	令和8年1月30日～2月18日

③在宅生活改善調査

調査対象者	市内の居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所
調査方法	メール配布・回収
調査時期	令和8年2月2日～3月10日

④居所変更実態調査

調査対象者	市内の介護施設及び居住系サービス事業所（サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム含む）
調査方法	メール配布・回収
調査時期	令和8年2月2日～3月10日

⑤介護人材実態調査

調査対象者	市内の介護施設及び介護サービス事業所（サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム含む）
調査方法	メール配布・回収（Web回収も含む）
調査時期	令和8年2月2日～3月10日

3. 回収状況

調査の種類	配布数	有効回答数	有効回答率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000通	2,173件	72.4%
②在宅介護実態調査	1,300通	743件	57.2%
③在宅生活改善調査	32通	21件	65.6%
④居所変更実態調査	32通	18件	56.3%
⑤介護人材実態調査	105通	65件	61.9%

4. 本報告書の留意点

- (1) 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって合計が100.0%を上下する場合もある。
- (2) 基数となるべき実数(回収者数)は、“全体(n=〇〇)”として掲載し、各比率は回答者数を100.0%として算出した。なお、「n」はnumber of caseの略であり、設問の回答数である。
- (3) 1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が100.0%を超える場合がある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 「」は1つの選択肢を、『』は複数の選択肢を合わせた表現を示している。＜＞は調査項目を表す。
- (6) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査のリスク判定において、判定基準となる設問のうち1つでも無回答があれば、判定対象から除外している。
- (7) 「標本名簿の属性」に使用しているデータは、調査票の回答結果と照合可能な標本名簿から取得している。

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

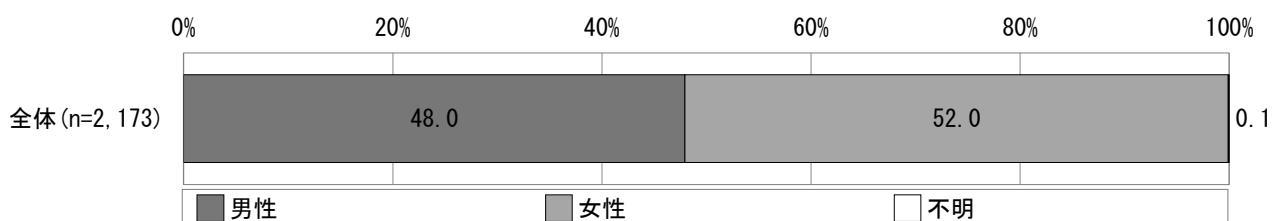
調査対象者・回答者の属性

市内在住の65歳以上の高齢者（要介護1～5の認定を受けている方を除く）に対し、調査を行なった。

標本名簿の属性

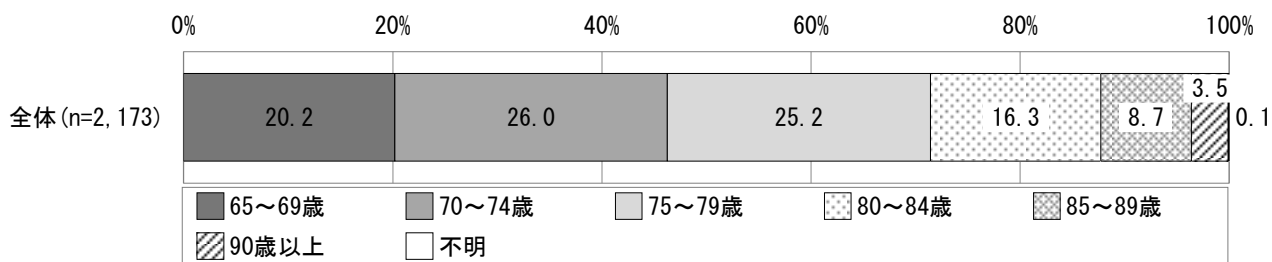
（１）性別

全体では、「男性」が48.0%、「女性」が52.0%となっている。



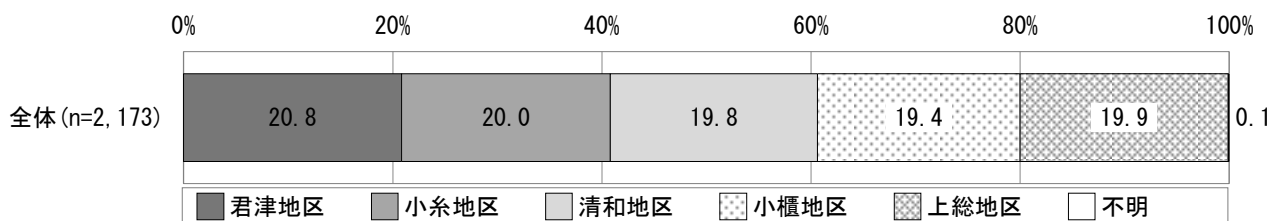
（２）年齢

全体では、「70～74歳」が26.0%と最も高く、「75～79歳」が25.2%、「65～69歳」が20.2%と続いている。



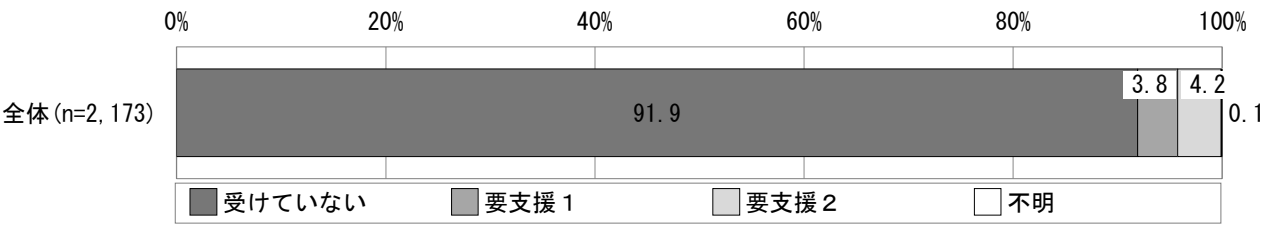
（３）圏域

全体では、「君津地区」が20.8%と最も高く、「小糸地区」が20.0%、「上総地区」が19.9%と続いている。



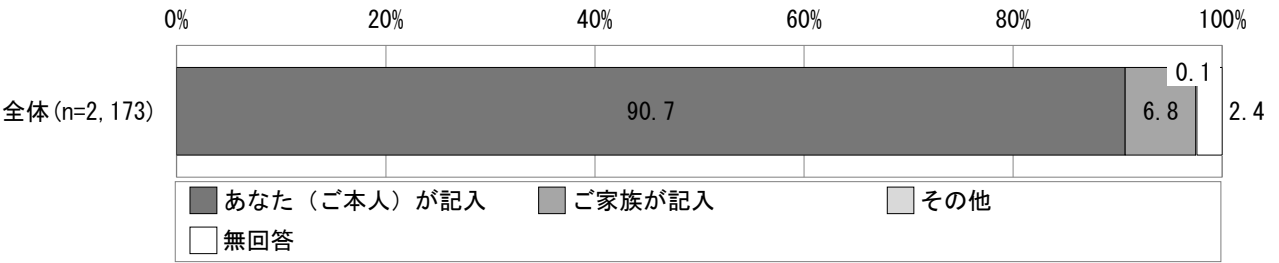
（4）要支援認定

全体では、「受けていない」が91.9%と最も高く、「要支援2」が4.2%、「要支援1」が3.8%と続いている。



調査票を記入されたのはどなたですか

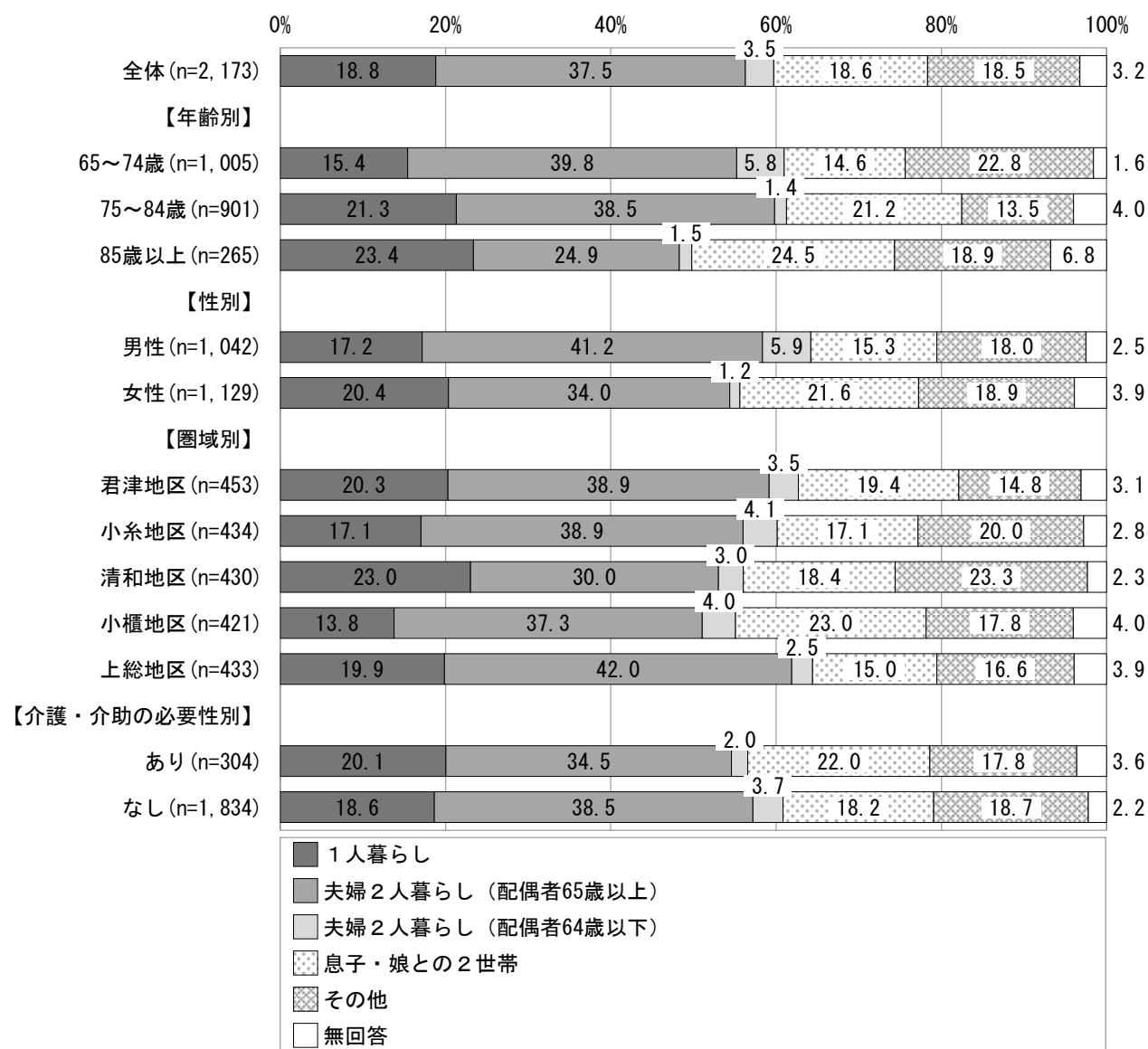
全体では、「あなた（ご本人）が記入」が90.7%、「ご家族が記入」が6.8%となっている。



問1 あなたのご家族や生活状況について

問1 (1) 家族構成をお教えてください

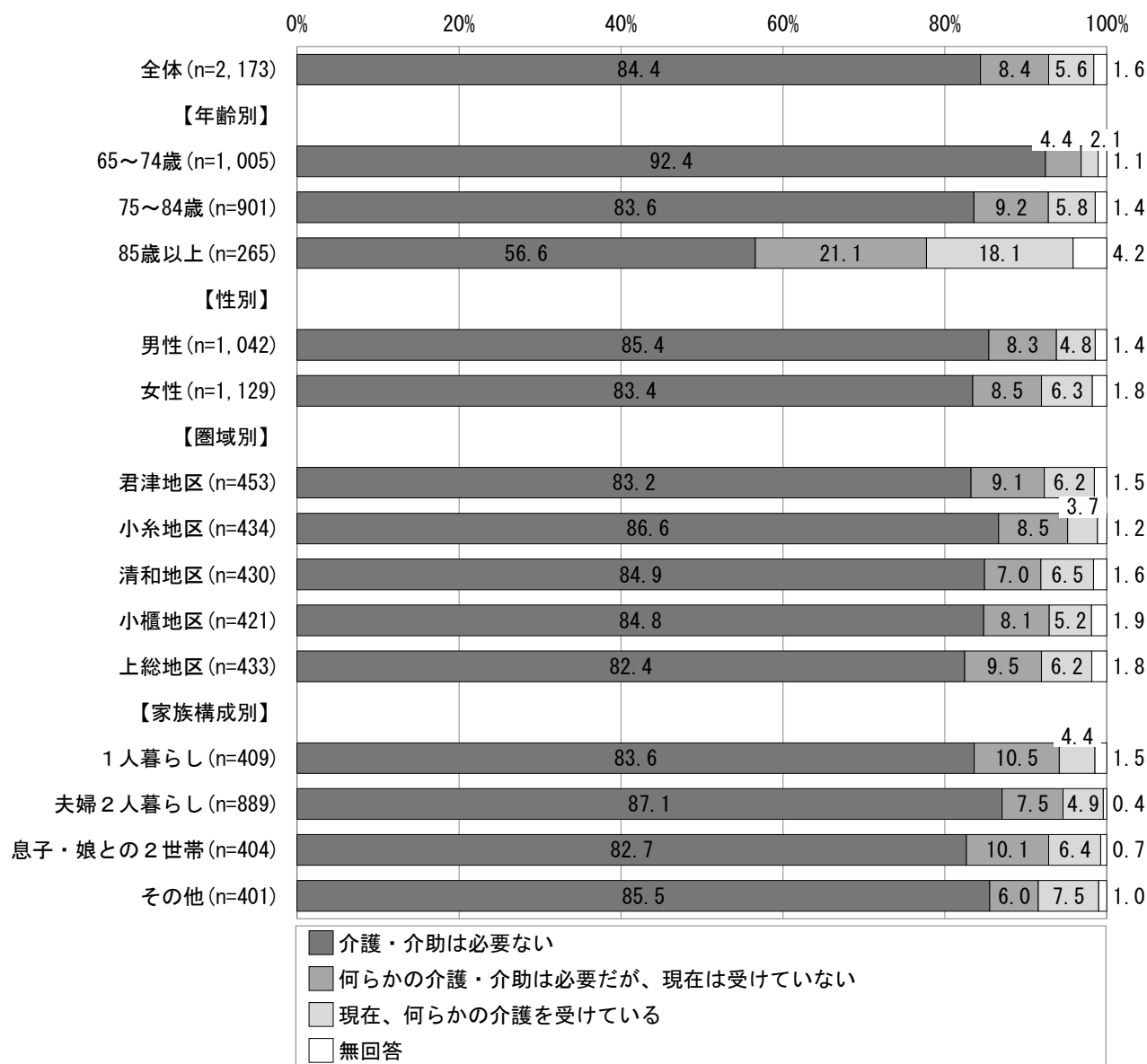
全体では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が37.5%と最も高く、「1人暮らし」が18.8%、「息子・娘との2世帯」が18.6%と続いている。



問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

全体では、「介護・介助は必要ない」が84.4%と最も高く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.4%、「現在、何らかの介護を受けている」が5.6%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「介護・介助は必要ない」の割合が低くなる傾向にある。



問1(2) ①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

※問1(2)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に質問

全体では、「加齢による身体機能の低下(衰弱等)」が39.1%と最も高く、「骨折・転倒」が14.8%、「糖尿病」が11.5%と続いている。

(%)	加齢による身体機能の低下 (衰弱等)	骨折・転倒	糖尿病	心臓病	がん(悪性新生物)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	視覚・聴覚障害	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	脊椎損傷	(肺気腫・肺炎等) 呼吸器の病気	腎疾患(透析)	パーキンソン病	その他	不明	無回答
全体(n=304)	39.1	14.8	11.5	10.2	8.6	8.2	7.9	6.9	6.3	5.6	4.3	3.9	2.3	9.2	0.0	20.7
【年齢別】																
65～74歳(n=65)	21.5	12.3	13.8	7.7	6.2	10.8	7.7	6.2	9.2	1.5	1.5	4.6	3.1	12.3	0.0	29.2
75～84歳(n=135)	36.3	15.6	14.1	12.6	13.3	8.9	5.9	8.9	8.1	8.1	6.7	4.4	3.7	11.1	0.0	14.8
85歳以上(n=104)	53.8	15.4	6.7	8.7	3.8	5.8	10.6	4.8	1.9	4.8	2.9	2.9	0.0	4.8	0.0	23.1
【性別】																
男性(n=137)	34.3	11.7	13.9	12.4	7.3	10.2	8.8	5.8	7.3	9.5	5.1	5.1	3.6	7.3	0.0	23.4
女性(n=167)	43.1	17.4	9.6	8.4	9.6	6.6	7.2	7.8	5.4	2.4	3.6	3.0	1.2	10.8	0.0	18.6
【圏域別】																
君津地区(n=69)	39.1	17.4	11.6	8.7	10.1	5.8	11.6	4.3	4.3	2.9	1.4	2.9	2.9	20.3	0.0	20.3
小糸地区(n=53)	32.1	9.4	17.0	9.4	9.4	7.5	7.5	9.4	5.7	5.7	3.8	0.0	3.8	3.8	0.0	20.8
清和地区(n=58)	46.6	22.4	8.6	12.1	6.9	12.1	6.9	10.3	10.3	10.3	12.1	1.7	0.0	5.2	0.0	19.0
小櫃地区(n=56)	28.6	17.9	8.9	10.7	10.7	10.7	3.6	5.4	7.1	10.7	1.8	8.9	1.8	8.9	0.0	23.2
上総地区(n=68)	47.1	7.4	11.8	10.3	5.9	5.9	8.8	5.9	4.4	0.0	2.9	5.9	2.9	5.9	0.0	20.6
【家族構成別】																
1人暮らし(n=61)	49.2	16.4	11.5	8.2	8.2	9.8	8.2	4.9	3.3	9.8	4.9	3.3	1.6	4.9	0.0	26.2
夫婦2人暮らし(n=111)	28.8	13.5	13.5	14.4	10.8	8.1	8.1	5.4	8.1	6.3	1.8	6.3	3.6	11.7	0.0	18.9
息子・娘との2世帯(n=67)	40.3	17.9	10.4	7.5	6.0	4.5	9.0	10.4	3.0	4.5	7.5	3.0	1.5	9.0	0.0	17.9
その他(n=54)	48.1	14.8	9.3	7.4	5.6	13.0	7.4	9.3	9.3	1.9	5.6	1.9	0.0	9.3	0.0	18.5

問1 (2) ②主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)

※問1 (2) で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に質問

全体では、「配偶者 (夫・妻)」が 33.1%と最も高く、「娘」が 32.2%、「息子」が 27.3%と続いている。
年齢別では、年齢が上がるほど「配偶者 (夫・妻)」の割合が低くなる傾向にある。

(%)	配偶者 (夫・妻)	娘	息子	介護サ ービス のヘル パー	子 の 配 偶 者	孫	兄 弟 ・ 姉 妹	そ の 他	無 回 答
全体 (n=121)	33.1	32.2	27.3	24.8	6.6	2.5	0.8	9.9	0.8
【年齢別】									
65～74歳 (n=21)	52.4	9.5	9.5	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	4.8
75～84歳 (n=52)	42.3	25.0	34.6	28.8	3.8	3.8	1.9	5.8	0.0
85歳以上 (n=48)	14.6	50.0	27.1	25.0	12.5	2.1	0.0	6.3	0.0
【性別】									
男性 (n=50)	46.0	24.0	12.0	26.0	2.0	0.0	0.0	16.0	2.0
女性 (n=71)	23.9	38.0	38.0	23.9	9.9	4.2	1.4	5.6	0.0
【圏域別】									
君津地区 (n=28)	32.1	39.3	28.6	25.0	7.1	3.6	0.0	10.7	0.0
小糸地区 (n=16)	50.0	18.8	18.8	18.8	6.3	0.0	6.3	12.5	0.0
清和地区 (n=28)	25.0	35.7	32.1	28.6	0.0	0.0	0.0	10.7	3.6
小櫃地区 (n=22)	36.4	27.3	27.3	22.7	9.1	4.5	0.0	13.6	0.0
上総地区 (n=27)	29.6	33.3	25.9	25.9	11.1	3.7	0.0	3.7	0.0
【家族構成別】									
1人暮らし (n=18)	0.0	38.9	16.7	77.8	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦2人暮らし (n=44)	68.2	15.9	15.9	6.8	0.0	2.3	0.0	11.4	2.3
息子・娘との2世帯 (n=26)	23.1	50.0	53.8	15.4	11.5	3.8	0.0	3.8	0.0
その他 (n=30)	10.0	36.7	26.7	30.0	13.3	3.3	3.3	20.0	0.0

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

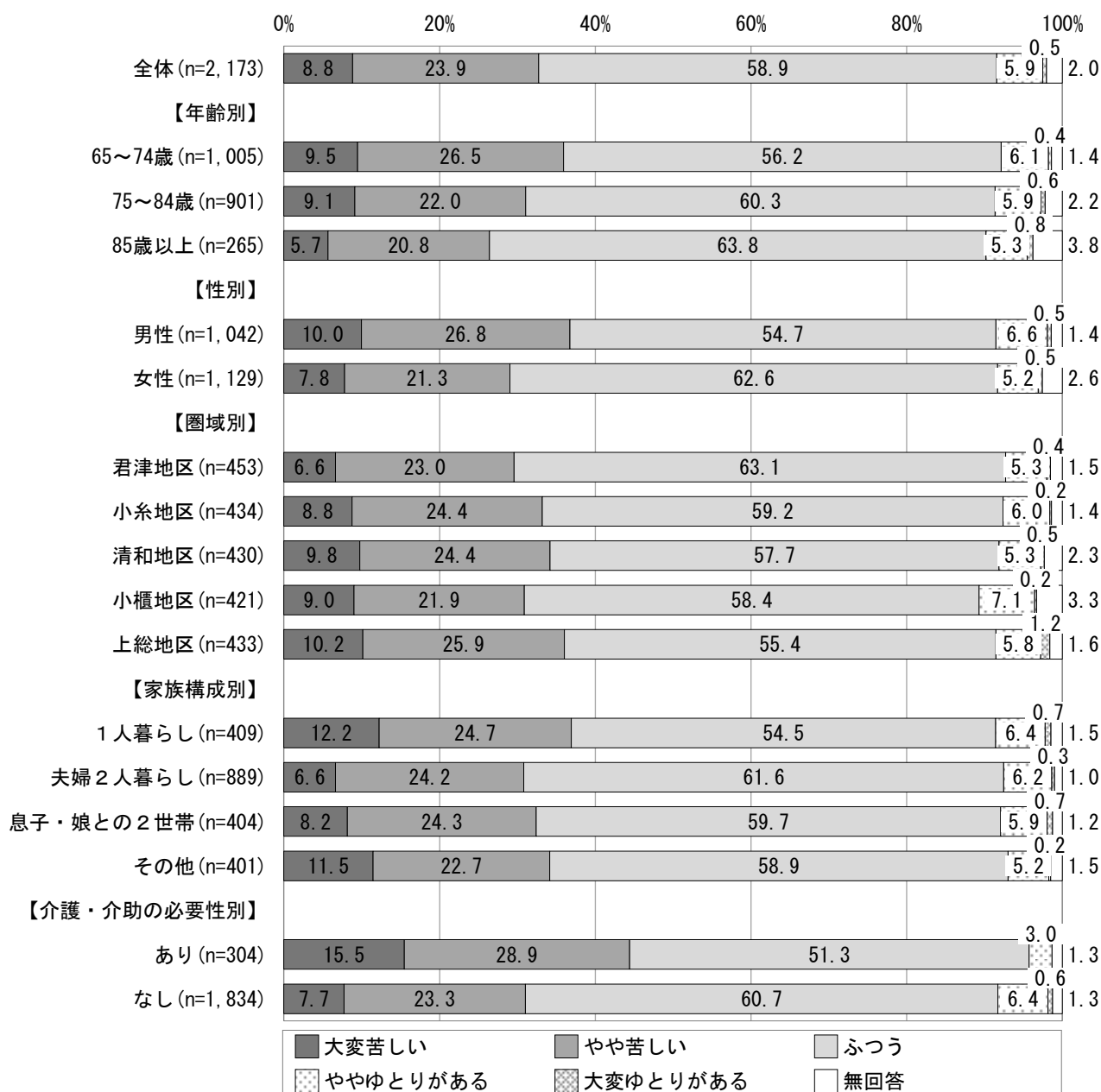
全体では、「ふつう」が58.9%と最も高く、「やや苦しい」が23.9%、「大変苦しい」が8.8%と続いている。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は32.7%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど『苦しい』の割合が低くなる傾向にある。

性別では、男性で『苦しい』が36.8%となっている。

家族構成別では、1人暮らしで『苦しい』が36.9%となっている。

介護・介助の必要性別では、ありで『苦しい』が44.4%となっている。



問1 (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

全体では、「持家（一戸建て）」が92.8%と最も高く、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が1.7%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が1.4%と続いている。

(%)	持家 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (集合住宅)	民間賃貸住宅 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営賃貸住宅	その他	無回答
全体 (n=2, 173)	92.8	1.7	1.4	0.7	0.5	1.4	1.5
【年齢別】							
65～74歳 (n=1, 005)	92.5	2.2	1.2	0.7	0.6	1.7	1.1
75～84歳 (n=901)	93.9	1.1	1.7	0.6	0.3	1.0	1.4
85歳以上 (n=265)	89.8	1.9	1.5	1.1	0.8	1.5	3.4
【性別】							
男性 (n=1, 042)	94.1	1.5	1.2	0.8	0.3	0.9	1.2
女性 (n=1, 129)	91.5	1.9	1.6	0.6	0.7	1.9	1.9
【圏域別】							
君津地区 (n=453)	85.7	6.6	2.6	2.2	0.9	1.1	0.9
小糸地区 (n=434)	95.6	0.2	0.9	0.5	0.0	2.1	0.7
清和地区 (n=430)	93.3	1.2	1.4	0.2	0.0	2.3	1.6
小櫃地区 (n=421)	94.8	0.0	1.0	0.5	0.2	0.7	2.9
上総地区 (n=433)	94.9	0.2	1.2	0.0	1.4	0.7	1.6
【家族構成別】							
1人暮らし (n=409)	84.8	5.4	2.7	1.7	1.2	2.7	1.5
夫婦2人暮らし (n=889)	96.1	0.7	1.5	0.6	0.3	0.4	0.4
息子・娘との2世帯 (n=404)	96.0	1.2	1.0	0.5	0.0	0.7	0.5
その他 (n=401)	93.3	1.0	0.5	0.2	0.7	3.0	1.2
【介護・介助の必要性別】							
あり (n=304)	89.1	2.0	3.9	1.3	1.3	1.6	0.7
なし (n=1, 834)	94.3	1.7	1.0	0.5	0.3	1.3	0.8

問1 (5) あなたやあなたのご家族にひきこもり状態の方はいらっしゃいますか。
また、ひきこもり状態の方に対して、どのような支援を期待しますか

問1 (5) ①ひきこもり状態の方の有無

全体では、「いない」が89.7%と最も高く、「30～40歳代」が1.4%、「50歳以上」が1.2%と続いている。

(%)	10歳代	20歳代	30～40歳代	50歳以上	いない	無回答
全体 (n=2,173)	0.1	0.3	1.4	1.2	89.7	7.3
【年齢別】						
65～74歳 (n=1,005)	0.1	0.2	2.1	0.9	93.1	3.6
75～84歳 (n=901)	0.1	0.3	1.0	1.3	87.3	9.9
85歳以上 (n=265)	0.0	0.4	0.0	2.3	84.9	12.5
【性別】						
男性 (n=1,042)	0.1	0.2	1.6	1.2	90.1	6.8
女性 (n=1,129)	0.1	0.4	1.2	1.3	89.4	7.7
【圏域別】						
君津地区 (n=453)	0.0	0.7	1.8	0.9	90.9	5.7
小糸地区 (n=434)	0.0	0.2	1.2	1.2	89.6	7.8
清和地区 (n=430)	0.0	0.2	0.9	2.1	90.2	6.5
小櫃地区 (n=421)	0.0	0.0	2.4	1.2	86.7	9.7
上総地区 (n=433)	0.5	0.2	0.7	0.9	91.0	6.7
【家族構成別】						
1人暮らし (n=409)	0.0	0.7	0.0	0.5	89.0	9.8
夫婦2人暮らし (n=889)	0.1	0.0	0.3	1.2	92.1	6.2
息子・娘との2世帯 (n=404)	0.2	0.0	3.0	0.7	88.6	7.4
その他 (n=401)	0.0	0.7	3.5	2.2	88.8	4.7
【介護・介助の必要性別】						
あり (n=304)	0.0	0.3	1.6	5.3	83.2	9.5
なし (n=1,834)	0.1	0.3	1.4	0.6	91.2	6.5

問1 (5) ②希望する支援 (いくつでも)

全体では、「当事者・家族の相談相手」が19.4%と最も高く、「当事者の居場所づくり」が12.4%、「相談先窓口や家族会等の情報提供」が10.9%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「当事者の居場所づくり」の割合が低くなる傾向にある。

(%)	当事者・家族の相談相手	当事者の居場所づくり	相談先窓口や家族会等の情報提供	就労・就学支援	その他	無回答
全体 (n=2,173)	19.4	12.4	10.9	8.8	5.0	65.5
【年齢別】						
65～74歳 (n=1,005)	21.7	14.2	13.7	12.0	5.0	61.5
75～84歳 (n=901)	16.2	11.1	8.3	6.1	3.9	71.0
85歳以上 (n=265)	21.5	10.2	9.1	5.7	8.7	61.9
【性別】						
男性 (n=1,042)	19.1	12.2	11.6	8.7	5.8	63.1
女性 (n=1,129)	19.7	12.7	10.3	8.9	4.3	67.7
【圏域別】						
君津地区 (n=453)	19.9	13.5	12.6	11.3	6.6	62.0
小糸地区 (n=434)	16.6	11.5	10.4	7.6	4.8	67.3
清和地区 (n=430)	21.4	12.1	13.3	8.6	5.8	63.7
小櫃地区 (n=421)	19.7	13.5	8.8	8.3	2.9	68.4
上総地区 (n=433)	19.4	11.5	9.5	8.1	4.6	66.3
【家族構成別】						
1人暮らし (n=409)	17.6	12.0	9.3	5.6	5.1	65.3
夫婦2人暮らし (n=889)	20.7	12.4	12.0	8.5	3.9	67.3
息子・娘との2世帯 (n=404)	19.8	14.4	8.4	12.6	3.5	65.1
その他 (n=401)	20.0	13.0	13.0	9.5	8.5	60.1
【介護・介助の必要性別】						
あり (n=304)	25.0	13.8	11.8	6.6	5.3	56.6
なし (n=1,834)	18.6	12.4	10.9	9.3	5.0	66.6

問1 (6) ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか
(いくつでも)

全体では、「本人の抱えている状況について相談できる場所」が44.6%と最も高く、「家族の介護・介護の内容について相談できる場所」が31.9%、「家庭への経済的な支援」が31.7%と続いている。

(%)	本人の抱えている状況について相談できる場所	家族の介護・介護の内容について相談できる場所	家庭への経済的な支援	介護・介護の代行・介助の一部をサビケス紹介に	家族の病気や障がい、ケアの場	進路や就職など将来について相談できる場所	介護・介護の代行・介助のすべてをサビケス紹介に	学校の勉強や受験勉強などのサポート	その他	特にな	わからない	無回答
全体 (n=2, 173)	44.6	31.9	31.7	26.1	24.3	22.4	20.2	16.7	1.3	12.9	9.6	17.9
【年齢別】												
65～74歳 (n=1, 005)	54.0	40.6	40.2	32.5	30.0	29.5	25.2	21.3	1.6	10.1	9.0	10.4
75～84歳 (n=901)	38.2	25.4	25.9	22.1	20.0	17.0	17.4	13.4	0.9	15.3	8.7	23.5
85歳以上 (n=265)	30.9	20.8	19.6	15.8	17.7	14.0	11.3	10.6	1.5	15.1	15.5	26.8
【性別】												
男性 (n=1, 042)	39.3	30.5	30.8	21.3	22.7	18.8	20.4	12.8	1.2	15.7	10.0	17.5
女性 (n=1, 129)	49.6	33.1	32.6	30.6	25.8	25.7	20.1	20.4	1.3	10.3	9.3	18.2
【圏域別】												
君津地区 (n=453)	45.3	31.1	30.2	26.9	26.5	23.6	21.4	16.8	1.1	14.1	9.9	15.2
小糸地区 (n=434)	43.3	30.9	27.6	24.7	21.9	21.7	16.1	17.1	1.4	13.4	10.1	21.2
清和地区 (n=430)	47.0	34.7	36.5	25.8	24.9	23.3	21.9	18.1	2.1	12.1	10.2	15.3
小櫃地区 (n=421)	46.3	31.4	35.2	27.8	25.2	23.5	22.3	16.6	1.0	11.9	8.6	19.5
上総地区 (n=433)	41.3	31.4	29.3	25.6	23.1	19.9	19.6	15.0	0.9	12.9	9.2	18.2
【家族構成別】												
1人暮らし (n=409)	41.8	25.7	26.7	23.2	18.8	18.1	17.4	14.4	0.7	14.7	12.2	21.3
夫婦2人暮らし (n=889)	48.8	35.4	32.8	26.9	27.1	24.7	22.2	17.7	1.7	11.4	8.4	16.4
息子・娘との2世帯 (n=404)	44.3	31.7	32.2	29.2	27.2	20.3	18.8	16.6	0.7	13.6	8.4	17.3
その他 (n=401)	41.9	32.9	36.7	26.9	22.7	24.4	23.2	18.2	2.0	12.7	11.7	14.0

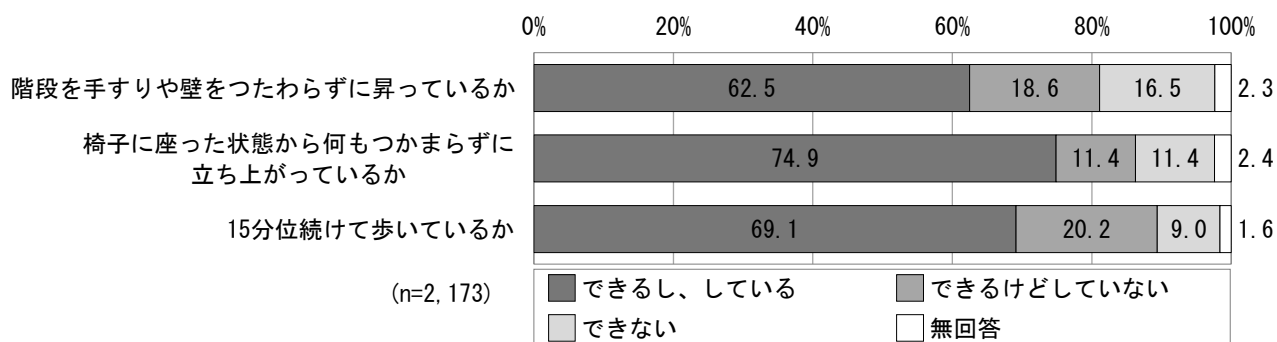
問2 からだを動かすことについて

問2（1） 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

問2（2） 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

問2（3） 15分位続けて歩いていますか

運動器機能に関するそれぞれの設問をみると、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』が大半を占めているが、＜階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか＞は、「できない」が16.5%と相対的に高くなっている。

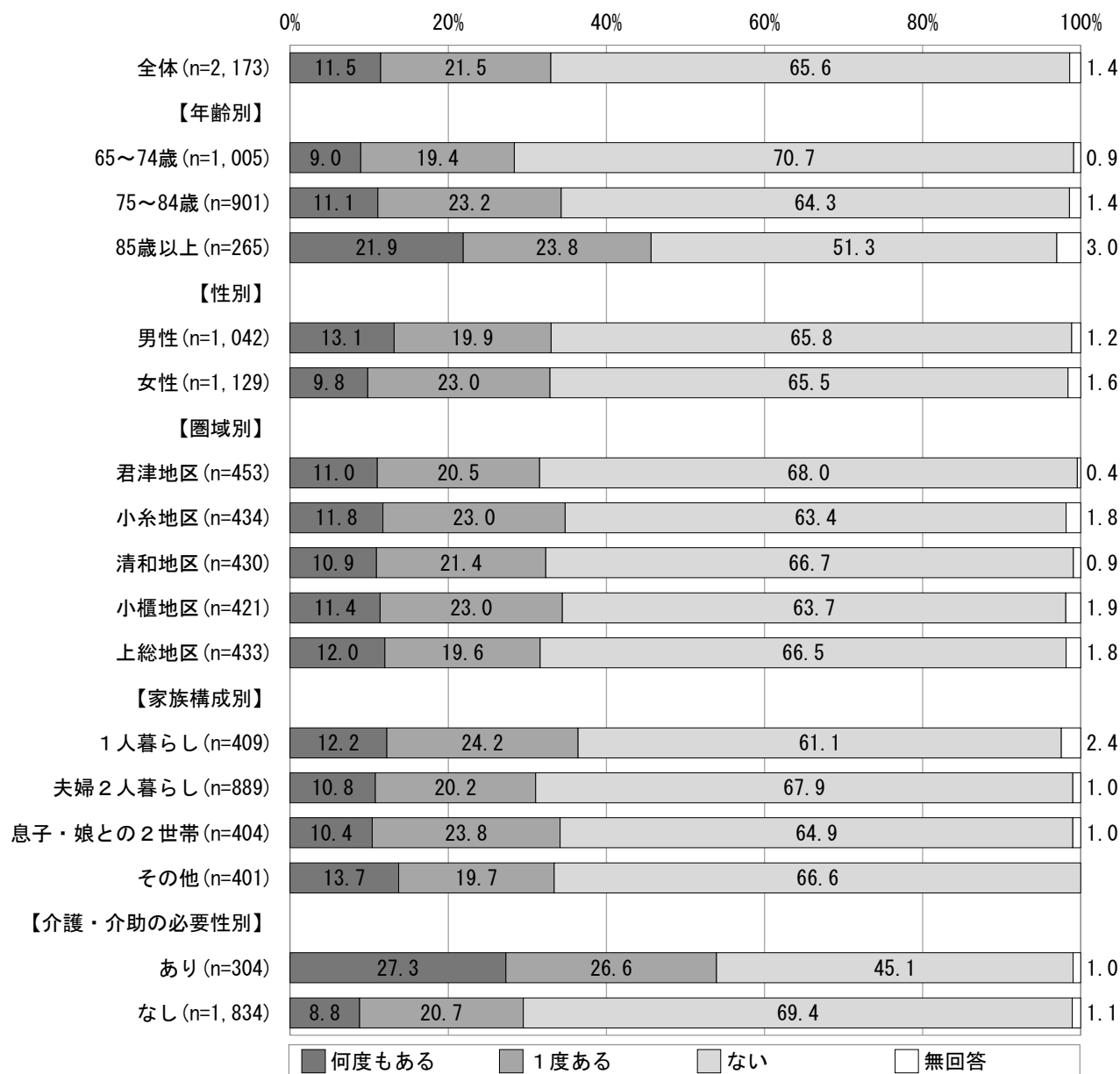


問2（4） 過去1年間に転んだ経験がありますか

全体では、「ない」が65.6%と最も高く、「1度ある」が21.5%、「何度もある」が11.5%が続いている。「何度もある」と「1度ある」を合わせた『ある』は33.0%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど『ある』の割合が高くなる傾向にある。

介護・介助の必要性別では、ありで『ある』が53.9%となっている。



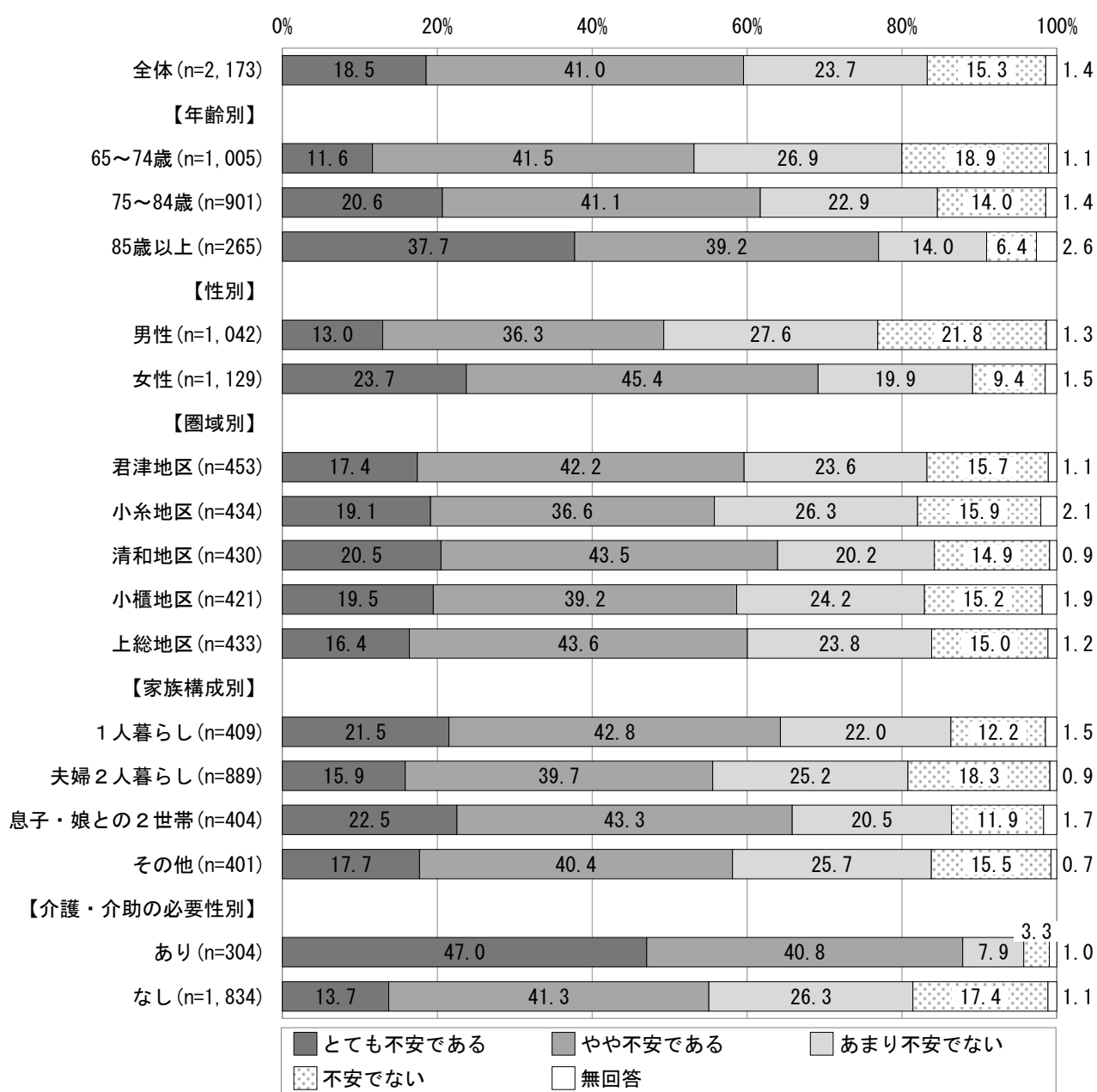
問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか

全体では、「やや不安である」が41.0%と最も高く、「あまり不安でない」が23.7%、「とても不安である」が18.5%と続いている。「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安がある』は59.5%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど『不安がある』の割合が高くなる傾向にある。

性別では、女性で『不安がある』が69.1%となっている。

介護・介助の必要性別では、ありで『不安がある』が87.8%となっている。

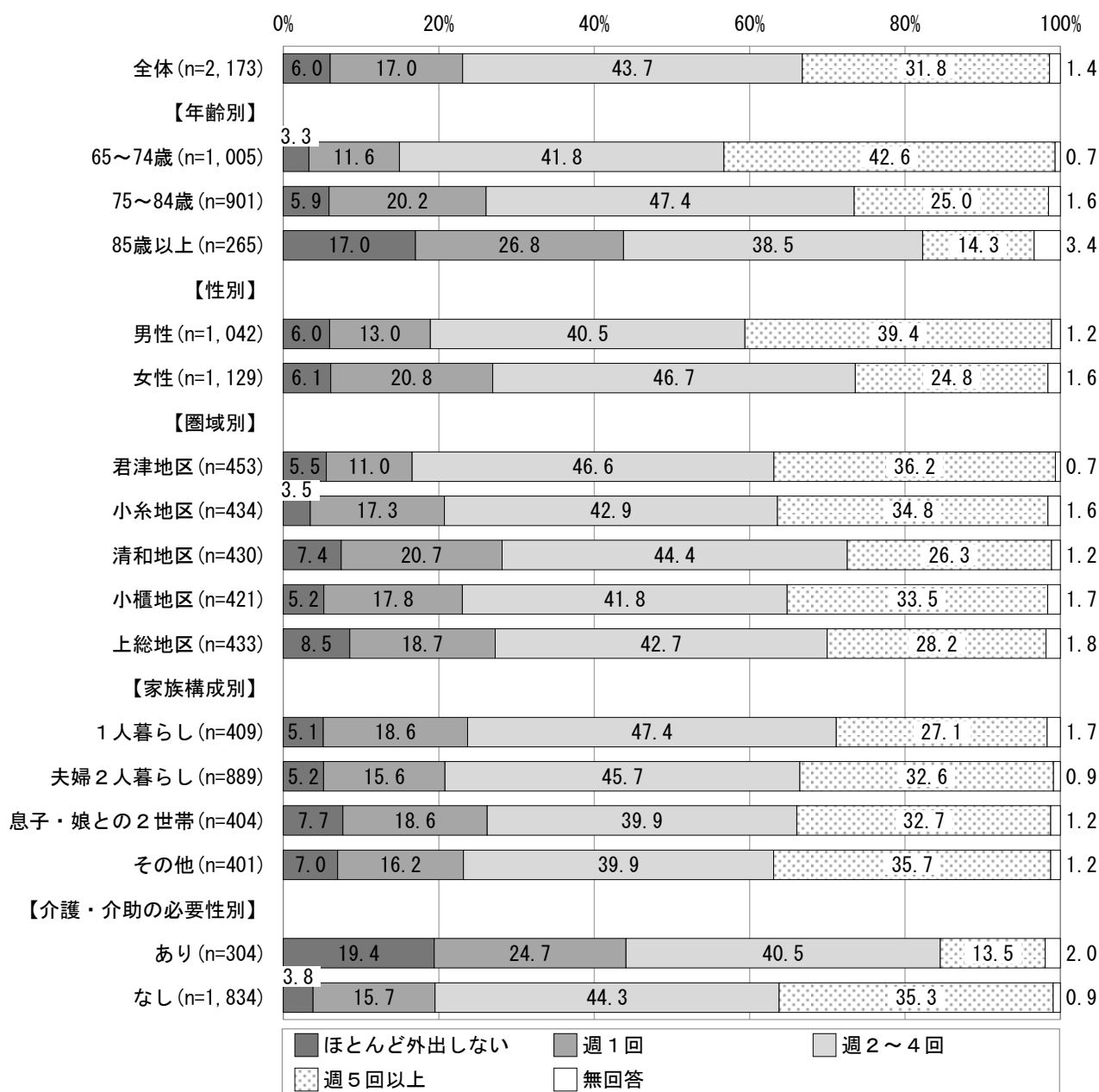


問2 (6) 週に1回以上は外出していますか

全体では、「週2～4回」が43.7%と最も高く、「週5回以上」が31.8%、「週1回」が17.0%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「週5回以上」の割合が低くなる傾向にある。

性別では「週5回以上」は、男性（39.4%）が女性（24.8%）を14.6ポイント上回っている。



問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

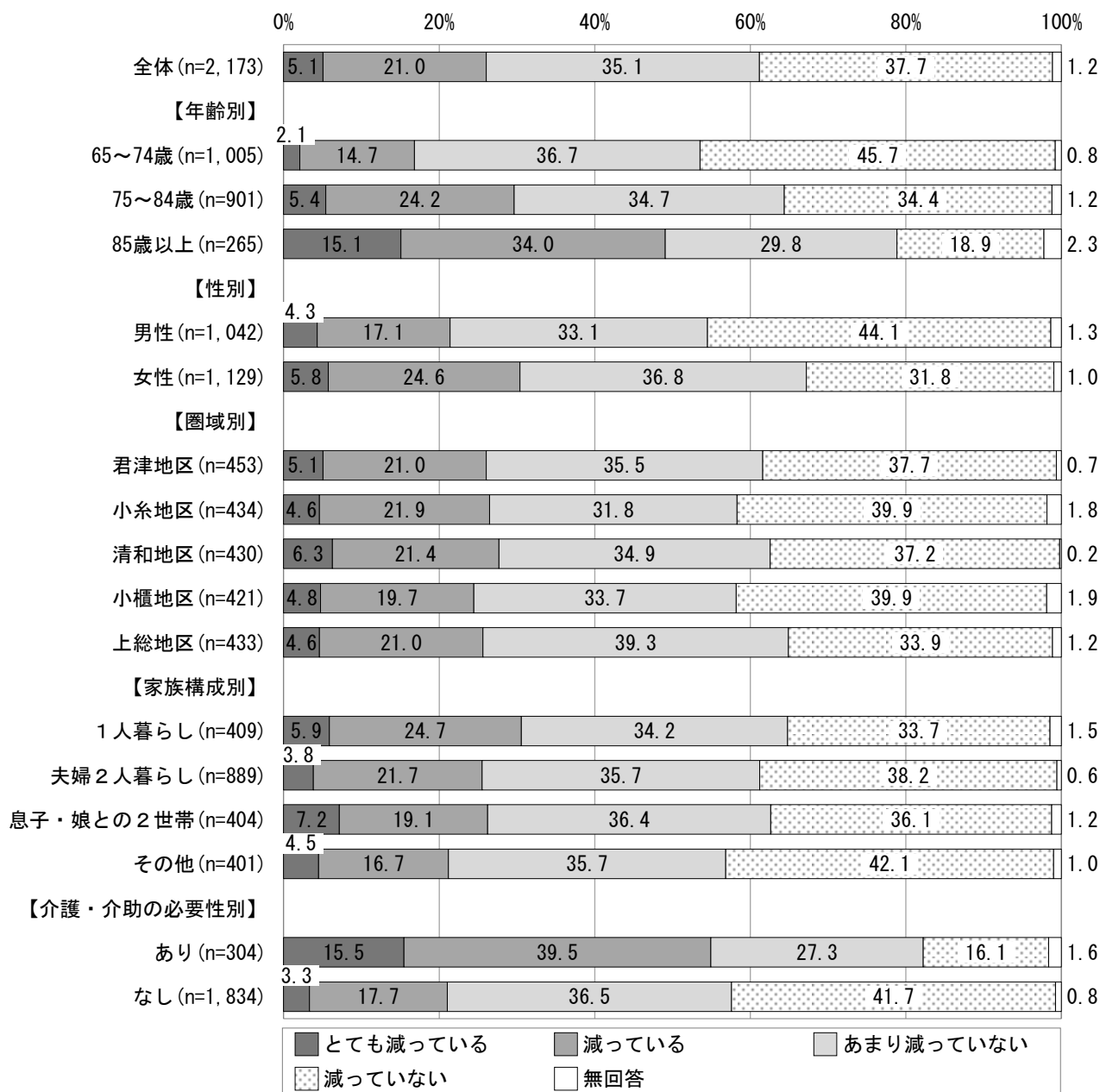
全体では、「減っていない」が37.7%と最も高く、「あまり減っていない」が35.1%、「減っている」が21.0%と続いている。「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』は26.1%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど『減っている』の割合が高くなる傾向にある。

性別では、女性で『減っている』が30.4%となっている。

家族構成別では、1人暮らしで『減っている』が30.6%となっている。

介護・介助の必要性別では、ありで『減っている』が55.0%となっている。



問2（8） 外出を控えていますか

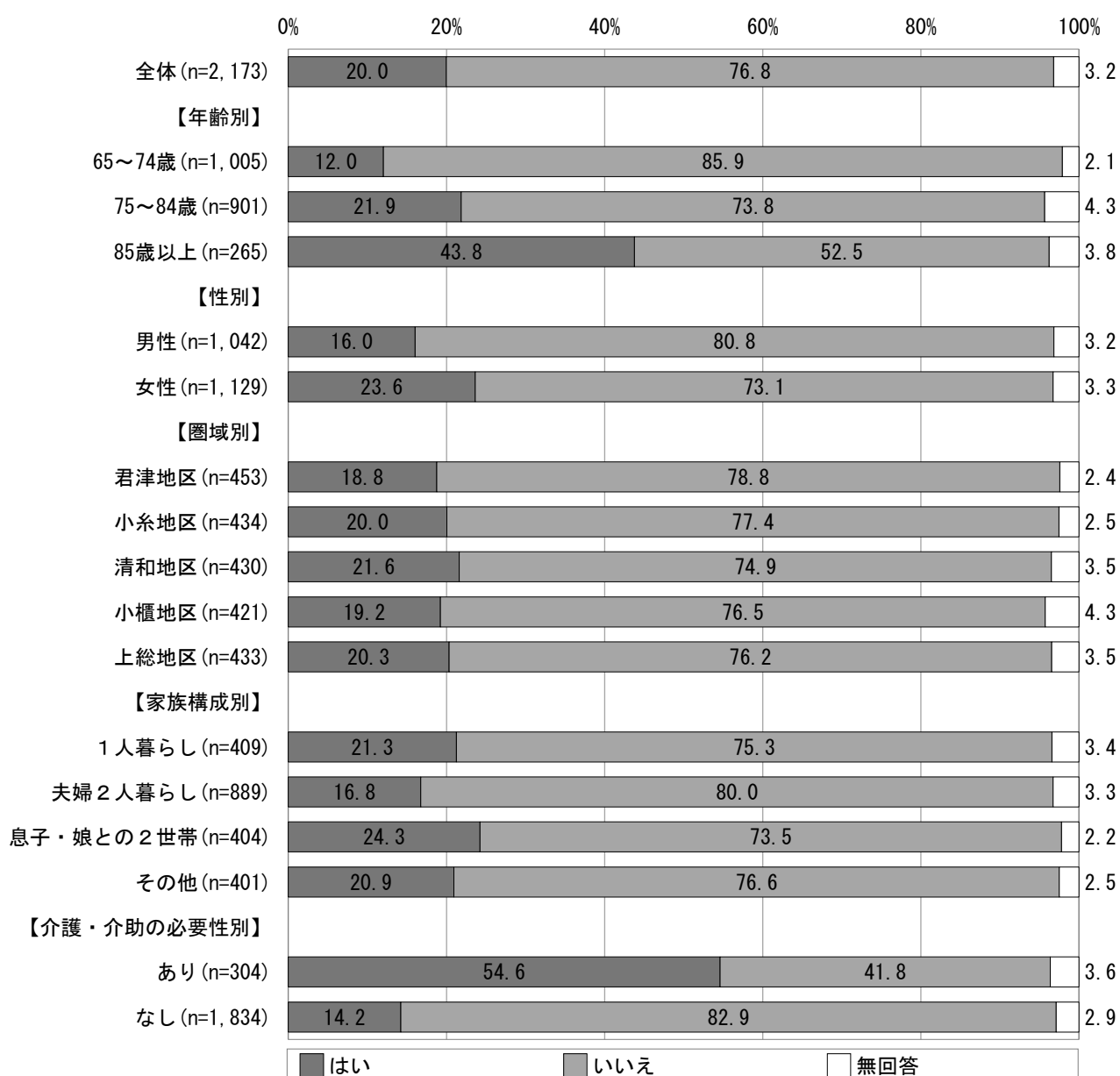
全体では、「はい」が20.0%、「いいえ」が76.8%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「いいえ」の割合が低くなる傾向にある。

圏域別では、君津地区で「いいえ」が78.8%と高くなっている。

家族構成別では、夫婦2人暮らしで「いいえ」が80.0%と高くなっている。

介護・介助の必要性別では「いいえ」は、なし（82.9%）があり（41.8%）を41.1ポイント上回っている。



問2(8) ①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

※問2(8)で「はい」と回答した方に質問

全体では、「足腰などの痛み」が47.0%と最も高く、「トイレの心配(失禁など)」が24.4%、「交通手段がない」が23.5%と続いている。

(%)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	交通手段がない	外での楽しみがない	経済的に出られない	病気	(聞こえの問題など) 耳の障がい	目の障がい	(脳卒中の後遺症など) 障がい	その他	無回答
全体(n=434)	47.0	24.4	23.5	15.9	15.4	12.7	11.8	9.0	0.5	14.5	2.1
【年齢別】											
65～74歳(n=121)	30.6	21.5	9.9	20.7	28.9	16.5	1.7	7.4	0.8	27.3	2.5
75～84歳(n=197)	51.8	25.4	27.9	15.7	14.2	13.2	12.7	8.6	0.0	9.1	1.0
85歳以上(n=116)	56.0	25.9	30.2	11.2	3.4	7.8	20.7	11.2	0.9	10.3	3.4
【性別】											
男性(n=167)	46.7	27.5	16.8	22.8	18.0	16.8	16.2	9.0	0.6	10.8	2.4
女性(n=267)	47.2	22.5	27.7	11.6	13.9	10.1	9.0	9.0	0.4	16.9	1.9
【圏域別】											
君津地区(n=85)	45.9	21.2	27.1	24.7	16.5	16.5	9.4	12.9	1.2	12.9	0.0
小糸地区(n=87)	42.5	17.2	24.1	11.5	16.1	12.6	12.6	9.2	0.0	19.5	3.4
清和地区(n=93)	53.8	33.3	25.8	12.9	12.9	11.8	9.7	5.4	1.1	9.7	1.1
小櫃地区(n=81)	50.6	28.4	23.5	11.1	13.6	9.9	9.9	8.6	0.0	16.0	3.7
上総地区(n=88)	42.0	21.6	17.0	19.3	18.2	12.5	17.0	9.1	0.0	14.8	2.3
【家族構成別】											
1人暮らし(n=87)	50.6	25.3	29.9	16.1	18.4	10.3	9.2	12.6	1.1	13.8	1.1
夫婦2人暮らし(n=149)	45.0	23.5	16.8	23.5	19.5	17.4	10.7	8.1	0.0	14.8	1.3
息子・娘との2世帯(n=98)	55.1	23.5	24.5	10.2	10.2	7.1	11.2	9.2	0.0	6.1	2.0
その他(n=84)	39.3	28.6	29.8	10.7	9.5	14.3	15.5	7.1	1.2	25.0	2.4
【介護・介助の必要性別】											
あり(n=166)	53.0	28.3	30.1	11.4	10.2	19.3	17.5	13.9	1.2	10.2	1.8
なし(n=261)	43.3	22.6	18.8	19.2	18.8	8.0	8.4	5.0	0.0	17.2	2.3

問2 (9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

全体では、「自動車（自分で運転）」が72.0%と最も高く、「徒歩」が36.4%、「自動車（人に乗せてもらう）」が28.6%と続いている。

(%)	自動車 (自分で運転)	徒歩	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	自転車	タクシー	コミュニティバス	デマンドタクシー	バイク	病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	車いす	電動車いす(カート)	その他	無回答
全体 (n=2,173)	72.0	36.4	28.6	10.4	10.2	6.7	4.1	3.8	2.3	1.7	1.2	0.8	0.3	0.1	0.9	3.5
【年齢別】																
65～74歳 (n=1,005)	86.2	35.8	19.5	12.8	9.6	6.3	1.9	2.7	1.3	2.8	0.1	0.2	0.1	0.0	1.1	2.4
75～84歳 (n=901)	68.5	37.0	31.2	9.0	10.0	6.9	5.4	4.3	2.2	0.9	1.1	0.7	0.3	0.1	0.6	4.7
85歳以上 (n=265)	30.2	36.2	54.0	6.0	13.2	7.9	8.3	6.0	6.0	0.8	5.7	3.8	0.8	0.8	1.5	3.4
【性別】																
男性 (n=1,042)	84.4	38.2	12.9	10.7	8.6	7.8	2.4	2.3	1.3	3.2	0.8	0.2	0.3	0.2	0.8	3.6
女性 (n=1,129)	60.6	34.6	43.0	10.1	11.6	5.8	5.8	5.1	3.1	0.4	1.6	1.4	0.3	0.1	1.1	3.3
【圏域別】																
君津地区 (n=453)	64.5	60.0	31.1	19.2	17.7	13.2	9.5	8.4	0.0	0.9	1.1	1.3	0.2	0.2	1.1	3.3
小糸地区 (n=434)	74.4	35.0	26.0	7.6	12.0	6.7	6.5	6.2	0.0	2.5	0.9	0.5	0.0	0.0	0.7	2.5
清和地区 (n=430)	75.3	22.8	29.8	5.6	10.0	1.4	2.3	4.0	0.0	1.6	2.3	0.7	0.5	0.0	1.2	3.3
小櫃地区 (n=421)	73.4	29.2	29.2	8.6	5.2	6.7	1.4	0.0	3.8	1.7	0.7	0.7	0.2	0.2	0.5	4.3
上総地区 (n=433)	72.7	33.3	26.6	10.6	5.5	5.3	0.7	0.0	7.6	2.1	0.9	0.9	0.5	0.2	1.2	3.9
【家族構成別】																
1人暮らし (n=409)	64.8	38.6	22.5	11.7	14.9	11.5	8.8	8.1	2.2	1.7	2.9	1.5	0.0	0.2	1.0	3.4
夫婦2人暮らし (n=889)	77.8	38.6	26.8	12.0	9.7	6.0	3.4	2.1	1.5	1.8	0.3	0.6	0.3	0.1	1.0	3.9
息子・娘との2世帯 (n=404)	69.8	34.2	35.6	6.2	7.2	4.2	2.0	2.5	2.5	2.0	1.0	1.0	0.2	0.2	0.2	2.2
その他 (n=401)	71.1	32.7	30.2	10.0	9.2	6.2	2.7	4.5	3.2	1.7	1.7	0.5	0.5	0.0	1.0	2.7
【介護・介助の必要性別】																
あり (n=304)	37.8	31.6	52.6	6.6	11.5	7.9	9.5	6.6	5.9	0.0	5.6	2.6	2.0	0.0	1.6	3.6
なし (n=1,834)	78.2	37.6	24.6	11.1	9.7	6.5	2.9	3.3	1.5	2.1	0.5	0.5	0.0	0.2	0.7	3.3

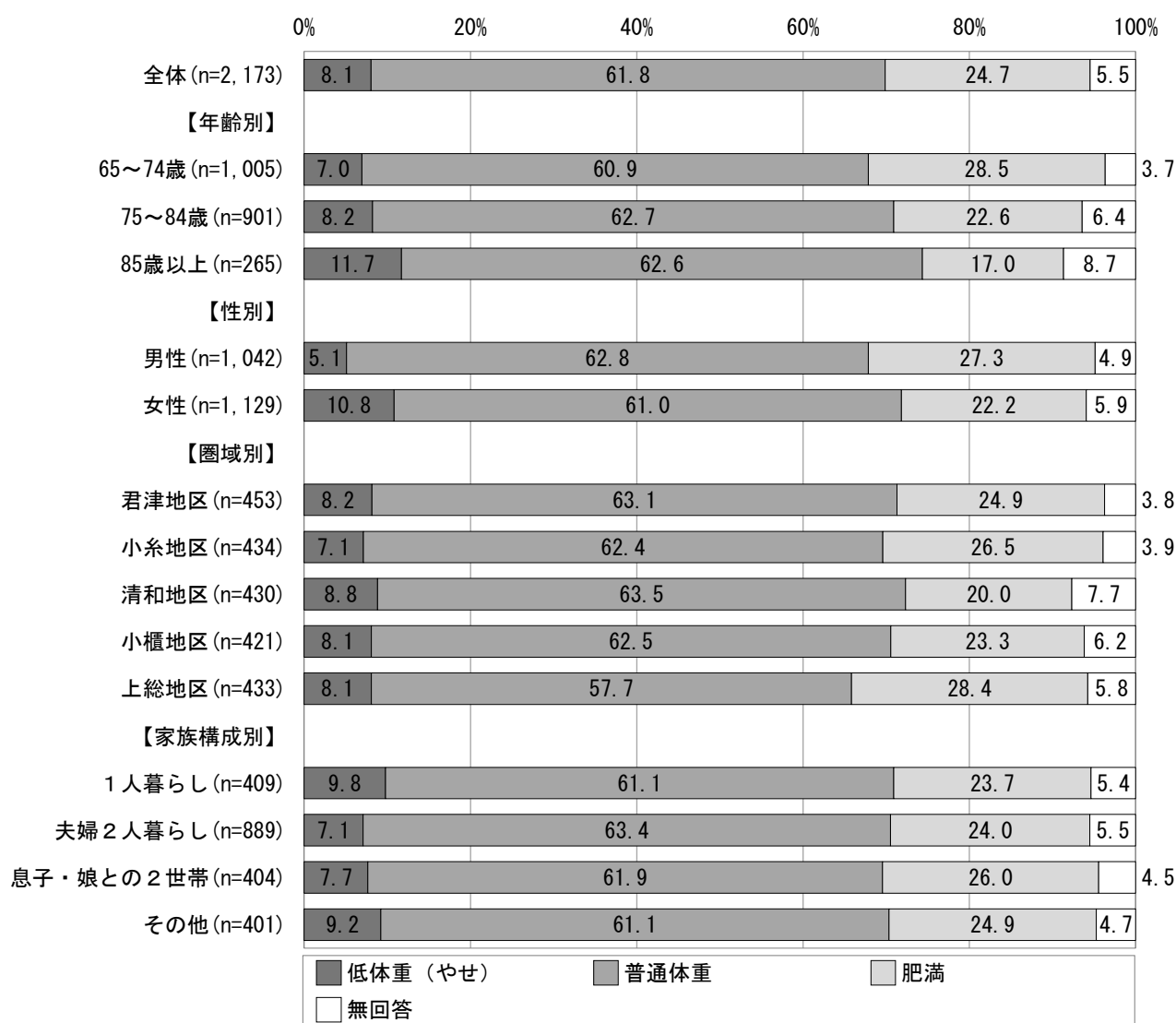
問3 食べることについて

問3 (1) 身長

問3 (1) 体重

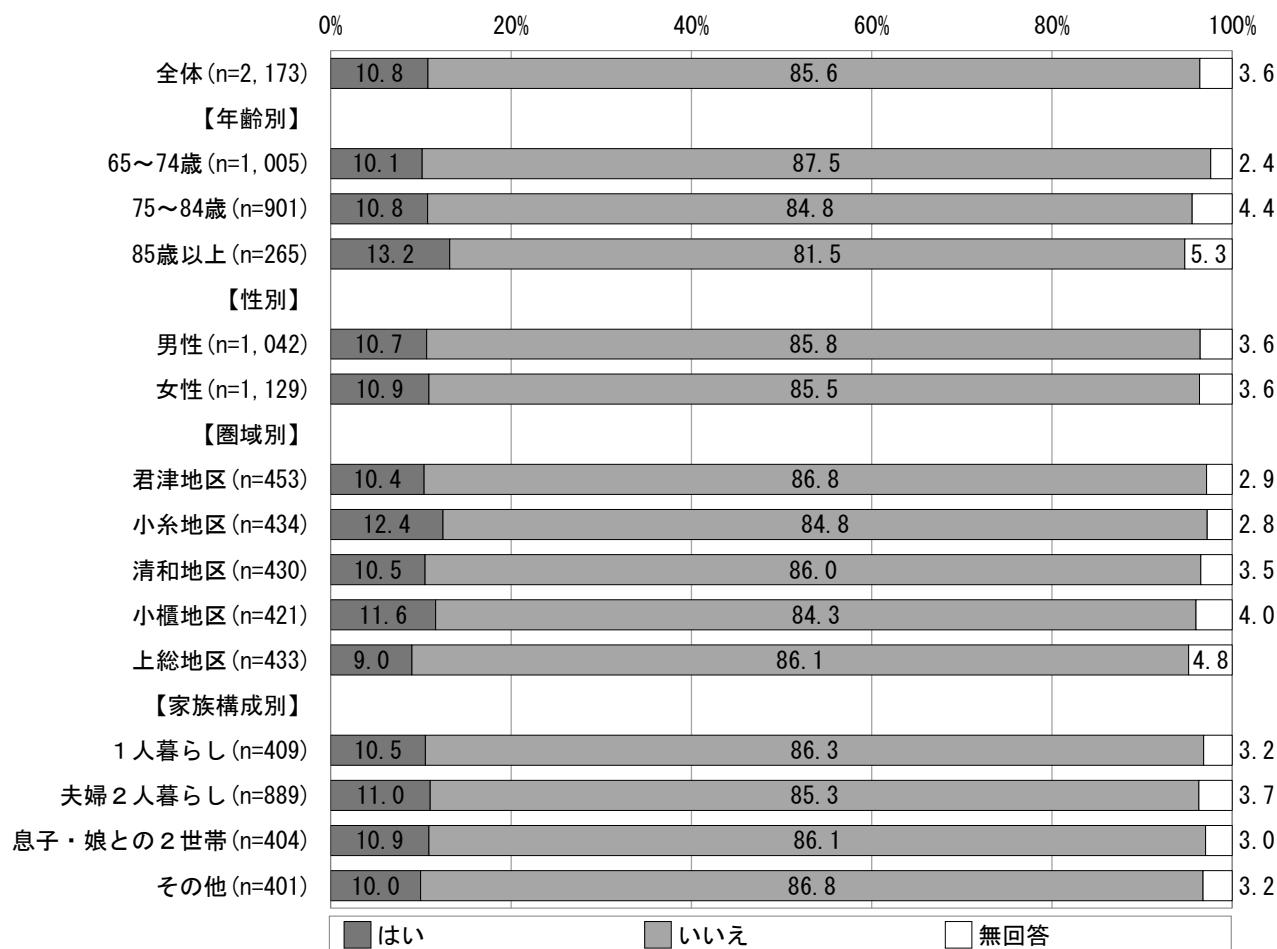
身長と体重から算出したBMI（肥満度を表す体格指数）について、BMIが25以上を「肥満」、18.5～25を「普通体重」、18.5未満を「低体重（やせ）」と判定した。

全体では、「普通体重」が61.8%と最も高く、「肥満」が24.7%、「低体重（やせ）」が8.1%と続いている。



問3（2） 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

全体では、「はい」が10.8%、「いいえ」が85.6%となっている。

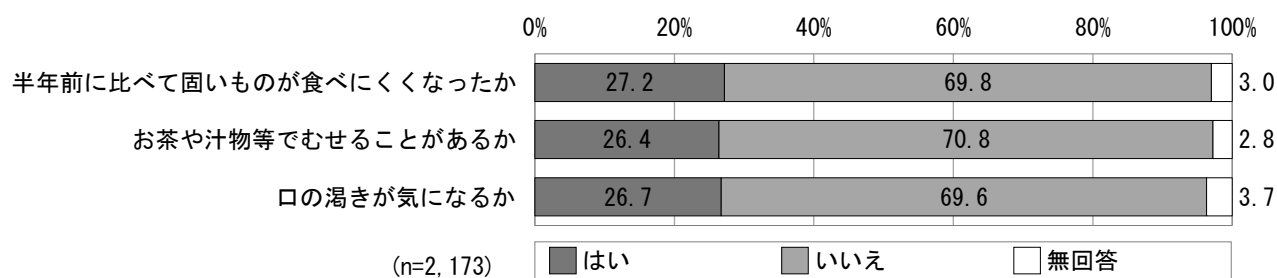


問3（3） 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

問3（4） お茶や汁物等でむせることがありますか

問3（5） 口の渇きが気になりますか

口腔機能に関するそれぞれの設問をみると、「いいえ」が約7割となっている。「はい」が最も高いのは、＜半年前に比べて固いものが食べにくくなったか＞で27.2%となっている。

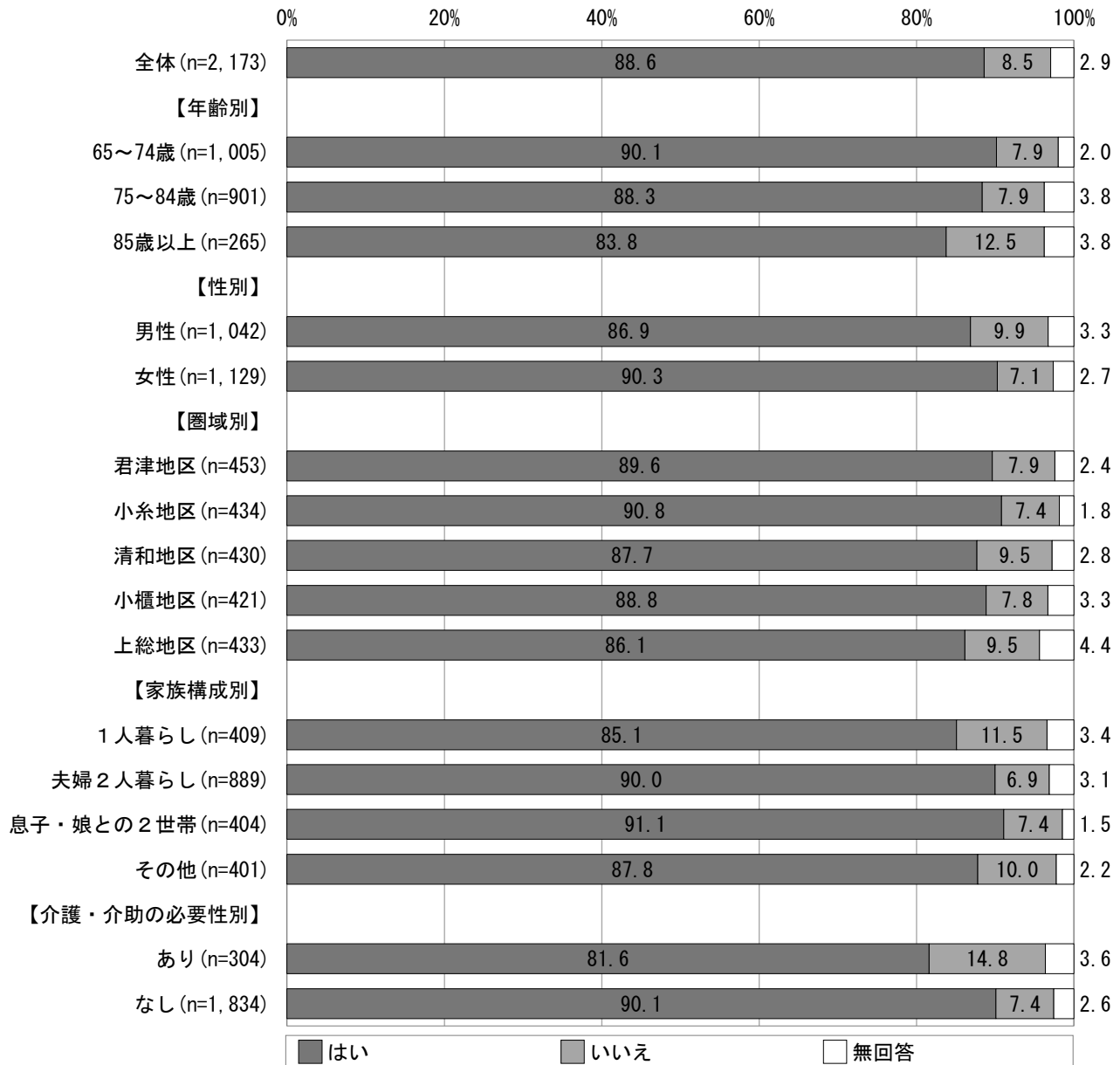


問3 (6) 歯磨きや入れ歯のお手入れ（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

全体では、「はい」が88.6%、「いいえ」が8.5%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「はい」の割合が低くなる傾向にある。

介護・介助の必要性別では「はい」は、なし（90.1%）があり（81.6%）を8.5ポイント上回っている。

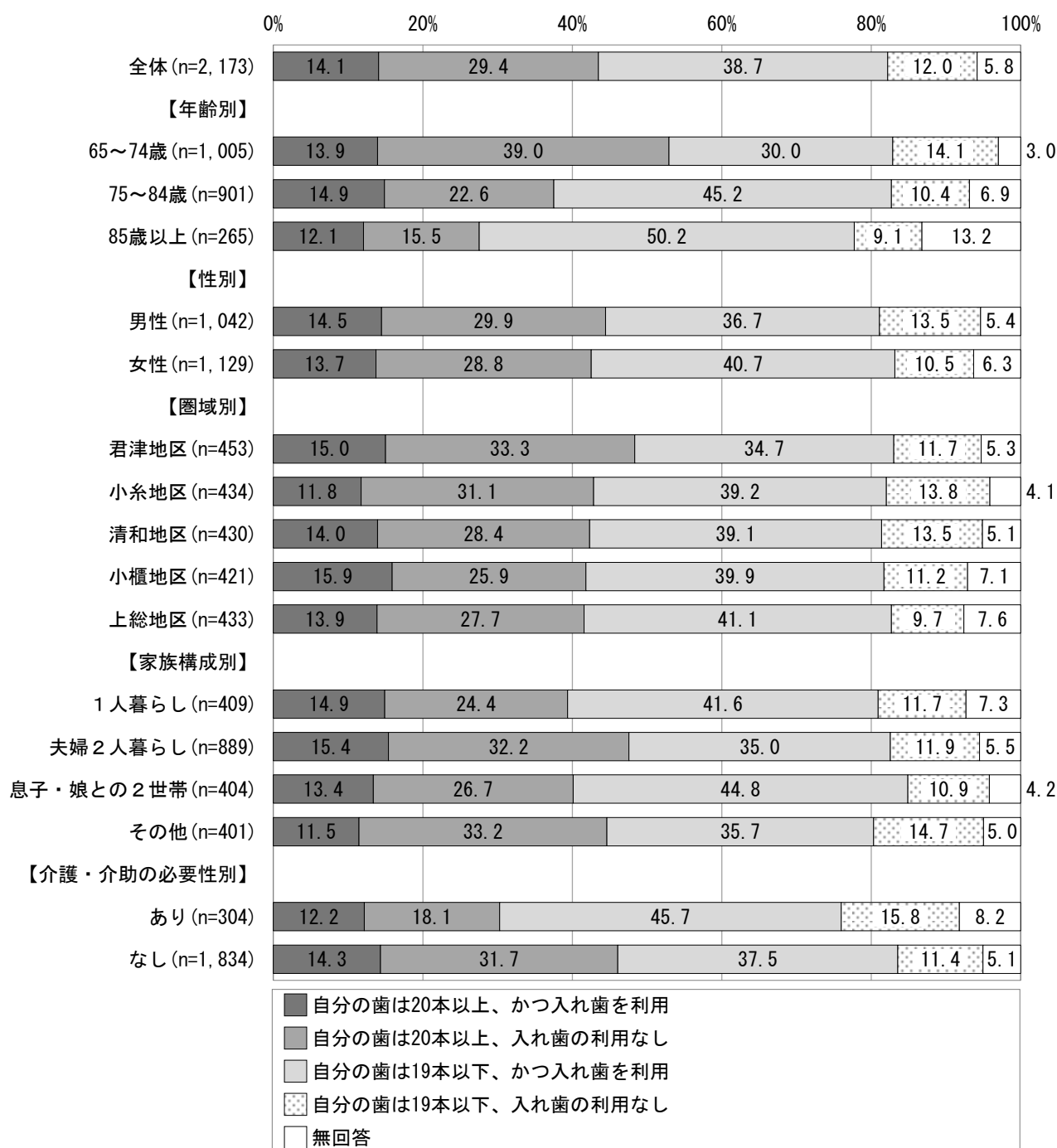


問3 (7) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

全体では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 38.7%と最も高く、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 29.4%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.1%と続いている。

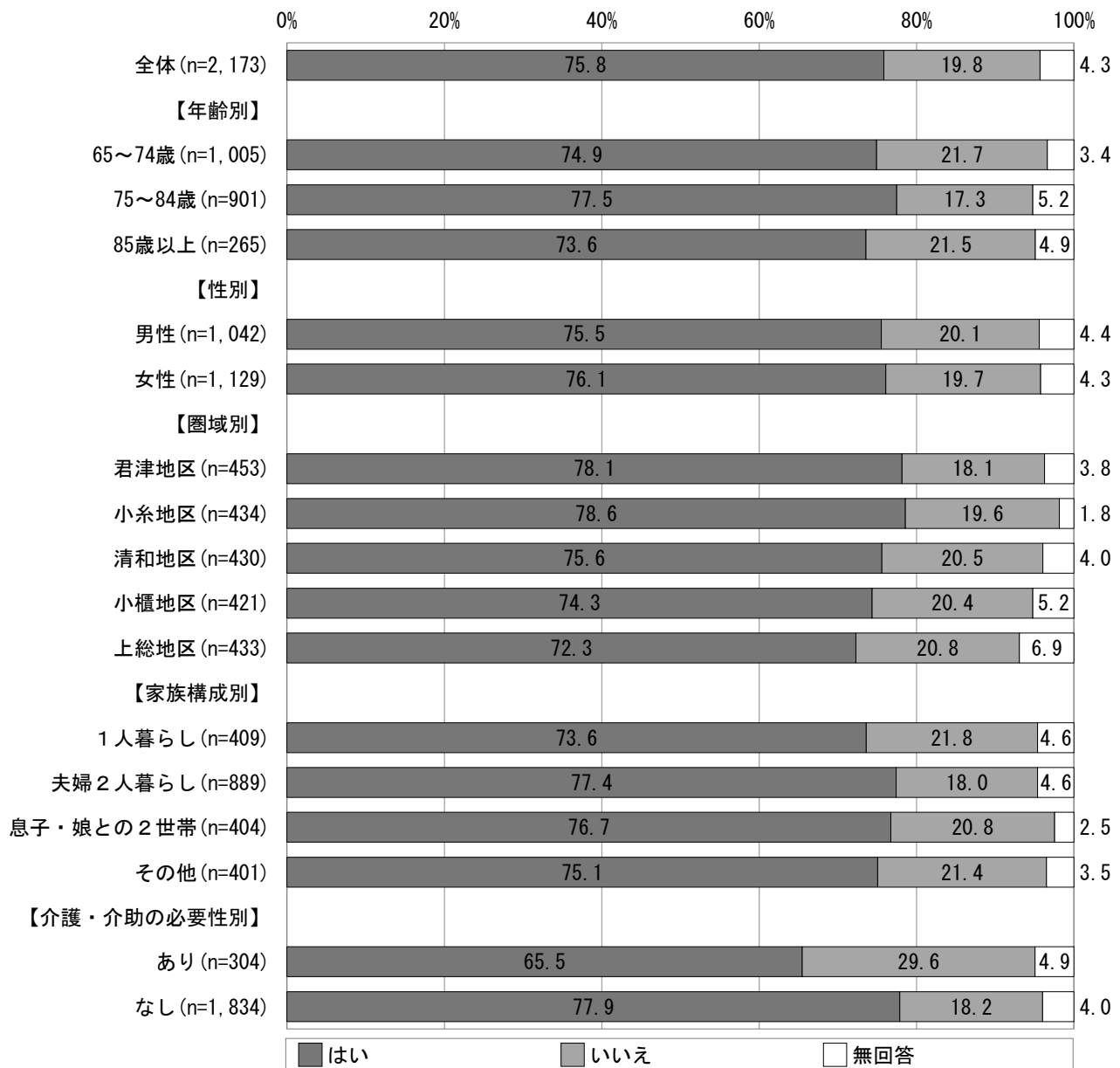
「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」を合わせた『自分の歯は 20 本以上』は 43.5%となっている。



問3 (8) 噛み合わせは良いですか

全体では、「はい」が75.8%、「いいえ」が19.8%となっている。

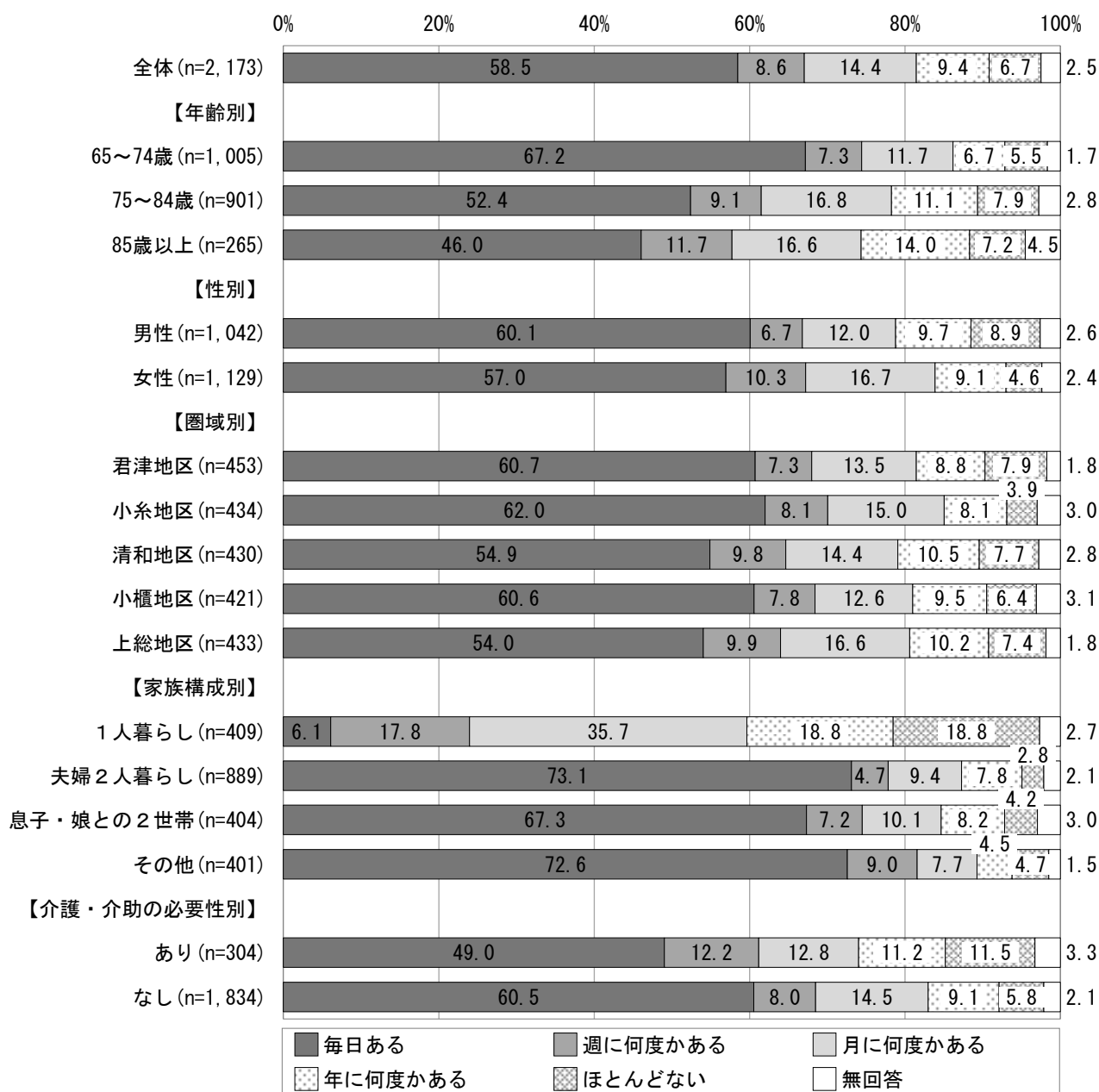
介護・介助の必要性別では「はい」は、なし(77.9%)があり(65.5%)を12.4ポイント上回っている。



問3 (9) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

全体では、「毎日ある」が58.5%と最も高く、「月に何度かある」が14.4%、「年に何度かある」が9.4%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「毎日ある」の割合が低くなる傾向にある。



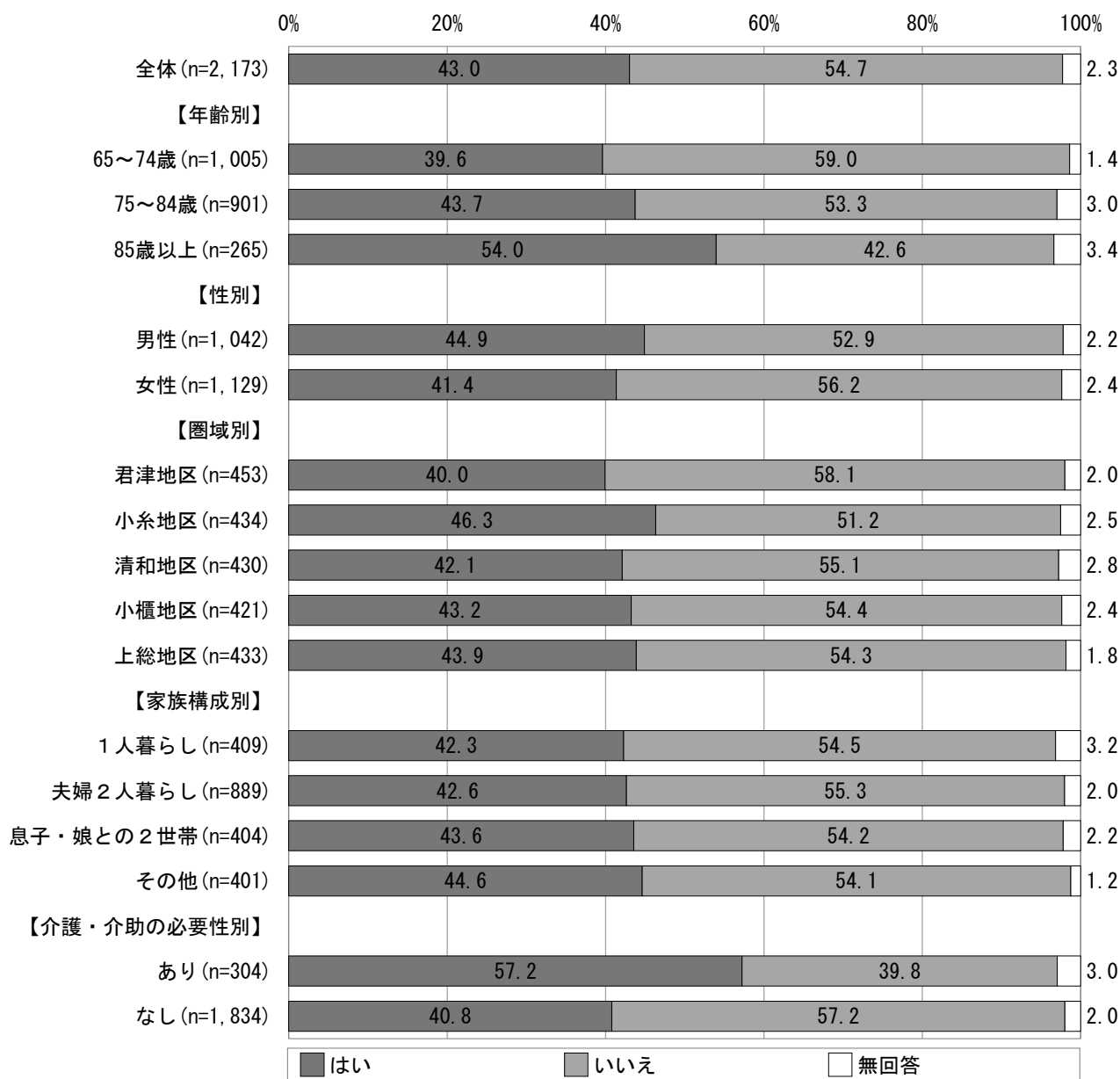
問4 毎日の生活について

問4 (1) 物忘れが多いと感じますか

全体では、「はい」が43.0%、「いいえ」が54.7%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなる傾向にある。

介護・介助の必要性別では「はい」は、あり（57.2%）がなし（40.8%）を16.4ポイント上回っている。

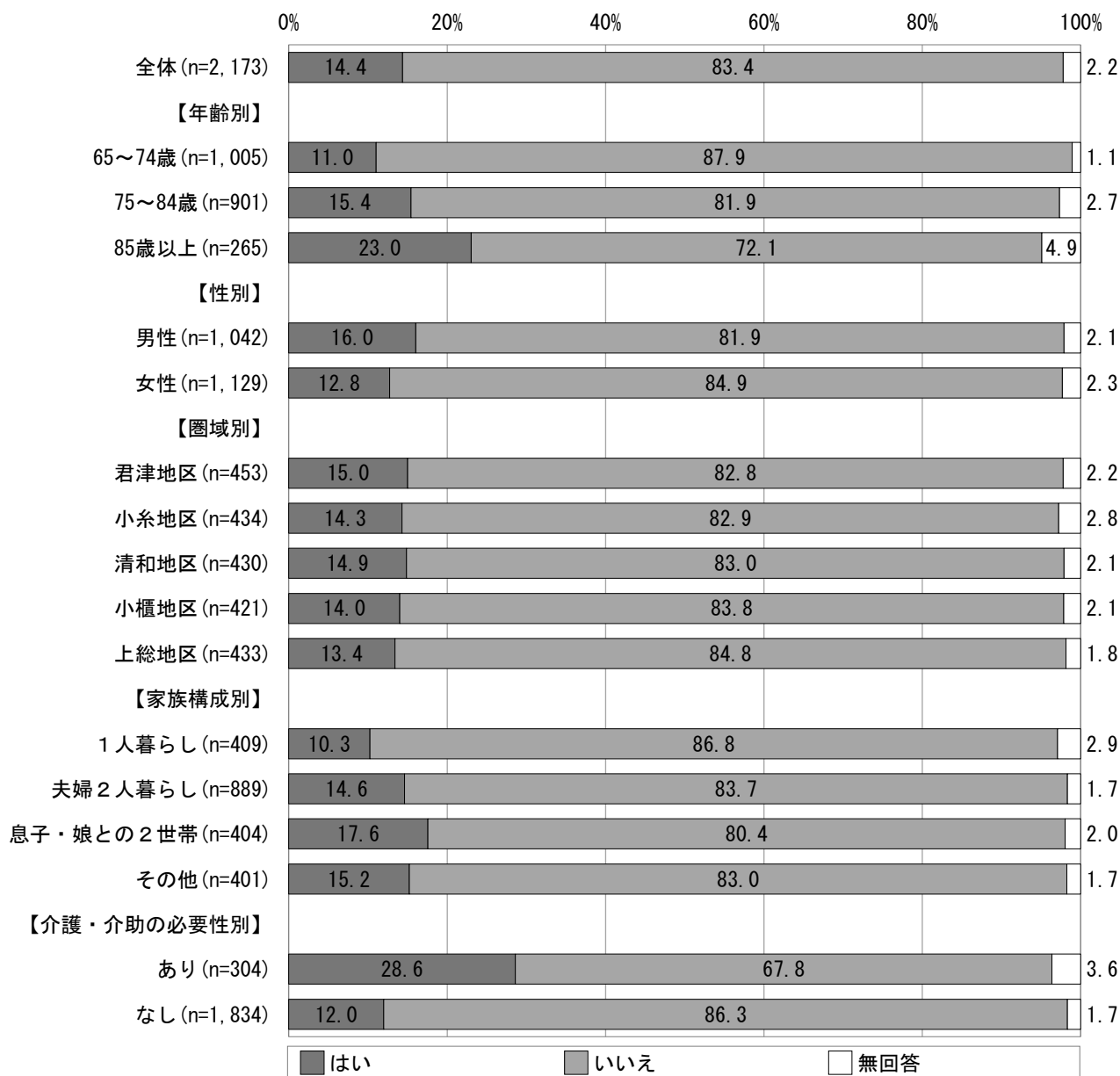


問4（2） 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか

全体では、「はい」が14.4%、「いいえ」が83.4%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなる傾向にある。

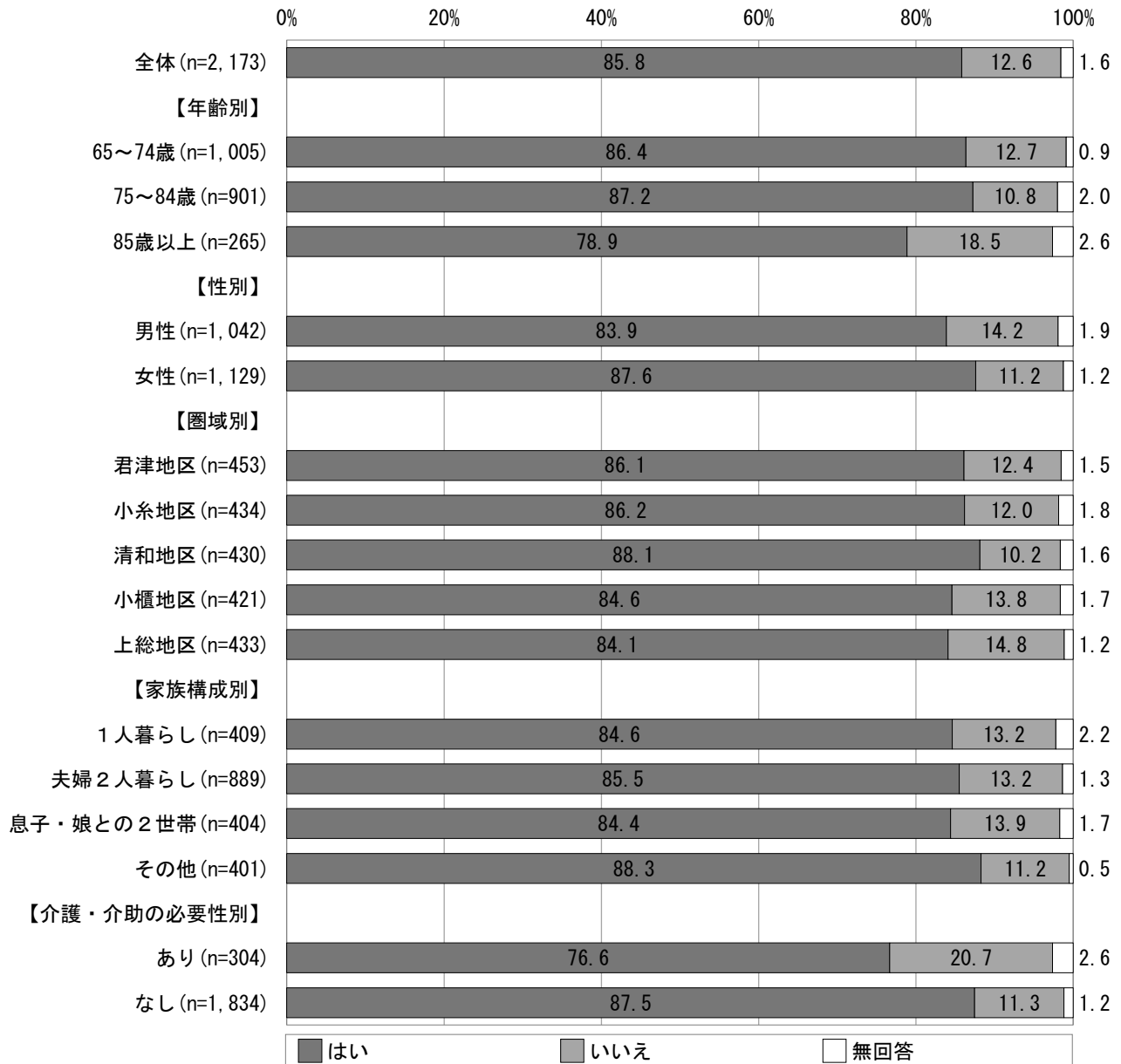
介護・介助の必要性別では「はい」は、あり（28.6%）がなし（12.0%）を16.6ポイント上回っている。



問4（3） 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

全体では、「はい」が85.8%、「いいえ」が12.6%となっている。

介護・介助の必要性別では「はい」は、なし（87.5%）があり（76.6%）を10.9ポイント上回っている。

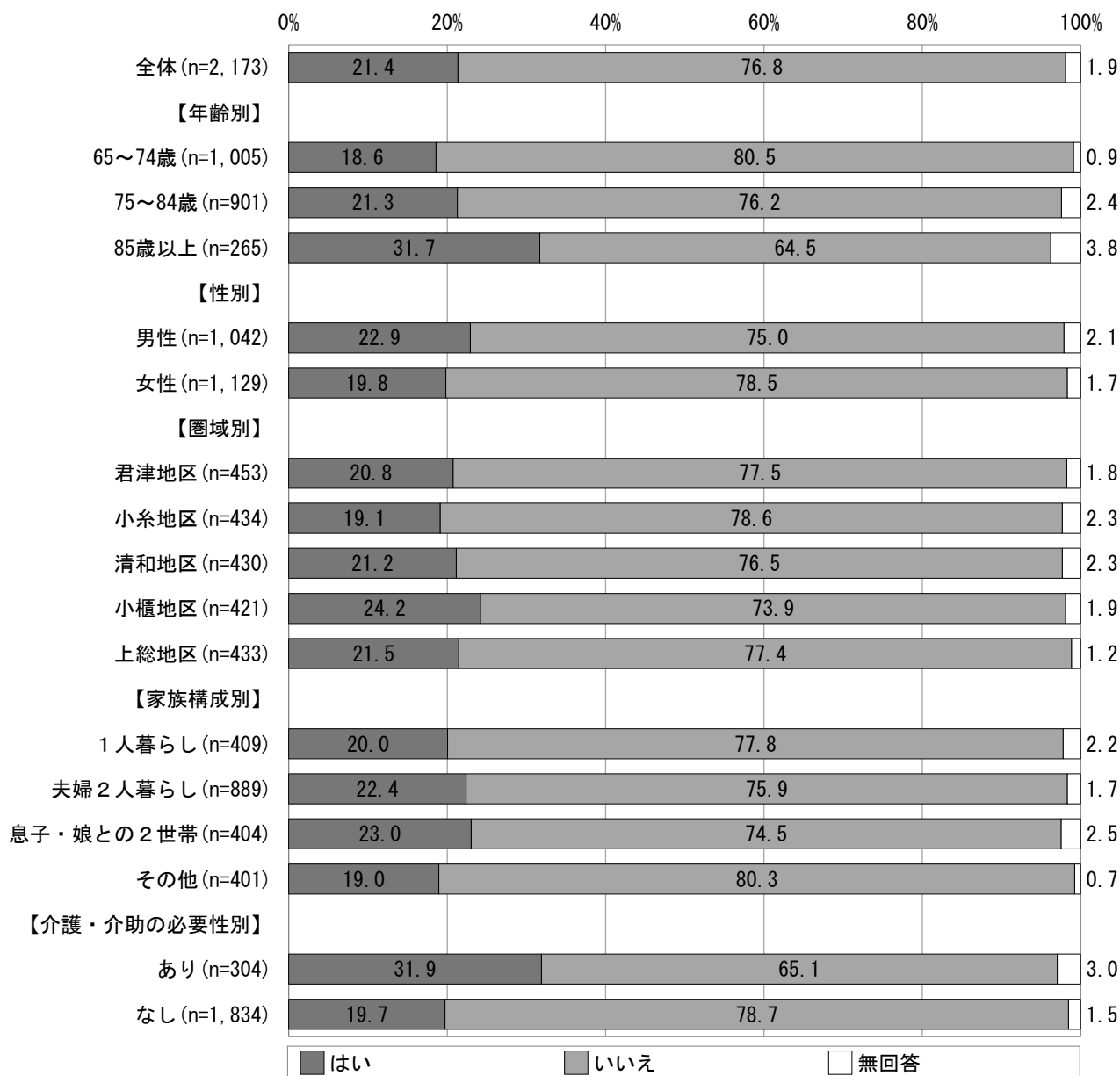


問4（4） 今日が何月何日かわからない時がありますか

全体では、「はい」が21.4%、「いいえ」が76.8%となっている。

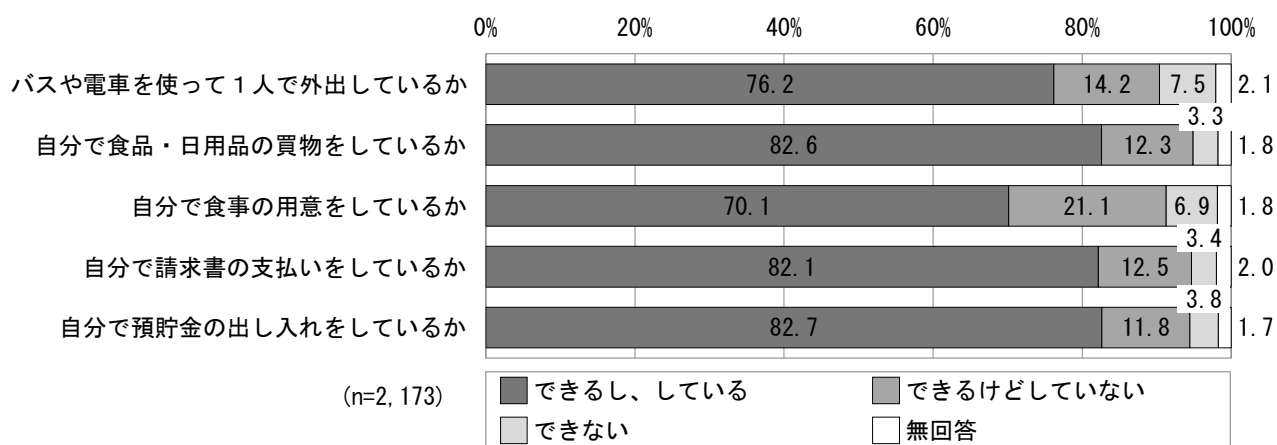
年齢別では、年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなる傾向にある。

介護・介助の必要性別では「はい」は、あり（31.9%）がなし（19.7%）を12.2ポイント上回っている。



- 問4（5） バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）
 問4（6） 自分で食品・日用品の買物をしていますか
 問4（7） 自分で食事の用意をしていますか
 問4（8） 自分で請求書の支払いをしていますか
 問4（9） 自分で預貯金の出し入れをしていますか

手段的日常生活動作（IADL）に関するそれぞれの設問をみると、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせた『できる』が約9割となっているが、＜バスや電車を使って1人で外出しているか＞は、「できない」が7.5%と相対的に高くなっている。

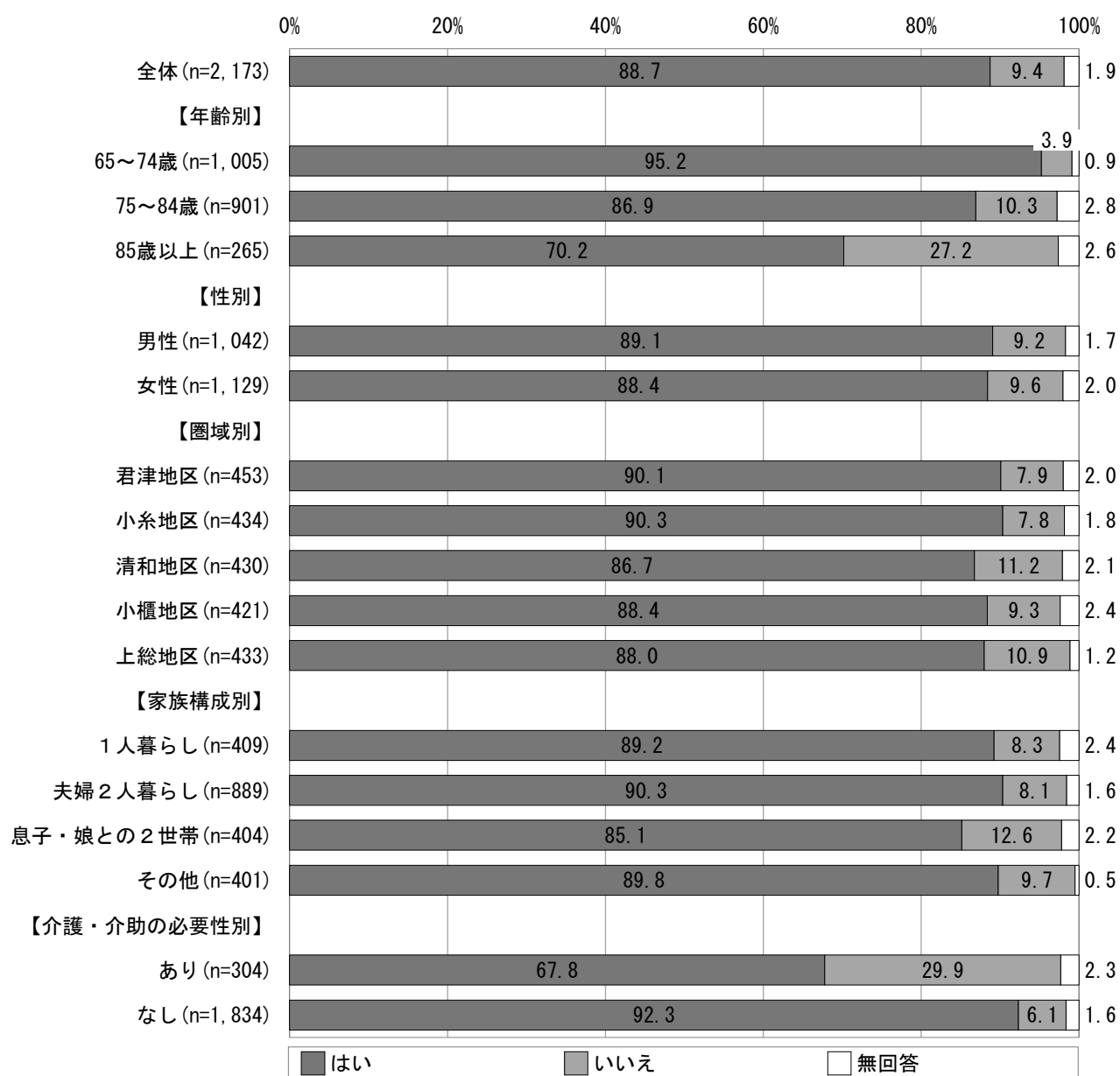


問4 (10) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

全体では、「はい」が88.7%、「いいえ」が9.4%となっている。

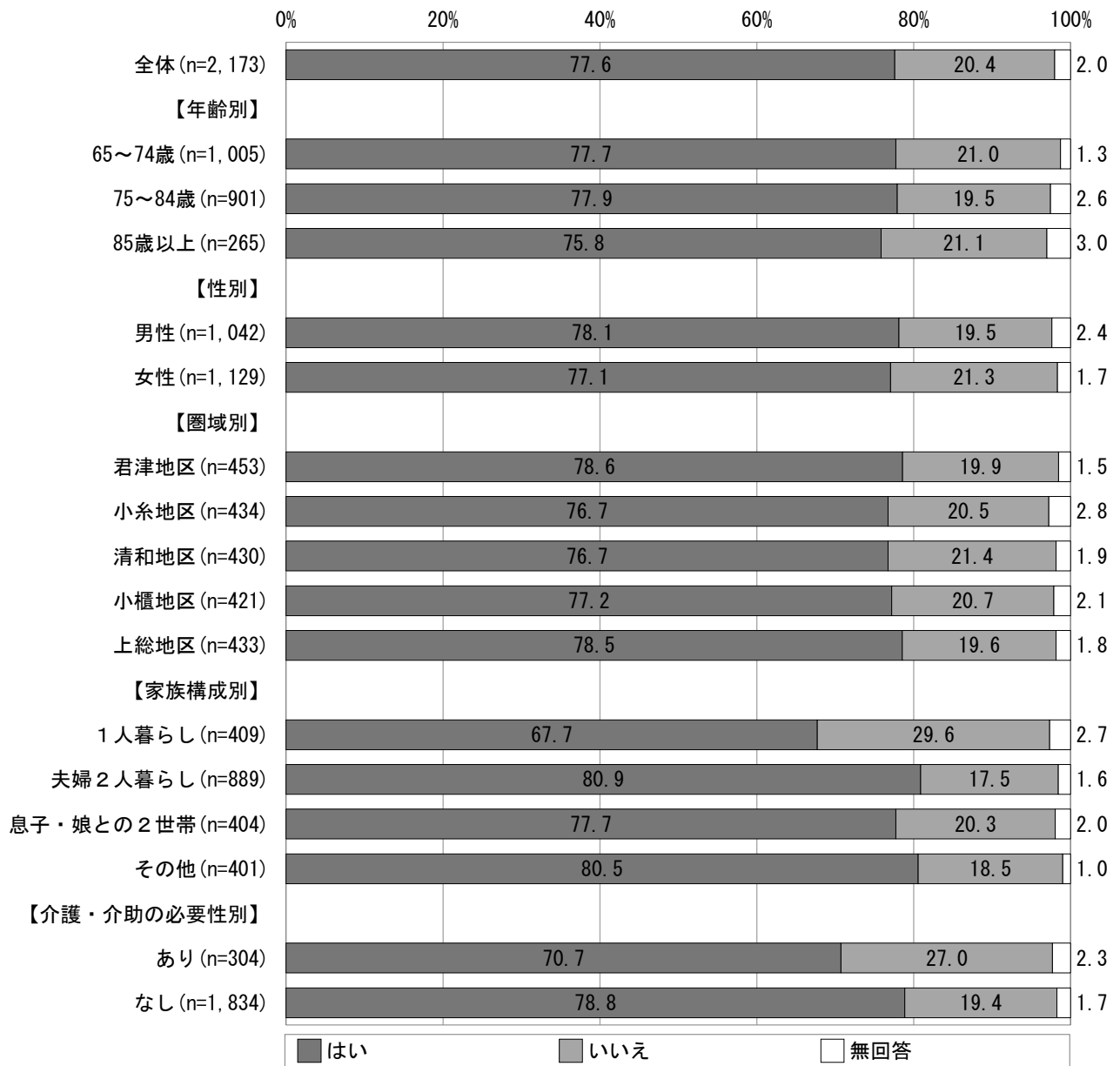
年齢別では、年齢が上がるほど「はい」の割合が低くなる傾向にある。

介護・介助の必要性別では「はい」は、なし（92.3%）があり（67.8%）を24.5ポイント上回っている。



問4 (11) 本や新聞を読んでいますか

全体では、「はい」が77.6%、「いいえ」が20.4%となっている。



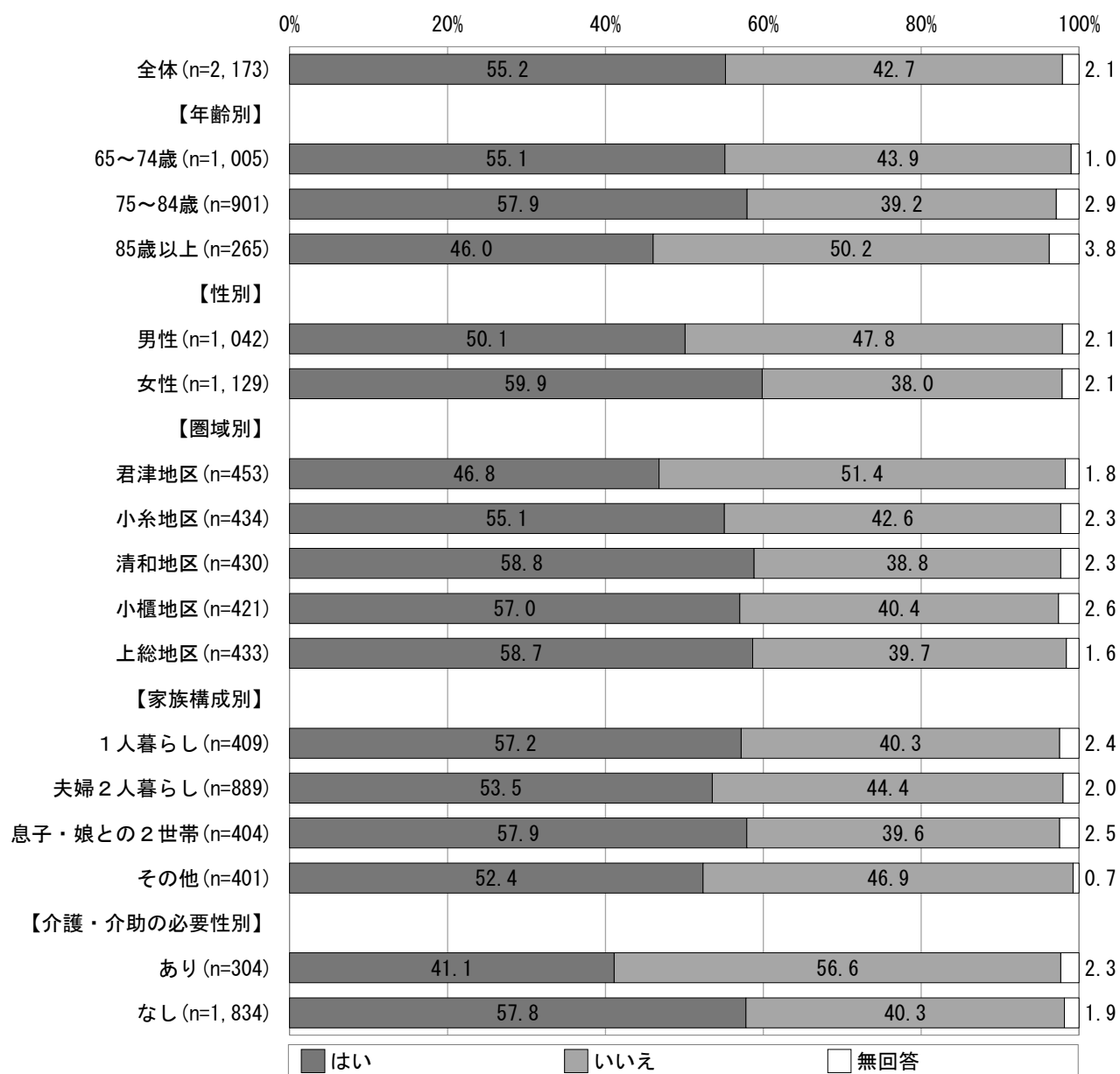
問4 (12) 友人の家を訪ねていますか

全体では、「はい」が55.2%、「いいえ」が42.7%となっている。

性別では「はい」は、女性（59.9%）が男性（50.1%）を9.8ポイント上回っている。

圏域別では、君津地区で「いいえ」が51.4%と高くなっている。

介護・介助の必要性別では「はい」は、なし（57.8%）があり（41.1%）を16.7ポイント上回っている。

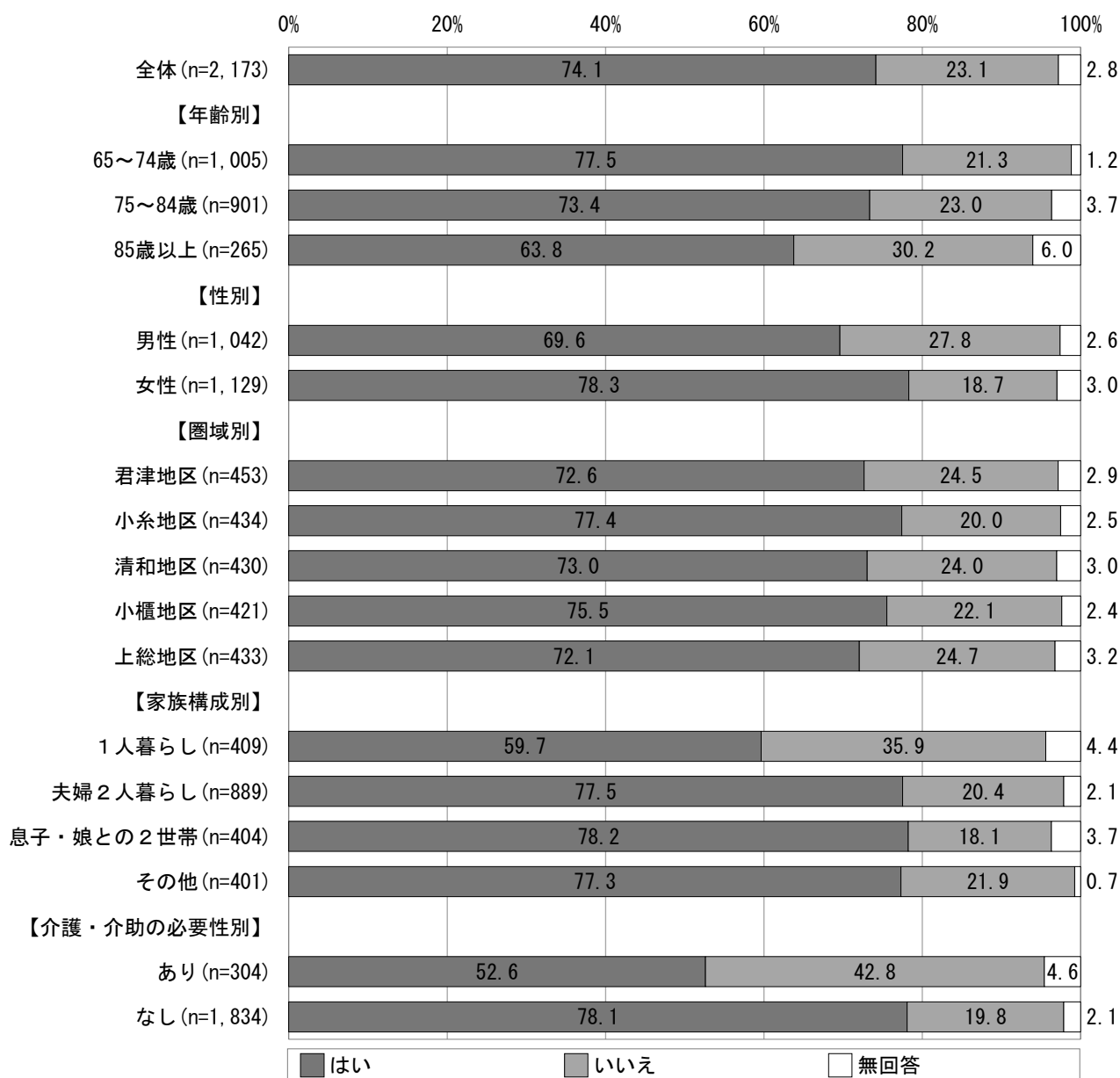


問4 (13) 家族や友人の相談にのっていますか

全体では、「はい」が74.1%、「いいえ」が23.1%となっている。

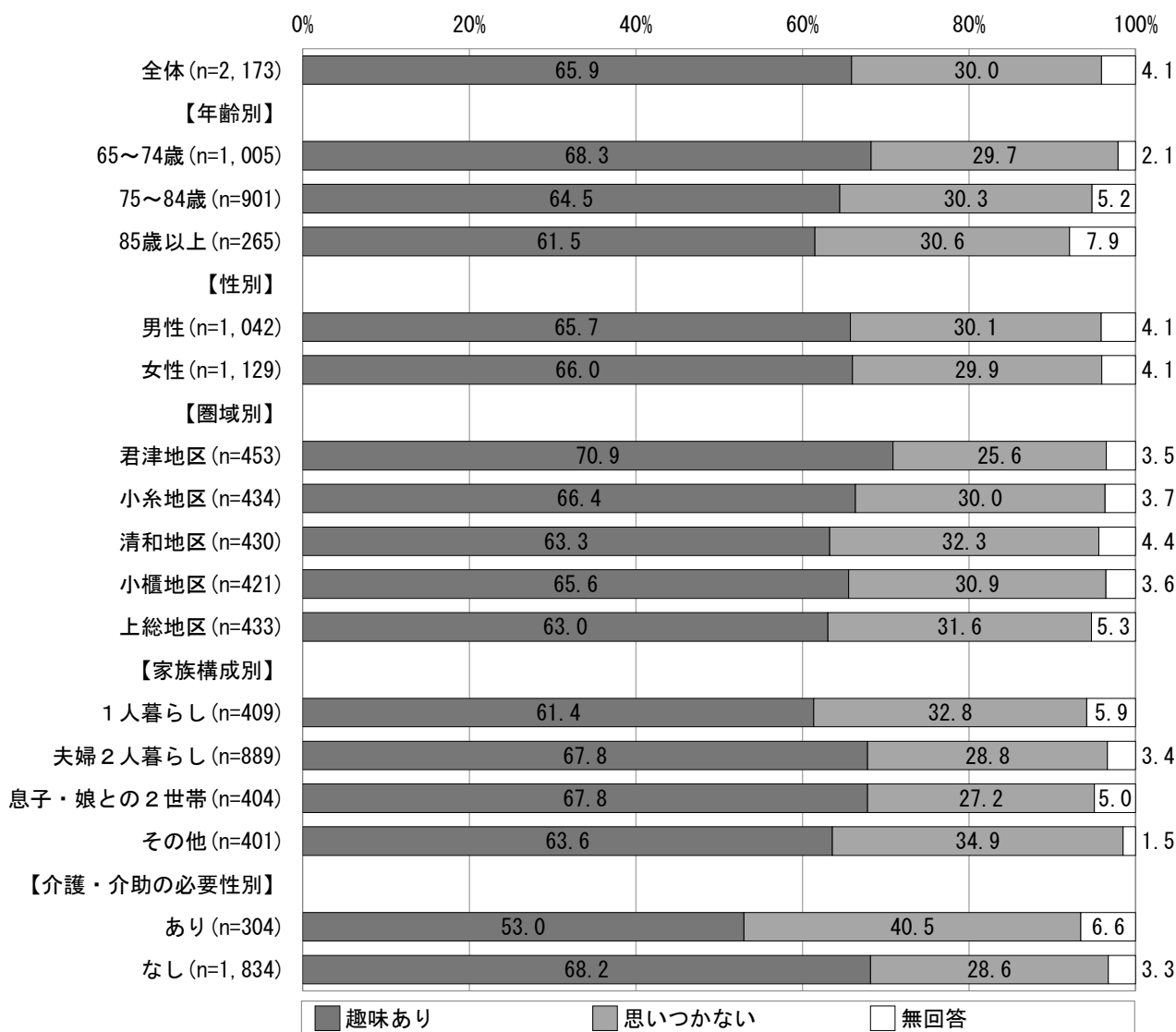
年齢別では、年齢が上がるほど「はい」の割合が低くなる傾向にある。

介護・介助の必要性別では「はい」は、なし（78.1%）があり（52.6%）を25.5ポイント上回っている。



問4 (14) 趣味はありますか

全体では、「趣味あり」が65.9%、「思いつかない」が30.0%となっている。

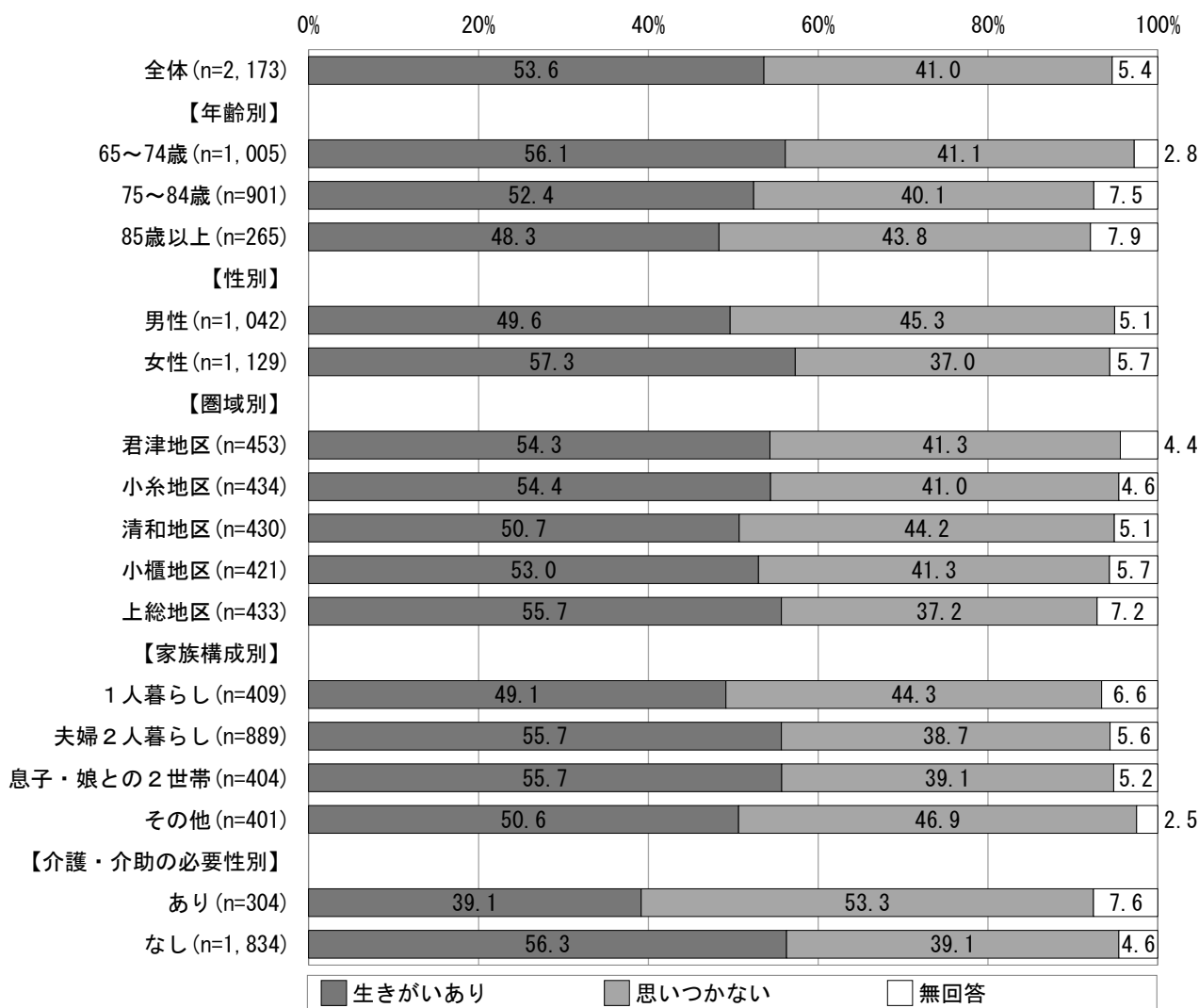


趣味の内容をみると、「ガーデニング・園芸・家庭菜園」が360件と多くなっている。

回答	件数
ガーデニング・園芸・家庭菜園	360件
スポーツ・運動	356件
読書	163件
編み物・手芸	150件
映画・ドラマ・音楽を鑑賞	130件
ドライブ・旅行	108件
カラオケ・歌唱	85件
釣り・アウトドア活動	71件
その他	269件
意見総数（回答者数1,393名）	1,692件

問4 (15) 生きがいがありますか

全体では、「生きがいあり」が53.6%、「思いつかない」が41.0%となっている。



生きがいの内容をみると、「孫やひ孫の成長を見守ること」が286件と多くなっている。

回答	件数
孫やひ孫の成長を見守ること	286件
趣味やスポーツを楽しむこと	209件
家族や親しい人との交流	162件
家庭菜園や農作業を楽しむこと	137件
仕事や社会活動を続ける	133件
健康維持や運動に取り組むこと	110件
友人との会話や食事会	109件
旅行や外出をすること	104件
ペットとのふれあいを楽しむこと	38件
その他	118件
意見総数（回答者数1,082名）	1,406件

問5 地域での活動について

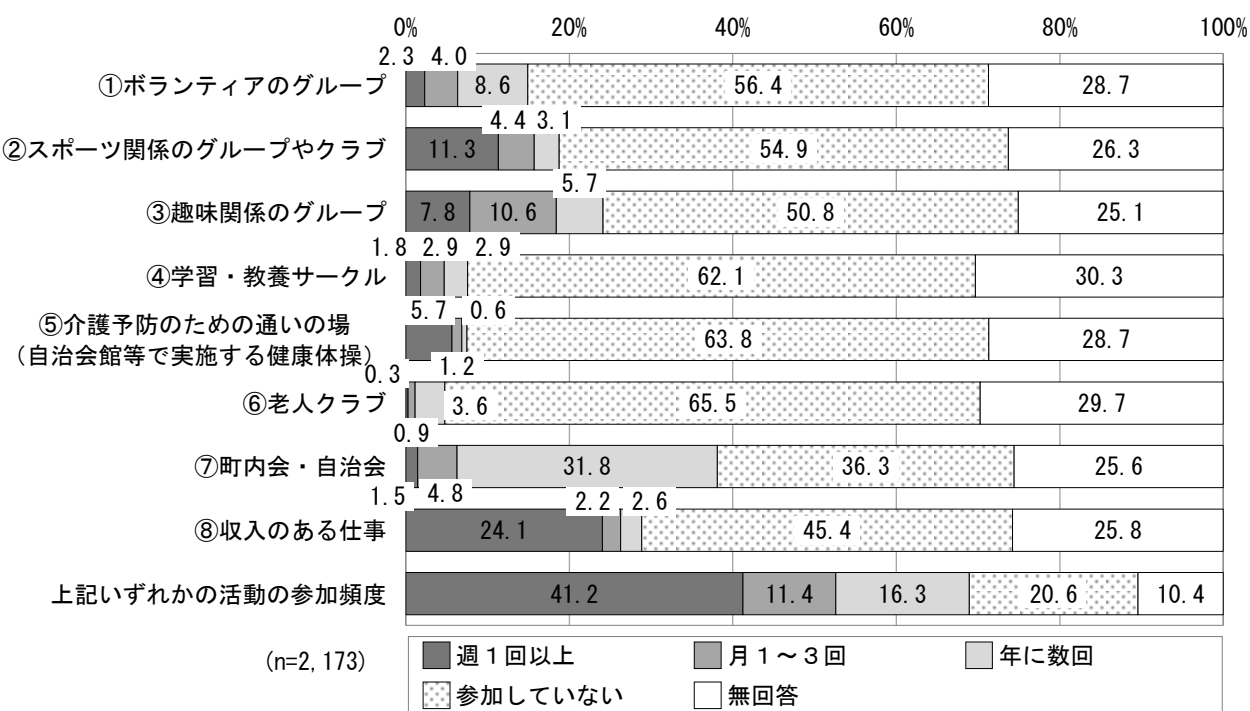
問5（1）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

- ①ボランティアのグループ
- ②スポーツ関係のグループやクラブ
- ③趣味関係のグループ
- ④学習・教養サークル
- ⑤介護予防のための通いの場（自治会館等で実施する健康体操）
- ⑥老人クラブ
- ⑦町内会・自治会
- ⑧収入のある仕事

地域での活動に関するそれぞれの設問について、「週1回以上」の割合をみると、＜⑧収入のある仕事＞（24.1%）、＜②スポーツ関係のグループやクラブ＞（11.3%）、＜③趣味関係のグループ＞（7.8%）で高くなっている。

一方、「参加していない」が最も高いのは、＜老人クラブ＞で65.5%となっている。

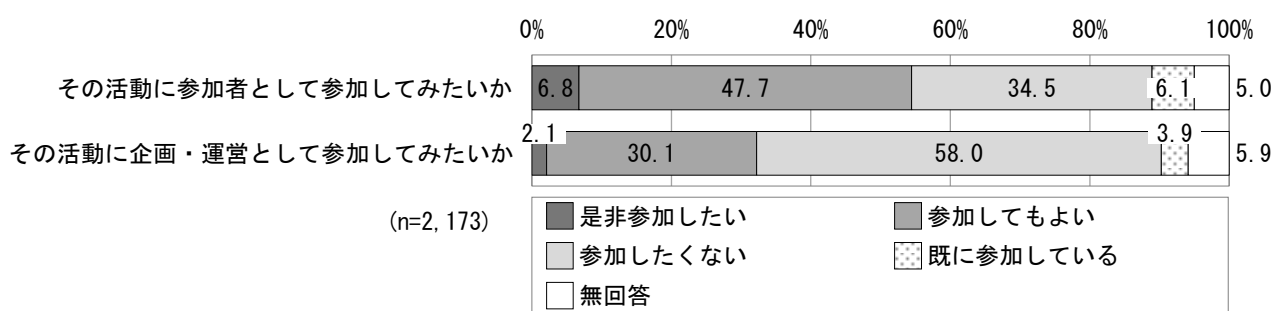
また、①～⑧のいずれかに参加している頻度は、「週1回以上」が41.2%となっている。



問5（2） 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

問5（3） 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

地域での活動に関する参加意欲をみると、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加の意欲がある』は、＜その活動に参加者として参加してみたいか＞で 54.5%となっている一方で、＜その活動に企画・運営として参加してみたいか＞では 32.2%となっている。

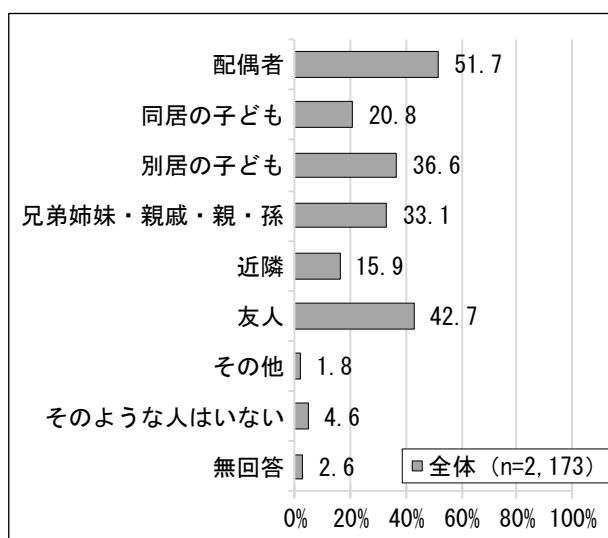


問6 たすけあいについて

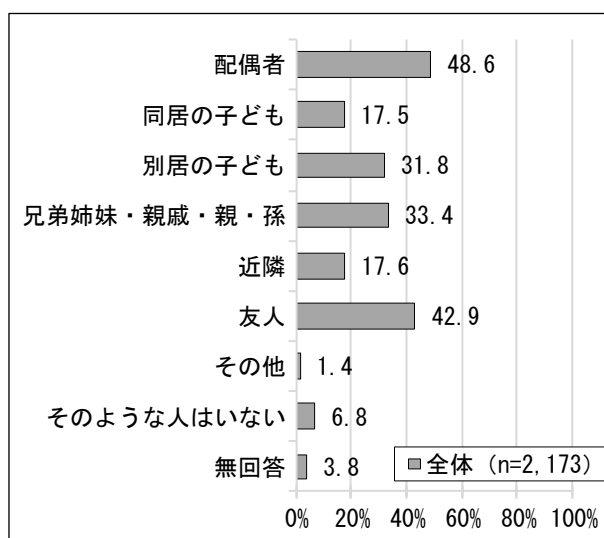
- 問6（1） あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人を教えてください（いくつでも）
 問6（2） 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人を教えてください（いくつでも）
 問6（3） あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください（いくつでも）
 問6（4） 反対に、看病や世話をしてあげる人を教えてください（いくつでも）

たすけあいの状況を把握する4つの設問については、いずれの設問でも「配偶者」が最も高くなっている。また、＜心配事や愚痴を聞いてくれる人＞や＜心配事や愚痴を聞いてあげる人＞では、「友人」等の親族以外の回答も多くみられるが、＜看病や世話をしてくれる人＞や＜看病や世話をしてあげる人＞では親族以外の回答は少なくなっている。

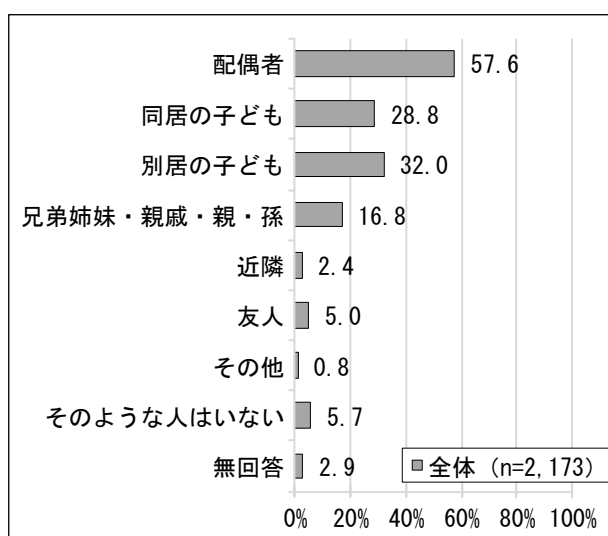
（1） 心配事や愚痴を聞いてくれる人



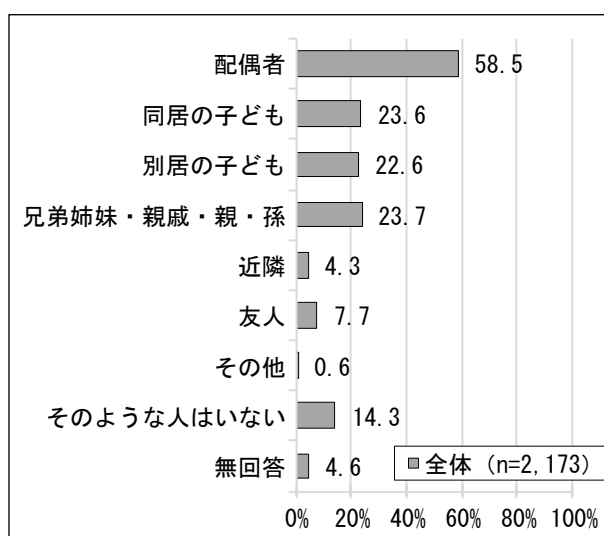
（2） 心配事や愚痴を聞いてあげる人



（3） 看病や世話をしてくれる人



（4） 看病や世話をしてあげる人



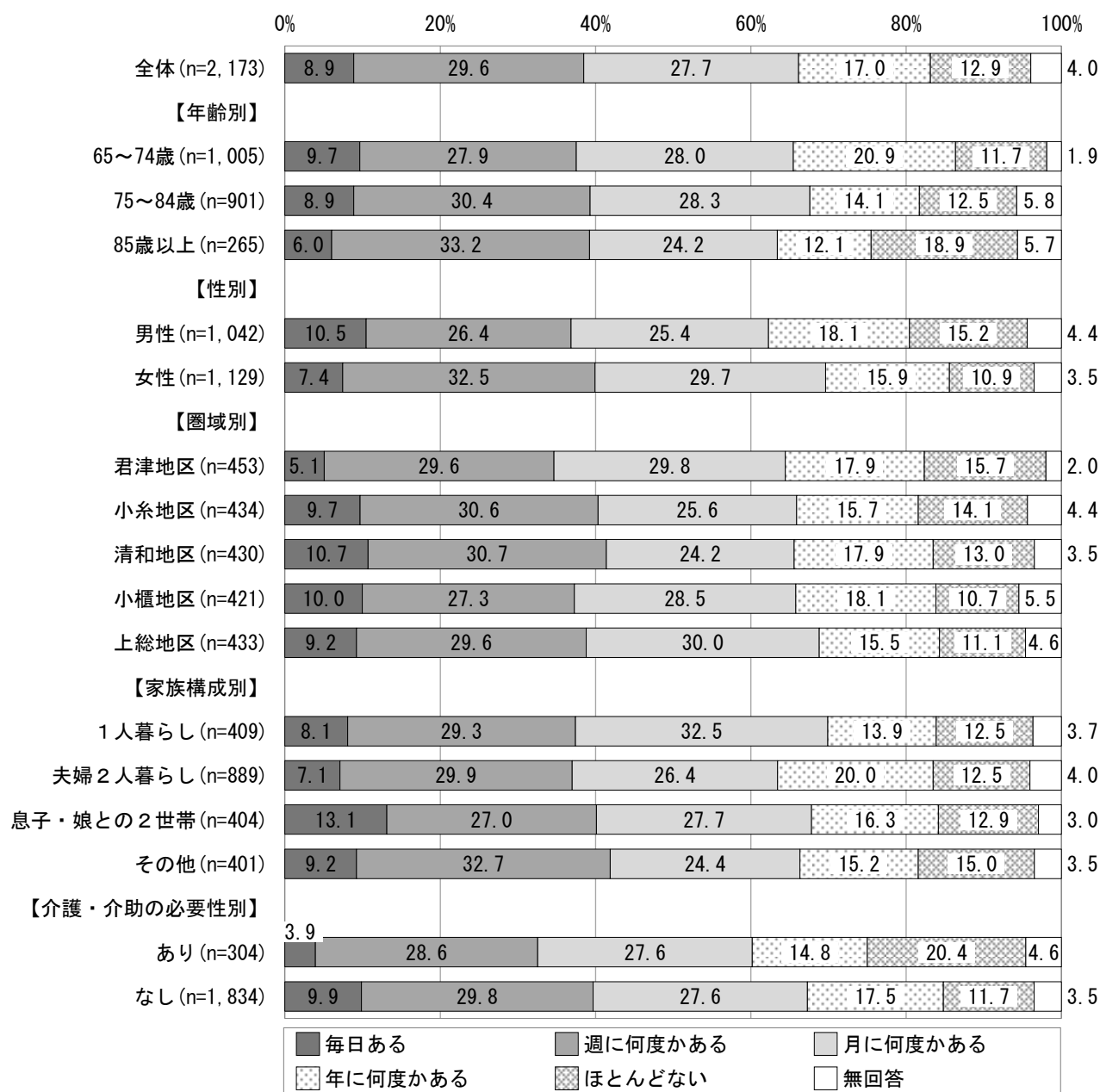
問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

全体では、「医師・歯科医師・看護師」が22.5%と最も高く、「地域包括支援センター・市役所」が14.7%、「自治会・町内会・老人クラブ」が9.1%と続いている。なお、「そのような人はいない」は43.0%となっている。

(%)	医師・ 歯科 医師・ 看護師	地域 包括 支援セ ンター ・市役 所・	自治 会・ 老人 クラブ ・	社会 福祉 協議会 ・民 生委員	ケア マネ ジャー	特別 養護 老人 ホーム 等の 介護 施設	その他	その ような 人は いない	無 回答
全体 (n=2,173)	22.5	14.7	9.1	9.0	5.5	1.6	4.7	43.0	9.8
【年齢別】									
65～74歳 (n=1,005)	22.0	13.3	10.9	5.5	2.9	1.4	5.2	50.6	5.4
75～84歳 (n=901)	22.2	15.1	8.3	11.3	6.3	1.1	4.2	38.3	13.7
85歳以上 (n=265)	25.7	18.9	4.9	14.7	12.5	4.2	4.9	29.8	13.6
【性別】									
男性 (n=1,042)	20.7	13.2	13.6	8.5	4.2	1.6	4.4	46.2	8.6
女性 (n=1,129)	24.2	16.1	5.0	9.5	6.6	1.6	5.0	40.0	10.9
【圏域別】									
君津地区 (n=453)	23.8	13.2	7.5	9.1	5.1	0.9	5.7	47.7	6.6
小糸地区 (n=434)	20.0	15.7	6.9	6.0	5.3	0.7	6.5	46.1	9.7
清和地区 (n=430)	20.7	16.7	9.8	11.4	6.3	2.3	4.2	39.8	12.3
小櫃地区 (n=421)	25.9	12.4	8.1	6.7	4.8	1.0	4.0	42.5	11.2
上総地区 (n=433)	22.2	15.7	13.4	12.0	6.0	3.2	3.2	38.6	9.5
【家族構成別】									
1人暮らし (n=409)	20.8	12.5	7.8	14.4	5.1	1.2	4.4	44.5	9.8
夫婦2人暮らし (n=889)	22.0	15.2	9.9	8.2	4.5	1.9	4.5	45.0	8.5
息子・娘との2世帯 (n=404)	26.7	13.6	6.9	7.9	7.4	1.0	4.0	39.1	11.6
その他 (n=401)	21.9	16.7	11.2	6.5	6.0	1.7	6.0	44.1	8.0
【介護・介助の必要性別】									
あり (n=304)	19.1	22.4	4.6	10.2	15.5	3.3	3.6	37.2	10.2
なし (n=1,834)	23.1	13.6	10.0	8.8	3.7	1.3	4.9	44.3	9.3

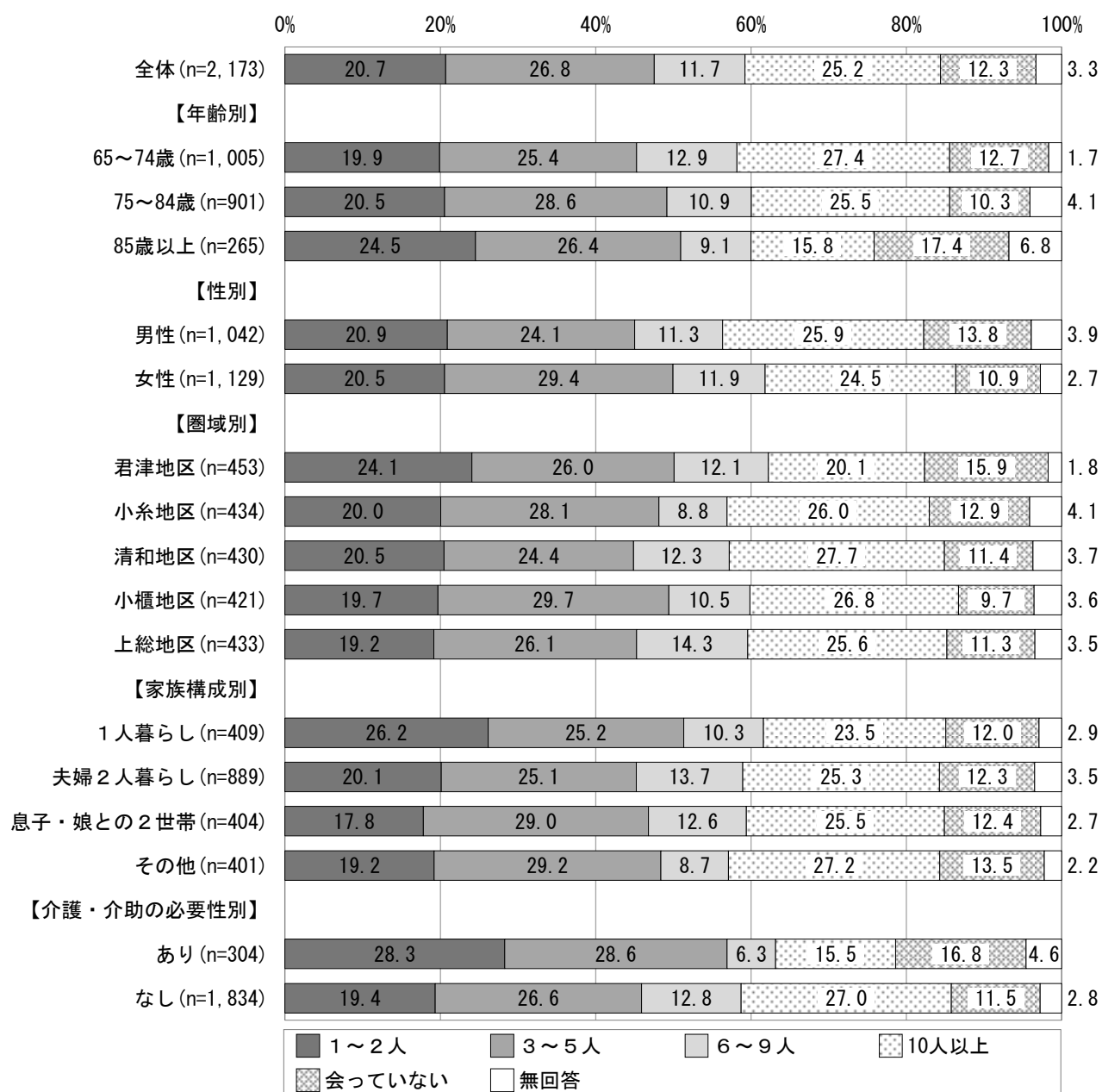
問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

全体では、「週に何度かある」が29.6%と最も高く、「月に何度かある」が27.7%、「年に何度かある」が17.0%と続いている。



問6 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
(同じ人には何度会っても1人と数えることとします)

全体では、「3～5人」が26.8%と最も高く、「10人以上」が25.2%、「1～2人」が20.7%と続いている。



問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

全体では、「近所・同じ地域の人」が 55.5%と最も高く、「仕事での同僚・元同僚」が 33.5%、「趣味や関心が同じ友人」が 29.5%と続いている。

(%)	近所・同じ地域の人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	学生時代の友人	幼なじみ	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体 (n=2, 173)	55.5	33.5	29.5	15.1	8.0	5.7	5.4	7.8	4.0
【年齢別】									
65～74歳 (n=1, 005)	50.0	45.8	30.0	19.0	10.2	7.1	3.0	8.1	1.8
75～84歳 (n=901)	60.9	25.4	30.5	13.1	6.2	4.8	6.5	6.9	5.2
85歳以上 (n=265)	57.0	14.0	23.8	7.2	5.3	3.4	10.9	9.8	7.9
【性別】									
男性 (n=1, 042)	52.8	36.9	27.9	13.0	8.3	6.7	3.3	9.4	4.4
女性 (n=1, 129)	57.8	30.2	30.8	17.1	7.7	4.7	7.4	6.3	3.5
【圏域別】									
君津地区 (n=453)	42.8	33.8	35.5	12.4	5.3	6.0	7.7	10.4	2.2
小糸地区 (n=434)	49.1	29.5	33.4	14.7	8.5	4.4	5.3	9.4	4.6
清和地区 (n=430)	60.9	35.3	23.7	15.6	8.6	7.7	5.3	6.7	4.4
小櫃地区 (n=421)	61.5	33.7	28.5	20.7	8.6	5.0	3.8	6.9	4.3
上総地区 (n=433)	63.5	34.9	25.6	12.5	9.0	5.3	4.8	5.3	4.4
【家族構成別】									
1人暮らし (n=409)	58.2	29.1	26.9	12.7	7.8	5.1	6.4	8.3	3.7
夫婦2人暮らし (n=889)	54.4	35.5	32.8	14.4	7.3	6.9	3.5	7.9	4.4
息子・娘との2世帯 (n=404)	60.4	31.7	26.5	18.6	10.1	4.5	6.4	6.7	2.7
その他 (n=401)	51.6	36.9	27.2	15.2	7.5	3.7	7.7	8.5	3.0
【介護・介助の必要性別】									
あり (n=304)	52.3	16.8	22.0	10.2	6.6	4.3	9.5	10.2	6.6
なし (n=1, 834)	56.2	36.6	31.0	15.9	8.1	5.9	4.7	7.4	3.3

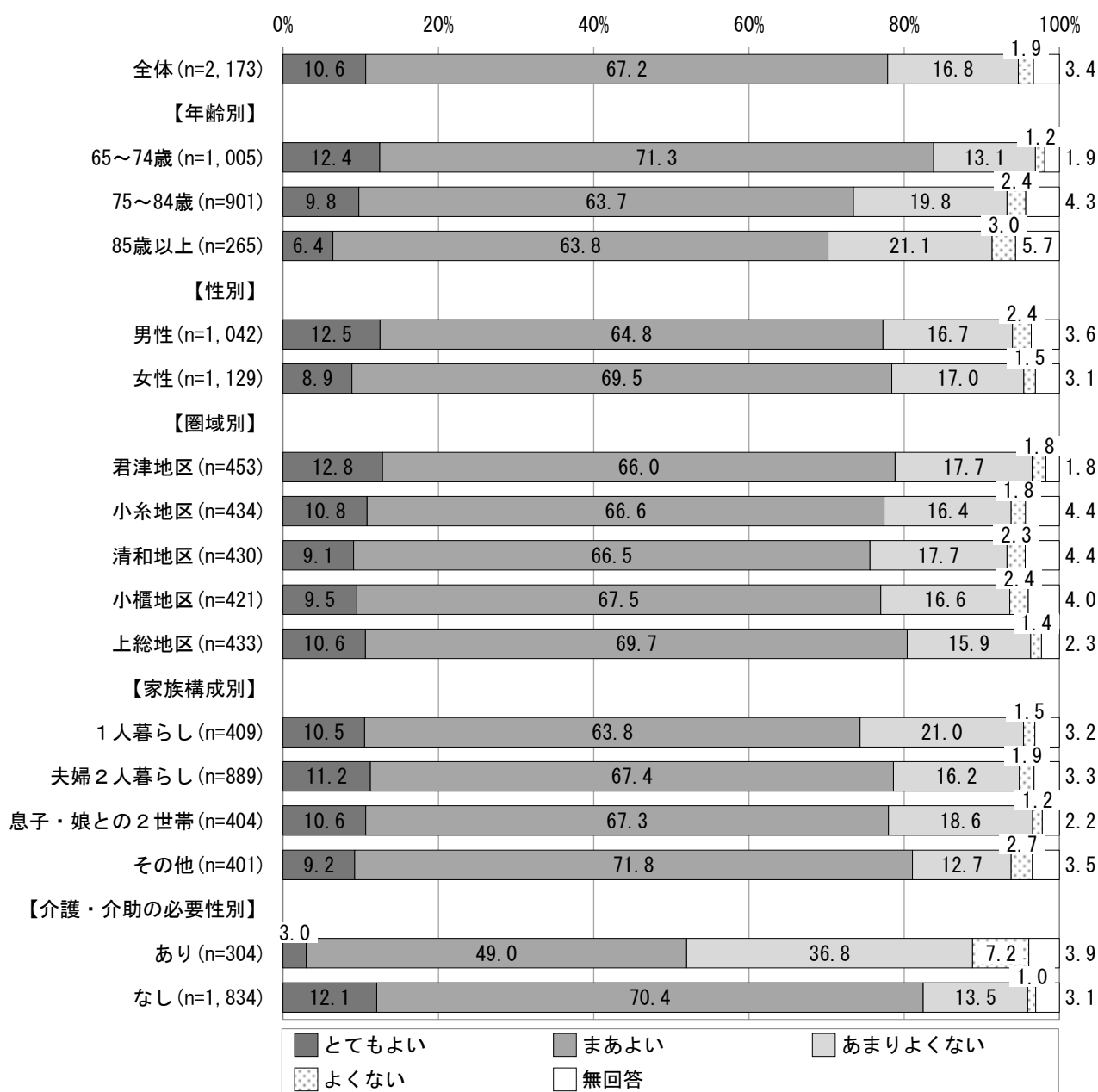
問7 健康について

問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

全体では、「まあよい」が67.2%と最も高く、「あまりよくない」が16.8%、「とてもよい」が10.6%と続いている。「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』は77.8%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど『よい』の割合が低くなる傾向にある。

介護・介助の必要性別では、なしで『よい』が82.5%となっている。

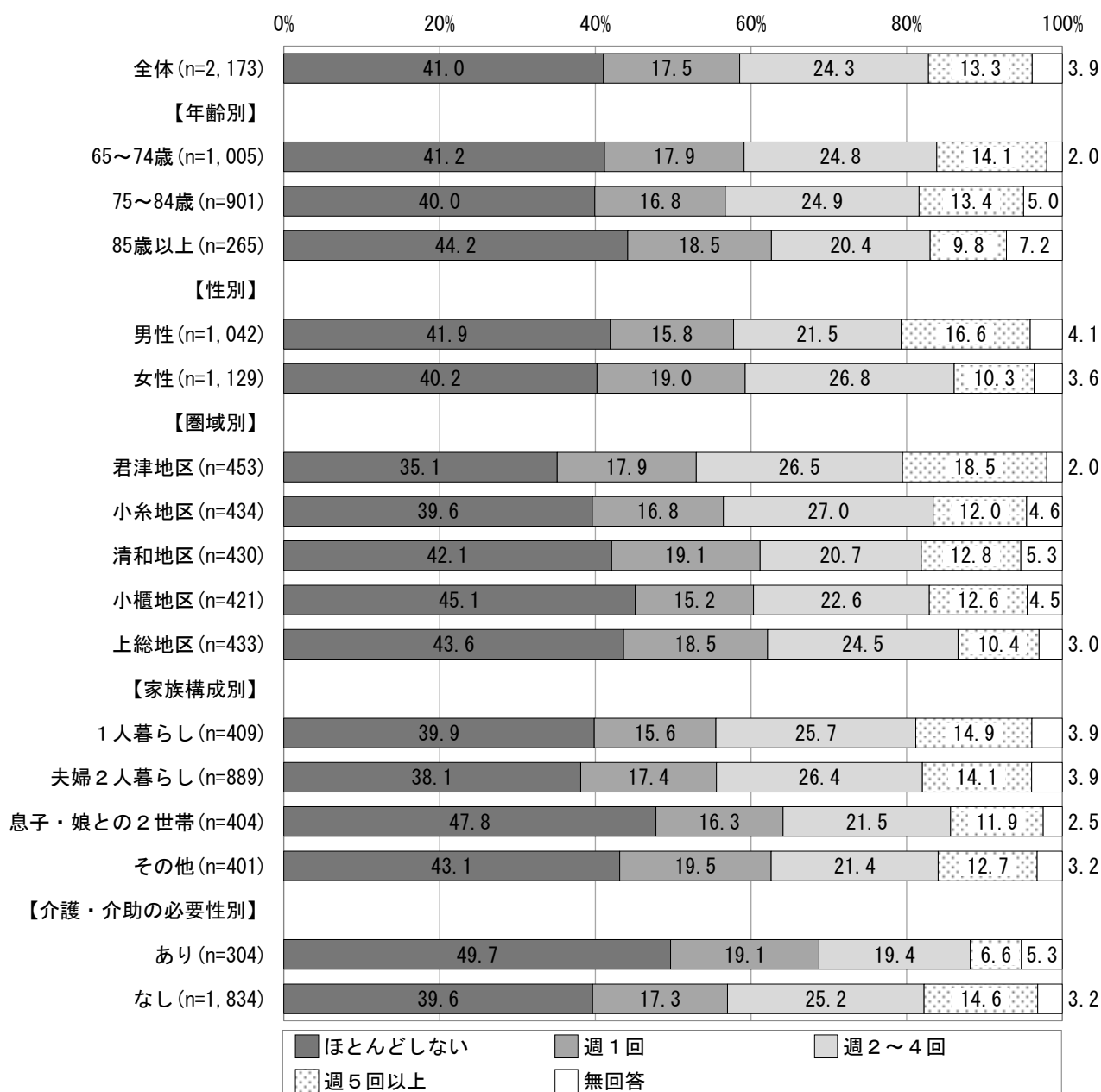


問7 (2) 軽い運動・体操もしくは定期的な運動・スポーツを週1回以上していますか

全体では、「ほとんどしない」が41.0%と最も高く、「週2～4回」が24.3%、「週1回」が17.5%と続いている。

圏域別では、小櫃地区で「ほとんどしない」が45.1%と高くなっている。

介護・介助の必要性別では「ほとんどしない」は、あり(49.7%)がなし(39.6%)を10.1ポイント上回っている。



問7 (3) あなたは以下のどの介護予防や健康づくりの活動に参加したいですか (いくつでも)

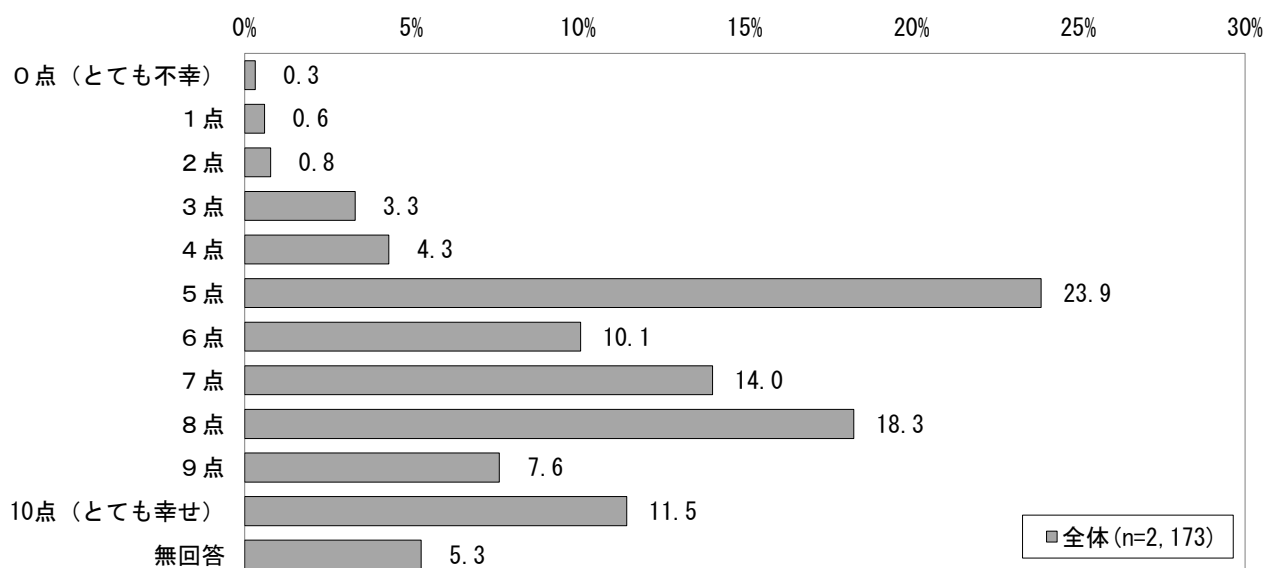
全体では、「会食や茶話会等、食事をしながら、話し合う場」が 22.7%と最も高く、「趣味の活動への参加 (料理教室、手芸、健康マージャン等)」が 19.5%、「自治会館等で実施する健康体操、公民館などでの講座」が 19.2%と続いている。

(%)	会食や茶話会等、話し合う場	趣味の活動への参加（手芸、健康マージャン等）	自治会館等で実施する健康体操、公民館などでの講座	農作業や農作物の収穫体験	身近な地域の公園でのラジオ体操	（市役所での講座）	WEB（インターネット）（認知症予防の教室）	WEB（インターネット）（運動）の教室	子どもや若世代等との交流	支援が必要な高齢者への生活支援（買い物支援、移動支援等）	WEB（インターネット）（認知症予防の教室）	その他	無回答
全体 (n=2, 173)	22.7	19.5	19.2	16.6	8.9	8.2	7.6	6.8	5.3	3.2	10.7	26.7	
【年齢別】													
65～74歳 (n=1, 005)	20.7	24.4	19.3	17.6	9.8	8.1	10.6	8.3	6.8	5.1	10.2	21.9	
75～84歳 (n=901)	25.4	16.6	20.8	17.1	8.4	7.9	5.4	5.9	4.2	1.6	9.3	30.1	
85歳以上 (n=265)	20.8	10.2	13.6	10.9	7.5	9.8	3.4	4.5	3.4	1.9	17.4	34.0	
【性別】													
男性 (n=1, 042)	15.2	17.9	14.3	20.1	8.3	6.0	6.7	6.4	4.6	3.9	11.9	28.7	
女性 (n=1, 129)	29.6	20.8	23.7	13.4	9.6	10.2	8.4	7.2	5.9	2.6	9.7	25.0	
【圏域別】													
君津地区 (n=453)	20.8	23.2	17.9	13.9	14.8	12.1	9.5	6.6	5.1	4.2	12.1	21.9	
小糸地区 (n=434)	19.4	17.7	16.6	12.7	9.0	7.6	7.8	5.3	3.5	3.5	10.8	30.0	
清和地区 (n=430)	26.0	19.1	21.2	16.7	7.2	8.4	6.0	8.4	8.1	3.0	11.2	26.0	
小櫃地区 (n=421)	19.7	19.0	19.5	19.5	7.8	5.5	9.3	7.1	4.0	2.6	9.7	29.7	
上総地区 (n=433)	27.5	18.0	21.0	20.3	5.5	7.2	5.3	6.7	5.8	2.8	9.7	26.6	
【家族構成別】													
1人暮らし (n=409)	27.4	18.6	21.0	13.0	7.6	11.0	6.6	7.3	7.1	2.2	13.0	27.1	
夫婦2人暮らし (n=889)	19.1	21.5	20.8	17.7	10.1	8.7	9.0	7.5	4.8	3.7	9.4	25.6	
息子・娘との2世帯 (n=404)	26.0	19.1	18.3	20.5	8.2	6.9	6.7	5.4	5.4	3.2	7.2	29.2	
その他 (n=401)	22.7	17.0	16.0	13.7	8.7	6.0	6.0	5.7	4.5	3.5	15.2	24.9	

問7（4） あなたは、現在どの程度幸せですか

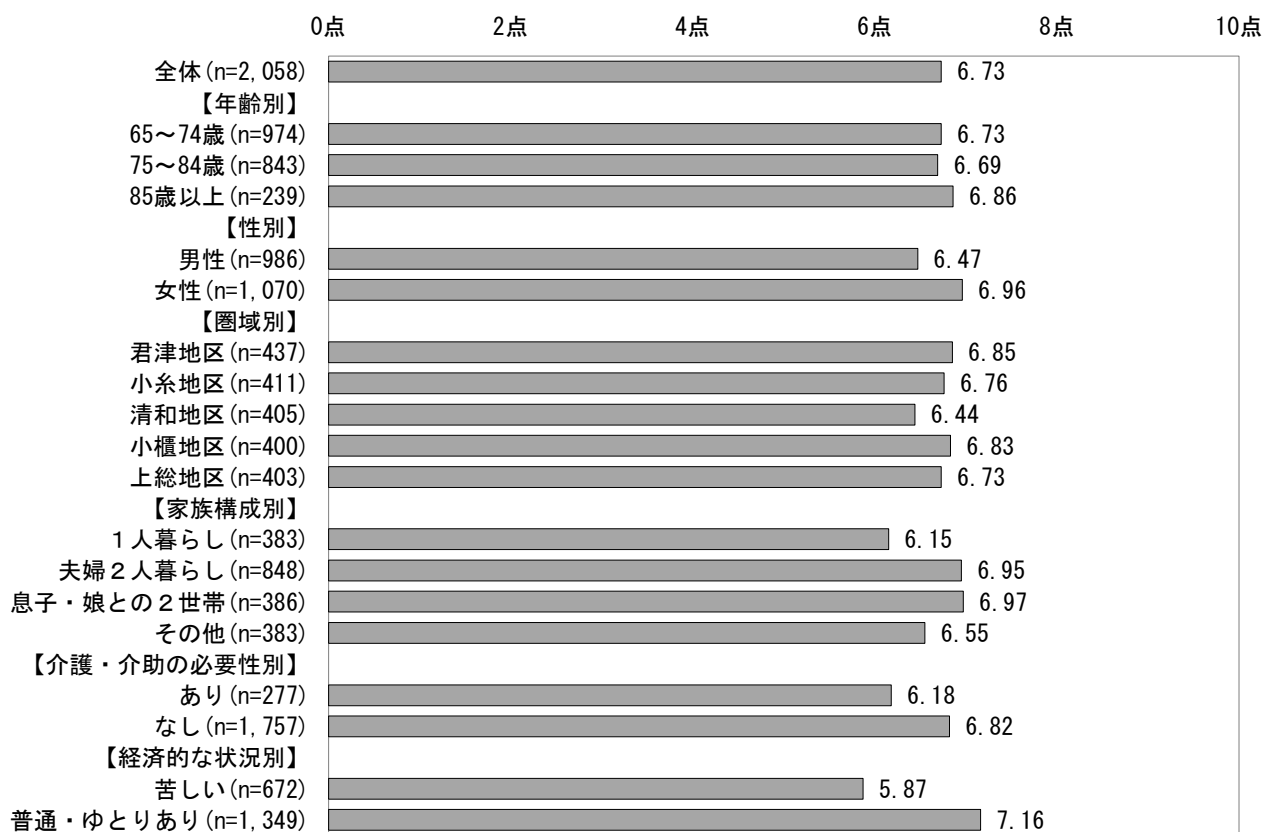
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

主観的幸福感を問う本設問では、「5点」が23.9%と最も高く、「8点」が18.3%と続いている。



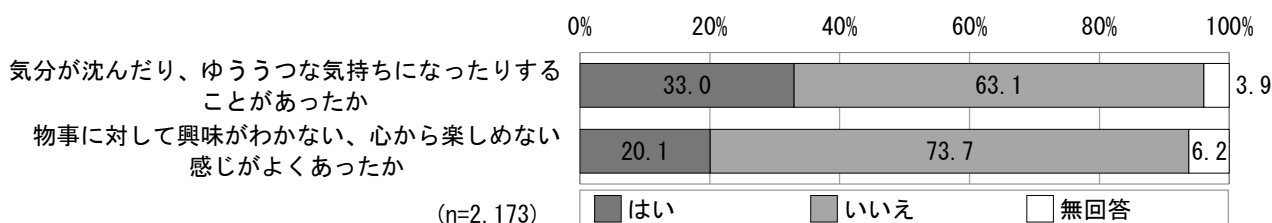
以下は属性別の平均点（n数から無回答を除いて算出）を示している。全体では6.73点である。

属性別では、年齢別で「75～84歳」、性別で「男性」、圏域別で「清和地区」、家族構成別で「1人暮らし」、介護・介助の必要性別で「あり」、経済的な状況別で「苦しい」が他と比べて低くなっている。



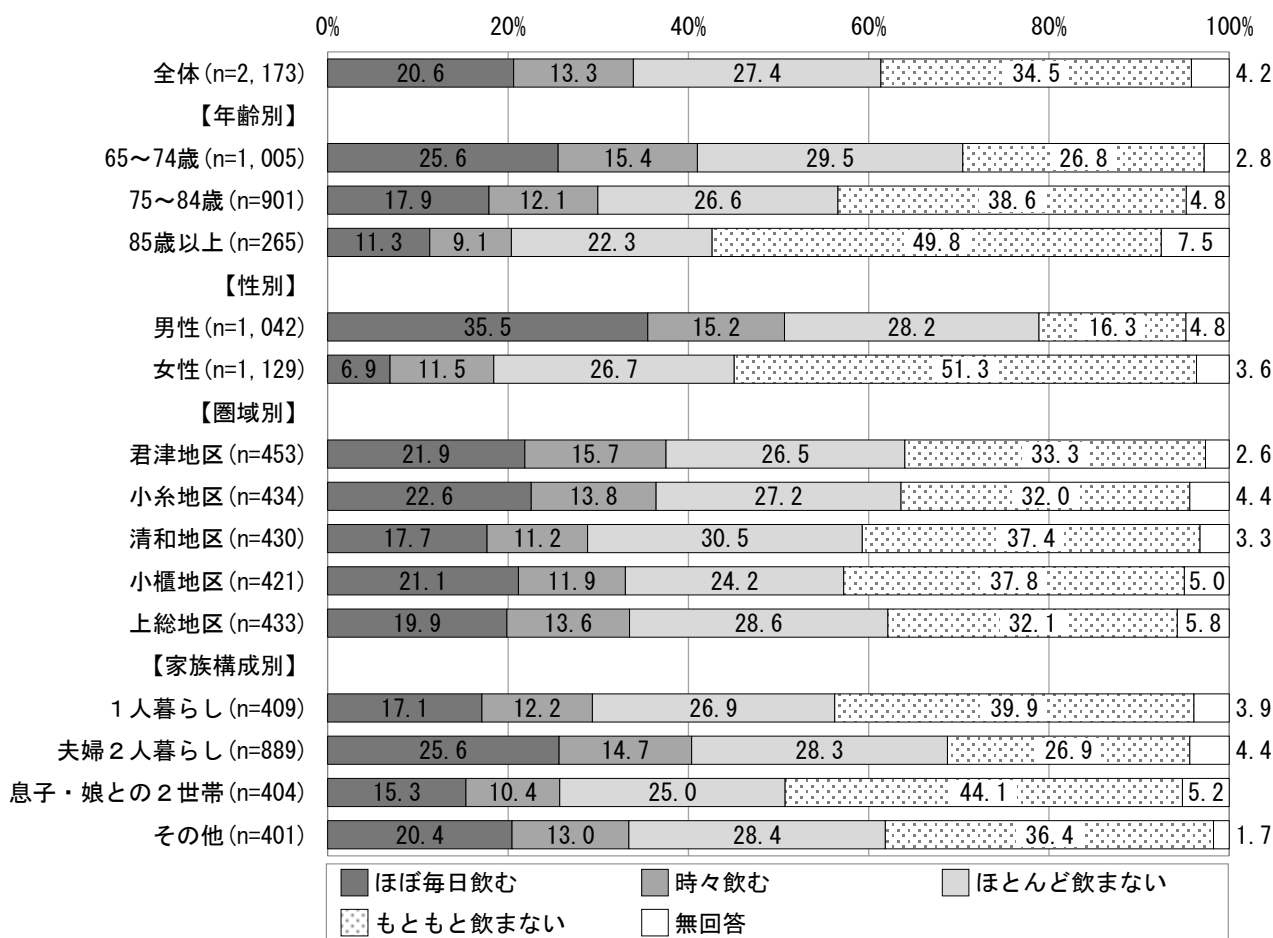
問7（5） この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
 問7（6） この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

＜気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか＞について、「はい」は33.0%となっている。＜物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか＞について、「はい」は20.1%となっている。



問7（7） お酒は飲みますか

全体では、「もともと飲まない」が34.5%と最も高く、「ほとんど飲まない」が27.4%、「ほぼ毎日飲む」が20.6%と続いている。「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲む』は33.9%となっている。
 年齢別では、年齢が上がるほど『飲む』の割合が低くなる傾向にある。
 性別では、男性で『飲む』が50.7%となっている。

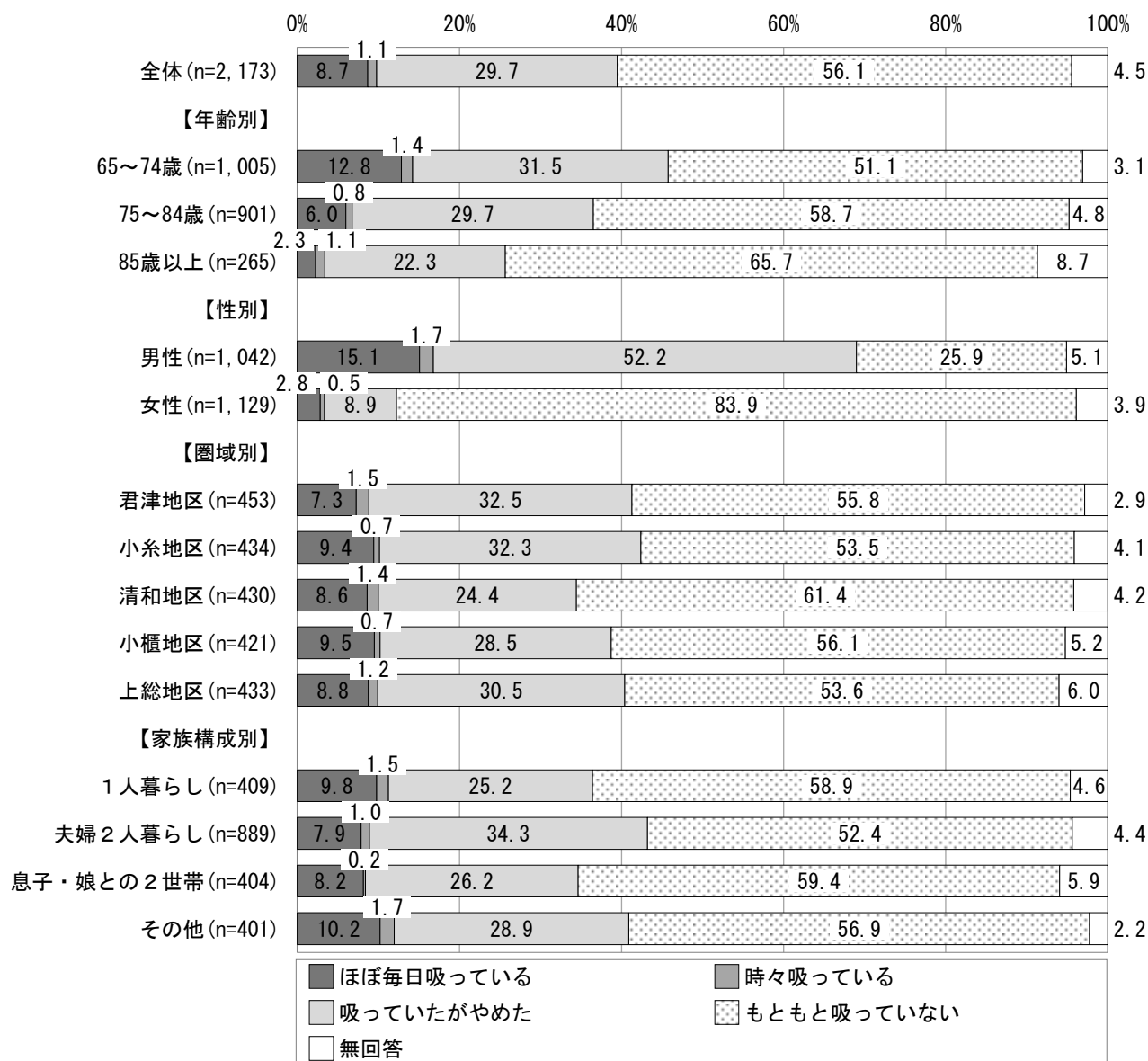


問7 (8) タバコは吸っていますか

全体では、「もともと吸っていない」が56.1%と最も高く、「吸っていたがやめた」が29.7%、「ほぼ毎日吸っている」が8.7%と続いている。「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』は9.8%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど『吸っている』の割合が低くなる傾向にある。

性別では、男性で『吸っている』が16.8%となっている。



問7(9) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)

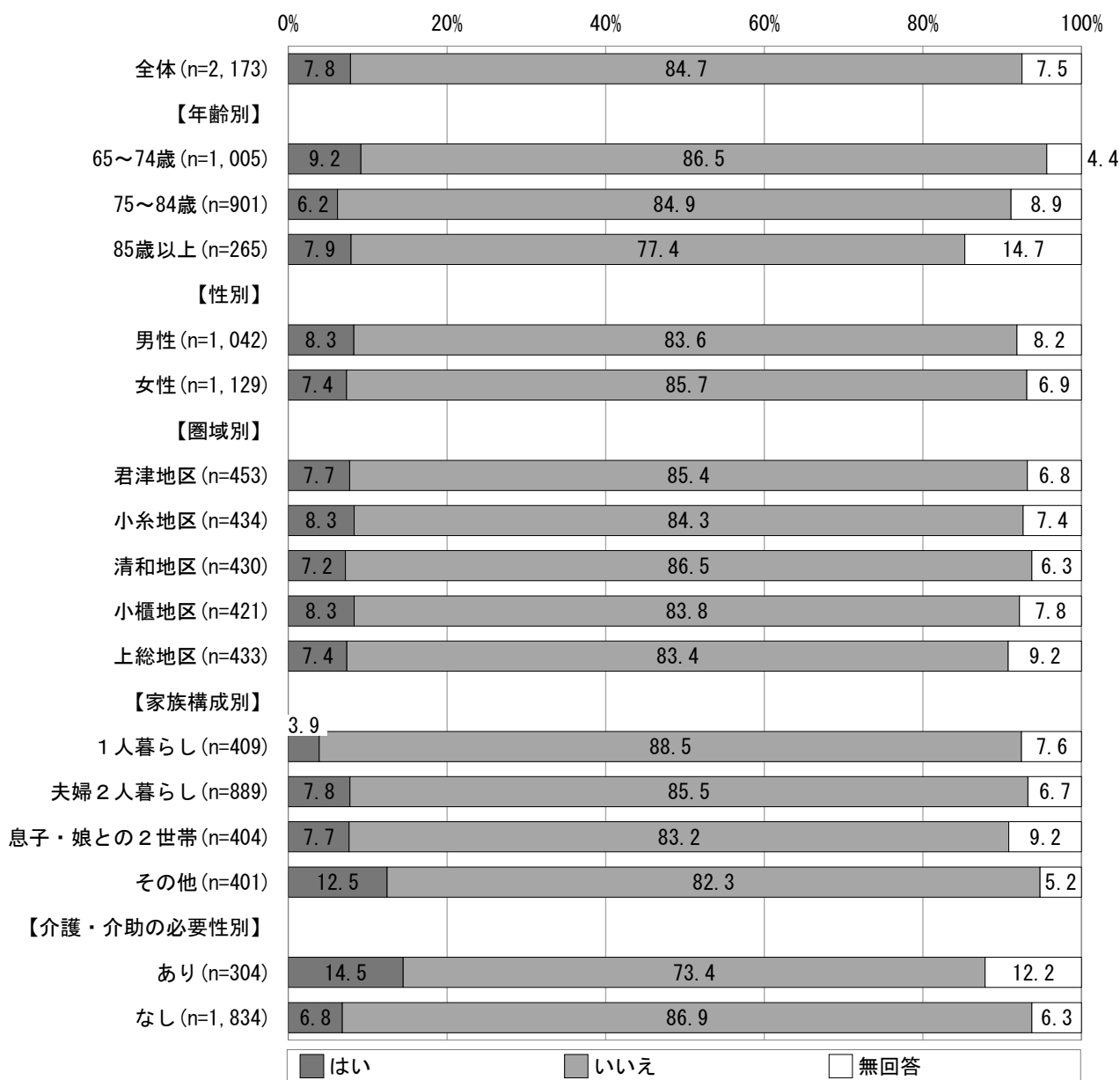
全体では、「高血圧」が49.4%と最も高く、「目の病気」が20.9%、「高脂血症(脂質異常)」が17.8%と続いている。

	(%)	ない	高血圧	目の病気	高脂血症（脂質異常）	糖尿病	（骨粗しょう症、 関節症等）	筋骨格の病気	心臓病	腎臓・前立腺の病気	耳の病気	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	外傷（転倒・骨折等）	血液・免疫の病気	うつ病	パーキンソン病	認知症（アルツハイマー病等）	その他	無回答
全体 (n=2, 173)		10.6	49.4	20.9	17.8	17.0	12.1	8.7	8.4	6.3	4.7	4.5	4.5	3.2	2.7	2.6	0.9	0.5	0.3	7.2	7.1	
【年齢別】																						
65～74歳 (n=1, 005)		13.3	45.1	16.9	21.2	15.2	9.9	7.2	6.7	4.4	3.4	4.1	4.3	3.1	2.0	3.0	0.9	0.2	0.1	9.5	6.7	
75～84歳 (n=901)		8.4	52.8	23.6	17.2	19.4	13.4	9.4	9.8	6.7	6.4	4.4	4.9	3.2	3.3	2.1	0.9	1.0	0.3	5.4	6.8	
85歳以上 (n=265)		7.5	54.0	26.8	7.2	15.8	15.8	12.5	10.2	12.5	3.8	6.0	3.8	3.8	3.0	3.0	0.8	0.0	0.8	4.5	9.8	
【性別】																						
男性 (n=1, 042)		11.0	50.3	18.1	15.0	21.1	4.4	10.0	14.5	6.4	5.4	5.3	4.6	3.9	1.6	2.7	0.9	0.7	0.5	6.8	7.4	
女性 (n=1, 129)		10.2	48.5	23.5	20.5	13.3	19.1	7.6	2.7	6.2	4.1	3.7	4.3	2.6	3.6	2.6	0.9	0.4	0.1	7.5	6.8	
【圏域別】																						
君津地区 (n=453)		11.5	45.5	24.7	19.6	15.7	12.4	11.0	10.2	7.3	6.0	3.8	4.0	3.8	2.2	2.6	0.7	0.4	0.0	9.5	5.5	
小糸地区 (n=434)		10.1	49.8	20.0	16.6	20.0	13.8	7.4	9.0	7.6	4.8	3.2	4.6	2.5	2.3	2.5	0.5	0.5	0.5	6.7	7.1	
清和地区 (n=430)		9.3	51.2	20.0	21.6	13.0	12.3	9.3	7.2	5.3	3.3	4.7	4.4	4.4	4.0	2.3	0.9	0.2	0.5	6.5	6.0	
小櫃地区 (n=421)		12.6	53.0	20.4	16.2	17.3	11.9	6.9	7.1	5.5	6.7	4.8	4.3	2.6	3.1	3.1	1.7	0.7	0.2	6.7	7.8	
上総地区 (n=433)		9.5	47.8	19.2	15.0	19.2	9.9	9.0	8.3	5.8	2.8	6.0	5.1	2.8	1.8	2.5	0.7	0.7	0.2	6.5	9.0	
【家族構成別】																						
1人暮らし (n=409)		12.0	46.9	22.7	16.1	14.2	12.5	8.1	7.8	7.1	5.4	3.7	5.6	4.6	2.9	3.4	0.2	0.2	0.0	8.8	5.4	
夫婦2人暮らし (n=889)		10.3	49.0	19.8	18.4	18.3	10.9	9.2	9.9	5.6	5.2	4.2	3.8	3.4	2.1	3.0	1.0	0.8	0.4	6.5	7.4	
息子・娘との2世帯 (n=404)		9.9	52.7	23.0	16.6	15.8	14.1	8.4	7.7	7.7	3.2	4.7	2.7	2.5	2.7	2.0	1.0	0.5	0.2	4.2	8.4	
その他 (n=401)		10.5	49.9	19.7	20.4	17.0	12.2	8.2	6.7	5.7	4.2	5.0	6.0	2.7	4.0	2.0	0.7	0.0	0.2	10.2	5.5	
【介護・介助の必要性別】																						
あり (n=304)		3.0	53.0	27.0	10.9	20.1	17.1	14.8	11.2	10.9	7.9	6.9	4.9	6.3	6.6	3.6	1.6	2.6	1.6	7.6	6.9	
なし (n=1, 834)		11.9	49.0	19.8	19.1	16.5	11.2	7.7	8.0	5.6	4.1	4.0	4.3	2.8	2.0	2.5	0.7	0.2	0.1	7.1	6.9	

問8 認知症予防や生活支援について

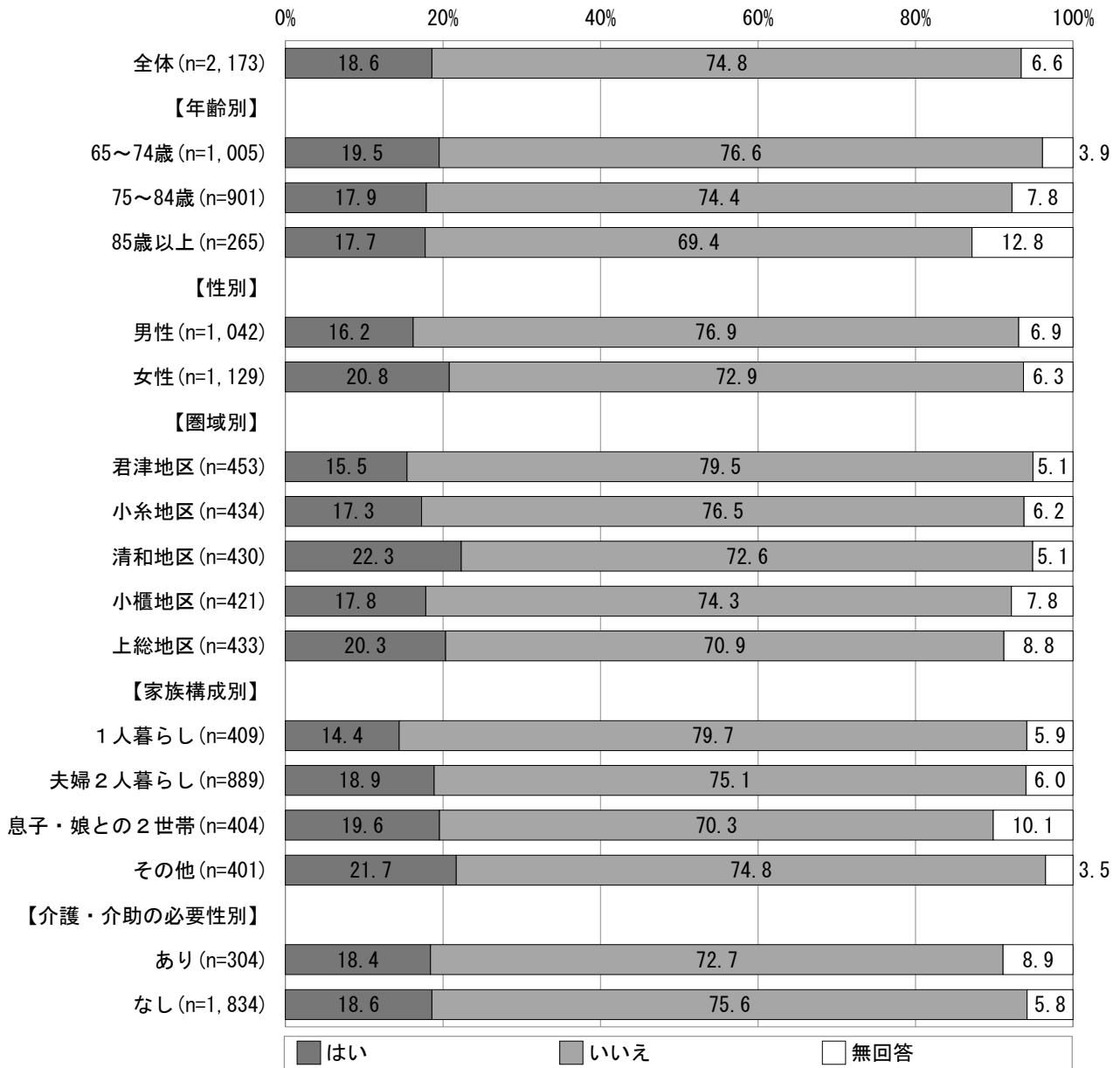
問8（1） 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

全体では、「はい」が7.8%、「いいえ」が84.7%となっている。



問8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

全体では、「はい」が18.6%、「いいえ」が74.8%となっている。



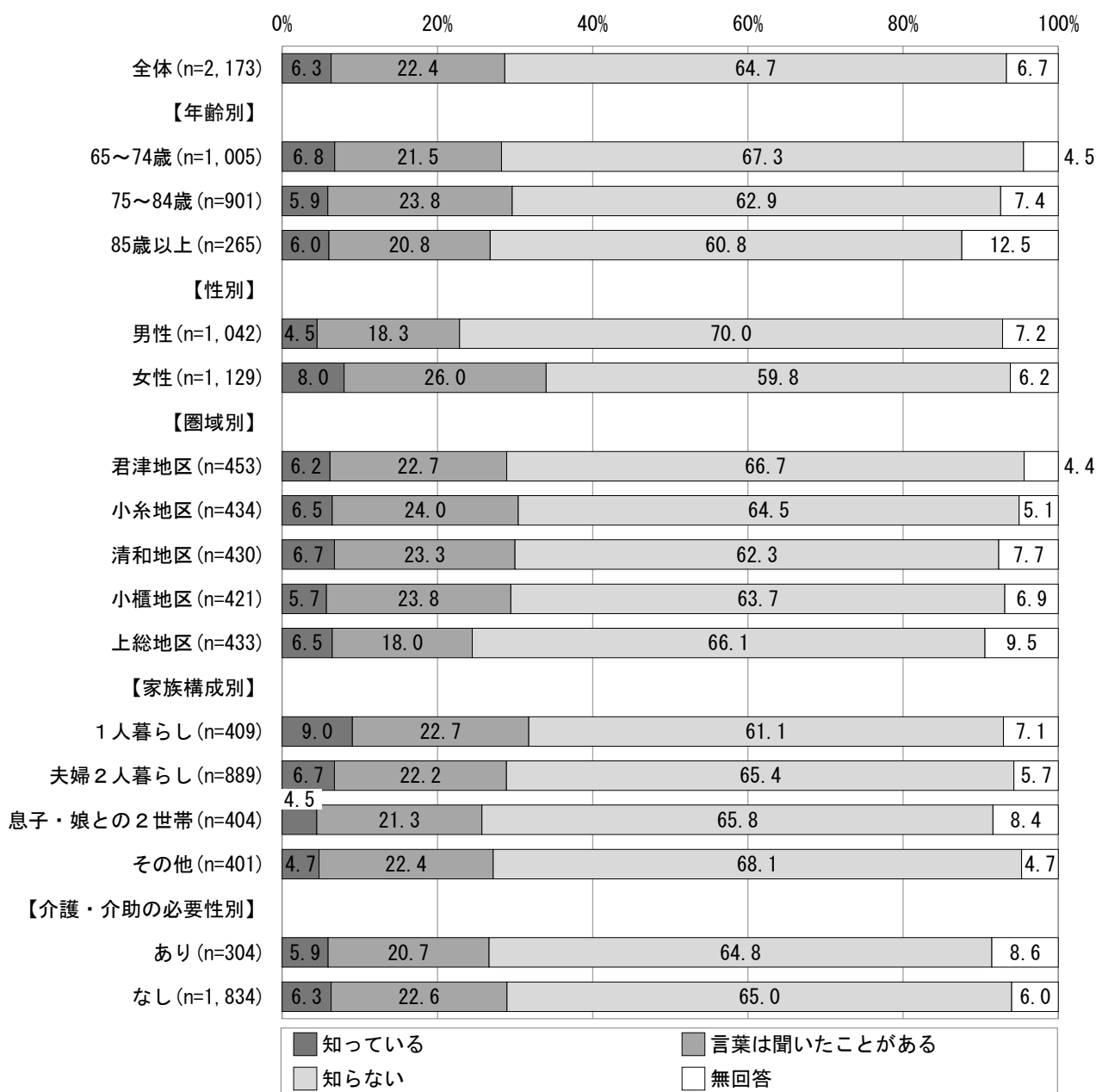
問8 (3) 日常的に受けたいと思う支援はありますか (いくつでも)

全体では、「ない・わからない」が55.2%と最も高く、「急病になった時の看病」が15.5%、「安否確認の声かけ」が8.0%と続いている。

(%)	ない・わからない	急病になった時の看病	安否確認の声かけ	心配ごとなどの相談相手	介護を必要とする人の短時間の預かり	認知症などの高齢者の見守り	買い物・洗濯・掃除の手伝い	外出の手伝い	ゴミ出しの手伝い	その他	無回答
全体 (n=2,173)	55.2	15.5	8.0	7.9	6.4	5.3	4.6	2.8	2.6	2.4	13.3
【年齢別】											
65～74歳 (n=1,005)	61.8	13.0	7.4	9.6	7.0	5.9	3.5	2.5	1.7	2.2	10.0
75～84歳 (n=901)	52.7	16.5	8.2	6.0	5.5	4.3	5.0	2.0	3.3	2.4	15.4
85歳以上 (n=265)	38.1	21.5	9.4	7.9	6.8	6.8	7.9	6.4	3.8	3.0	18.9
【性別】											
男性 (n=1,042)	57.5	15.5	8.3	7.9	5.3	5.4	4.3	3.0	2.9	2.4	12.1
女性 (n=1,129)	53.0	15.5	7.7	7.9	7.4	5.3	5.0	2.6	2.4	2.4	14.5
【圏域別】											
君津地区 (n=453)	57.4	15.7	10.8	7.9	6.0	5.7	6.6	3.3	4.2	0.9	9.7
小糸地区 (n=434)	55.5	17.5	6.0	9.0	6.0	4.8	4.6	2.5	1.8	3.0	12.7
清和地区 (n=430)	53.5	16.3	9.1	8.1	7.9	5.8	3.5	3.5	2.8	2.3	14.0
小櫃地区 (n=421)	56.8	14.5	6.4	7.1	6.4	5.2	4.3	2.6	2.1	3.1	13.1
上総地区 (n=433)	52.4	13.6	7.4	7.2	5.5	5.1	4.2	1.8	2.1	2.8	17.6
【家族構成別】											
1人暮らし (n=409)	41.1	29.3	19.6	8.3	2.4	3.9	7.3	2.4	4.9	2.7	12.7
夫婦2人暮らし (n=889)	58.2	13.6	6.3	7.8	7.4	6.3	3.8	2.9	2.5	2.2	13.9
息子・娘との2世帯 (n=404)	57.7	11.1	2.7	7.7	6.7	3.5	3.5	3.0	1.0	2.2	15.1
その他 (n=401)	62.6	11.7	5.2	8.2	8.0	7.2	4.0	2.7	1.7	3.0	7.5
【介護・介助の必要性別】											
あり (n=304)	31.3	26.3	10.2	10.9	8.2	7.2	13.8	8.2	7.2	2.6	17.1
なし (n=1,834)	59.7	13.9	7.6	7.4	6.1	5.1	2.9	1.9	1.7	2.3	12.2

問8（4） 認知症になっても、すべてのことができなくなるのではなく、
その人らしく地域で暮らし続けられるという考え方を「新しい認知症観」といいます。
この言葉や考え方について、どの程度ご存じですか

全体では、「知らない」が64.7%と最も高く、「言葉は聞いたことがある」が22.4%、「知っている」が6.3%と続いている。



問8 (5) ご本人や家族が認知症になったら不安に感じることは何ですか (3つまで)

全体では、「家族や周囲の人へ負担をかける」が72.2%と最も高く、「日常生活や運転が困難になる」が47.5%、「医療や介護への経済的負担」が38.2%と続いている。

(%)	家族や周囲の人へ負担をかける	日常生活や運転が困難になる	医療や介護への経済的負担	介護してくれる人がいるかどうか	性格や行動が変化してしまう	相談や受診先が分からない	大切な思い出を忘れてしまう	ない・わからない	その他	無回答
全体 (n=2, 173)	72.2	47.5	38.2	24.9	21.3	12.3	7.8	5.3	0.5	6.1
【年齢別】										
65～74歳 (n=1, 005)	75.3	52.8	41.6	25.5	24.2	11.5	6.5	4.9	0.5	4.1
75～84歳 (n=901)	70.1	46.2	36.0	23.6	18.9	13.7	8.8	5.7	0.4	6.8
85歳以上 (n=265)	67.2	32.5	33.2	27.2	18.1	10.9	9.8	5.3	0.8	11.3
【性別】										
男性 (n=1, 042)	71.3	50.8	40.7	22.6	19.1	11.7	7.0	7.0	0.4	6.6
女性 (n=1, 129)	73.0	44.6	36.0	27.1	23.2	12.9	8.6	3.6	0.6	5.6
【圏域別】										
君津地区 (n=453)	75.3	39.5	40.4	24.7	21.9	16.8	8.4	6.2	0.7	3.3
小糸地区 (n=434)	73.5	47.0	38.9	26.0	20.5	13.8	8.1	5.3	0.2	5.1
清和地区 (n=430)	73.5	53.3	40.5	26.7	20.2	10.5	8.4	3.5	0.9	5.8
小櫃地区 (n=421)	73.2	46.3	33.5	25.2	23.0	10.5	7.8	5.7	0.0	7.8
上総地区 (n=433)	65.4	52.2	37.6	21.9	20.6	9.9	6.5	5.5	0.7	8.5
【家族構成別】										
1人暮らし (n=409)	59.9	45.7	32.3	32.5	16.6	11.0	6.1	10.0	1.5	7.6
夫婦2人暮らし (n=889)	76.0	50.1	39.6	25.6	22.7	13.2	7.2	3.6	0.1	5.3
息子・娘との2世帯 (n=404)	76.2	44.1	39.9	15.3	21.3	10.9	10.9	5.0	0.0	7.2
その他 (n=401)	72.3	48.4	40.9	25.9	22.7	12.7	8.7	5.0	0.7	3.7
【介護・介助の必要性別】										
あり (n=304)	67.8	30.9	37.2	32.9	22.4	12.2	8.2	3.9	0.3	10.2
なし (n=1, 834)	73.4	50.5	38.5	23.7	21.0	12.3	7.8	5.6	0.5	5.0

問8 (6) 認知症になっても暮らしやすい社会になるために、あなたが必要と思うことは何ですか
(3つまで)

全体では、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」が49.6%と最も高く、「緊急時に、家族に代わって介護できる人や施設の確保」が48.7%と続いている。

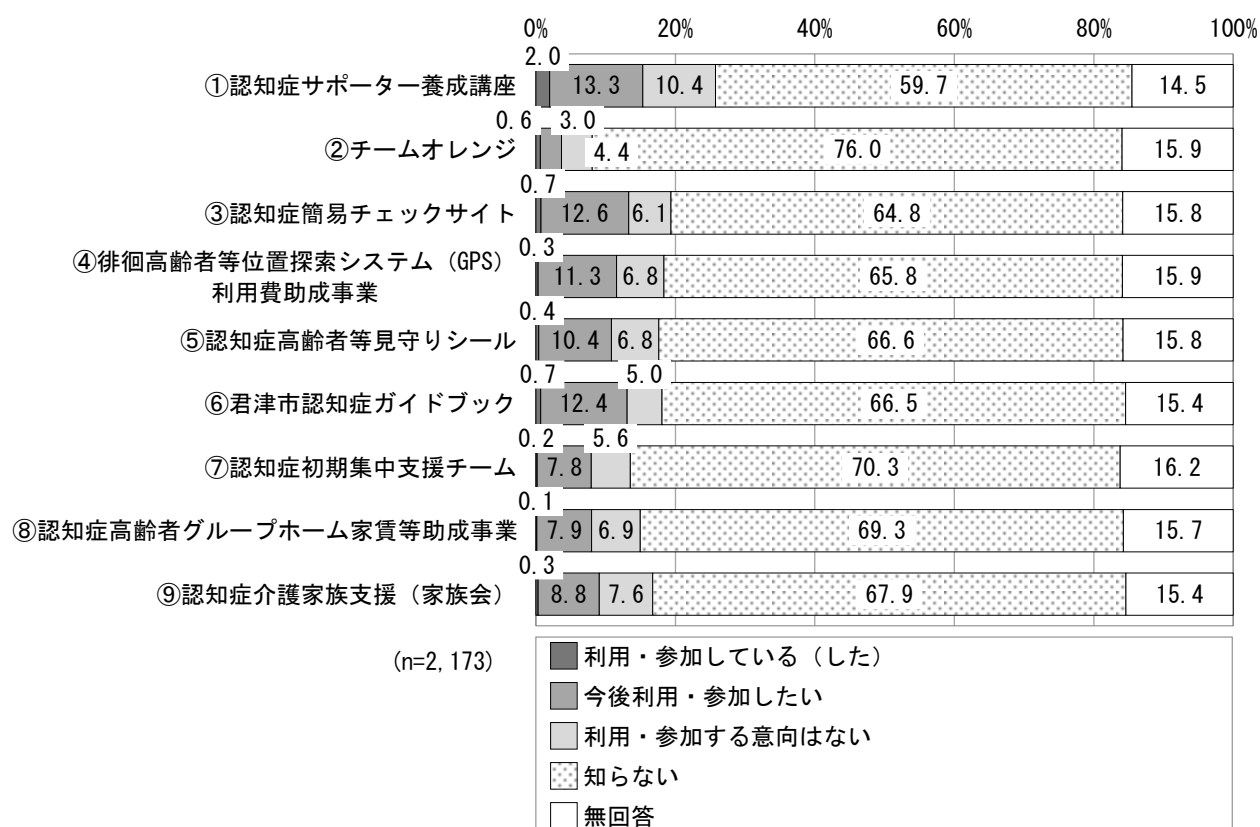
(%)	医療・介護など 利用できる早い段階 から、仕組みづくりを	緊急時に、家族に代わ つて確保	認知症のことを相 談できる窓口・体制の充 実	住民全体が認知症への 理解を深める正しいこ と	認知症の人を地域で 見守る体制づくり	認知症の人が活動や心 通いの参加できる身 近な人	認知症の人や介護 者の継続するための支 援	介護者同士が気軽に 交流できる機会や場 所の情報交換	特になし	無回答
全体 (n=2, 173)	49.6	48.7	44.8	34.8	17.7	16.1	11.3	7.5	3.9	7.0
【年齢別】										
65～74歳 (n=1, 005)	52.7	55.0	47.9	33.4	17.3	14.0	13.9	7.3	3.7	4.8
75～84歳 (n=901)	47.4	44.0	43.2	36.7	17.5	17.8	9.4	7.4	4.0	8.3
85歳以上 (n=265)	44.9	41.5	38.9	33.2	19.6	18.1	7.5	8.7	4.2	11.3
【性別】										
男性 (n=1, 042)	49.1	45.5	45.4	35.1	20.8	12.0	11.3	6.0	5.4	7.8
女性 (n=1, 129)	50.0	51.8	44.3	34.5	14.8	19.8	11.2	8.9	2.5	6.4
【圏域別】										
君津地区 (n=453)	53.0	51.0	50.1	33.6	19.0	18.8	13.2	7.9	4.0	3.1
小糸地区 (n=434)	49.5	48.6	52.8	31.1	15.9	14.1	9.4	10.1	3.2	7.1
清和地区 (n=430)	47.2	50.0	40.7	37.7	20.0	12.6	13.3	6.7	4.2	7.9
小櫃地区 (n=421)	49.4	48.0	40.9	35.9	15.4	16.9	9.0	6.2	3.8	9.0
上総地区 (n=433)	48.5	46.2	39.3	35.8	18.0	18.0	11.3	6.5	4.2	8.3
【家族構成別】										
1人暮らし (n=409)	44.3	49.4	39.9	31.8	23.0	15.4	11.0	6.6	5.6	6.8
夫婦2人暮らし (n=889)	53.3	49.0	52.1	36.8	16.0	17.0	9.4	6.9	3.3	6.4
息子・娘との2世帯 (n=404)	47.3	47.0	37.6	31.2	16.3	17.8	13.6	8.4	3.7	9.7
その他 (n=401)	50.6	51.1	42.4	36.9	17.5	13.5	13.2	9.0	4.0	4.5
【介護・介助の必要性別】										
あり (n=304)	45.4	44.1	39.1	32.2	15.8	19.4	10.9	7.2	4.3	10.9
なし (n=1, 834)	50.5	49.7	45.9	35.2	18.0	15.6	11.3	7.4	3.8	6.1

問8 (7)「認知症の取り組み」について伺います

- ①認知症サポーター養成講座
- ②チームオレンジ
- ③認知症簡易チェックサイト
- ④徘徊高齢者等位置探索システム（GPS）利用費助成事業
- ⑤認知症高齢者等見守りシール
- ⑥君津市認知症ガイドブック
- ⑦認知症初期集中支援チーム
- ⑧認知症高齢者グループホーム家賃等助成事業
- ⑨認知症介護家族支援（家族会）

「利用・参加している（した）」の割合をみると、＜①認知症サポーター養成講座＞が2.0%と最も高くなっている。また、「今後利用・参加したい」の割合をみると、＜①認知症サポーター養成講座＞が13.3%と最も高くなっている。

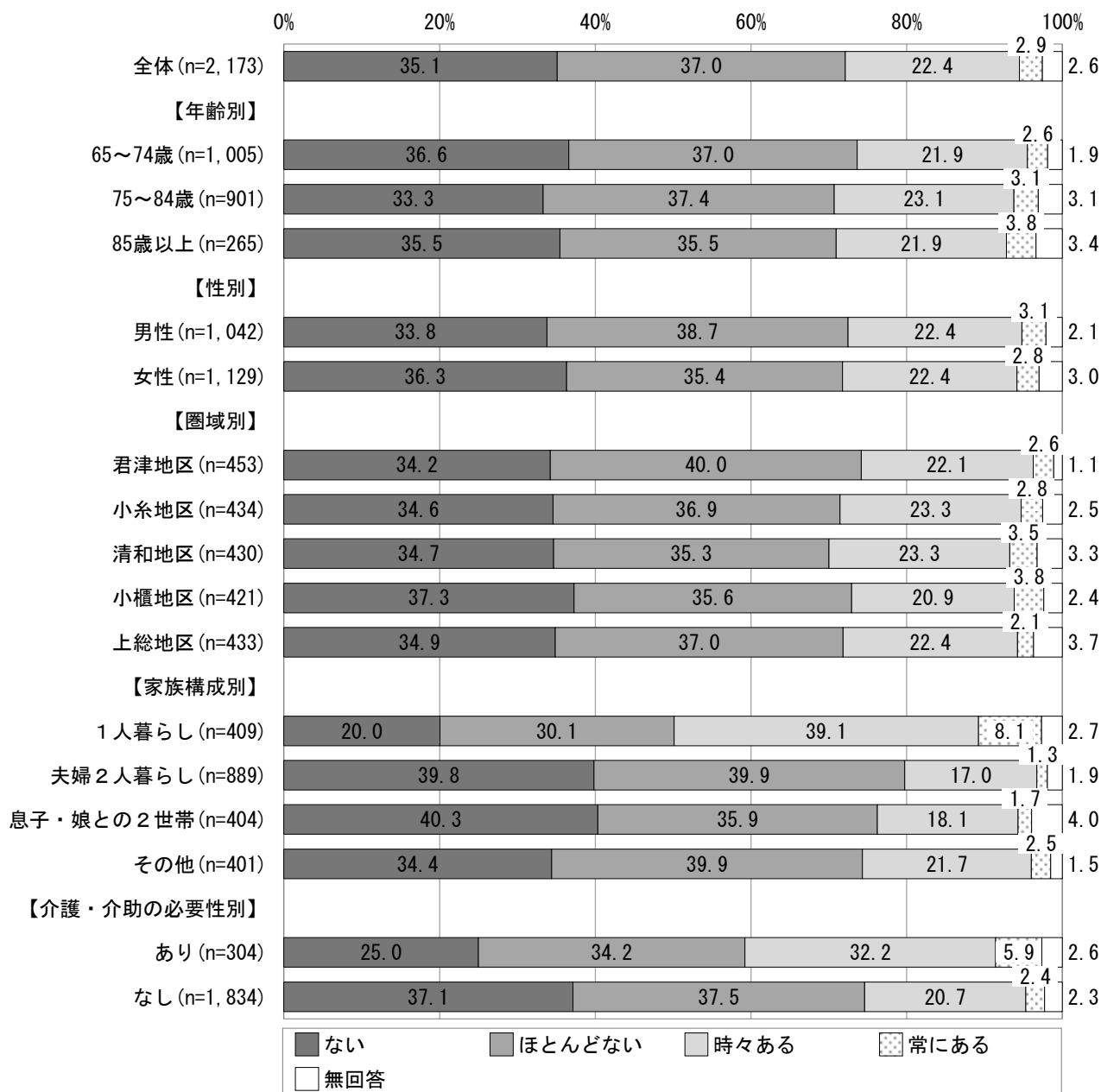
一方、「知らない」の割合をみると、＜②チームオレンジ＞が76.0%と最も高く、＜⑦認知症初期集中支援チーム＞が70.3%、＜⑧認知症高齢者グループホーム家賃等助成事業＞が69.3%と続いている。



問8 (8) あなたは孤独であると感じることがありますか

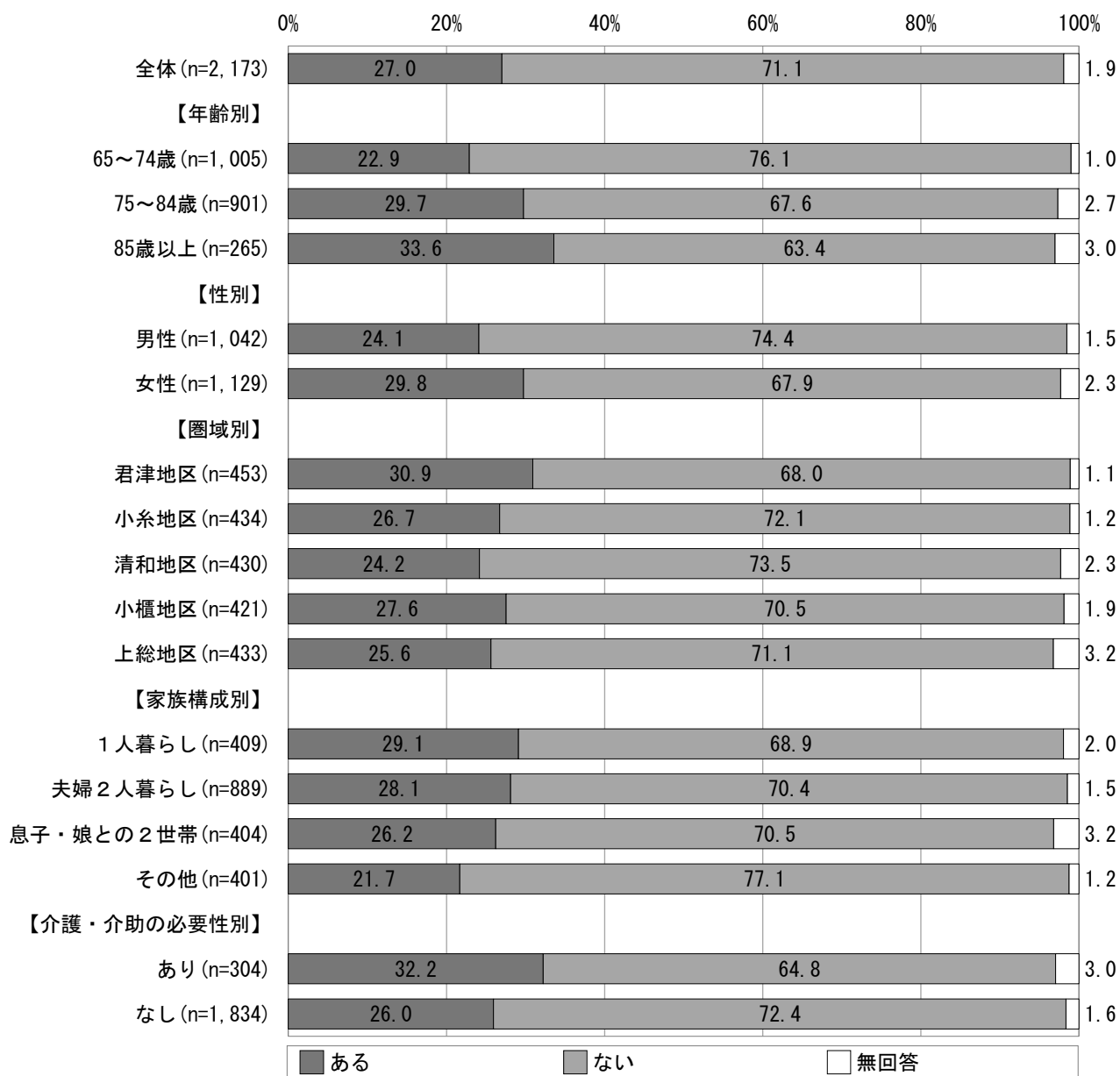
全体では、「ほとんどない」が37.0%と最も高く、「ない」が35.1%、「時々ある」が22.4%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「常にある」の割合が高くなる傾向にある。



問8（9） あなたが将来、最期を迎える場所について、家族や支援者等と話し合ったことがありますか

全体では、「ある」が27.0%、「ない」が71.1%となっている。
年齢別では、年齢が上がるほど「ある」の割合が高くなる傾向にある。



問8 (10) 終活の準備や亡くなった後の事務について、支援を受けたいと思うことは何ですか
(いくつでも)

全体では、「ない・わからない」が42.2%と最も高く、「各種手続きの代行（届出・公共料金等）」が31.0%、「家財整理・住まいの手続き（解約・撤去等）」が23.5%と続いている。

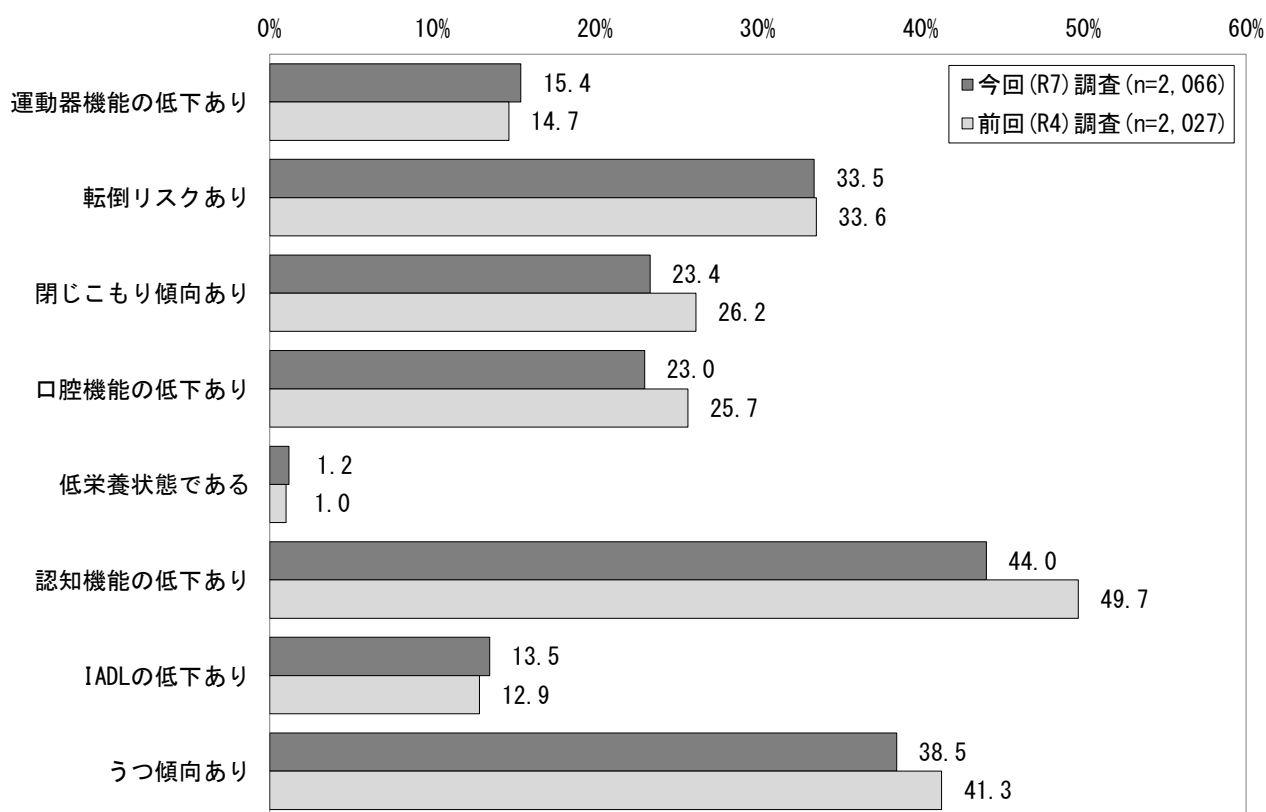
(%)	ない・わからない	(届出・各種公共料金等の代行)	家財整理・住まいの手続き（解約・撤去等）	葬儀・納骨の手続き	終活や死後事務の事業者紹介・	エンディングノート・遺言書作成・	生前の見守り・身元保証	その他	無回答
全体 (n=2,173)	42.2	31.0	23.5	18.9	18.1	9.8	8.8	3.5	6.4
【年齢別】									
65～74歳 (n=1,005)	41.8	35.8	28.7	19.5	19.9	10.2	9.5	2.2	3.4
75～84歳 (n=901)	42.2	29.0	19.5	18.6	17.6	9.9	8.3	3.7	7.7
85歳以上 (n=265)	43.4	19.6	17.7	17.4	12.8	7.9	7.9	7.5	13.2
【性別】									
男性 (n=1,042)	39.8	36.5	27.3	21.5	19.2	11.2	9.2	2.3	5.2
女性 (n=1,129)	44.3	26.0	20.1	16.5	17.1	8.5	8.4	4.5	7.4
【圏域別】									
君津地区 (n=453)	40.0	36.4	23.4	19.9	21.4	11.0	8.4	2.9	4.6
小糸地区 (n=434)	41.5	30.6	25.6	21.2	19.1	10.4	8.1	5.1	4.6
清和地区 (n=430)	44.7	30.2	22.1	18.4	15.6	9.1	9.8	4.2	7.2
小櫃地区 (n=421)	44.7	27.8	24.0	16.6	16.9	10.7	9.7	2.4	6.7
上総地区 (n=433)	40.2	29.6	22.6	18.2	17.3	7.9	8.1	2.8	8.8
【家族構成別】									
1人暮らし (n=409)	41.8	29.6	30.1	21.8	16.1	10.8	12.5	4.4	5.4
夫婦2人暮らし (n=889)	37.5	36.2	27.4	21.1	22.6	10.6	10.1	3.4	5.3
息子・娘との2世帯 (n=404)	49.5	25.5	14.6	14.4	14.4	7.4	4.7	3.5	7.9
その他 (n=401)	46.4	28.9	19.0	16.2	14.7	9.5	6.7	2.0	5.5
【介護・介助の必要性別】									
あり (n=304)	33.6	31.3	23.0	26.3	18.8	8.6	12.5	5.3	13.2
なし (n=1,834)	43.8	31.2	23.8	17.6	18.0	10.0	8.2	3.2	4.8

回答結果によるリスク集計

介護予防・日常生活支援総合事業の需要を把握するため、関連する質問への回答を基に、要介護状態となるリスクを判定する。各リスクの結果詳細については、次頁以降にそれぞれ記載する。

リスク判定（経年比較）

8項目のリスク判定の中で、リスクありの割合が高かったものは、「認知機能の低下」が44.0%、「うつ傾向」が38.5%、「転倒リスク」が33.5%となっている。



※「IADLの低下あり」は、IADLの「低い（0～3点）」と「やや低い（4点）」を合算している

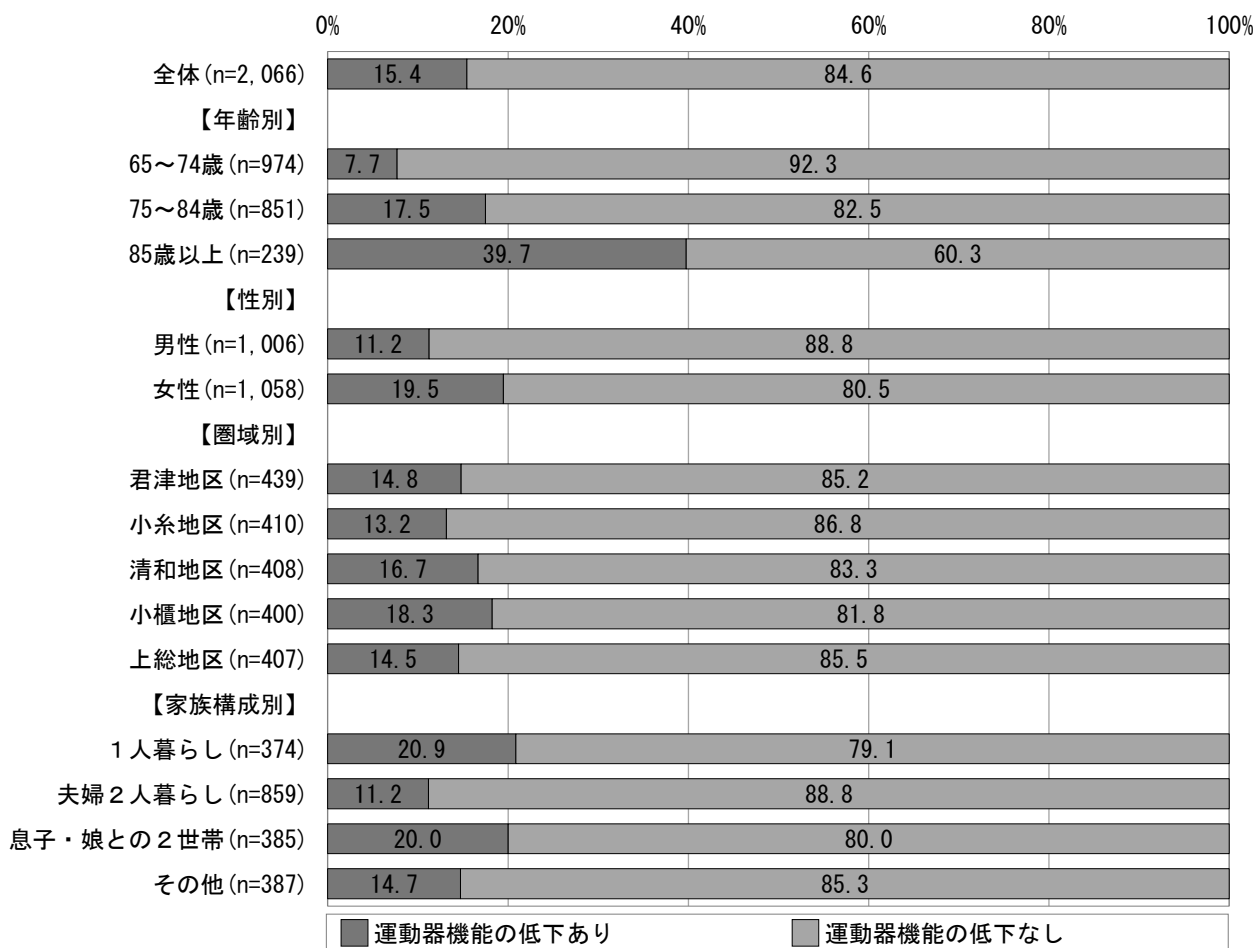
各リスクの判定方法は、次頁以降の下部にある〔判定基準〕に示すとおり、各リスクに関連する設問の回答ごとにリスクに該当するか否かを設定している。

回答者ごとの判定を行い、〔判定基準〕を満たす場合、リスクありとして取り扱っている。

なお、判定基準となる設問のうち1つでも無回答があれば、判定対象から除外している。

運動器機能のリスク判定

全体では、「運動器機能の低下あり」が15.4%、「運動器機能の低下なし」が84.6%となっている。
年齢別では、年齢が上がるほど「運動器機能の低下あり」の割合が高くなる傾向にある。

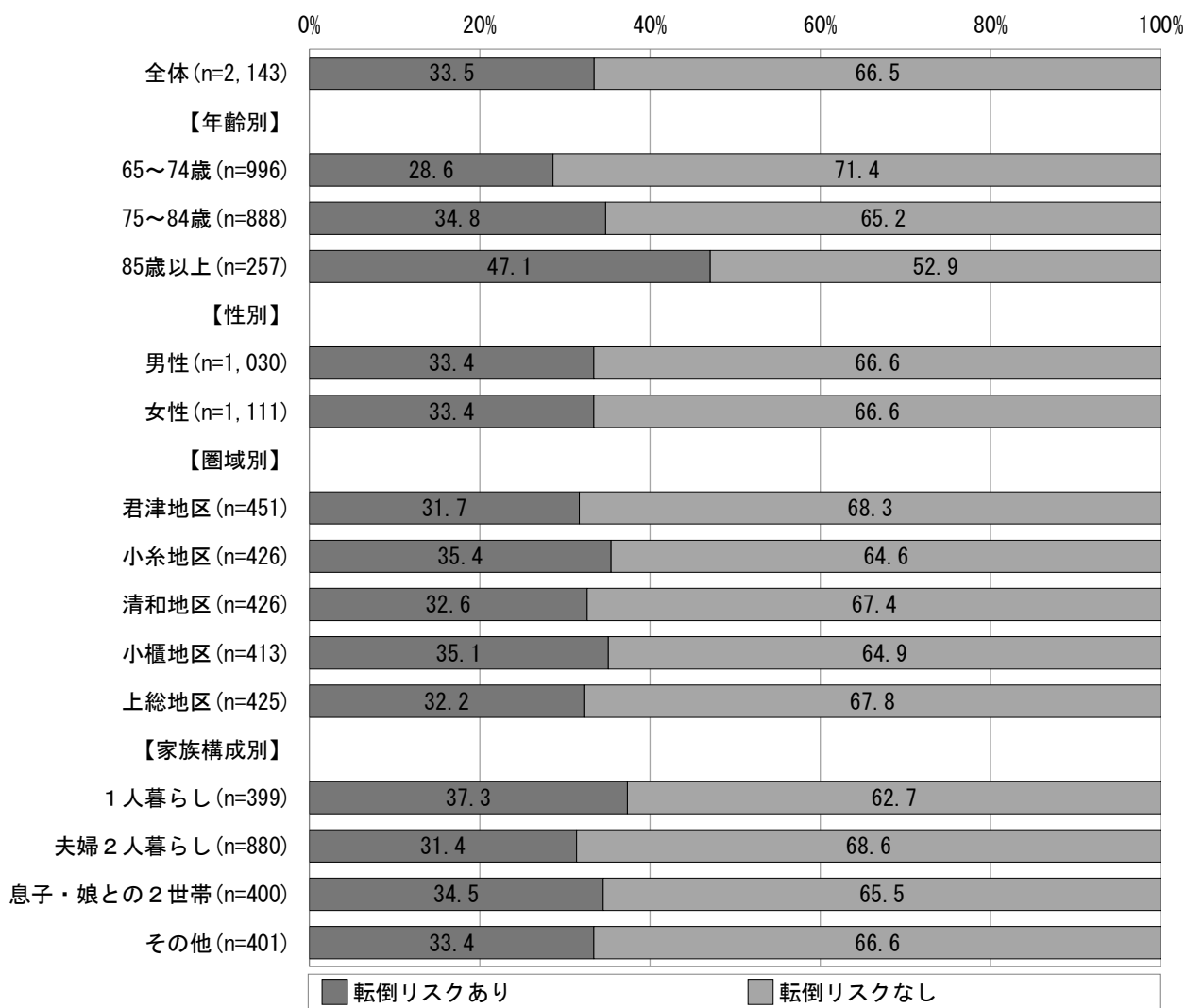


判定基準：運動器機能リスク高齢者の割合

設問項目		回答				判定基準
問 2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できるし、 している	できるけど していない	できない		3 項目以上 が該当
		非該当		該当		
問 2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できるし、 している	できるけど していない	できない		
		非該当		該当		
問 2 (3)	15分位続けて歩いていますか	できるし、 している	できるけど していない	できない		
		非該当		該当		
問 2 (4)	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	何度もある	1 度ある	ない		
		該当		非該当		
問 2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	とても不安 である	やや不安で ある	あまり不安 でない	不安でない	
		該当		非該当		

転倒のリスク判定

全体では、「転倒リスクあり」が33.5%、「転倒リスクなし」が66.5%となっている。
年齢別では、年齢が上がるほど「転倒リスクあり」の割合が高くなる傾向にある。



判定基準：転倒リスク高齢者の割合

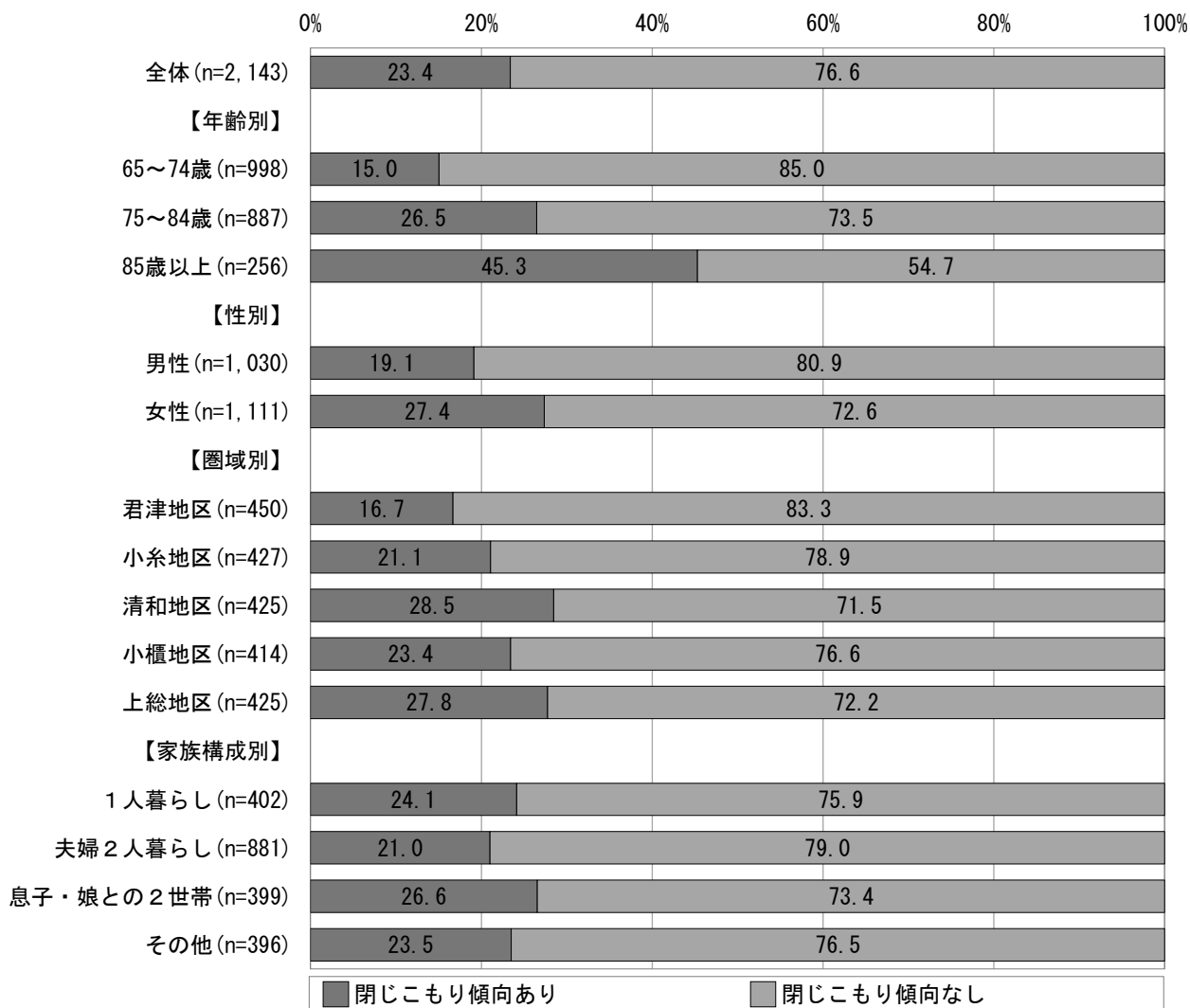
設問項目		回答			判定基準
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある	1度ある	ない	該当
		該当		非該当	

閉じこもり傾向

全体では、「閉じこもり傾向あり」が23.4%、「閉じこもり傾向なし」が76.6%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「閉じこもり傾向あり」の割合が高くなる傾向にある。

性別では「閉じこもり傾向あり」は、女性（27.4%）が男性（19.1%）を8.3ポイント上回っている。

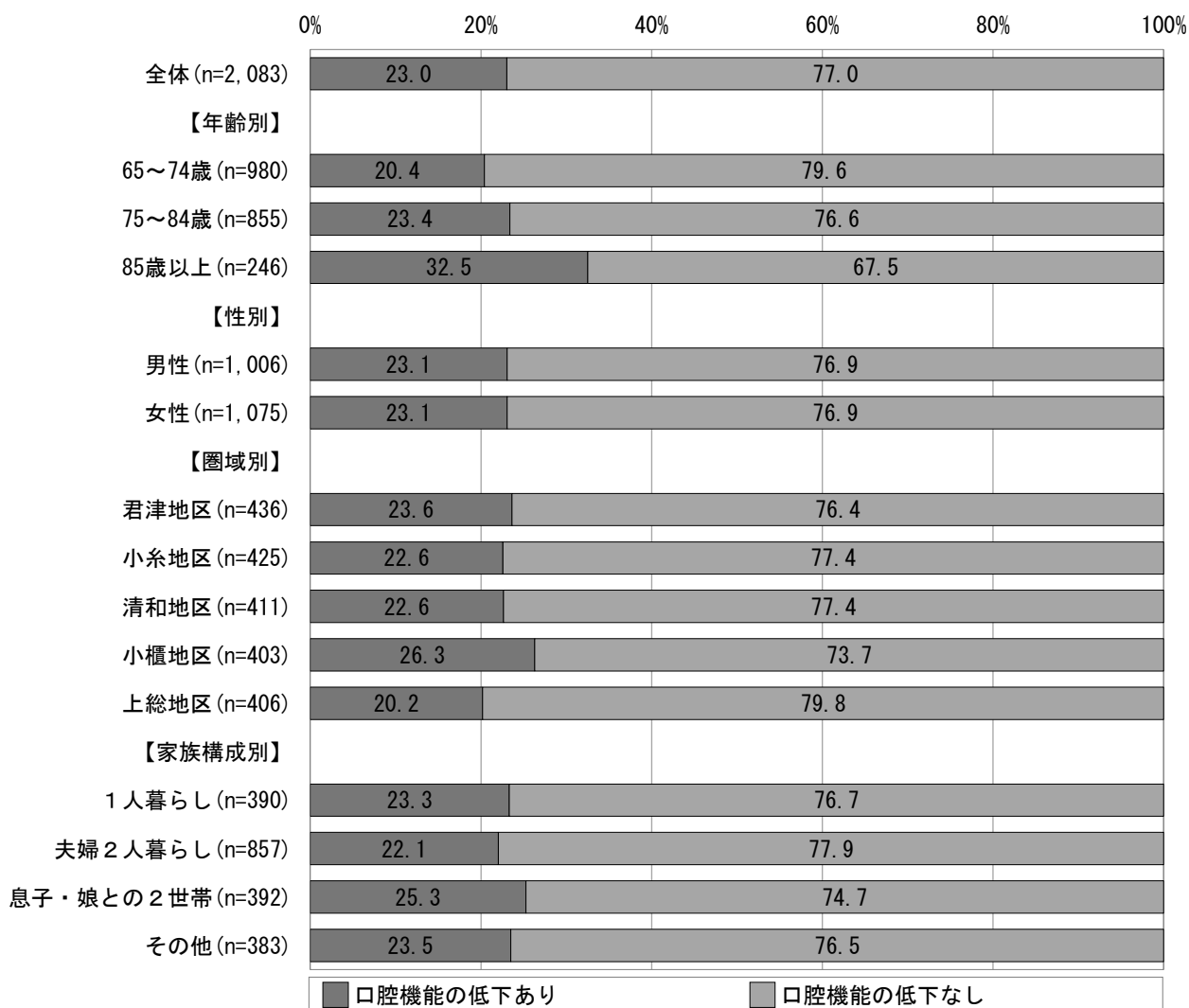


判定基準：閉じこもりリスク高齢者の割合

設問項目		回答				判定基準
問 2 (6)	週に 1 回以上は外出していますか	ほとんど外出しない	週 1 回	週 2 ～ 4 回	週 5 回以上	該 当
		該 当		非 該 当		

口腔機能が低下している高齢者

全体では、「口腔機能の低下あり」が23.0%、「口腔機能の低下なし」が77.0%となっている。
年齢別では、年齢が上がるほど「口腔機能の低下あり」の割合が高くなる傾向にある。

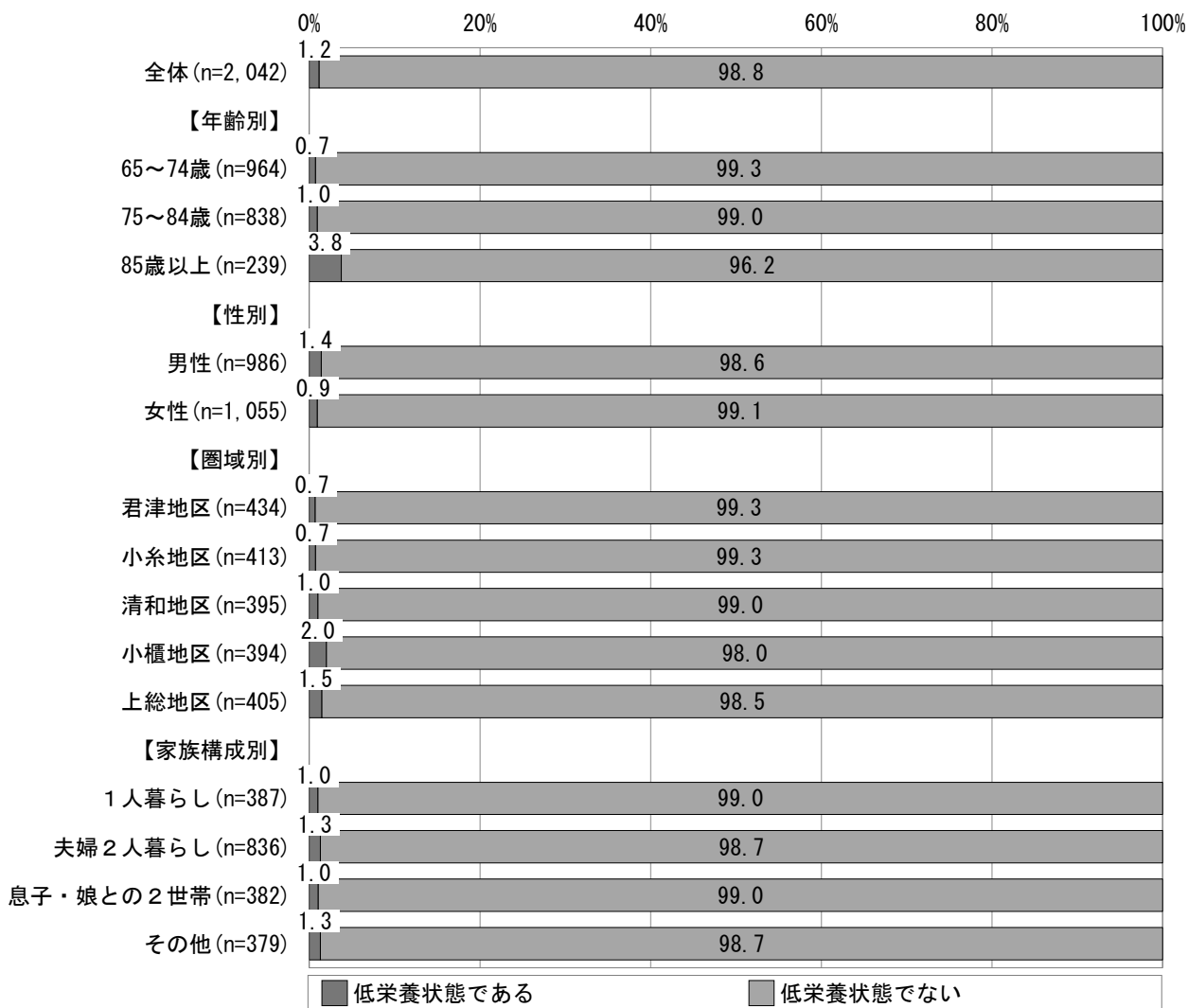


判定基準：口腔機能リスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問3(3)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい	いいえ	2項目以上が該当
		該当	非該当	
問3(4)	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい	いいえ	
		該当	非該当	
問3(5)	口の渇きが気になりますか	はい	いいえ	
		該当	非該当	

低栄養状態にある高齢者

全体では、「低栄養状態である」が1.2%、「低栄養状態でない」が98.8%となっている。

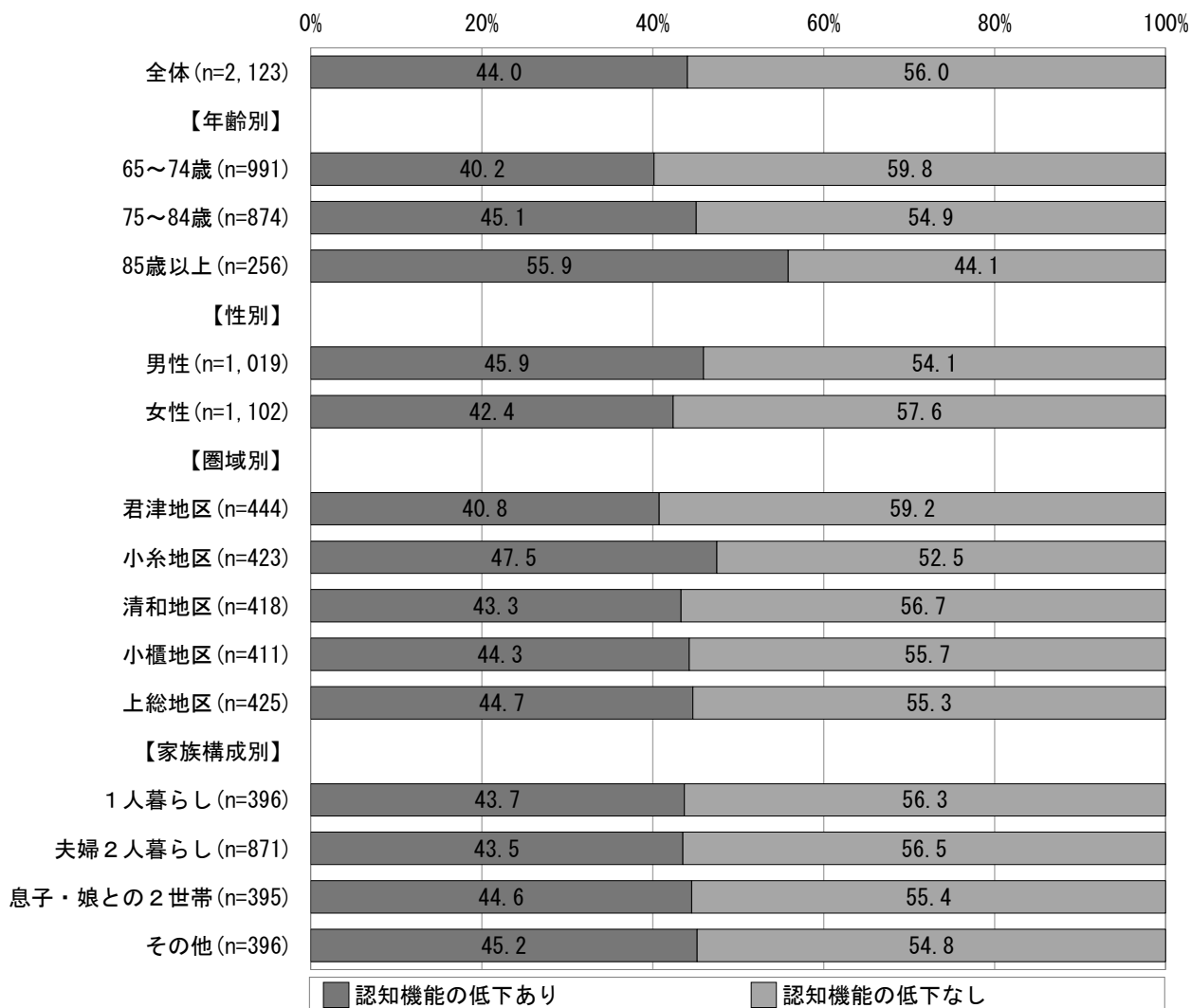


判定基準：栄養改善リスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問3(1)	BMI= 体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))	BMIが 18.5未満		2項目とも に該当
		該当		
問3(2)	6か月間で2～3kg以上の体重 減少がありましたか	はい	いいえ	
		該当	非該当	

認知機能が低下している高齢者

全体では、「認知機能の低下あり」が44.0%、「認知機能の低下なし」が56.0%となっている。
年齢別では、年齢が上がるほど「認知機能の低下あり」の割合が高くなる傾向にある。



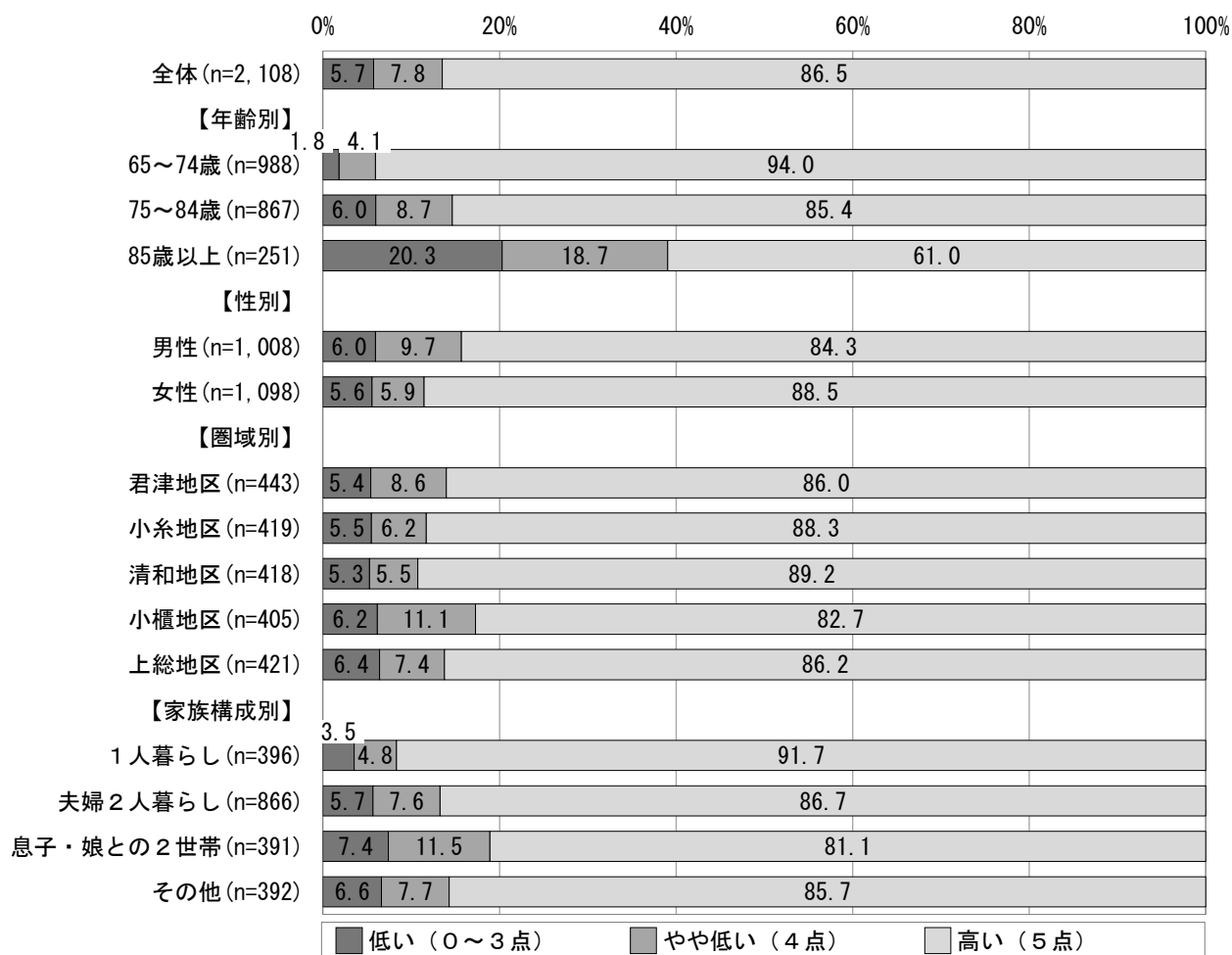
判定基準：認知症リスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	はい	いいえ	該当
		該当	非該当	

IADL が低下している高齢者

全体では、「高い（５点）」が 86.5%と最も高く、「やや低い（４点）」が 7.8%、「低い（０～３点）」が 5.7%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「高い（５点）」の割合が低くなる傾向にある。



判定基準：手段的日常生活動作（IADL）の状況

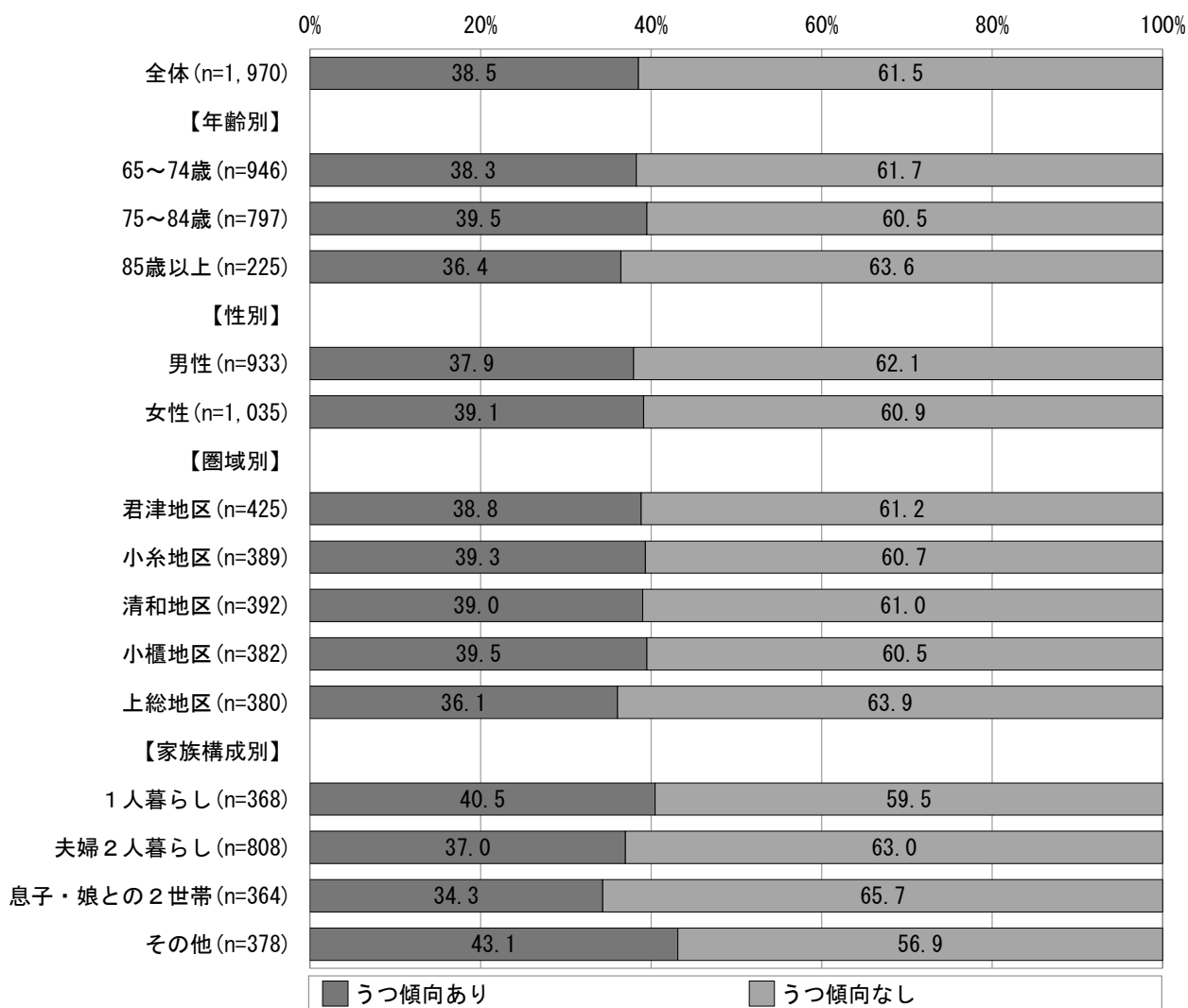
設問項目		回答と点数					
問４（５）	バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している	１点	できるけどしていない	１点	できない	０点
問４（６）	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	できるし、している	１点	できるけどしていない	１点	できない	０点
問４（７）	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している	１点	できるけどしていない	１点	できない	０点
問４（８）	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している	１点	できるけどしていない	１点	できない	０点
問４（９）	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している	１点	できるけどしていない	１点	できない	０点

※低い：３点以下 やや低い：４点 高い：５点以上

うつ傾向の高齢者

※本設問は、気分の落ち込みや意欲の低下といった状態の有無を把握するためのものであり、「うつ病」等の医学的診断を意味するものではありません。

全体では、「うつ傾向あり」が38.5%、「うつ傾向なし」が61.5%となっている。



判定基準：うつリスク高齢者の割合

設問項目		回答		判定基準
問7(5)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい	いいえ	1項目以上が該当
		該当	非該当	
問7(6)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい	いいえ	
		該当	非該当	

第 3 章 在宅介護実態調査

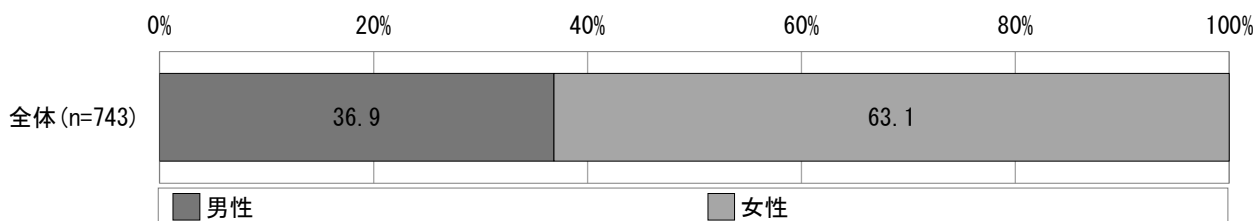
調査対象者・回答者の属性

市内在住の要支援又は要介護認定者のうち、在宅で生活している方に対し、調査を行なった。

標本名簿の属性

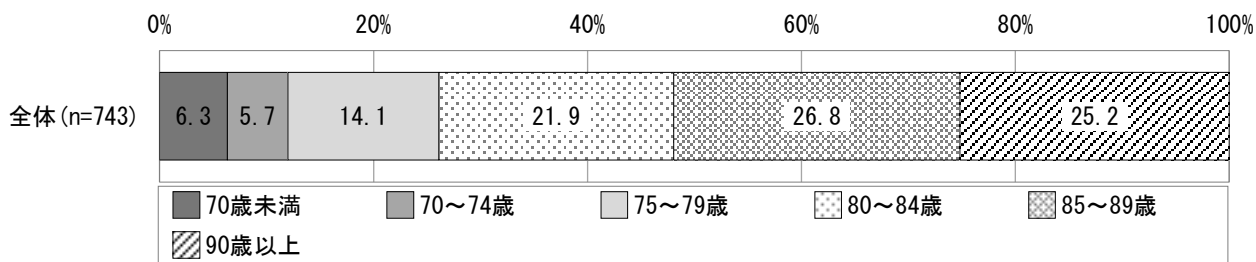
(1) 性別

全体では、「男性」が36.9%、「女性」が63.1%となっている。



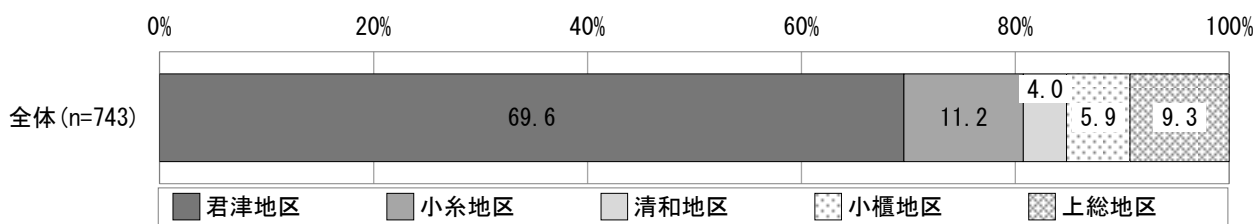
(2) 年齢

全体では、「85～89歳」が26.8%と最も高く、「90歳以上」が25.2%、「80～84歳」が21.9%と続いている。



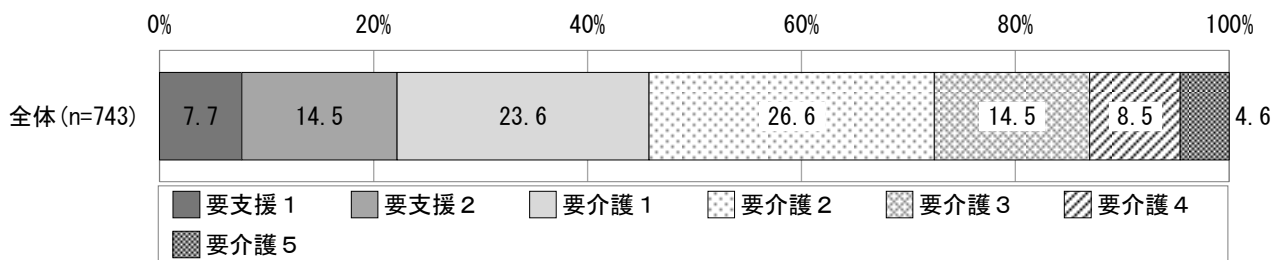
(3) 圏域

全体では、「君津地区」が69.6%と最も高く、「小糸地区」が11.2%、「上総地区」が9.3%と続いている。



(4) 要介護度

全体では、「要介護2」が26.6%と最も高く、「要介護1」が23.6%、「要支援2」と「要介護3」が、それぞれ14.5%と続いている。



A 票 ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（いくつでも）

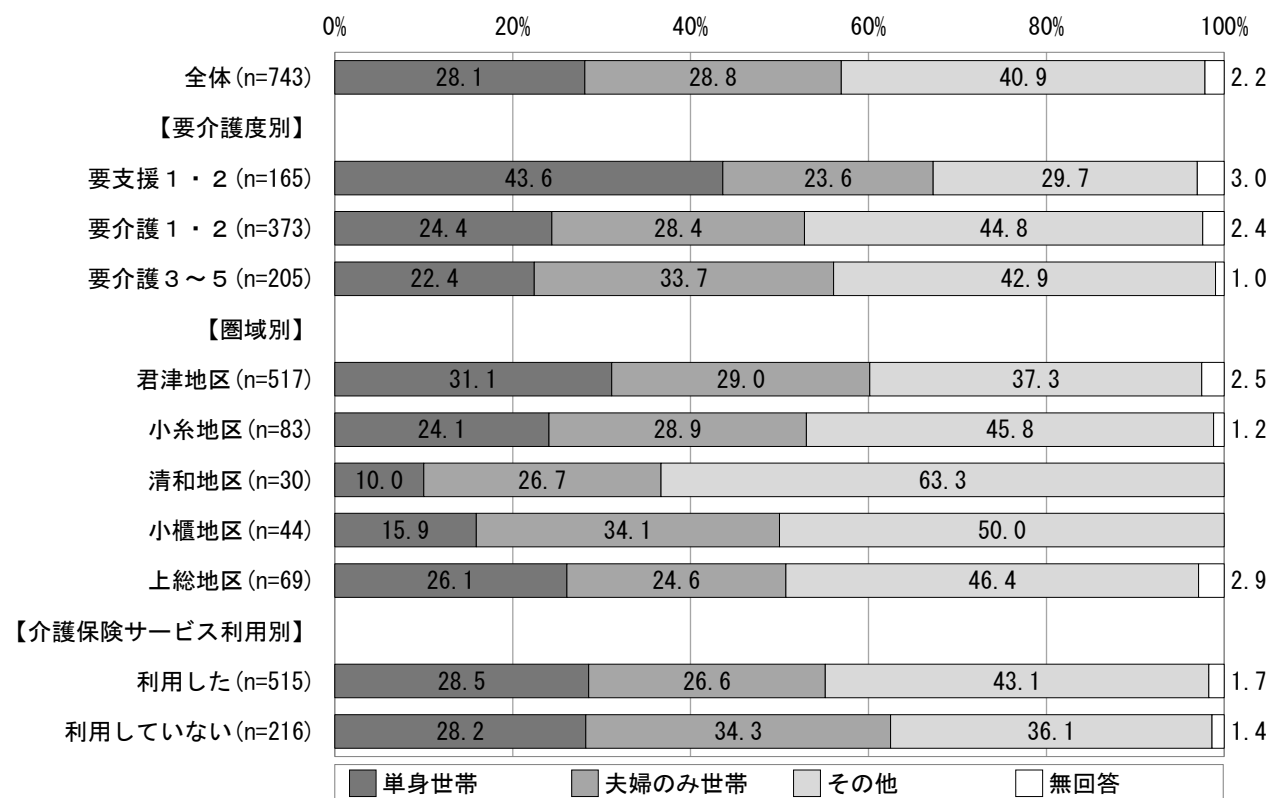
全体では、「主な介護者となっている家族・親族」が56.9%と最も高く、「ご本人」が45.9%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.7%と続いている。

(%)	主な介護者となっている家族・親族	ご本人	主な介護者以外の家族・親族	ご本人のケアマネジャー	その他	無回答
全体 (n=743)	56.9	45.9	2.7	2.6	1.9	2.4
【要介護度別】						
要支援1・2 (n=165)	19.4	79.4	1.2	1.8	0.0	3.6
要介護1・2 (n=373)	61.1	45.8	2.9	2.4	1.9	2.7
要介護3～5 (n=205)	79.5	19.0	3.4	3.4	3.4	1.0
【世帯類型別】						
単身世帯 (n=209)	38.8	63.2	3.3	2.9	2.4	1.0
夫婦のみ世帯 (n=214)	62.6	41.6	1.9	2.3	0.9	2.3
その他 (n=304)	67.8	38.2	3.0	2.6	2.3	0.3
【圏域別】						
君津地区 (n=517)	54.4	48.4	1.7	2.3	2.3	2.7
小糸地区 (n=83)	65.1	38.6	3.6	1.2	0.0	3.6
清和地区 (n=30)	56.7	50.0	6.7	6.7	3.3	0.0
小櫃地区 (n=44)	65.9	36.4	2.3	6.8	2.3	0.0
上総地区 (n=69)	60.9	40.6	7.2	1.4	0.0	1.4
【介護保険サービス利用別】						
利用した (n=515)	60.8	42.5	3.1	1.7	1.7	1.6
利用していない (n=216)	50.0	53.2	1.9	4.2	2.3	2.8

第3章 在宅介護実態調査

問2 世帯類型について、ご回答ください

全体では、「単身世帯」が28.1%、「夫婦のみ世帯」が28.8%となっている。
要介護度別では、要支援1・2で「単身世帯」が43.6%と高くなっている。
圏域別では、君津地区で「単身世帯」が31.1%と高くなっている。



問3 居住地域について、ご回答ください

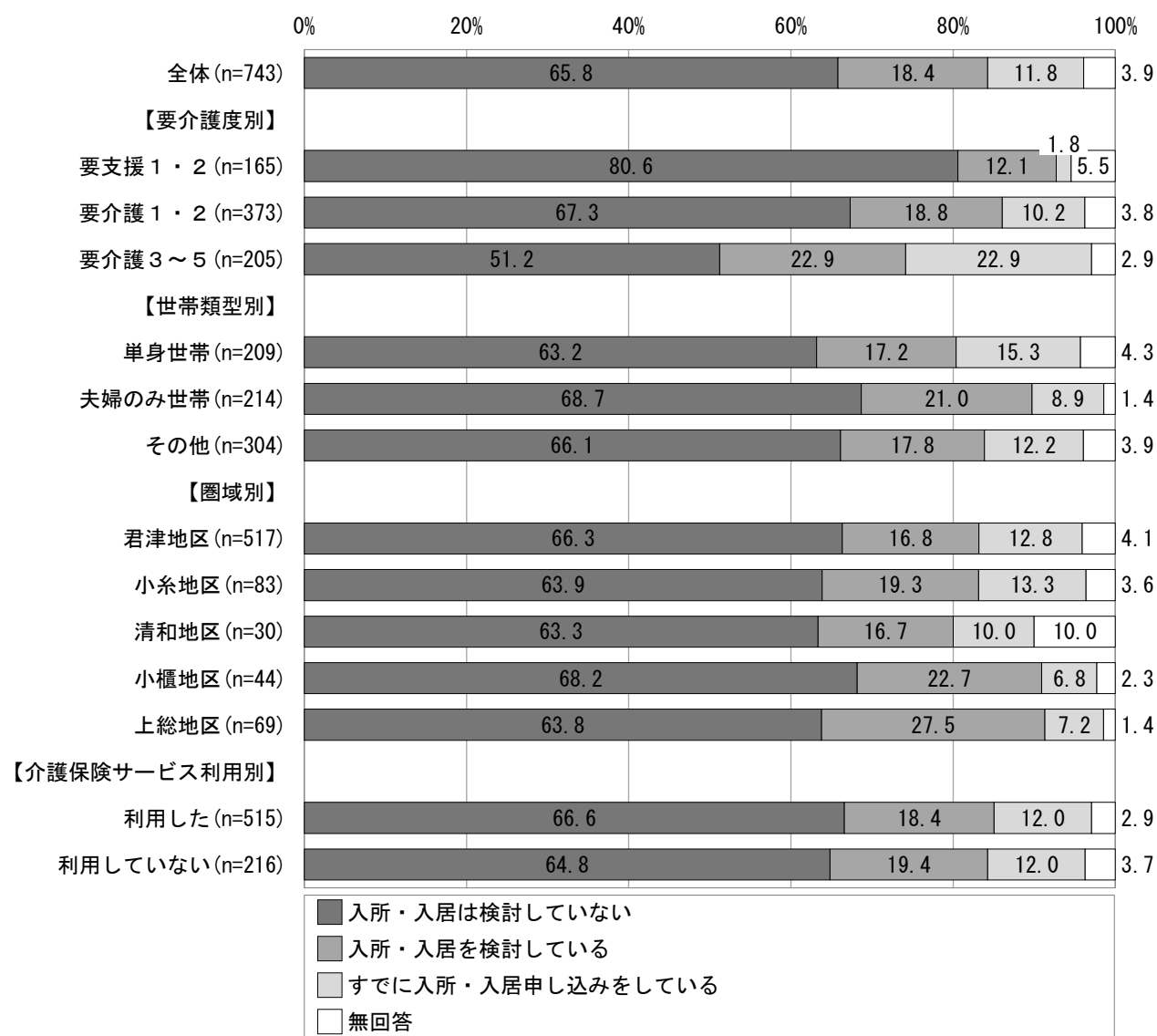
「君津地区」が69.6%と最も高く、「小糸地区」が11.2%、「上総地区」が9.3%と続いている。(詳細は、76 ページ (3) 圏域を参照)

問4 現時点での、介護施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください

全体では、「入所・入居は検討していない」が65.8%と最も高く、「入所・入居を検討している」が18.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が11.8%と続いている。

要介護度別では、要支援1・2で「入所・入居は検討していない」が80.6%と高くなっている。

世帯類型別では、夫婦のみ世帯で「入所・入居は検討していない」が68.7%と高くなっている。



問5 ご本人が、現在抱えているけがや病気について、ご回答ください（いくつでも）

全体では、「認知症」が28.9%と最も高く、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が24.9%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が24.0%と続いている。

圏域別では、清和地区で「脳血管疾患（脳卒中）」が33.3%と高くなっている。

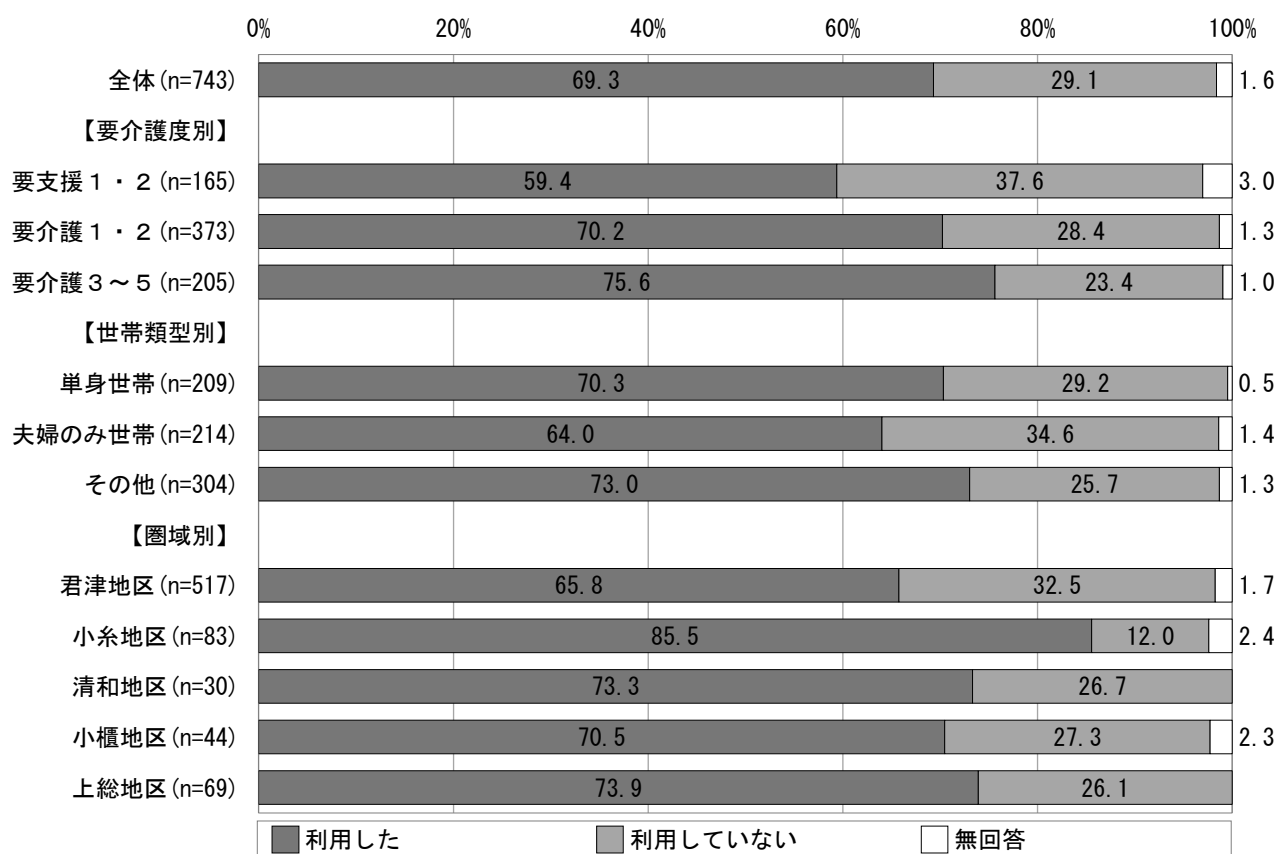
(%)	認知症	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	糖尿病	心疾患（心臓病）	脳血管疾患（脳卒中）	変形性関節疾患	呼吸器疾患	がん（悪性新生物）	パーキンソン病	腎疾患（透析）	膠原病（関節リウマチ含む）	難病（パーキンソン病を除く）	その他	なし	わからない	無回答
全体 (n=743)	28.9	24.9	24.0	19.2	15.5	14.0	12.8	8.1	5.9	5.1	4.3	4.0	3.9	21.4	3.2	0.5	2.6
【要介護度別】																	
要支援1・2 (n=165)	1.8	29.1	34.5	17.0	18.8	7.9	17.6	6.7	3.6	0.6	0.6	3.6	3.0	18.8	7.3	1.2	5.5
要介護1・2 (n=373)	33.5	24.9	22.8	21.4	14.7	13.1	10.7	7.8	8.6	5.9	6.7	2.4	2.4	21.4	1.3	0.3	2.4
要介護3～5 (n=205)	42.4	21.5	17.6	17.1	14.1	20.5	12.7	9.8	2.9	7.3	2.9	7.3	7.3	23.4	3.4	0.5	0.5
【世帯類型別】																	
単身世帯 (n=209)	21.5	30.1	28.2	20.6	16.7	9.6	12.4	8.6	4.3	2.9	5.7	3.8	3.8	23.0	4.8	0.5	2.4
夫婦のみ世帯 (n=214)	32.2	21.0	23.4	20.6	11.2	19.6	7.9	10.3	7.0	7.9	2.3	5.6	6.1	13.6	2.8	0.9	1.9
その他 (n=304)	32.2	24.7	21.7	17.4	17.4	13.8	16.8	5.6	6.6	4.9	4.9	3.3	2.3	26.6	2.3	0.3	1.6
【圏域別】																	
君津地区 (n=517)	28.6	24.2	25.1	20.7	15.9	13.3	11.8	8.1	6.8	4.8	4.6	3.9	4.1	22.1	3.5	0.4	2.7
小糸地区 (n=83)	32.5	26.5	20.5	16.9	13.3	18.1	14.5	7.2	2.4	7.2	2.4	4.8	1.2	22.9	2.4	1.2	4.8
清和地区 (n=30)	26.7	23.3	20.0	16.7	16.7	33.3	26.7	13.3	10.0	3.3	6.7	0.0	0.0	20.0	3.3	0.0	0.0
小櫃地区 (n=44)	29.5	25.0	22.7	22.7	13.6	4.5	15.9	4.5	4.5	4.5	2.3	6.8	6.8	13.6	2.3	2.3	0.0
上総地区 (n=69)	27.5	29.0	21.7	10.1	15.9	11.6	10.1	8.7	2.9	5.8	4.3	4.3	5.8	20.3	2.9	0.0	1.4
【介護保険サービス利用別】																	
利用した (n=515)	31.3	27.4	24.9	20.0	16.3	15.3	12.4	8.2	5.4	5.4	4.7	3.5	4.3	22.1	2.7	0.6	1.2
利用していない (n=216)	24.5	20.4	23.1	17.6	13.9	11.1	13.9	8.3	7.4	4.6	3.7	4.6	3.2	20.4	4.6	0.5	3.7

問6 令和7年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか

全体では、「利用した」が69.3%、「利用していない」が29.1%となっている。

要介護度別では、要介護3～5で「利用した」が75.6%と高くなっている。

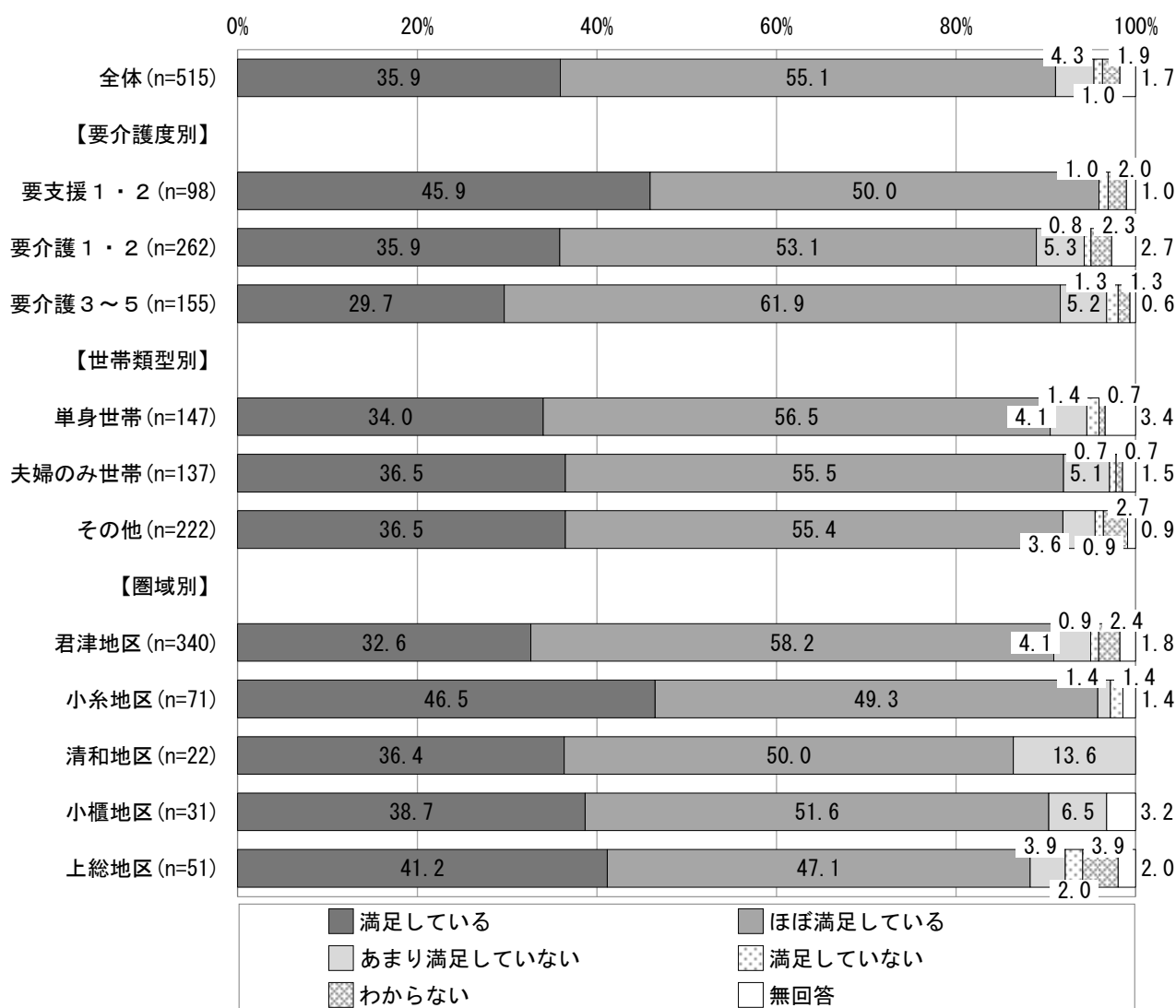
圏域別では、小糸地区で「利用した」が85.5%と高くなっている。



問7 今のケアプランについて、どの程度満足していますか

※問6で「利用した」と回答した方に質問

全体では、「ほぼ満足している」が55.1%と最も高く、「満足している」が35.9%、「あまり満足していない」が4.3%と続いている。「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足』は91.0%となっている。



問8 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

※問6で「利用していない」と回答した方に質問

全体では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が38.9%と最も高く、「家族が介護をするため必要ない」が15.3%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が12.0%と続いている。

要介護度別では、要介護3～5で「家族が介護をするため必要ない」が25.0%と高くなっている。

(%)	現状では、 サービスの状態を利用する ほどではない	家族が介護をするため必要ない	住宅改修、 福祉用具貸与・購入	利用料を支払うのが難しい	サービスを受けた方が手続きや 利用方法が分からない	サービス利用の意思がない	利用できないサービスが利用 できない、身近にない	以前、利用していたサービスに 不満があった	その他	無回答
全体 (n=216)	38.9	15.3	12.0	6.5	6.5	3.7	3.7	2.3	10.2	19.0
【要介護度別】										
要支援1・2 (n=62)	45.2	3.2	21.0	3.2	3.2	4.8	3.2	4.8	8.1	14.5
要介護1・2 (n=106)	43.4	17.9	8.5	8.5	4.7	3.8	4.7	1.9	5.7	18.9
要介護3～5 (n=48)	20.8	25.0	8.3	6.3	14.6	2.1	2.1	0.0	22.9	25.0
【世帯類型別】										
単身世帯 (n=61)	42.6	8.2	6.6	6.6	3.3	3.3	3.3	1.6	16.4	16.4
夫婦のみ世帯 (n=74)	40.5	23.0	14.9	4.1	8.1	2.7	2.7	4.1	10.8	16.2
その他 (n=78)	33.3	14.1	14.1	6.4	7.7	5.1	5.1	1.3	5.1	24.4
【圏域別】										
君津地区 (n=168)	43.5	14.9	11.3	7.1	6.5	2.4	4.8	2.4	8.9	18.5
小糸地区 (n=10)	0.0	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	30.0	30.0
清和地区 (n=8)	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
小櫃地区 (n=12)	25.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3
上総地区 (n=18)	27.8	22.2	16.7	0.0	11.1	16.7	0.0	5.6	11.1	5.6

問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(いくつでも)

全体では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 11.6%と最も高く、「掃除・洗濯」が 7.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が 6.9%と続いている。なお、「利用していない」は 52.4%となっている。

(%)	(介護・福祉 タクシー等)	移送サ ービス	掃除・洗 濯	外出同行 (通院、 買い物など)	買い物 (宅配は 含まない)	配食	ゴミ出 し	見守り、 声かけ	調理	サロン などの定 期的な通 いの場	その他	利用し ていな い	無回 答
全体 (n=743)	11.6	7.5	6.9	5.5	5.4	5.0	4.3	4.0	3.6	5.4	52.4	15.7	
【要介護度別】													
要支援 1・2 (n=165)	11.5	8.5	6.7	5.5	3.6	4.2	4.2	2.4	4.2	5.5	47.9	16.4	
要介護 1・2 (n=373)	11.5	8.0	7.2	6.2	5.1	5.9	3.5	5.1	4.0	6.4	50.7	16.9	
要介護 3～5 (n=205)	11.7	5.9	6.3	4.4	7.3	3.9	5.9	3.4	2.4	3.4	59.0	13.2	
【世帯類型別】													
単身世帯 (n=209)	13.4	14.4	9.1	11.5	10.0	7.7	6.2	4.8	5.3	8.6	42.6	11.0	
夫婦のみ世帯 (n=214)	11.2	6.5	6.5	3.7	4.2	4.7	3.7	4.2	1.4	4.2	51.9	21.0	
その他 (n=304)	9.9	3.6	5.3	2.3	3.3	2.6	3.6	3.6	3.9	4.3	60.5	13.8	
【圏域別】													
君津地区 (n=517)	13.3	8.1	6.8	6.0	5.6	5.4	4.1	3.7	4.3	5.0	51.5	15.5	
小糸地区 (n=83)	12.0	4.8	4.8	1.2	3.6	0.0	1.2	3.6	1.2	7.2	51.8	19.3	
清和地区 (n=30)	3.3	10.0	3.3	10.0	6.7	6.7	10.0	3.3	6.7	10.0	50.0	16.7	
小櫃地区 (n=44)	6.8	4.5	9.1	6.8	4.5	2.3	4.5	2.3	2.3	9.1	50.0	18.2	
上総地区 (n=69)	4.3	7.2	10.1	4.3	5.8	8.7	7.2	8.7	1.4	1.4	62.3	11.6	
【介護保険サービス利用別】													
利用した (n=515)	11.1	8.0	7.2	6.0	6.2	4.5	4.3	4.9	3.9	5.4	54.0	14.2	
利用していない (n=216)	13.4	6.5	6.5	4.6	3.7	6.5	4.2	2.3	3.2	5.6	50.0	16.7	

問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

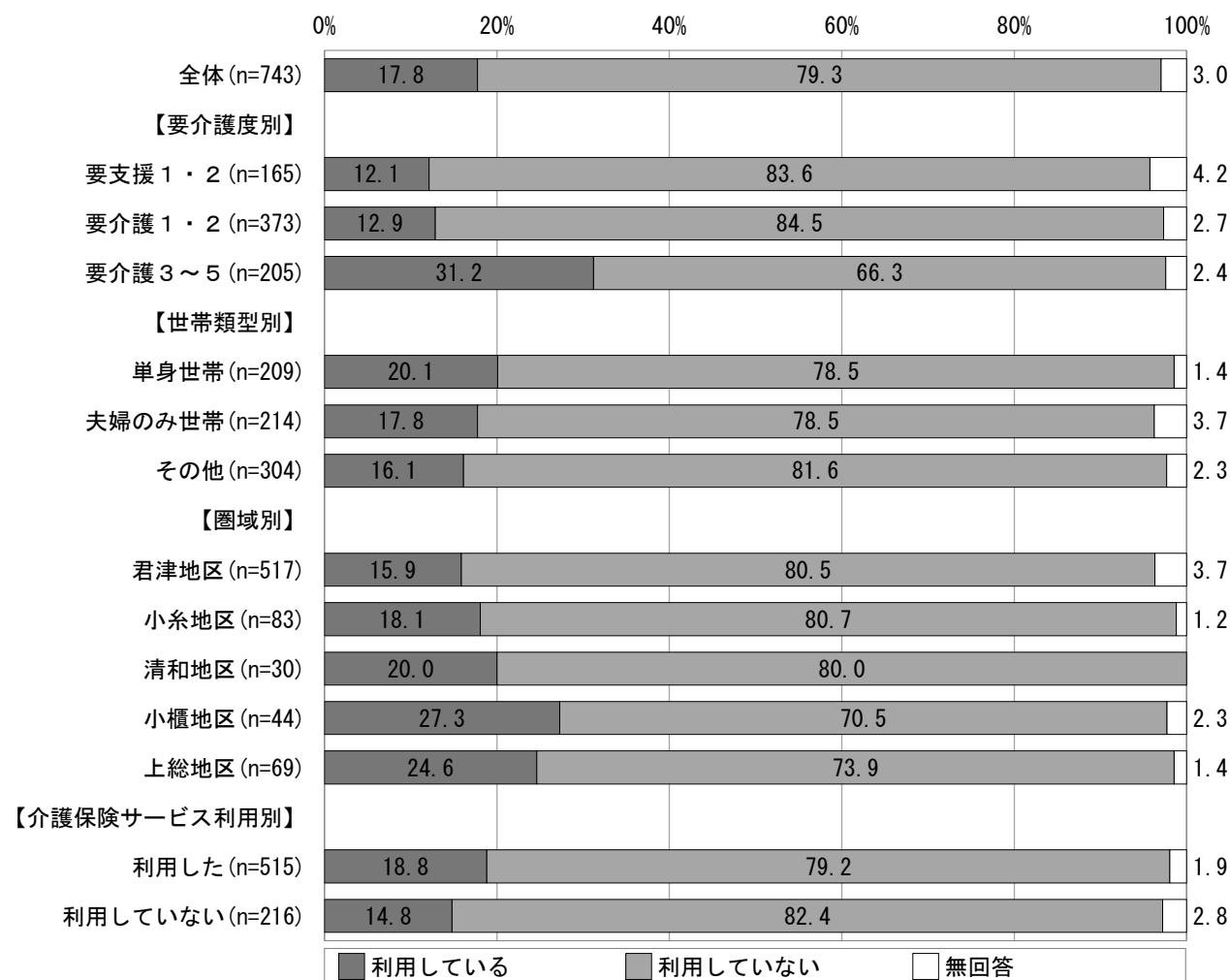
全体では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 31.4%と最も高く、「外出同行（通院、買い物など）」が 21.0%、「見守り、声かけ」が 15.9%と続いている。

(%)	(介護・福祉 タクシー等)	外出同行 (通院、 買い物など)	見守り、 声かけ	配食	掃除・洗濯	調理	ゴミ出し	買い物(宅配は 含まない)	サロンなどの 定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体 (n=743)	31.4	21.0	15.9	14.5	13.7	11.7	11.3	10.5	8.2	4.3	29.7	12.7
【要介護度別】												
要支援 1・2 (n=165)	30.9	21.2	14.5	13.3	17.0	12.1	15.8	13.3	8.5	3.6	26.1	13.3
要介護 1・2 (n=373)	30.6	21.2	15.3	13.7	14.7	12.1	11.3	11.0	9.9	4.0	29.2	13.1
要介護 3～5 (n=205)	33.2	20.5	18.0	17.1	9.3	10.7	7.8	7.3	4.9	5.4	33.7	11.2
【世帯類型別】												
単身世帯 (n=209)	29.7	22.0	19.6	15.8	15.8	12.4	14.8	13.4	7.2	3.8	23.0	12.0
夫婦のみ世帯 (n=214)	35.5	25.2	15.4	16.8	15.9	17.8	14.5	13.1	6.5	6.1	25.2	11.7
その他 (n=304)	29.9	17.8	13.8	12.2	10.5	7.2	6.6	7.2	9.9	3.3	38.2	12.2
【圏域別】												
君津地区 (n=517)	32.7	20.9	15.5	14.1	14.3	12.0	12.6	11.6	8.5	3.9	29.0	13.2
小糸地区 (n=83)	38.6	21.7	19.3	16.9	12.0	9.6	4.8	9.6	12.0	7.2	25.3	12.0
清和地区 (n=30)	13.3	16.7	6.7	3.3	13.3	6.7	3.3	10.0	6.7	0.0	43.3	13.3
小櫃地区 (n=44)	29.5	15.9	25.0	20.5	13.6	11.4	11.4	9.1	6.8	2.3	29.5	15.9
上総地区 (n=69)	21.7	26.1	13.0	15.9	11.6	14.5	13.0	4.3	2.9	7.2	34.8	7.2
【介護保険サービス利用別】												
利用した (n=515)	32.8	21.2	16.9	14.4	12.8	12.0	10.5	10.1	8.9	5.2	29.7	11.1
利用していない (n=216)	29.2	21.3	13.4	14.4	16.2	10.2	13.0	11.6	6.5	2.3	30.6	14.4

問 11 ご本人は、現在、訪問診療（訪問歯科診療や居宅療養管理指導を除く）を利用していますか

全体では、「利用している」が 17.8%、「利用していない」が 79.3%となっている。

要介護度別では、要介護 3～5 で「利用している」が 31.2%と高くなっている。

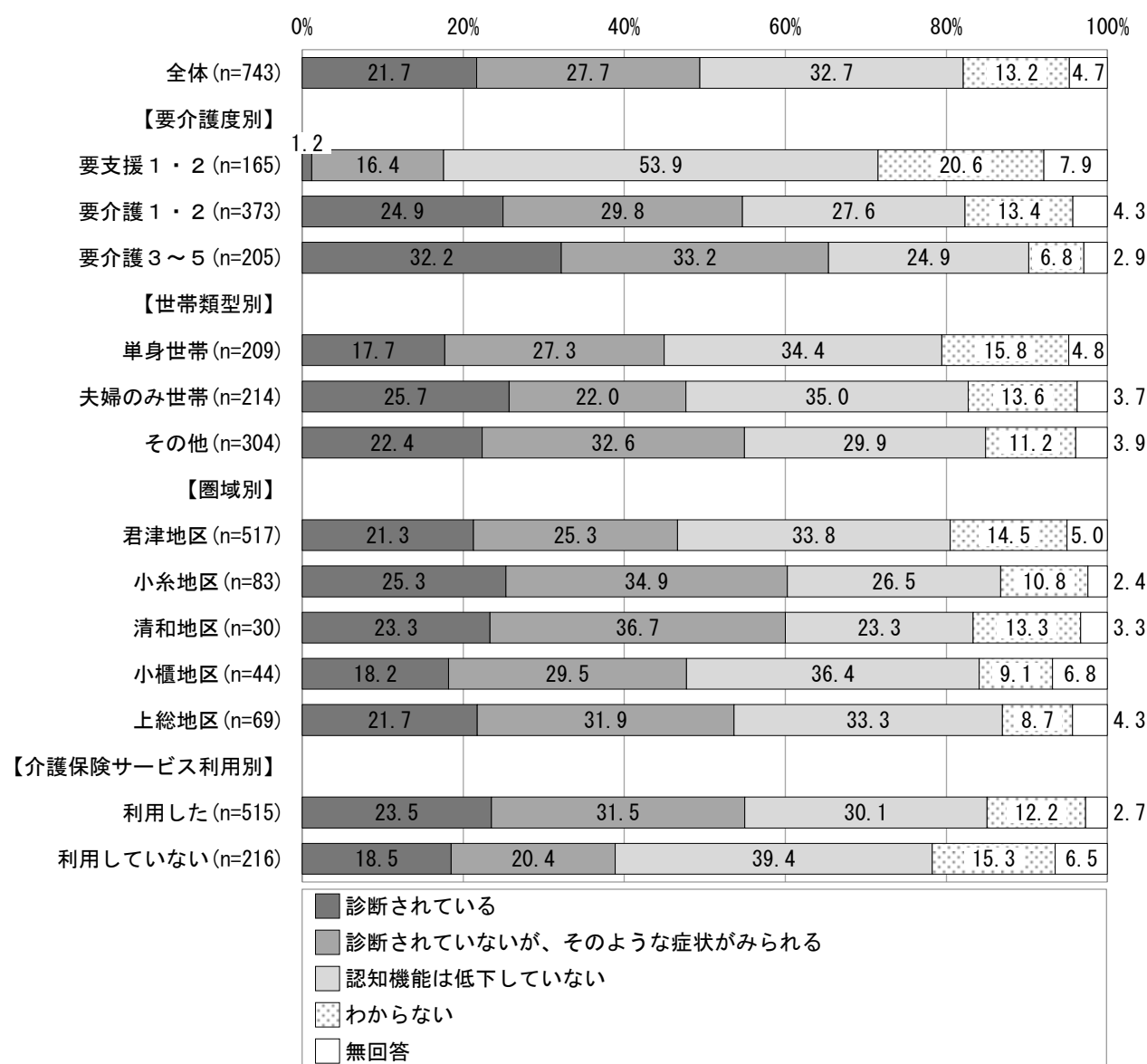


問 12 ご本人は、認知機能の低下がみられますか。または、医師から認知症と診断されていますか

全体では、「認知機能は低下していない」が 32.7%と最も高く、「診断されていないが、そのような症状がみられる」が 27.7%、「診断されている」が 21.7%と続いている。「診断されている」と「診断されていないが、そのような症状がみられる」を合わせた『認知症の症状がみられる』は 49.4%となっている。

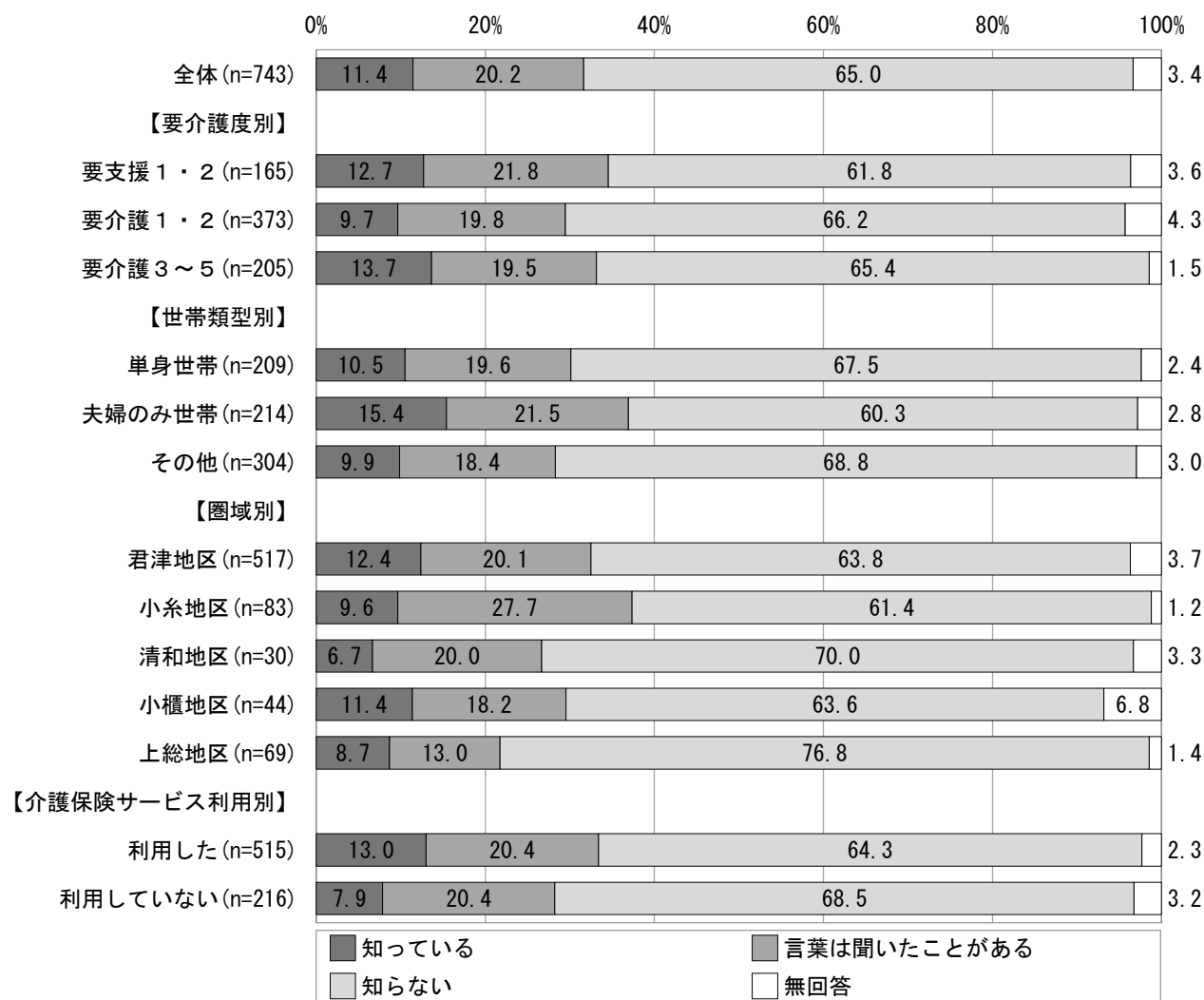
要介護度別では、要介護 3～5 で『認知症の症状がみられる』が 65.4%となっている。

介護保険サービス利用別では、利用したで『認知症の症状がみられる』が 55.0%となっている。



問 13 認知症になっても、すべてのことができなくなるのではなく、
 その人らしく地域で暮らし続けられるという考え方を「新しい認知症観」といいます。
 この言葉や考え方について、どの程度ご存じですか

全体では、「知らない」が65.0%と最も高く、「言葉は聞いたことがある」が20.2%、「知っている」が11.4%と続いている。



問 14 ご本人や家族が認知症になったら不安に感じることは何ですか（3つまで）

全体では、「家族や周囲の人へ負担をかける」が 77.0%と最も高く、「医療や介護への経済的負担」が 40.6%、「介護してくれる人がいるかどうか」が 36.2%と続いている。

(%)	家族や周囲の人へ負担をかける	医療や介護への経済的負担	介護してくれる人がいるかどうか	日常生活や運転が困難になる	性格や行動が変化してしまう	大切な思い出を忘れてしまう	相談や受診先が分からない	ない・わからない	その他	無回答
全体 (n=743)	77.0	40.6	36.2	35.7	23.3	10.2	9.0	5.1	1.5	3.0
【要介護度別】										
要支援 1・2 (n=165)	74.5	35.8	30.9	24.8	26.7	11.5	12.7	7.3	2.4	3.6
要介護 1・2 (n=373)	78.6	38.9	35.1	39.9	20.4	9.9	8.3	4.3	1.9	3.2
要介護 3～5 (n=205)	76.1	47.8	42.4	36.6	25.9	9.8	7.3	4.9	0.0	2.0
【世帯類型別】										
単身世帯 (n=209)	76.6	37.3	36.8	25.8	18.2	9.1	13.4	6.7	2.4	1.0
夫婦のみ世帯 (n=214)	72.0	38.3	42.5	41.1	22.9	10.7	8.9	5.6	1.4	1.9
その他 (n=304)	82.6	44.7	31.9	39.1	28.3	10.9	6.3	3.6	0.7	3.6
【圏域別】										
君津地区 (n=517)	77.0	39.1	35.6	35.0	22.8	10.3	9.5	5.2	1.7	3.1
小糸地区 (n=83)	79.5	41.0	34.9	34.9	24.1	13.3	4.8	8.4	0.0	2.4
清和地区 (n=30)	53.3	53.3	26.7	46.7	20.0	3.3	6.7	6.7	0.0	3.3
小櫃地区 (n=44)	77.3	38.6	45.5	25.0	29.5	11.4	6.8	2.3	4.5	6.8
上総地区 (n=69)	84.1	47.8	40.6	43.5	23.2	8.7	13.0	1.4	0.0	0.0
【介護保険サービス利用別】										
利用した (n=515)	79.8	43.1	35.3	35.7	24.9	10.3	8.0	5.2	1.6	1.6
利用していない (n=216)	72.7	36.6	39.4	37.0	20.8	10.6	11.6	4.6	0.9	3.2

問 15 認知症支援の充実に向けて、行政に特に支援してほしい内容を教えてください

全体では、「介護者向け支援の充実」が48.5%と最も高く、「相談窓口の周知」が13.9%、「望む支援はない、わからない」が10.9%と続いている。

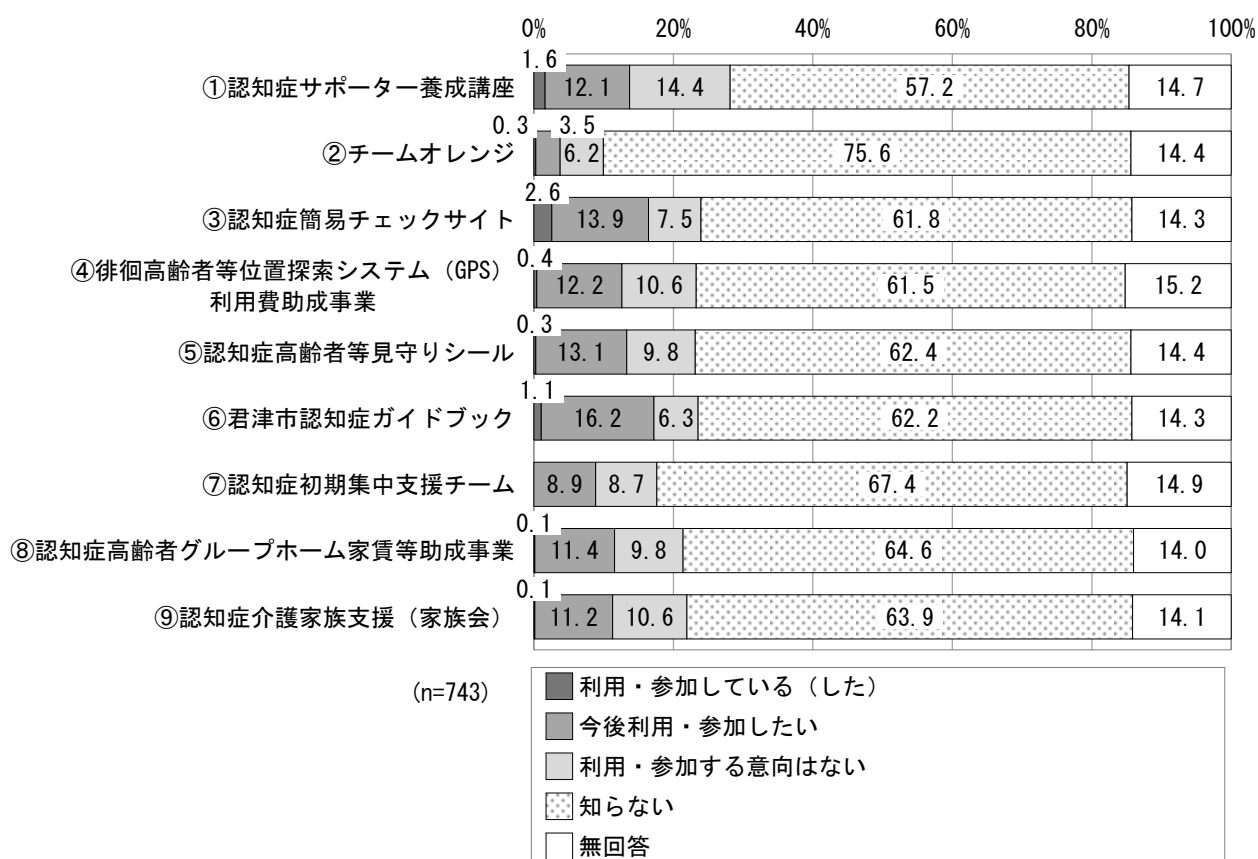
(%)	介護者向け支援の充実	相談窓口の周知	望む支援はない、わからない	本人の声を聴く場や活躍できる場の開設	本人同士の交流の場づくり	支援関係者間の連携	認知症の普及啓発	その他	無回答
全体 (n=743)	48.5	13.9	10.9	7.7	3.0	2.8	1.7	2.8	8.7
【要介護度別】									
要支援1・2 (n=165)	35.2	22.4	12.1	7.3	4.8	3.0	2.4	1.8	10.9
要介護1・2 (n=373)	49.6	11.0	9.9	7.8	2.9	3.8	2.1	4.0	8.8
要介護3～5 (n=205)	57.1	12.2	11.7	7.8	1.5	1.0	0.5	1.5	6.8
【世帯類型別】									
単身世帯 (n=209)	45.5	15.3	12.4	7.7	2.9	4.8	0.5	3.3	7.7
夫婦のみ世帯 (n=214)	49.1	11.7	10.7	7.5	3.3	3.3	2.8	1.9	9.8
その他 (n=304)	51.3	14.5	10.5	7.9	2.3	1.3	2.0	3.3	6.9
【圏域別】									
君津地区 (n=517)	47.8	13.0	12.0	8.3	3.3	1.9	1.2	2.9	9.7
小糸地区 (n=83)	54.2	14.5	7.2	6.0	4.8	4.8	1.2	2.4	4.8
清和地区 (n=30)	43.3	10.0	10.0	6.7	0.0	10.0	3.3	6.7	10.0
小櫃地区 (n=44)	43.2	20.5	6.8	6.8	2.3	2.3	4.5	4.5	9.1
上総地区 (n=69)	52.2	17.4	10.1	5.8	0.0	4.3	4.3	0.0	5.8
【介護保険サービス利用別】									
利用した (n=515)	51.3	13.8	10.3	7.6	3.3	2.9	1.4	3.1	6.4
利用していない (n=216)	43.5	13.9	12.0	8.3	2.3	2.8	2.8	1.9	12.5

問 16 「認知症の取り組み」について伺います

- ①認知症サポーター養成講座
- ②チームオレンジ
- ③認知症簡易チェックサイト
- ④徘徊高齢者等位置探索システム（GPS）利用費助成事業
- ⑤認知症高齢者等見守りシール
- ⑥君津市認知症ガイドブック
- ⑦認知症初期集中支援チーム
- ⑧認知症高齢者グループホーム家賃等助成事業
- ⑨認知症介護家族支援（家族会）

「利用・参加している（した）」の割合をみると、＜③認知症簡易チェックサイト＞が 2.6%と最も高くなっている。また、「今後利用・参加したい」の割合をみると、＜⑥君津市認知症ガイドブック＞が 16.2%と最も高くなっている。

一方、「知らない」の割合をみると、＜②チームオレンジ＞が 75.6%と最も高く、＜⑦認知症初期集中支援チーム＞が 67.4%、＜⑧認知症高齢者グループホーム家賃等助成事業＞が 64.6%と続いている。



問 17 認知症になっても暮らしやすい社会になるために、あなたが必要だと思うことは何ですか
(3つまで)

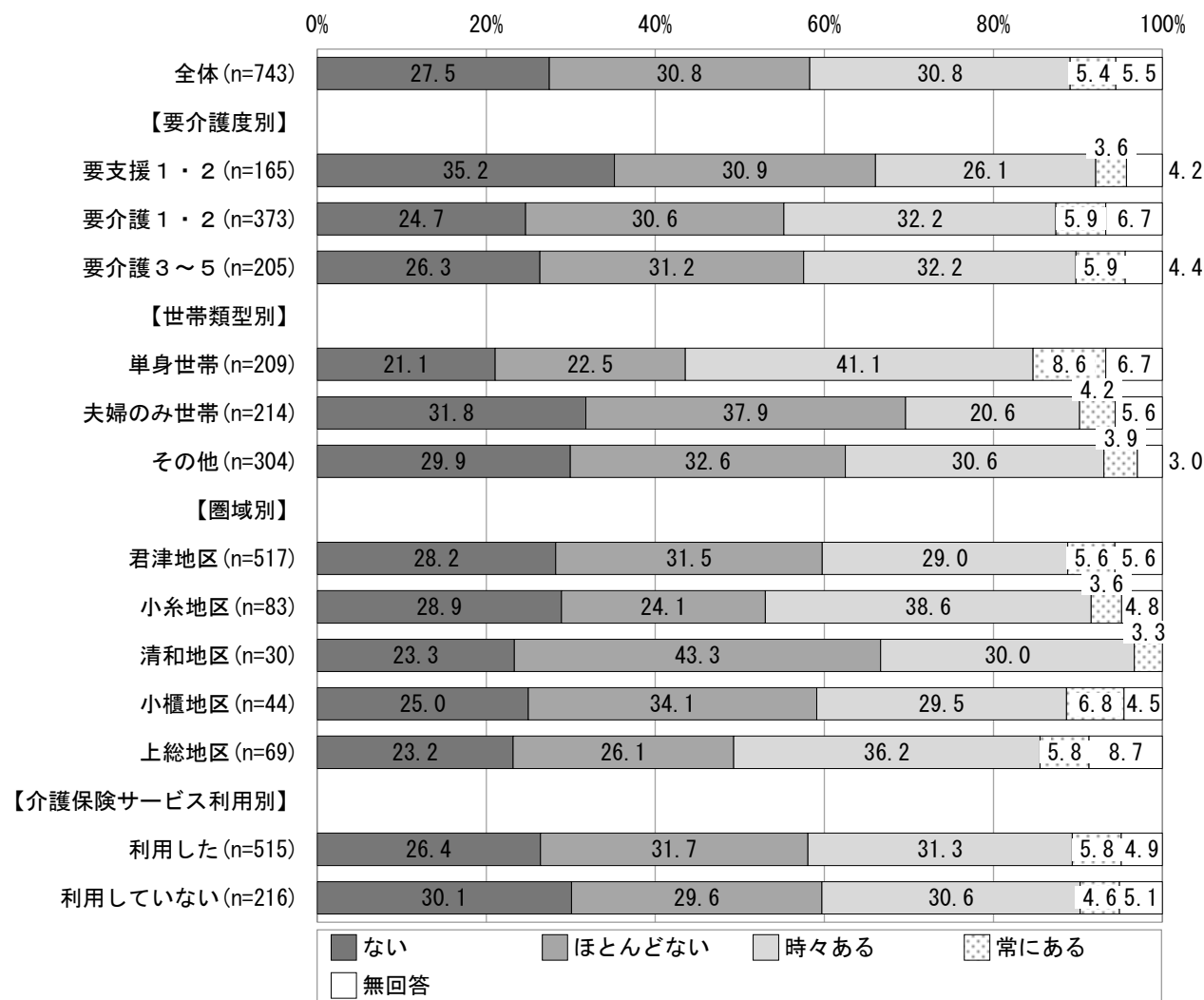
全体では、「緊急時に、家族に代わって介護する人や施設の確保」が 57.2%と最も高く、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」が 52.8%、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」が 40.5%と続いている。

(%)	緊急時に、 介護する人 や施設に代 わって確保	医療・介護 利用できる だけ早い段 階から、サ ポートを	認知症の ことを相 談できる 窓口・体 制の充実	住民全 体が認知 症への正 しい理 解を深め ること	認知症 の人や介 護者の支 援を	認知症 の人を地 域で見守 り	認知症 の人が安 心して活 動や参加 できる場	介護者同 士が気軽 に交流や 情報交換 できる機 会や場所	特になし	無回答
全体 (n=743)	57.2	52.8	40.5	28.4	18.7	16.8	15.2	10.9	4.3	5.1
【要介護度別】										
要支援 1・2 (n=165)	52.1	49.7	38.2	31.5	10.3	15.2	18.2	8.5	5.5	7.9
要介護 1・2 (n=373)	55.2	50.9	44.0	27.1	18.5	18.8	16.1	12.3	3.2	5.4
要介護 3～5 (n=205)	64.9	58.5	36.1	28.3	25.9	14.6	11.2	10.2	5.4	2.4
【世帯類型別】										
単身世帯 (n=209)	49.8	51.2	37.3	25.4	16.3	15.3	16.3	8.6	5.7	6.2
夫婦のみ世帯 (n=214)	59.8	55.1	43.0	30.4	14.5	22.4	14.0	12.1	3.7	2.8
その他 (n=304)	61.5	53.9	41.4	29.6	24.0	14.5	15.5	11.8	3.9	3.9
【圏域別】										
君津地区 (n=517)	56.7	52.4	40.2	29.6	18.4	16.4	16.2	12.8	4.1	4.8
小糸地区 (n=83)	60.2	51.8	38.6	24.1	19.3	16.9	15.7	6.0	6.0	4.8
清和地区 (n=30)	50.0	46.7	36.7	30.0	23.3	16.7	10.0	13.3	3.3	10.0
小櫃地区 (n=44)	61.4	54.5	40.9	18.2	20.5	18.2	6.8	2.3	4.5	9.1
上総地区 (n=69)	58.0	58.0	46.4	30.4	17.4	18.8	14.5	7.2	4.3	2.9
【介護保険サービス利用別】										
利用した (n=515)	59.0	53.4	39.2	28.2	20.0	16.9	14.8	9.5	4.9	3.7
利用していない (n=216)	54.2	52.3	45.4	29.6	16.2	16.2	17.1	14.4	3.2	6.0

問 18 ご本人は孤独であると感じることがありますか

全体では、「ほとんどない」と「時々ある」が、それぞれ 30.8%と最も高く、「ない」が 27.5%と続いている。

要介護度別では、要支援 1・2 で「ない」が 35.2%と高くなっている。



問 19 孤独であると感じる原因は何ですか（いくつでも）

※問 18 で「時々ある」「常にある」と回答した方に質問

全体では、「心身の不調」が 46.8%と最も高く、「ひとり暮らし」が 32.0%、「金銭的な困難」が 21.6%と続いている。

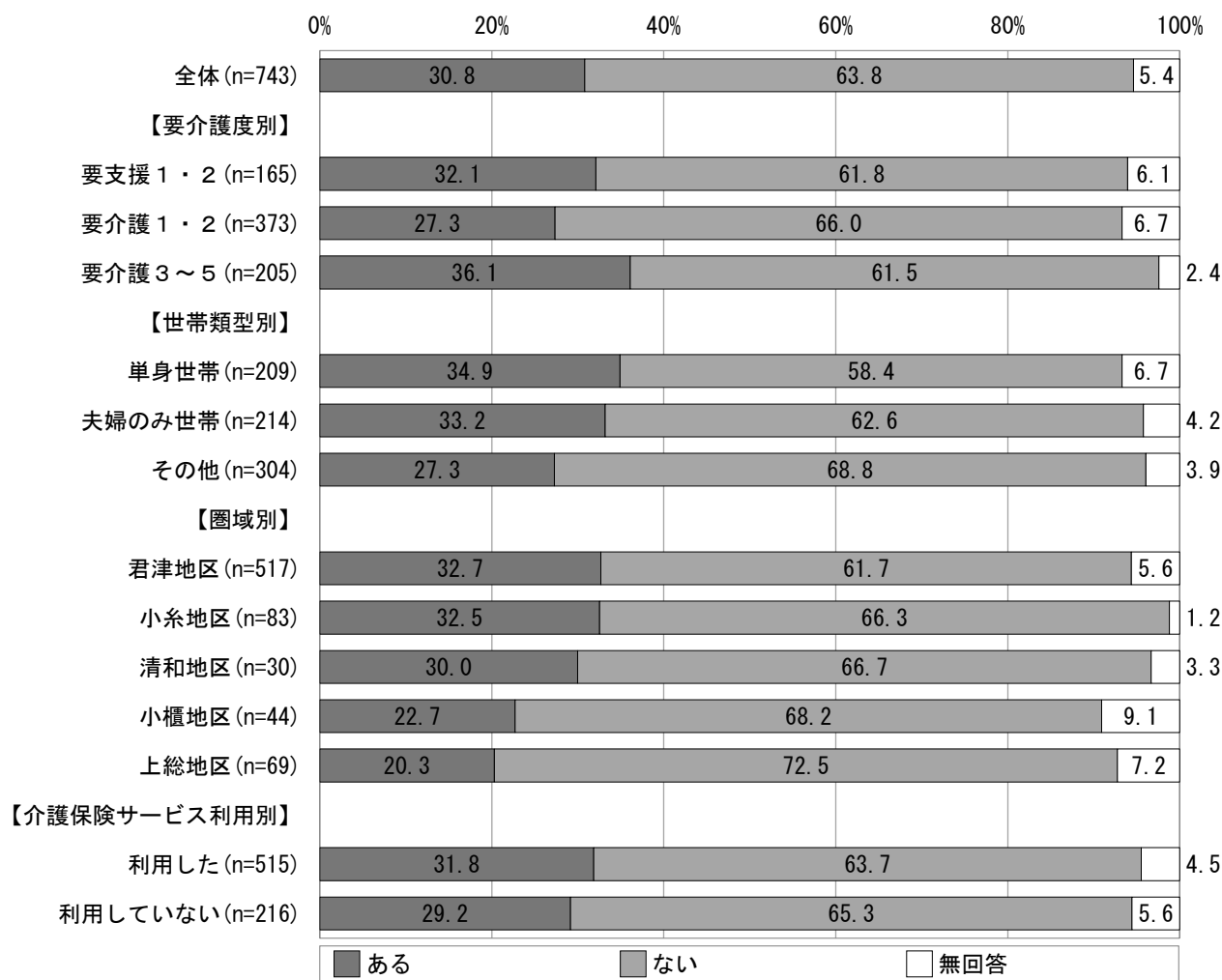
世帯類型別では、単身世帯で「ひとり暮らし」が 73.1%と高くなっている。

介護保険サービス利用別では「金銭的な困難」は、利用していない（32.9%）が利用した（17.3%）を 15.6 ポイント上回っている。

(%)	心身の 不調	ひとり 暮らし	金銭的 な困難	親しい 人の死別	家族との 離別・死別	家族の 介護	家族の 病気・障がい	家族・ 人間関係の トラブル	災害・ 犯罪被害	転居	失業・ 求職	転職・ 離職	その他	特 に な い	無 回 答
全体 (n=269)	46.8	32.0	21.6	19.7	19.0	15.2	13.4	11.9	6.3	4.1	2.2	1.5	8.6	2.2	2.2
【要介護度別】															
要支援 1・2 (n=49)	36.7	55.1	22.4	16.3	12.2	4.1	10.2	10.2	2.0	2.0	4.1	2.0	6.1	4.1	2.0
要介護 1・2 (n=142)	45.8	31.0	19.7	23.9	22.5	14.8	12.0	12.7	9.9	2.8	1.4	1.4	10.6	1.4	2.1
要介護 3～5 (n=78)	55.1	19.2	24.4	14.1	16.7	23.1	17.9	11.5	2.6	7.7	2.6	1.3	6.4	2.6	2.6
【世帯類型別】															
単身世帯 (n=104)	39.4	73.1	18.3	20.2	19.2	6.7	4.8	6.7	10.6	3.8	3.8	1.9	3.8	1.0	1.0
夫婦のみ世帯 (n=53)	66.0	3.8	32.1	13.2	9.4	26.4	37.7	11.3	5.7	1.9	0.0	0.0	7.5	1.9	3.8
その他 (n=105)	45.7	3.8	20.0	21.9	22.9	18.1	10.5	17.1	2.9	4.8	1.9	1.9	13.3	3.8	2.9
【圏域別】															
君津地区 (n=179)	44.1	35.8	21.8	20.7	19.0	14.0	12.3	12.8	5.0	5.0	2.8	1.7	8.4	2.2	2.2
小糸地区 (n=35)	48.6	22.9	14.3	20.0	17.1	20.0	17.1	8.6	5.7	0.0	0.0	2.9	5.7	2.9	2.9
清和地区 (n=10)	60.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0
小櫃地区 (n=16)	68.8	18.8	25.0	18.8	12.5	12.5	18.8	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0
上総地区 (n=29)	44.8	37.9	27.6	13.8	24.1	17.2	10.3	6.9	10.3	6.9	0.0	0.0	10.3	0.0	3.4
【介護保険サービス利用別】															
利用した (n=191)	48.7	29.8	17.3	18.8	16.8	15.7	14.1	13.6	5.2	4.2	2.6	1.0	9.4	2.1	2.1
利用していない (n=76)	43.4	38.2	32.9	22.4	23.7	14.5	11.8	7.9	9.2	3.9	1.3	1.3	6.6	1.3	2.6

問 20 ご本人が将来、最期を迎える場所について、家族や支援者等と話し合ったことがありますか

全体では、「ある」が 30.8%、「ない」が 63.8%となっている。



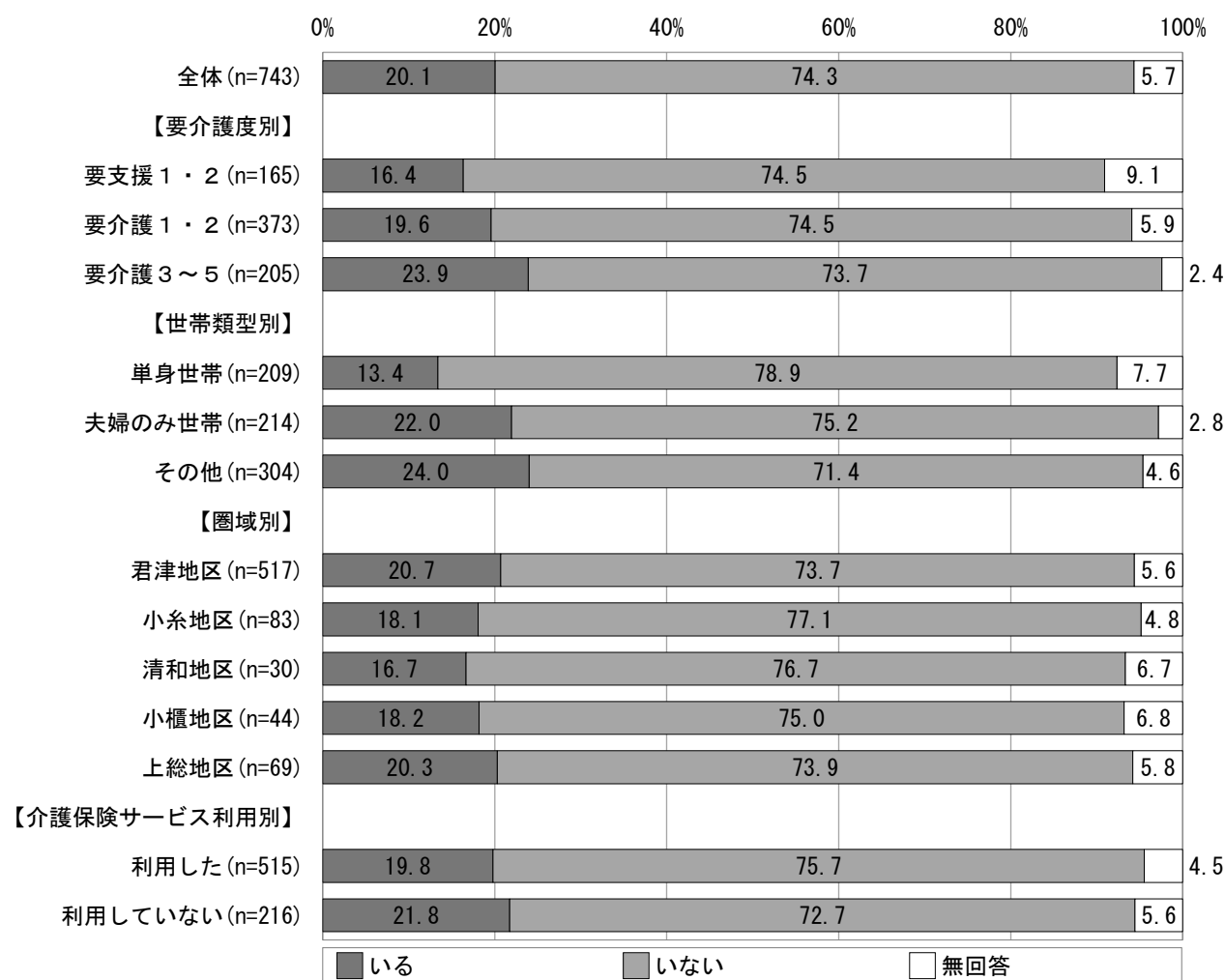
問 21 終活の準備や亡くなった後の事務について、支援を受けたいと思うことは何ですか
(いくつでも)

全体では、「ない・わからない」が 39.2%と最も高く、「各種手続きの代行（届出・公共料金等）」が 30.8%、「家財整理・住まいの手続き（解約・撤去等）」が 22.5%と続いている。

(%)	ない・わからない	(届出・各種手続きの代行・公共料金等)	家財整理・住まいの手続き（解約・撤去等）	終活や死後事務の相談・事業者紹介	葬儀・納骨の手続き	生前の見守り・身元保証	エンディングノート・遺言書作成	その他	無回答
全体 (n=743)	39.2	30.8	22.5	19.8	18.8	8.9	8.1	2.8	9.0
【要介護度別】									
要支援 1・2 (n=165)	35.8	25.5	23.0	15.8	13.9	9.7	10.9	6.1	13.3
要介護 1・2 (n=373)	39.7	31.4	20.9	21.4	18.2	9.1	7.8	1.9	8.8
要介護 3～5 (n=205)	41.0	34.1	24.9	20.0	23.9	7.8	6.3	2.0	5.9
【世帯類型別】									
単身世帯 (n=209)	41.6	27.8	27.8	16.3	18.7	9.6	9.6	3.3	7.7
夫婦のみ世帯 (n=214)	30.8	36.9	25.2	20.6	23.4	8.9	6.5	3.7	9.3
その他 (n=304)	44.1	28.9	17.1	22.0	16.1	8.6	7.6	2.0	8.2
【圏域別】									
君津地区 (n=517)	37.1	31.5	24.4	19.9	19.3	8.9	9.5	3.1	8.5
小糸地区 (n=83)	32.5	32.5	19.3	26.5	12.0	9.6	7.2	1.2	13.3
清和地区 (n=30)	50.0	26.7	20.0	16.7	16.7	16.7	6.7	6.7	3.3
小櫃地区 (n=44)	50.0	27.3	20.5	11.4	22.7	6.8	4.5	0.0	11.4
上総地区 (n=69)	50.7	27.5	14.5	17.4	21.7	5.8	1.4	2.9	8.7
【介護保険サービス利用別】									
利用した (n=515)	42.1	28.3	20.4	18.6	16.7	9.1	5.4	2.5	8.0
利用していない (n=216)	33.3	38.0	27.8	23.1	24.5	8.3	14.4	3.7	9.3

問 22 ご本人以外のご家族で成人していて（学生は除く）働いていない（所得のない）方はいいますか

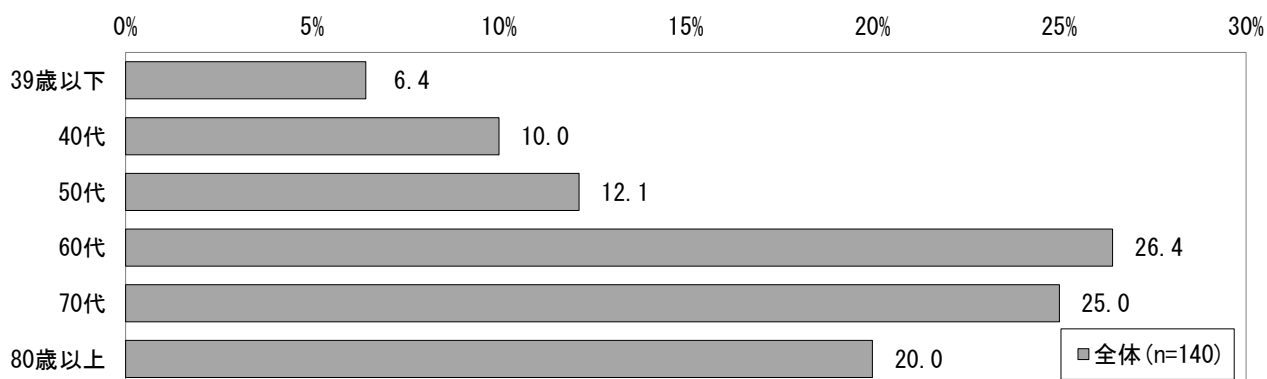
全体では、「いる」が 20.1%、「いない」が 74.3%となっている。



問 22 その方は何歳ですか（数字を入力）

※問 22 で「いる」と回答した方に質問（無回答を除く）

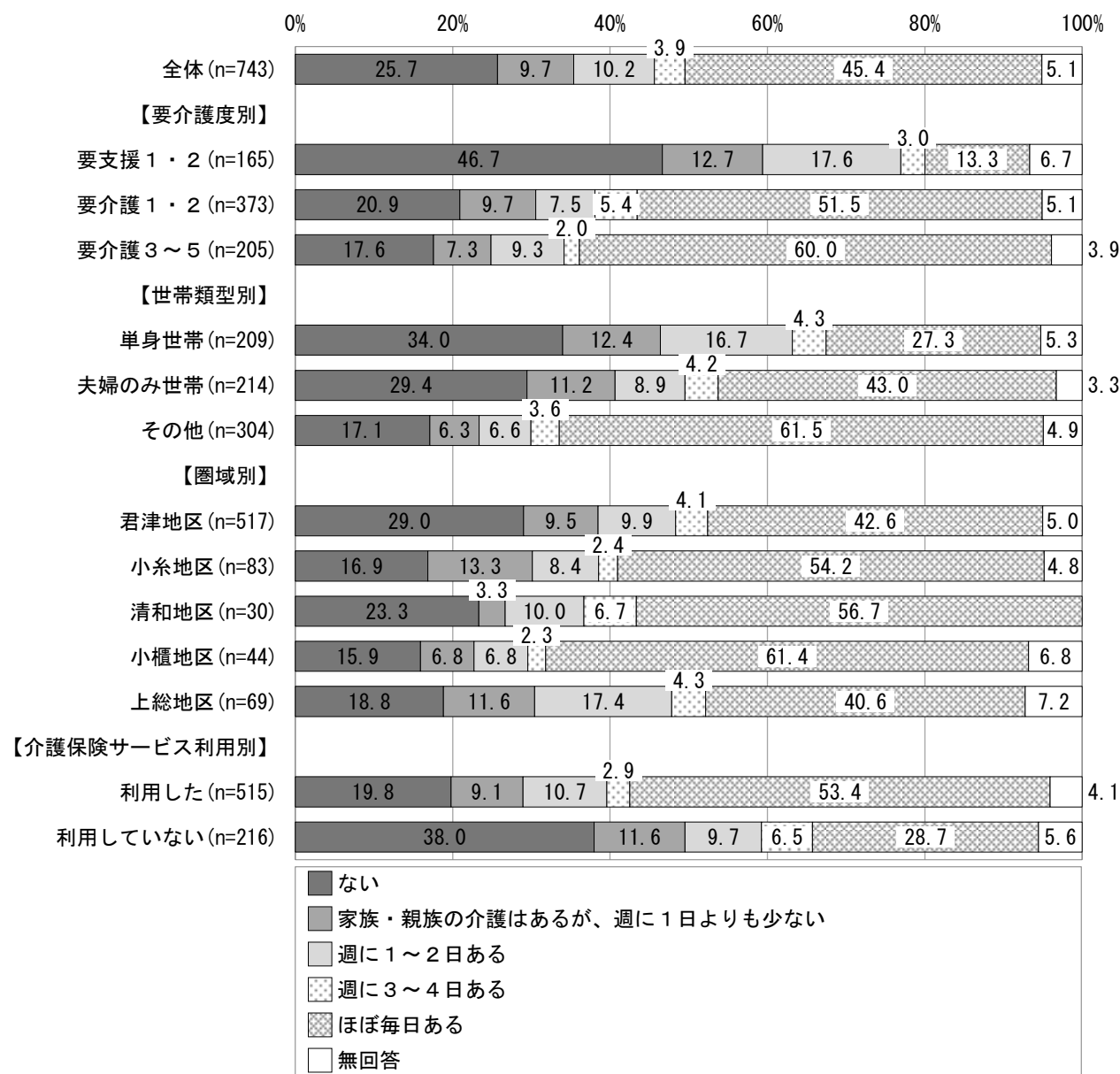
全体では、60代が 26.4%と最も高くなっている。



問 23 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)

全体では、「ほぼ毎日ある」が45.4%と最も高く、「ない」が25.7%、「週に1～2日ある」が10.2%と続いている。

介護保険サービス利用別では「ほぼ毎日ある」は、利用した(53.4%)が利用していない(28.7%)を24.7ポイント上回っている。



B 票 主な介護者の方について、お伺いします

※B 票は、A 票問 23 で「ない」以外を回答した方に質問

問 1 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 66.1%と最も高く、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 8.8%、「わからない」が 5.6%と続いている。

(%)	介護の 家族・に 仕事は 辞めた	主な 介護者 が仕事 を辞めた (転職 除く)	わ か ら な い	主 な 介 護 者 が 転 職 し た	主 な 介 護 者 以 外 の 家 族 ・ 親 族 が (転職 除く)	主 な 介 護 者 以 外 の 家 族 ・ 親 族 が 転 職 し た	無 回 答
全体 (n=514)	66.1	8.8	5.6	2.5	1.8	1.0	15.2
【要介護度別】							
要支援 1・2 (n=77)	67.5	6.5	5.2	0.0	0.0	0.0	20.8
要介護 1・2 (n=276)	68.8	5.4	6.2	2.9	2.2	1.4	14.9
要介護 3～5 (n=161)	60.9	15.5	5.0	3.1	1.9	0.6	13.0
【世帯類型別】							
単身世帯 (n=127)	60.6	11.8	7.1	4.7	2.4	0.8	13.4
夫婦のみ世帯 (n=144)	63.2	9.0	5.6	0.7	1.4	1.4	20.8
その他 (n=237)	71.7	7.2	5.1	2.5	1.7	0.8	11.4
【圏域別】							
君津地区 (n=341)	67.2	7.0	5.3	2.6	2.1	1.2	15.8
小糸地区 (n=65)	66.2	10.8	4.6	3.1	1.5	1.5	13.8
清和地区 (n=23)	73.9	8.7	8.7	0.0	4.3	0.0	4.3
小櫃地区 (n=34)	58.8	11.8	8.8	2.9	0.0	0.0	17.6
上総地区 (n=51)	60.8	15.7	5.9	2.0	0.0	0.0	15.7
【介護保険サービス利用別】							
利用した (n=392)	66.8	9.4	4.8	3.3	2.0	1.3	13.5
利用していない (n=122)	63.9	6.6	8.2	0.0	0.8	0.0	20.5

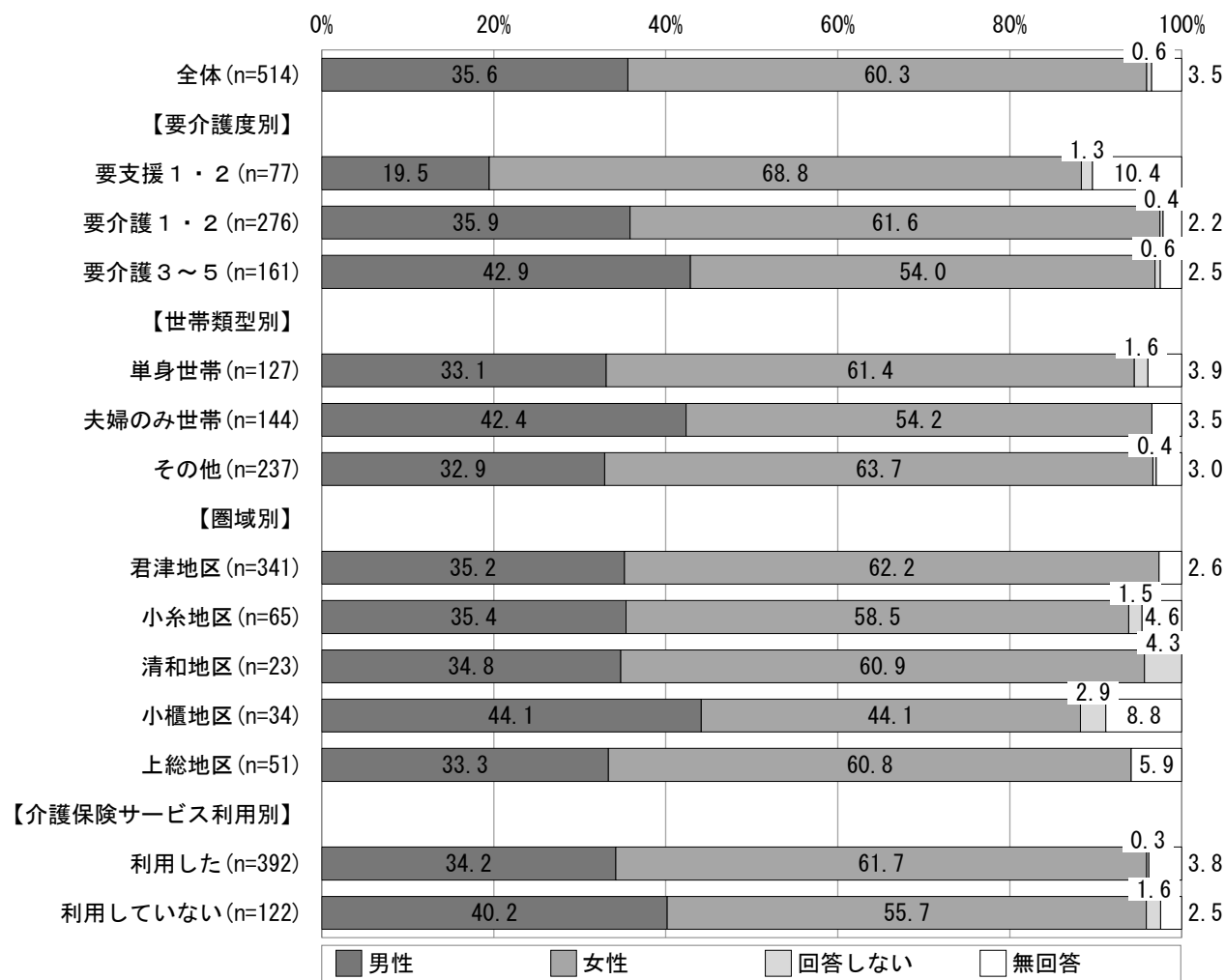
問2 主な介護者の方は、どなたですか

全体では、「子」が49.6%と最も高く、「配偶者」が35.6%、「子の配偶者」が6.0%と続いている。
世帯類型別では、夫婦のみ世帯で「配偶者」が78.5%と高くなっている。

(%)	子	配偶者	子の配偶者	兄弟・姉妹	孫	その他	無回答
全体 (n=514)	49.6	35.6	6.0	1.4	0.4	2.5	4.5
【要介護度別】							
要支援1・2 (n=77)	62.3	18.2	5.2	0.0	0.0	5.2	9.1
要介護1・2 (n=276)	47.8	37.7	6.2	1.8	0.4	2.2	4.0
要介護3～5 (n=161)	46.6	40.4	6.2	1.2	0.6	1.9	3.1
【世帯類型別】							
単身世帯 (n=127)	79.5	0.8	6.3	3.1	0.0	5.5	4.7
夫婦のみ世帯 (n=144)	14.6	78.5	0.7	0.7	0.0	0.7	4.9
その他 (n=237)	54.9	28.3	9.3	0.8	0.8	2.1	3.8
【圏域別】							
君津地区 (n=341)	50.4	38.4	3.8	0.9	0.3	2.3	3.8
小糸地区 (n=65)	49.2	30.8	9.2	1.5	1.5	1.5	6.2
清和地区 (n=23)	34.8	34.8	17.4	8.7	0.0	4.3	0.0
小櫃地区 (n=34)	44.1	38.2	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9
上総地区 (n=51)	54.9	21.6	11.8	2.0	0.0	2.0	7.8
【介護保険サービス利用別】							
利用した (n=392)	53.1	32.1	5.9	1.5	0.3	2.3	4.8
利用していない (n=122)	38.5	46.7	6.6	0.8	0.8	3.3	3.3

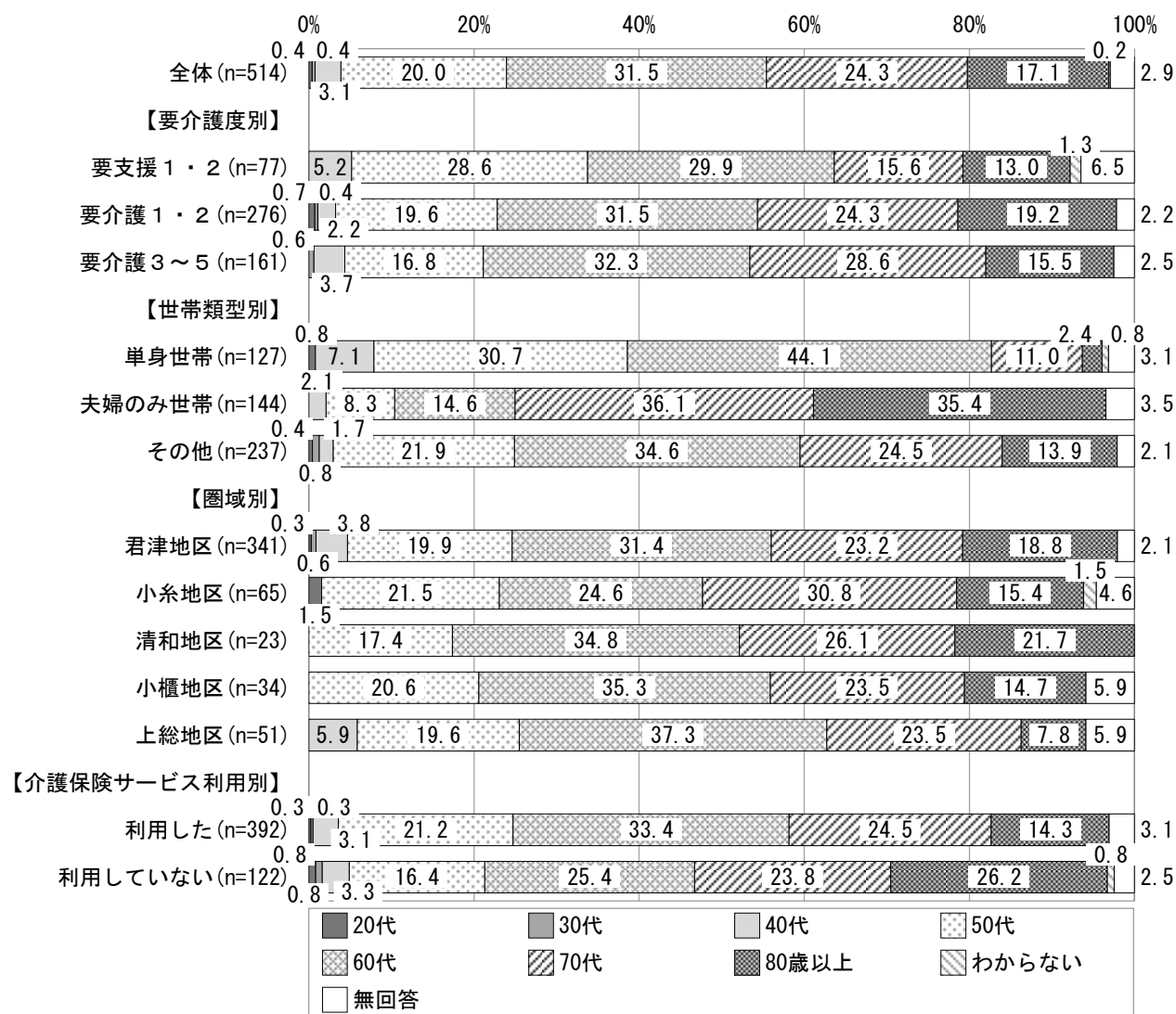
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください

全体では、「女性」が60.3%と最も高く、「男性」が35.6%、「回答しない」が0.6%と続いている。
 要介護度別では、要支援1・2で「女性」が68.8%と高くなっている。
 圏域別では、小櫃地区で「男性」が44.1%と高くなっている。



問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

全体では、「60代」が31.5%と最も高く、「70代」が24.3%、「50代」が20.0%と続いている。



※「20歳未満」との回答は見られない

問5 現在、主な介護者の方の在学状況について、ご回答ください

※問4で「20歳未満」と回答した方に質問

該当者なし。

問6 休学や在学していない理由について、ご回答ください

※問5で「休学中」「在学していない」と回答した方に質問

該当者なし。

問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（いくつでも）

全体では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が80.7%と最も高く、「外出の付き添い、送迎等」が74.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が73.5%と続いている。

世帯類型別では、単身世帯で「外出の付き添い、送迎等」が73.2%と高くなっている。

(%)	(掃除、洗濯、 その他の家事)	外出の付き添い、 送迎等	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	食事の準備（調理等）	服薬	衣服の着脱	入浴・洗身	屋内の移乗・移動	身だしなみ（洗顔・ 歯磨き等）	認知症状への対応	日中の排泄	食事の介助（食べる時）	夜間の排泄	(経管栄養、医療面での 対応等)	その他	わからない	無回答
全体 (n=514)	80.7	74.1	73.5	73.3	50.8	41.1	26.8	26.7	25.3	25.3	24.5	22.6	21.8	10.3	7.4	0.4	3.3
【要介護度別】																	
要支援1・2 (n=77)	67.5	67.5	39.0	40.3	10.4	9.1	10.4	3.9	0.0	3.9	1.3	2.6	0.0	3.9	6.5	1.3	7.8
要介護1・2 (n=276)	81.5	77.9	76.1	76.1	51.4	33.3	26.8	17.0	18.8	26.4	14.1	14.9	13.0	10.1	9.1	0.4	2.5
要介護3～5 (n=161)	85.7	70.8	85.7	84.5	68.9	69.6	34.8	54.0	48.4	33.5	53.4	45.3	47.2	13.7	5.0	0.0	2.5
【世帯類型別】																	
単身世帯 (n=127)	66.9	73.2	66.9	51.2	37.0	25.2	14.2	17.3	19.7	16.5	15.7	14.2	12.6	10.2	11.8	1.6	3.1
夫婦のみ世帯 (n=144)	84.7	66.0	77.1	79.9	51.4	50.0	35.4	34.7	30.6	25.7	30.6	27.8	29.2	13.9	6.3	0.0	4.9
その他 (n=237)	86.1	81.0	75.1	81.4	58.2	44.3	28.7	27.4	24.9	30.0	25.7	24.1	22.4	8.4	5.9	0.0	2.1
【圏域別】																	
君津地区 (n=341)	79.8	76.0	73.0	72.4	49.6	41.1	26.7	27.6	25.8	24.9	23.8	21.1	21.1	10.6	8.2	0.0	2.9
小糸地区 (n=65)	80.0	73.8	73.8	72.3	52.3	30.8	24.6	26.2	29.2	27.7	27.7	23.1	21.5	13.8	6.2	1.5	4.6
清和地区 (n=23)	87.0	69.6	87.0	82.6	43.5	47.8	21.7	17.4	17.4	26.1	21.7	21.7	30.4	13.0	4.3	0.0	0.0
小櫃地区 (n=34)	91.2	70.6	73.5	82.4	55.9	44.1	41.2	29.4	20.6	29.4	20.6	26.5	20.6	2.9	8.8	0.0	2.9
上総地区 (n=51)	78.4	66.7	70.6	70.6	56.9	49.0	23.5	23.5	23.5	21.6	29.4	29.4	23.5	7.8	3.9	2.0	5.9
【介護保険サービス利用別】																	
利用した (n=392)	83.2	77.3	76.3	74.5	54.3	43.1	26.3	26.5	27.8	26.3	26.0	24.2	22.7	11.5	6.9	0.3	3.1
利用していない (n=122)	73.0	63.9	64.8	69.7	39.3	34.4	28.7	27.0	17.2	22.1	19.7	17.2	18.9	6.6	9.0	0.8	4.1

問8 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで）

全体では、「夜間の排泄」が34.8%と最も高く、「認知症状への対応」が28.6%、「外出の付き添い、送迎等」が27.2%と続いている。

(%)	夜間の排泄	認知症状への対応	外出の付き添い、送迎等	日中の排泄	入浴・洗身	食事の準備（調理等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	（掃除、洗濯、買い物等） その他の家事	屋内の移乗・移動	服薬	（経管栄養、医療面での対応） ストーマ等	食事の介助（食べる時）	衣服の着脱	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体 (n=514)	34.8	28.6	27.2	25.3	23.2	22.8	17.1	16.9	11.1	9.1	9.1	8.8	8.8	5.3	4.3	6.8	2.1	10.1
【要介護度別】																		
要支援 1・2 (n=77)	19.5	16.9	27.3	13.0	23.4	18.2	14.3	20.8	7.8	2.6	6.5	2.6	10.4	3.9	2.6	11.7	5.2	20.8
要介護 1・2 (n=276)	36.6	29.3	29.3	25.7	27.2	22.8	18.8	17.4	10.5	11.2	8.7	6.9	8.0	5.1	4.7	5.4	2.2	9.4
要介護 3～5 (n=161)	39.1	32.9	23.6	30.4	16.1	24.8	15.5	14.3	13.7	8.7	11.2	14.9	9.3	6.2	4.3	6.8	0.6	6.2
【世帯類型別】																		
単身世帯 (n=127)	20.5	24.4	26.0	21.3	18.1	20.5	11.8	11.8	7.1	6.3	9.4	8.7	3.9	3.9	2.4	8.7	3.9	13.4
夫婦のみ世帯 (n=144)	29.2	25.7	29.2	18.1	27.8	27.8	23.6	22.9	16.7	11.8	9.7	9.0	12.5	6.3	5.6	4.9	0.7	12.5
その他 (n=237)	46.0	32.5	27.0	32.1	22.8	20.7	15.6	15.6	10.1	8.4	8.4	8.4	8.0	4.2	4.6	6.8	2.1	7.2
【圏域別】																		
君津地区 (n=341)	32.0	29.3	29.6	20.8	22.3	23.5	18.2	17.0	9.1	10.6	8.2	8.2	8.2	5.6	4.1	8.5	1.5	10.6
小糸地区 (n=65)	33.8	30.8	26.2	32.3	24.6	16.9	12.3	18.5	15.4	9.2	10.8	13.8	6.2	3.1	4.6	6.2	3.1	9.2
清和地区 (n=23)	43.5	30.4	17.4	39.1	13.0	13.0	8.7	17.4	17.4	8.7	4.3	8.7	4.3	4.3	4.3	0.0	8.7	4.3
小櫃地区 (n=34)	38.2	14.7	23.5	29.4	38.2	17.6	14.7	23.5	11.8	2.9	8.8	2.9	8.8	2.9	8.8	0.0	2.9	17.6
上総地区 (n=51)	49.0	29.4	19.6	37.3	21.6	33.3	21.6	9.8	15.7	3.9	15.7	9.8	17.6	7.8	2.0	3.9	2.0	5.9
【介護保険サービス利用別】																		
利用した (n=392)	37.0	30.6	24.5	27.6	21.7	21.9	16.1	15.3	9.7	9.2	8.9	8.9	9.2	4.8	3.6	7.1	2.0	9.4
利用していない (n=122)	27.9	22.1	36.1	18.0	27.9	25.4	20.5	22.1	15.6	9.0	9.8	8.2	7.4	6.6	6.6	5.7	2.5	12.3

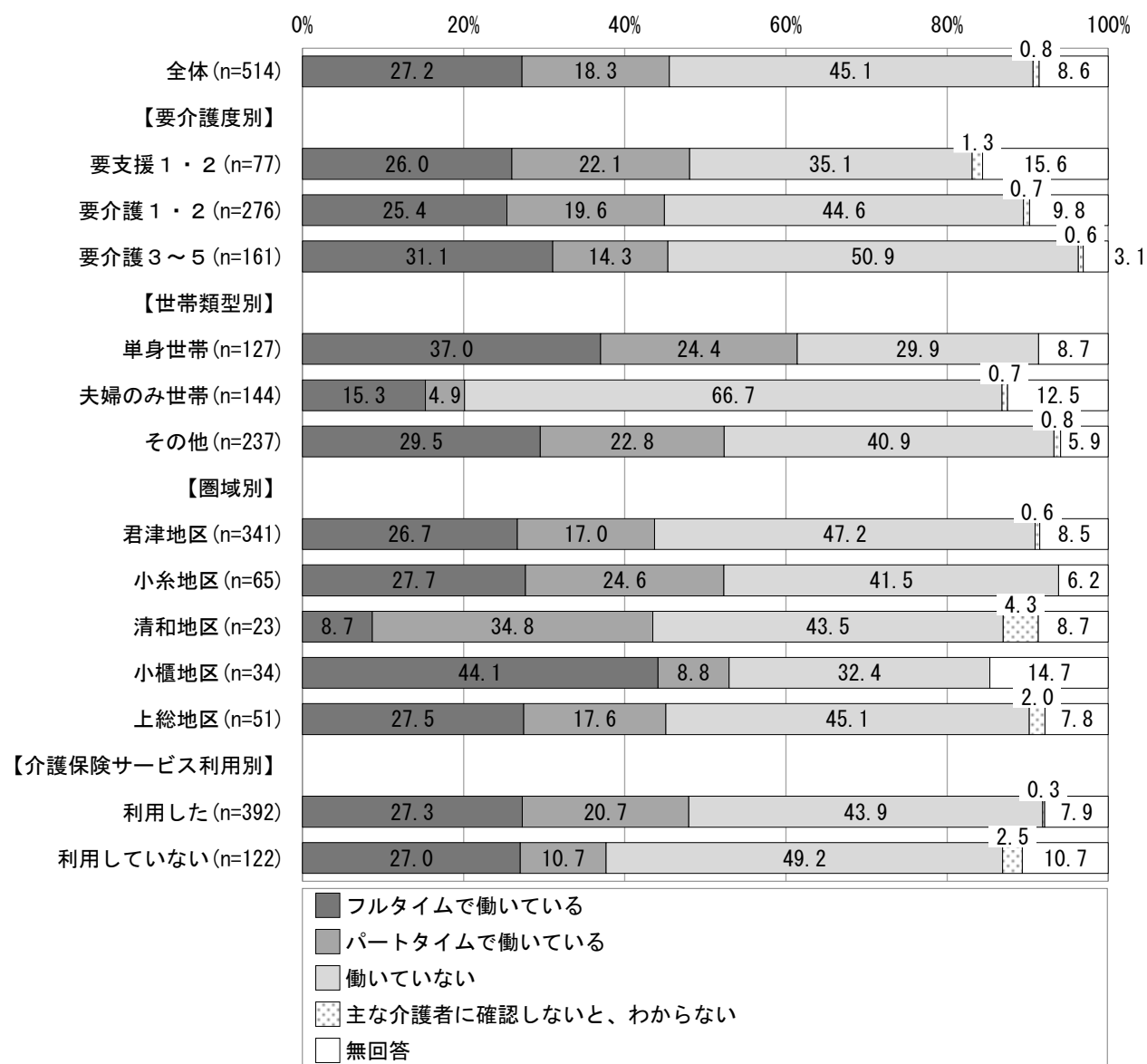
問9 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください

全体では、「働いていない」が45.1%と最も高く、「フルタイムで働いている」が27.2%、「パートタイムで働いている」が18.3%と続いている。

要介護度別では、要介護3～5で「働いていない」が50.9%と高くなっている。

世帯類型別では、単身世帯で「フルタイムで働いている」が37.0%と高くなっている。

圏域別では、小櫃地区で「フルタイムで働いている」が44.1%と高くなっている。



問 10 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
(いくつでも)

※問9で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に質問

全体では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 38.0%と最も高く、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 32.5%、「特に行っていない」が 29.9%と続いている。

(%)	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用している	介護のために、左記以外の調整をしている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体 (n=234)	29.9	38.0	32.5	4.7	13.2	0.9	2.1
【要介護度別】							
要支援 1・2 (n=37)	51.4	35.1	21.6	0.0	5.4	0.0	2.7
要介護 1・2 (n=124)	25.0	40.3	29.8	5.6	13.7	0.8	2.4
要介護 3～5 (n=73)	27.4	35.6	42.5	5.5	16.4	1.4	1.4
【世帯類型別】							
単身世帯 (n=78)	37.2	30.8	28.2	5.1	14.1	1.3	1.3
夫婦のみ世帯 (n=29)	27.6	37.9	44.8	13.8	17.2	3.4	3.4
その他 (n=124)	25.0	43.5	33.1	2.4	11.3	0.0	2.4
【圏域別】							
君津地区 (n=149)	30.2	37.6	31.5	6.0	12.8	0.7	3.4
小糸地区 (n=34)	23.5	44.1	23.5	2.9	17.6	2.9	0.0
清和地区 (n=10)	40.0	40.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0
小櫃地区 (n=18)	33.3	38.9	55.6	0.0	11.1	0.0	0.0
上総地区 (n=23)	30.4	30.4	39.1	4.3	13.0	0.0	0.0
【介護保険サービス利用別】							
利用した (n=188)	28.7	38.3	31.4	5.3	14.4	1.1	2.1
利用していない (n=46)	34.8	37.0	37.0	2.2	8.7	0.0	2.2

問 11 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、

仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで）

※問9で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に質問

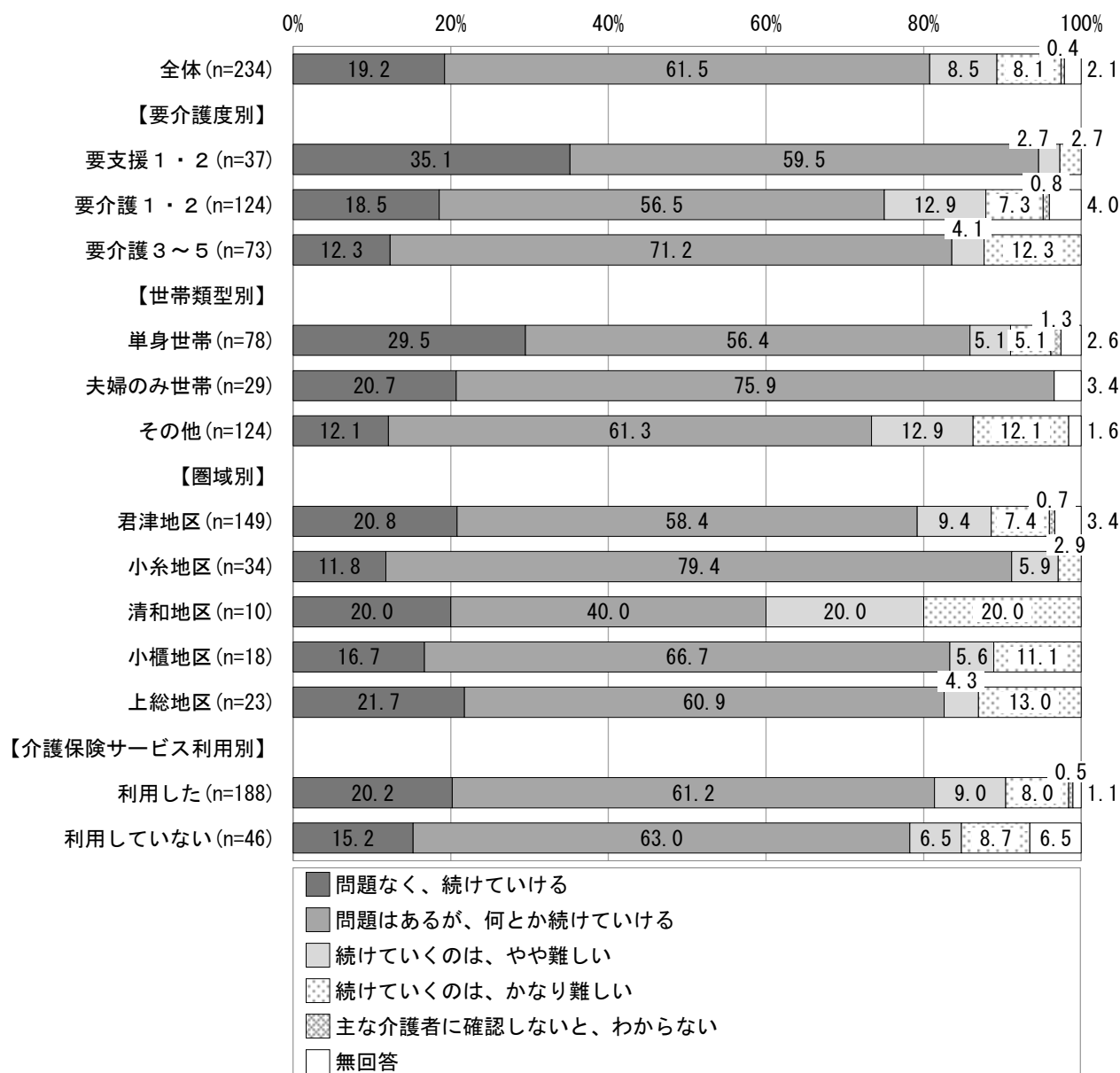
全体では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 31.6%と最も高く、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 28.6%、「制度を利用しやすい職場づくり」が 23.5%と続いている。

(%)	介護休業・介護休暇等の制度の充実	介護をしている従業員への経済的な支援	制度を利用しやすい職場づくり	(フレックスタイトム制など) 労働時間の柔軟な選択	自営業・フリーランス等のため、勤め先は選択しない	仕事と介護の両立に関する情報の提供	(在宅勤務・テレワークなど) 働く場所の多様化	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	その他	特になし	主な介護者に確認しない、わからない	無回答
全体 (n=234)	31.6	28.6	23.5	21.8	17.1	10.3	9.0	8.5	1.7	15.0	3.0	3.0
【要介護度別】												
要支援1・2 (n=37)	32.4	24.3	27.0	24.3	8.1	10.8	8.1	8.1	0.0	16.2	8.1	0.0
要介護1・2 (n=124)	29.0	25.8	20.2	21.8	20.2	9.7	8.1	8.9	0.8	16.1	2.4	4.0
要介護3～5 (n=73)	35.6	35.6	27.4	20.5	16.4	11.0	11.0	8.2	4.1	12.3	1.4	2.7
【世帯類型別】												
単身世帯 (n=78)	26.9	26.9	24.4	16.7	14.1	2.6	10.3	5.1	2.6	19.2	5.1	6.4
夫婦のみ世帯 (n=29)	44.8	24.1	24.1	27.6	13.8	13.8	10.3	10.3	0.0	10.3	3.4	0.0
その他 (n=124)	31.5	31.5	22.6	24.2	19.4	14.5	8.1	10.5	1.6	12.9	1.6	1.6
【圏域別】												
君津地区 (n=149)	31.5	24.8	22.8	25.5	18.1	8.1	11.4	7.4	2.0	15.4	2.0	4.0
小糸地区 (n=34)	29.4	29.4	17.6	17.6	17.6	11.8	2.9	14.7	0.0	11.8	8.8	2.9
清和地区 (n=10)	10.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
小櫃地区 (n=18)	27.8	33.3	33.3	11.1	22.2	16.7	0.0	11.1	0.0	5.6	5.6	0.0
上総地区 (n=23)	47.8	52.2	30.4	17.4	8.7	21.7	4.3	8.7	4.3	13.0	0.0	0.0
【介護保険サービス利用別】												
利用した (n=188)	30.3	28.2	21.8	22.3	17.0	10.1	10.1	8.0	1.1	16.0	3.2	2.7
利用していない (n=46)	37.0	30.4	30.4	19.6	17.4	10.9	4.3	10.9	4.3	10.9	2.2	4.3

問12 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

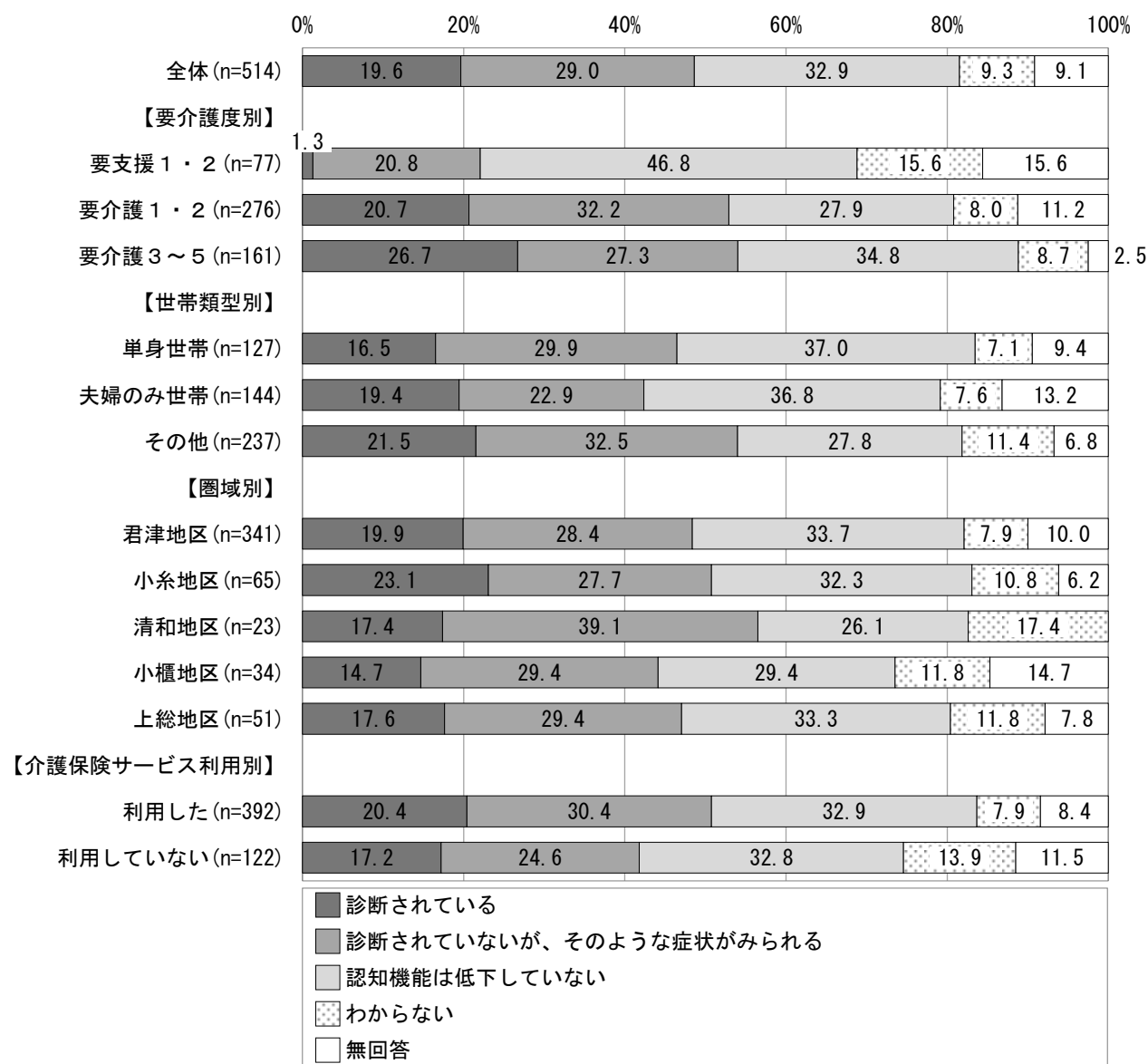
※問9で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に質問

全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」が61.5%と最も高く、「問題なく、続けていける」が19.2%、「続けていくのは、やや難しい」が8.5%と続いている。



問 13 ご本人は、認知機能の低下がみられますか。または、医師から認知症と診断されていますか

全体では、「認知機能は低下していない」が 32.9%と最も高く、「診断されていないが、そのような症状がみられる」が 29.0%、「診断されている」が 19.6%と続いている。「診断されている」と「診断されていないが、そのような症状がみられる」を合わせた『認知症の症状がみられる』は 48.6%となっている。



問 14 認知症支援の充実に向けて、行政に特に支援してほしい内容を教えてください

全体では、「介護者向け支援の充実」が 49.0%と最も高く、「望む支援はない、わからない」が 13.8%、「相談窓口の周知」が 13.4%と続いている。

要介護度別では、要介護 3～5 で「介護者向け支援の充実」が 57.1%と高くなっている。

(%)	介護者向け支援の充実	望む支援はない、わからない	相談窓口の周知	認知症の普及啓発	本人同士の交流の場づくり	支援関係者間の連携	本人の声を聴く場や活躍の場開設	その他	無回答
全体 (n=514)	49.0	13.8	13.4	3.1	2.9	2.5	2.5	0.8	11.9
【要介護度別】									
要支援 1・2 (n=77)	41.6	13.0	13.0	6.5	5.2	2.6	3.9	0.0	14.3
要介護 1・2 (n=276)	46.4	12.7	16.7	2.9	3.6	2.9	1.8	0.7	12.3
要介護 3～5 (n=161)	57.1	16.1	8.1	1.9	0.6	1.9	3.1	1.2	9.9
【世帯類型別】									
単身世帯 (n=127)	47.2	13.4	10.2	3.9	3.1	2.4	4.7	1.6	13.4
夫婦のみ世帯 (n=144)	44.4	13.2	16.0	4.2	2.8	2.1	1.4	0.0	16.0
その他 (n=237)	53.2	14.3	13.5	2.1	3.0	3.0	2.1	0.8	8.0
【圏域別】									
君津地区 (n=341)	50.4	13.8	12.0	2.3	2.9	2.3	2.9	0.3	12.9
小糸地区 (n=65)	41.5	7.7	24.6	6.2	3.1	3.1	3.1	3.1	7.7
清和地区 (n=23)	34.8	26.1	13.0	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	17.4
小櫃地区 (n=34)	41.2	17.6	14.7	5.9	2.9	2.9	0.0	2.9	11.8
上総地区 (n=51)	60.8	13.7	7.8	2.0	3.9	3.9	0.0	0.0	7.8
【介護保険サービス利用別】									
利用した (n=392)	49.7	13.8	13.3	3.6	2.8	2.3	3.1	1.0	10.5
利用していない (n=122)	46.7	13.9	13.9	1.6	3.3	3.3	0.8	0.0	16.4

問 15 主な介護者の方として、高齢者福祉・介護保険等に関するご意見がありましたら、
ご自由にお書きください

意見の内容をみると、「介護者・家族の心身負担や支援不足について」が38件と最も多くなっている。

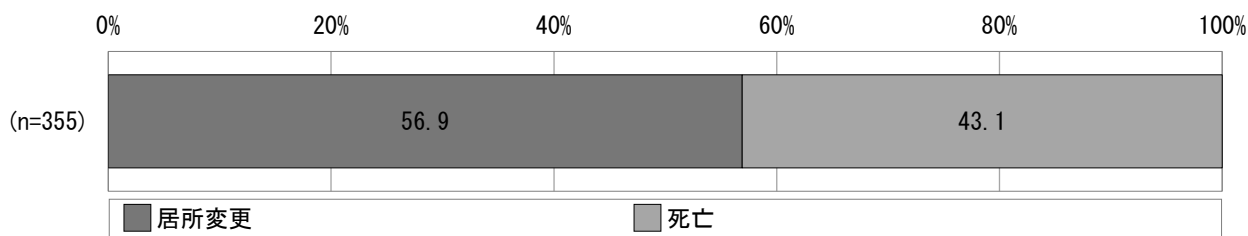
回答	件数
介護者・家族の心身負担や支援不足について	38件
介護費用や保険料など経済的負担について	27件
相談窓口や情報提供の不足・周知不足について	25件
介護施設の不足や入所待機問題について	18件
移動手段や買い物支援など生活支援の不足について	18件
介護サービスの利用方法や制度の分かりにくさについて	16件
認知症や障がい者への理解促進と支援の充実について	14件
介護認定基準や手続きの遅れ・不満について	13件
高齢者の孤独や見守り支援について	12件
家族・地域内での介護協力や交流支援について	11件
介護用品（紙おむつ等）の支援について	11件
介護人材やヘルパー不足について	9件
地域差や立地によるサービス格差について	7件
リハビリや運動機会の充実について	6件
災害時・緊急時における高齢者対応への不安について	2件
その他	24件
意見総数（回答者数156名）	251件

第 4 章 在宅生活改善調査

1. 過去1年間の実績

市内の居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所に対し、調査を行なった。

過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合



	回答実数	粗推計
君津市全体で、過去1年間に 自宅等から居所を変更した利用者数	202人	308人
君津市全体で、過去1年間に 自宅等で死亡した利用者数	153人	233人

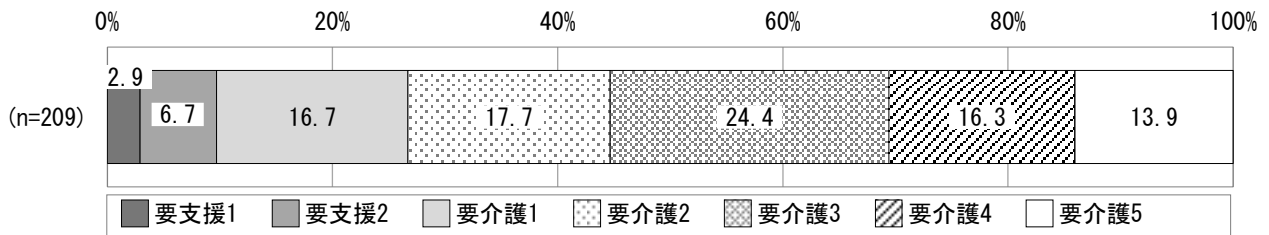
(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。
 (注2) 「粗推計」は、居所を変更した利用者数や自宅等で死亡した利用者数に、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	2人 1.0%	6人 3.0%	8人 4.0%
住宅型有料老人ホーム	7人 3.5%	6人 3.0%	13人 6.4%
軽費老人ホーム	3人 1.5%	2人 1.0%	5人 2.5%
サービス付き高齢者向け住宅	18人 8.9%	23人 11.4%	41人 20.3%
グループホーム	5人 2.5%	4人 2.0%	9人 4.5%
特定施設	10人 5.0%	3人 1.5%	13人 6.4%
地域密着型特定施設	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
介護老人保健施設	5人 2.5%	5人 2.5%	10人 5.0%
介護医療院	5人 2.5%	1人 0.5%	6人 3.0%
特別養護老人ホーム	40人 19.8%	13人 6.4%	53人 26.2%
地域密着型特別養護老人ホーム	5人 2.5%	0人 0.0%	5人 2.5%
病院・診療所	22人 10.9%	13人 6.4%	35人 17.3%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
行先を把握していない			3人 1.5%
合計	123人 60.9%	76人 37.6%	202人 100.0%

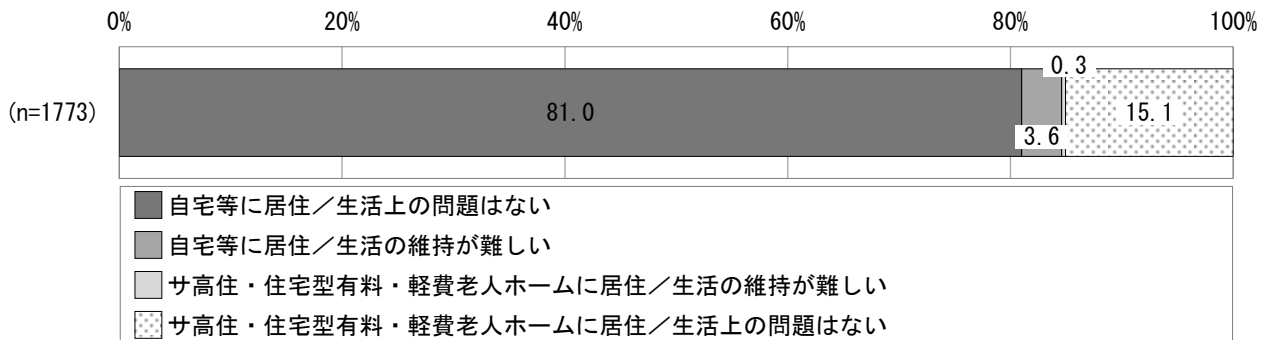
(注1) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。
 (注2) 表の上段の数値は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳



2. 現在の利用者の状況

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



自宅・サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに
居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている割合

君津市全体で、在宅での生活の維持が
難しくなっている利用者数



合計
(要介護2以下)
(要介護3以上)

3.9%

回答実数

70人
45人
25人

粗推計

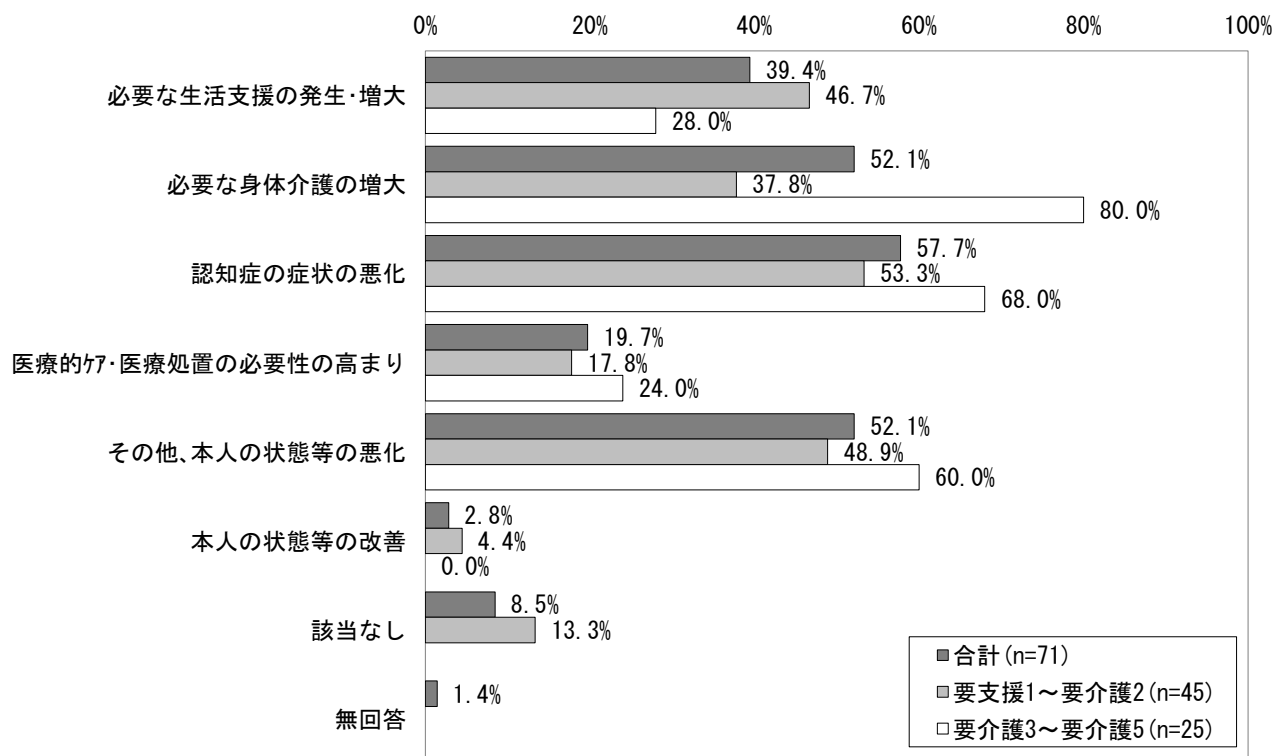
107人
69人
38人

(注)「粗推計」は、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

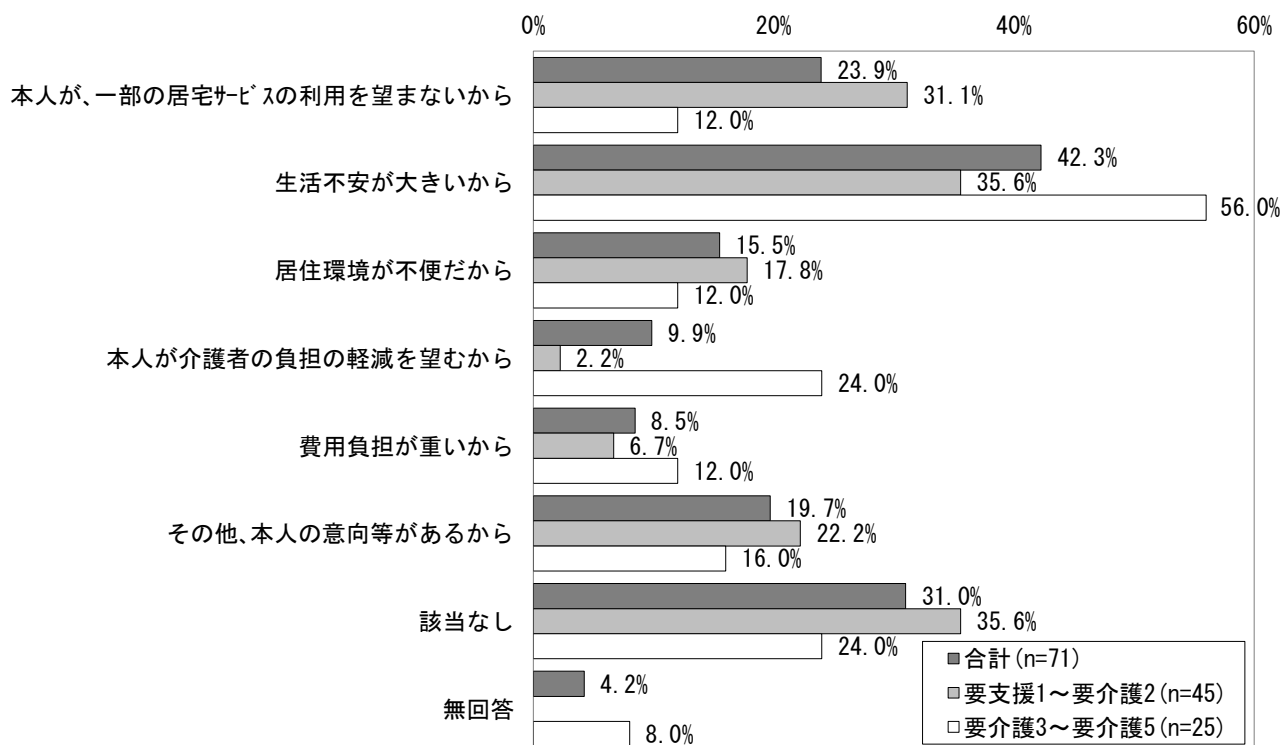
現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

順位 (上位10類型)	回答 実数	粗推計	割合	世帯類型				居所			要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他の同居	自宅等 (持ち家)	自宅等 (借家)	サ高住・住宅型有料・軽費	介2以下	介3以上
1	21人	32人	29.6%	★				★			★	
2	10人	15人	14.1%				★	★			★	
3	9人	14人	12.7%				★	★				★
4	6人	9人	8.5%		★			★			★	
5	4人	6人	5.6%	★				★				★
6	3人	5人	4.2%				★			★		★
6	3人	5人	4.2%			★		★				★
6	3人	5人	4.2%			★		★			★	
6	3人	5人	4.2%	★					★		★	
10	2人	3人	2.8%	★						★		★
上記以外	7人	9人	9.9%									
合計	71人	108人	100.0%									

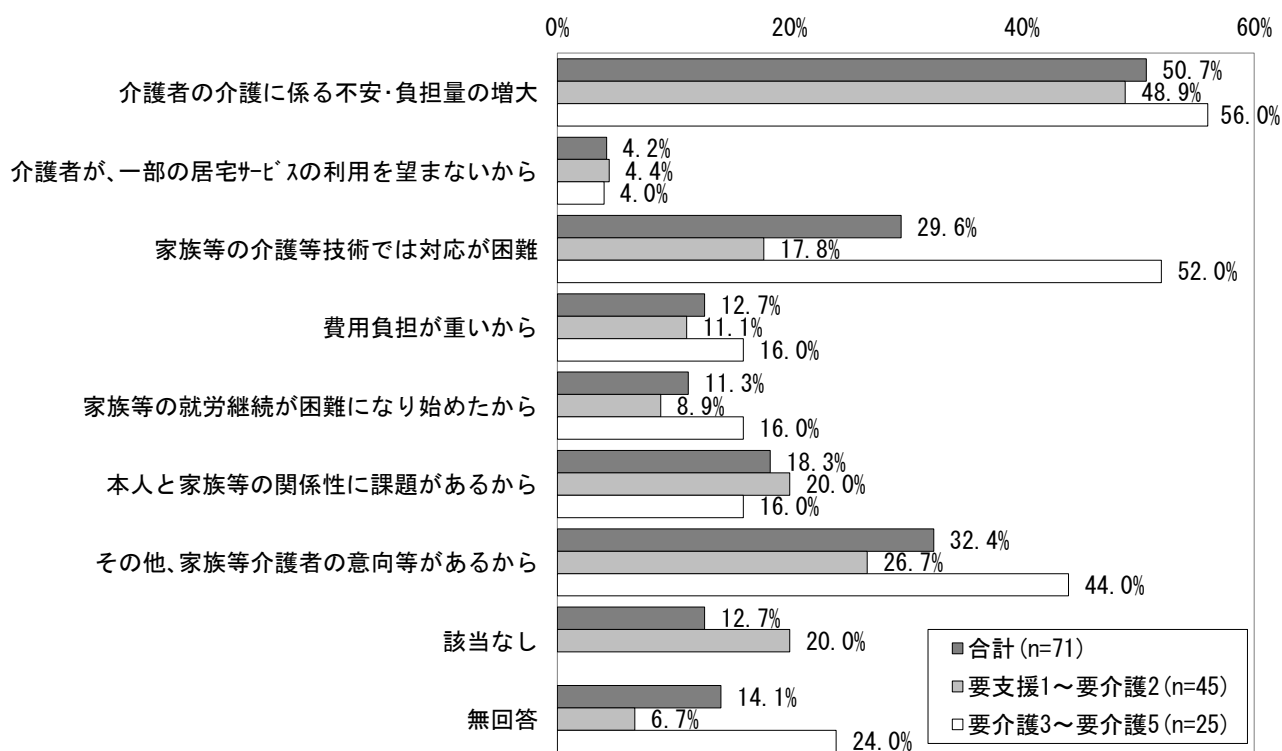
(注)「粗推計」は、回答数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。また、「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。

生活の維持が難しくなっている理由
(本人の状態に属する理由、複数回答)

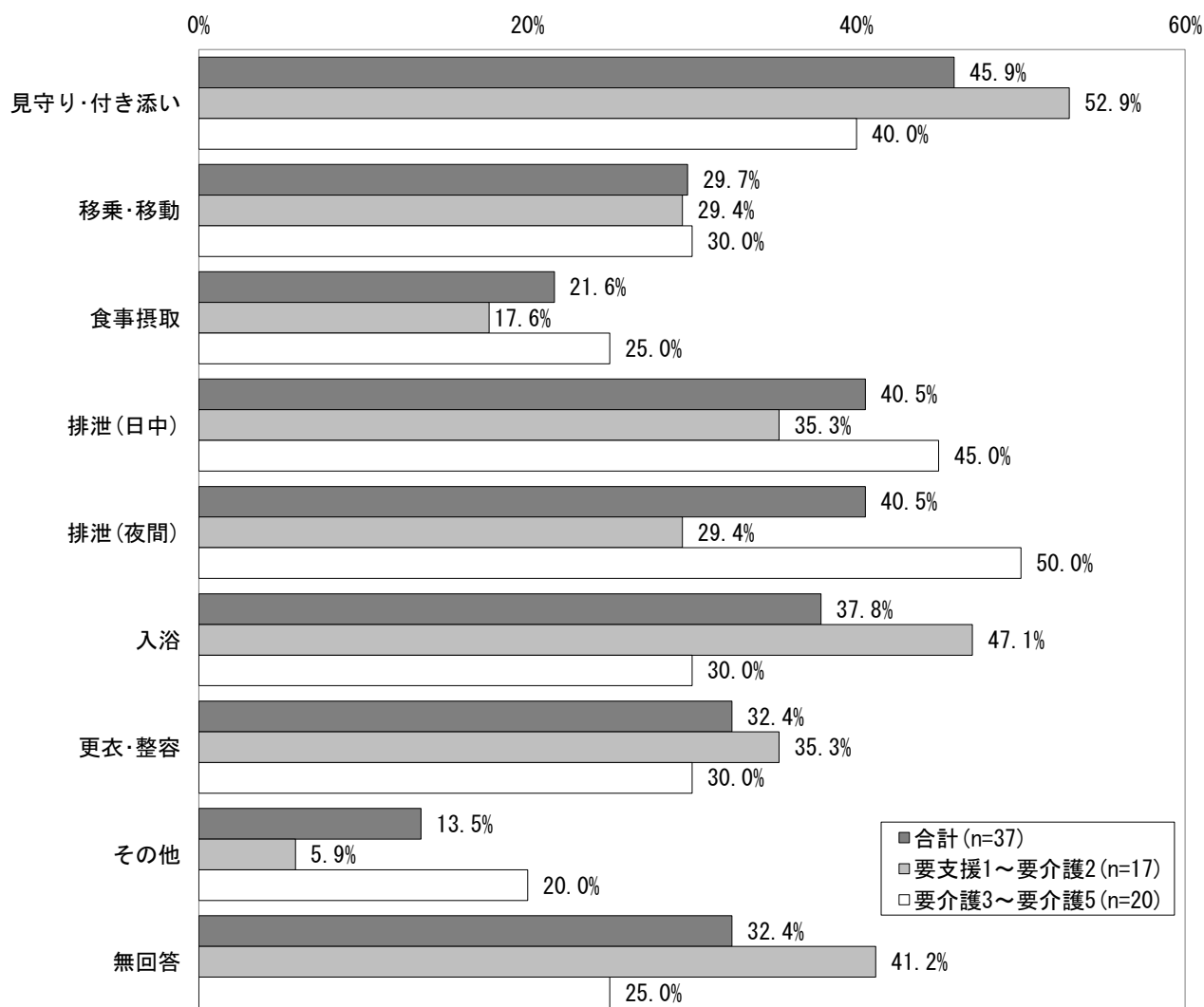
生活の維持が難しくなっている理由 (本人の意向に属する理由、複数回答)



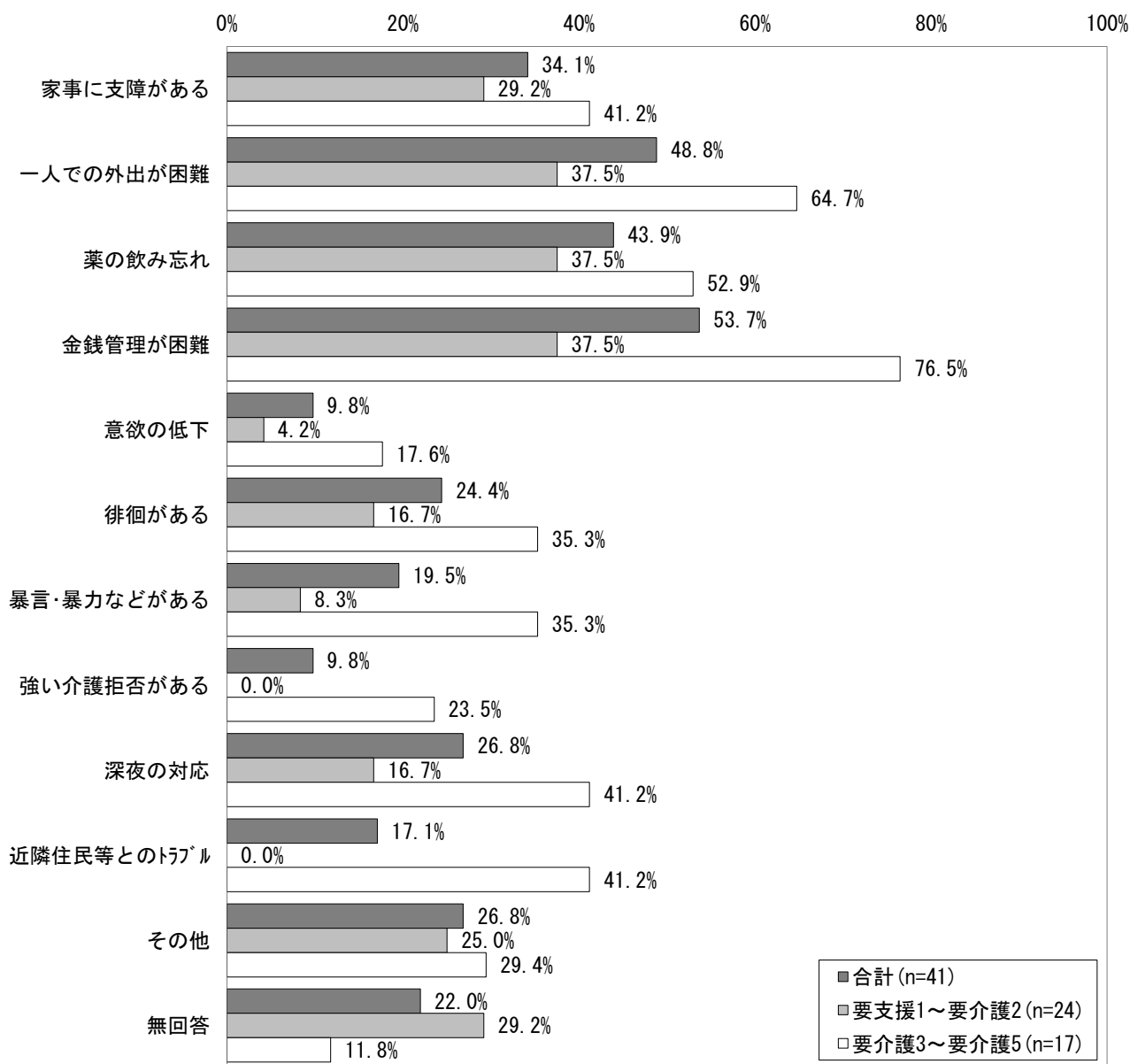
生活の維持が難しくなっている理由 (家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答)



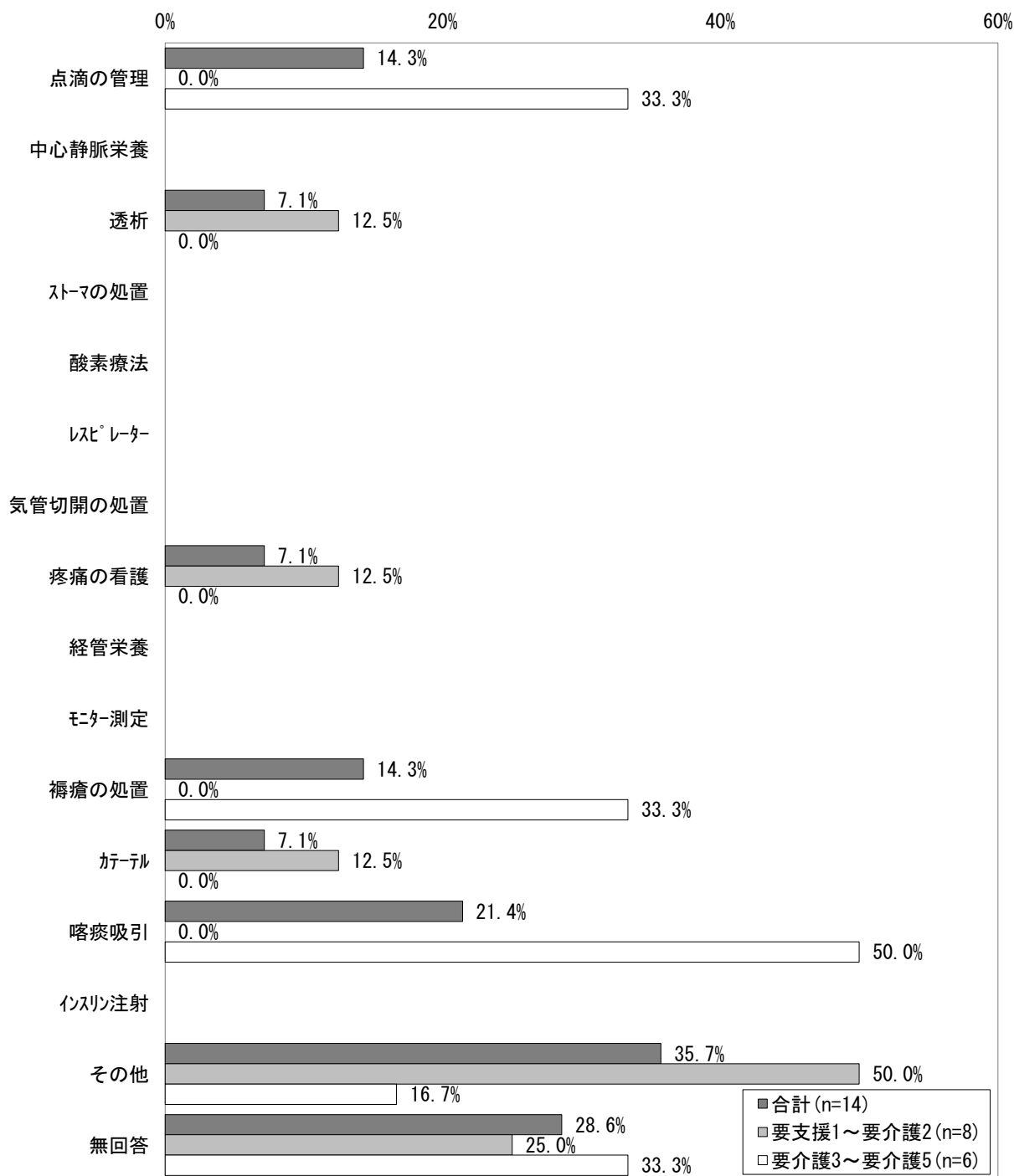
「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



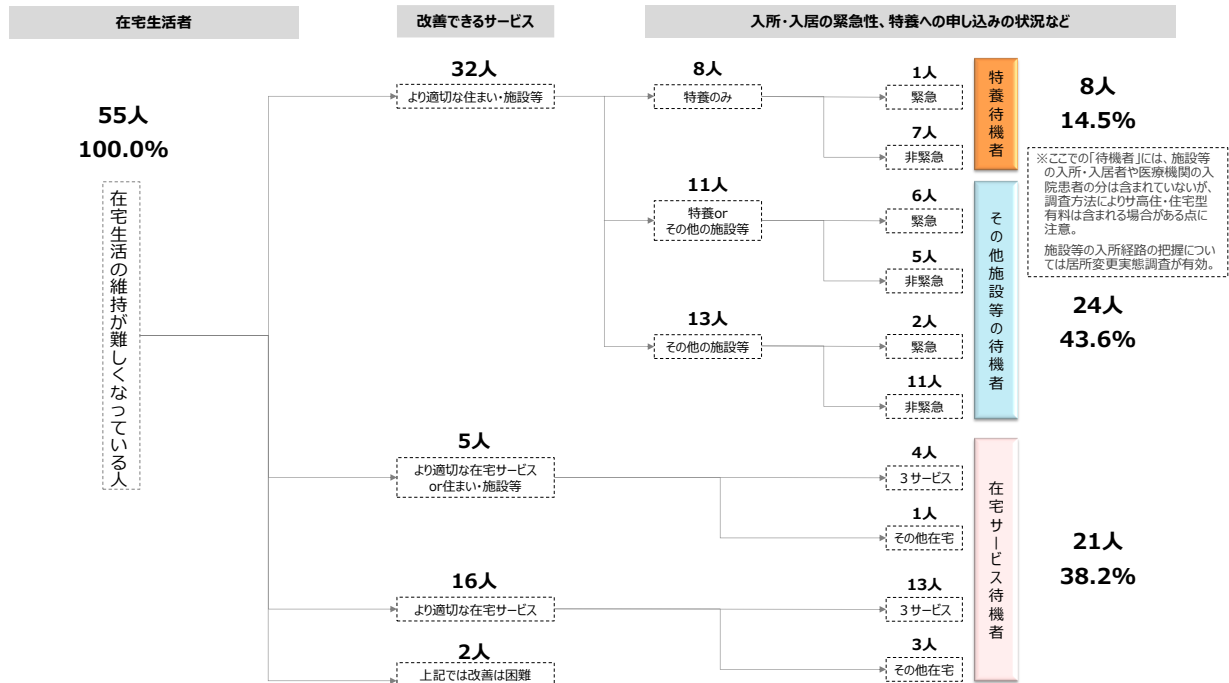
「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



- (注1) 「より適切な在宅サービスor住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。
- (注2) 「生活の維持が難しくなっている人」の合計71人のうち、上記の分類が可能な55人について分類しています。割合（％）は、55人を分母として算出したものです。
- (注3) 「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。
- (注4) 上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。
- (注5) 「3サービス」とは「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「小規模多機能型居宅介護」「看護小規模多機能居宅介護」を指しています。

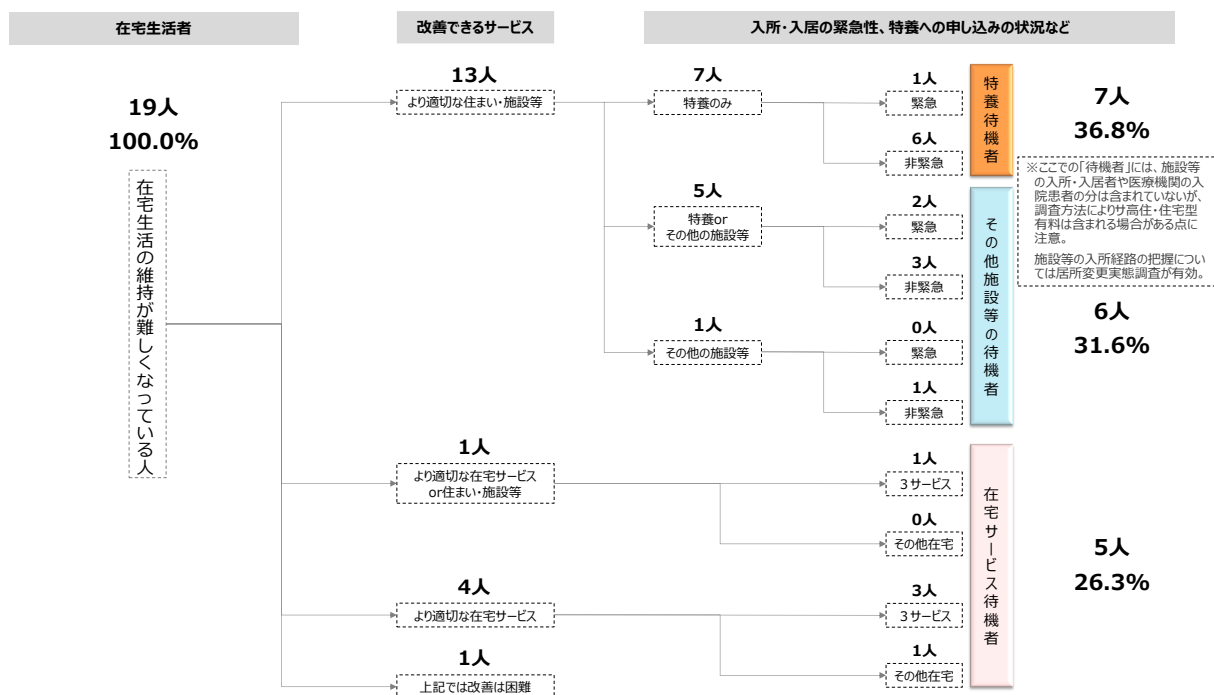
「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービス（複数回答）

生活の改善に必要なサービス	その他施設等の待機者(24人)				在宅サービス待機者(21人)			
住まい・施設等	住宅型有料	5人	20.8%		住宅型有料	2人	9.5%	
	サ高住	8人	33.3%		サ高住	2人	9.5%	
	軽費老人ホーム	4人	16.7%		軽費老人ホーム	0人	0.0%	
	グループホーム	9人	37.5%		グループホーム	0人	0.0%	
	特定施設	5人	20.8%		特定施設	1人	4.8%	
	介護老人保健施設	4人	16.7%		介護老人保健施設	2人	9.5%	
	介護医療院	3人	12.5%		介護医療院	0人	0.0%	
	特別養護老人ホーム	11人	45.8%		特別養護老人ホーム	4人	19.0%	
在宅サービス	—				ショートステイ	5人	23.8%	
					訪問介護、訪問入浴	7人	33.3%	
					夜間対応型訪問介護	4人	19.0%	
					訪問看護	2人	9.5%	
					訪問リハ	1人	4.8%	
					通所介護、通所リハ、認知症対応型通所	3人	14.3%	
					定期巡回サービス	9人	42.9%	
					小規模多機能	14人	66.7%	
					看護小規模多機能	2人	9.5%	
					訪問診療	2人	9.5%	
					居宅療養管理指導	1人	4.8%	

生活の改善に向けて、代替が可能

- (注1) 割合は、それぞれ、その他施設等の待機者24人、在宅サービス待機者21人を分母として算出したものです。
- (注2) 「在宅サービス待機者」について、生活改善に必要なサービスとして「住まい・施設等」と「在宅サービス」の両方を回答している場合は、代替が可能としています。

「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更（要介護3以上）

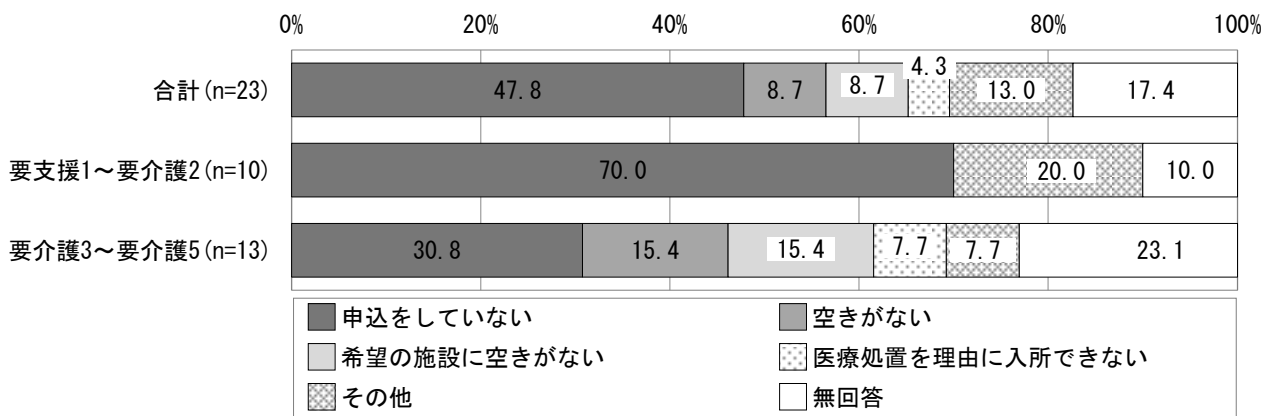


(注1) 「より適切な在宅サービスor住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

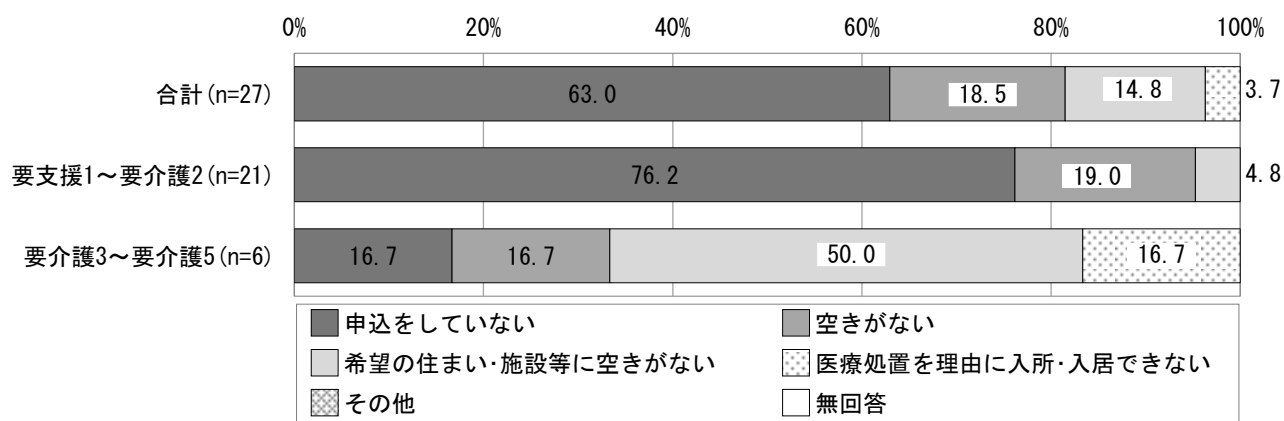
(注2) 「生活の維持が難しくなっている人（要介護3以上）」の合計25人のうち、上記の分類が可能な19人について分類しています。割合(%)は、19人を分母として算出したものです。

(注3) 「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。

(注4) 上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

特養に入所できていない理由
(改善に必要なサービスで、特養を選択した人)

**特養以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由
(改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人)**

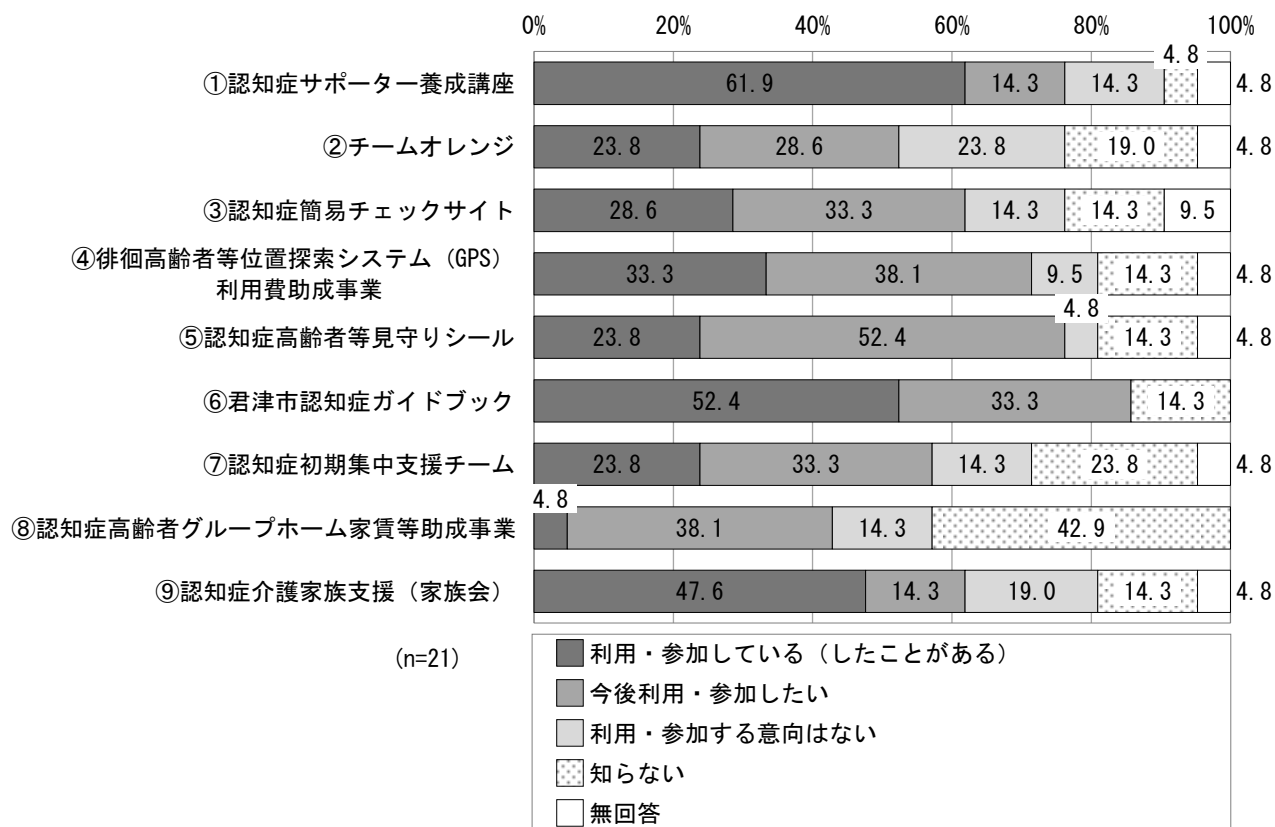


3. 認知症施策や支援について

(1) 現在、市が提供している認知症施策や支援について、知っていますか。

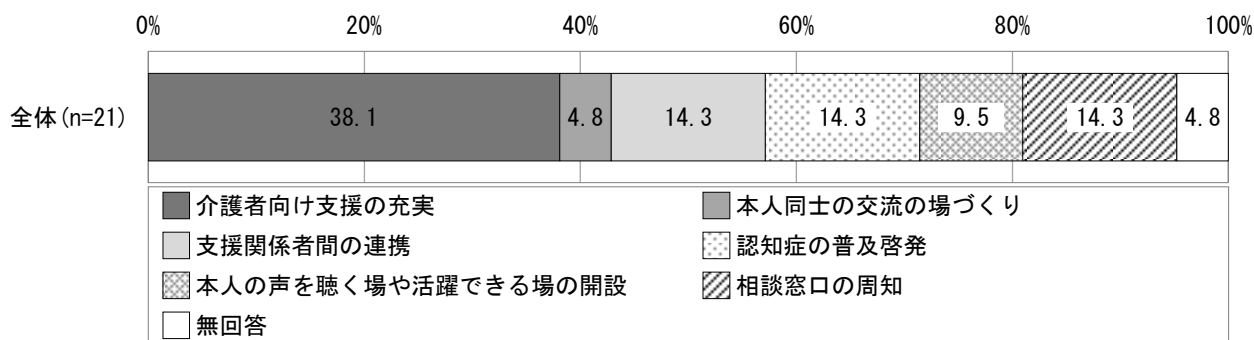
「利用・参加している（したことがある）」は、＜①認知症サポーター養成講座＞が61.9%と最も高く、＜⑥君津市認知症ガイドブック＞が52.4%と続いている。

一方、「知らない」は、＜⑧認知症高齢者グループホーム家賃等助成事業＞が42.9%と最も高くなっている。



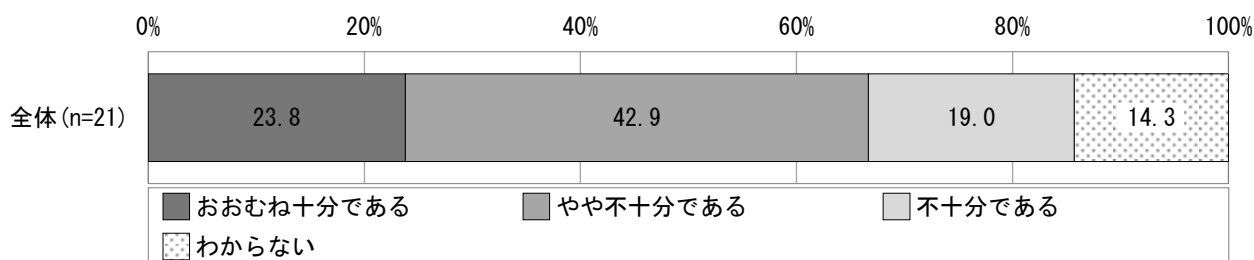
(2) 認知症支援の充実に向けて、行政に特に支援してほしい内容を教えてください。

全体では、「介護者向け支援の充実」が 38.1%と最も高く、「支援関係者間の連携」と「認知症の普及啓発」と「相談窓口の周知」が、それぞれ 14.3%と続いている。



(3) 認知症高齢者や家族の困りごとに対する、行政の支援や連携体制についてどのように感じていますか。

全体では、「やや不十分である」が 42.9%と最も高く、「おおむね十分である」が 23.8%、「不十分である」が 19.0%と続いている。



(4) 貴事業所の利用者で在宅生活の維持が難しくなるのは、どのような場合が多いですか。
よくあるケースについてお答えください。(自由回答)

回答
介護者の心身の疲労など介護負担、認知症による徘徊や暴言、医療的な問題、経済的困窮、老々介護
本人、介護する家族が、在宅生活が難しい事を説明をしても理解してもらえない(包括等介入しても)。理解が得られない家族との話し合いが非常に困る事が、最近、加速している
医療ニーズが高くなり、看護師が夜間不在で、24時間医療対応できない場合
要介護状態で一人暮らしの場合。認知症高齢者で症状が悪化して介護負担が増大した場合
老老介護の状況にて介護者が介護への限界や健康上の問題が生じた場合。独居にて心身状態の低下にてご家族より生活の場の変更希望あり
独居の方が認知症を発症した場合。転倒が増えた時。徘徊が増えた時。介護者が病気になった時等
独居で認知症があり主介護者の居ない場合
認知症が進んだり、日常的に手助けが必要になった場合。独居生活で家族が遠方または疎遠な場合。小規模多機能だけでは支えきれない。連泊して施設入所待ちになってしまう
家族の介護負担が大きくなり他施設を希望される
一人暮らし高齢者、重度で頻回な訪問介護や定期巡回等の支援が必要な山間地域(サービス提供エリアから外れる)に居住している方等
歩行困難、排泄介助の回数増加、徘徊、火の不始末、食べ物(腐っても食べる)の管理ができないなど
独居、高齢者2人暮らし世帯で、介護3(歩行困難、排泄動作困難)になると生活維持が難しい
貧困により使いたくてもサービスが使えない。同居介護者の問題(老老、無職、介護者不在)により施設に入らざるを得ない人もいる
一人暮らし、認知症の進行や骨折等により長期入院しADLの低下、脳血管障害を発症し重度の麻痺が残り身の回りのことが自力でできなくなった場合
本人の病状が悪化し医療機関に入院せざるを得なくなったケースが多い印象がある。 介護者が同居されている場合では、排泄介助(特に便失禁等)に負担を感じるようになった場合に施設入所を希望するケースが多くなる印象です
認知症症状の悪化、高齢世帯のため介護困難となるケース
単身で親族がいない場合。単身で認知症のある場合
認知症状が進んできたり、主介護者がいなくなった場合など
本人の状態(日常生活動作や認知症の進行)悪化や介護者が不在のケース
認知症が進行し家族の負担が増え在宅での支援が難しくなるケース。一人暮らし高齢者の認知症が進行し在宅サービスだけでは十分に支援できなくなるケース

第 5 章 居所変更実態調査

1. 過去1年間の退居・退所者に占める居所変更・死亡の割合

市内の介護施設及び居住系サービス事業所（サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム含む）に対し、調査を行なった。

過去1年間の退居・退所者に占める居所変更・死亡の割合から、看取りまでできている割合をみると、「地域密着型特別養護老人ホーム」が91.3%と最も高くなっている。

過去1年間の退居・退所者に占める居所変更・死亡の割合

サービス種別	居所変更	死亡	合計
住宅型有料 (n=1)	1人 100.0%	0人 0.0%	1人 100.0%
軽費 (n=1)	11人 91.7%	1人 8.3%	12人 100.0%
サ高住 (n=5)	27人 67.5%	13人 32.5%	40人 100.0%
GH (n=2)	7人 87.5%	1人 12.5%	8人 100.0%
特定 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健 (n=1)	26人 55.3%	21人 44.7%	47人 100.0%
介護医療院 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養 (n=5)	84人 53.5%	73人 46.5%	157人 100.0%
地密特養 (n=3)	2人 8.7%	21人 91.3%	23人 100.0%
合計 (n=18)	158人 54.9%	130人 45.1%	288人 100.0%

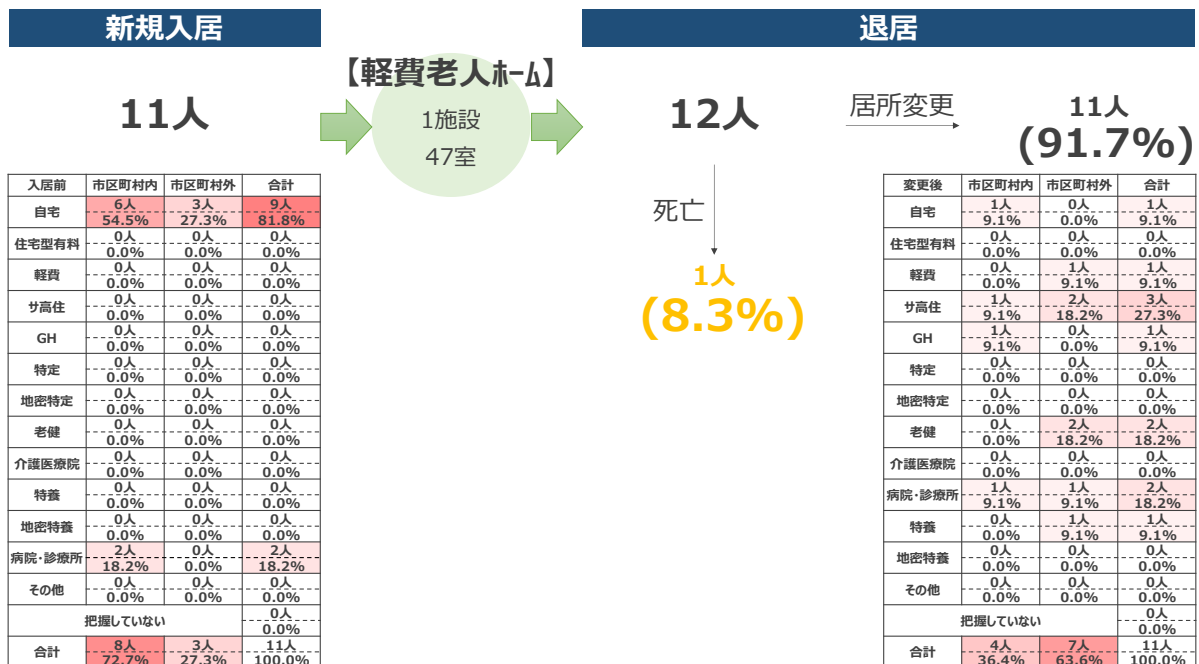
2. 地域内の居所移動の実態

過去1年間の施設等の新規の入居・入所及び退去・退所の流れをサービス種類別にみると、特別養護老人ホームで退去者が157人、死亡も73人と最も多くなっている。

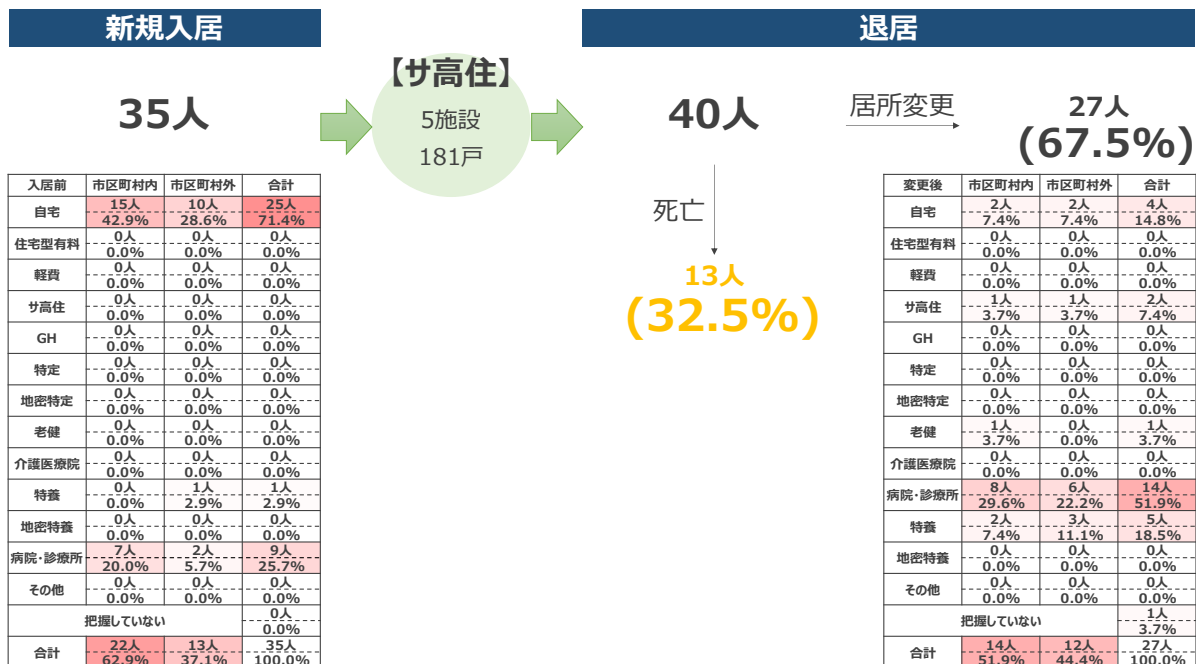
過去1年間の住宅型有料老人ホームの入居及び退居の流れ



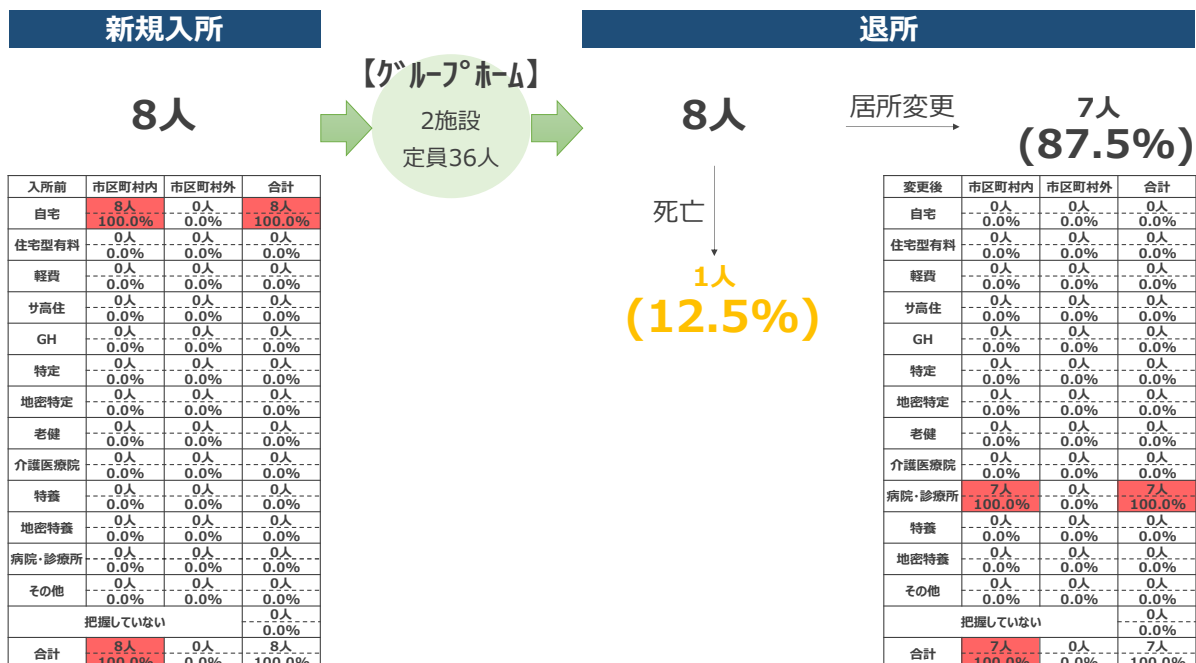
過去1年間の軽費老人ホームの入居及び退居の流れ



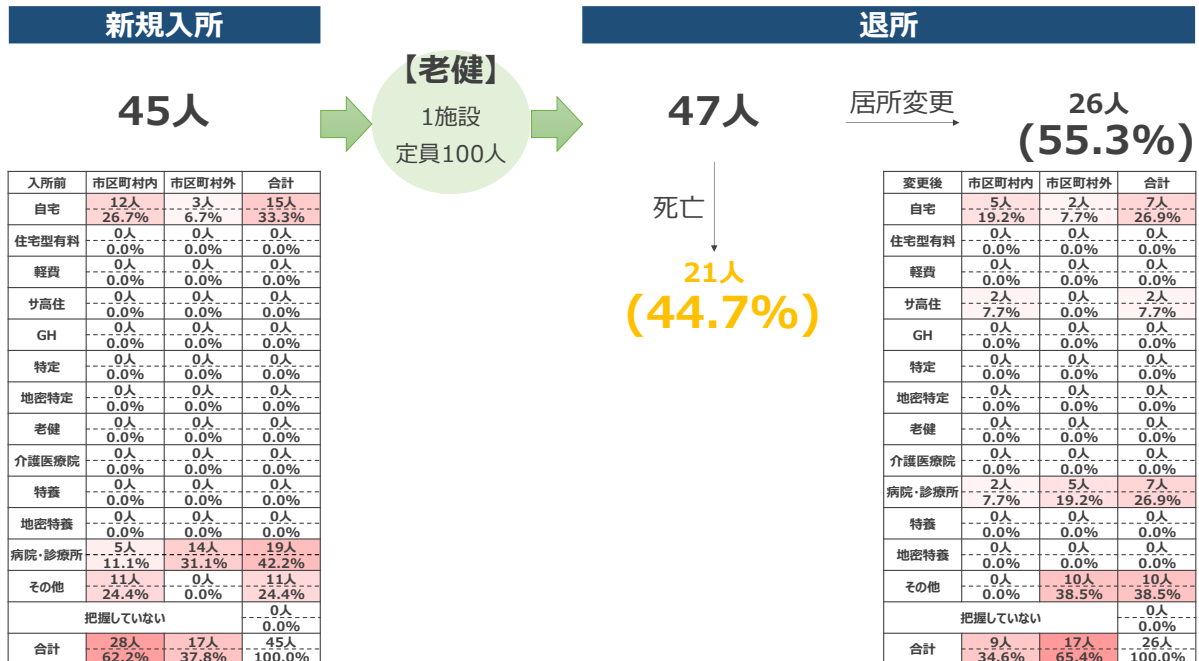
過去1年間のサービス付き高齢者向け住宅の入居及び退居の流れ



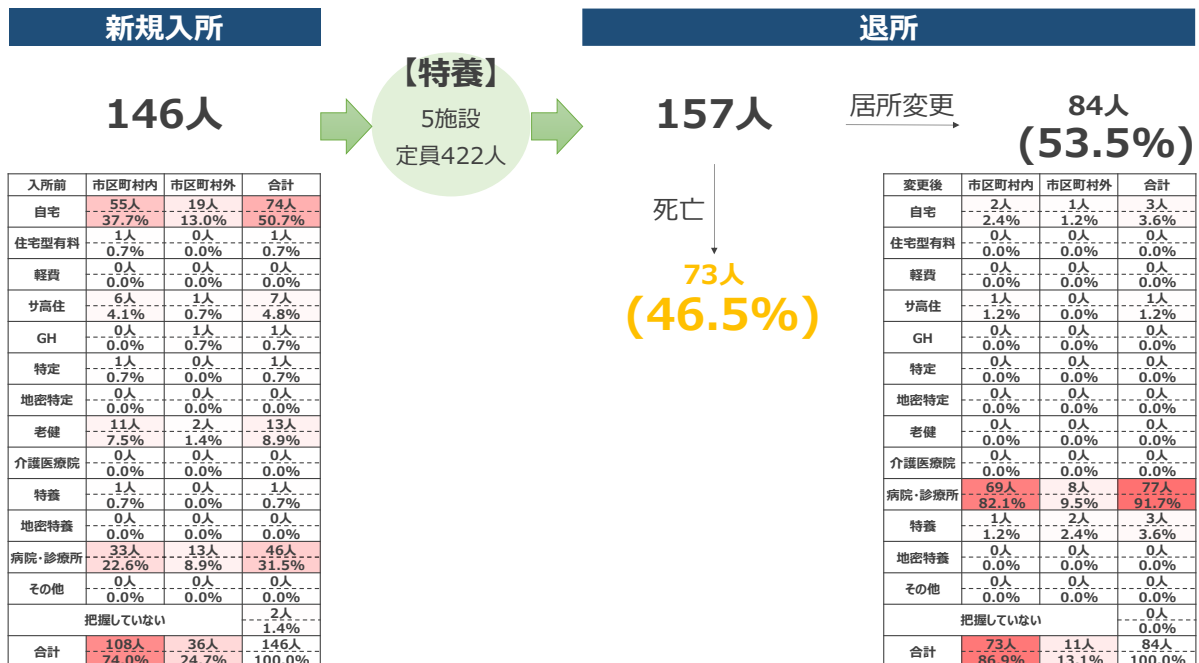
過去1年間のグループホームの入所及び退所の流れ



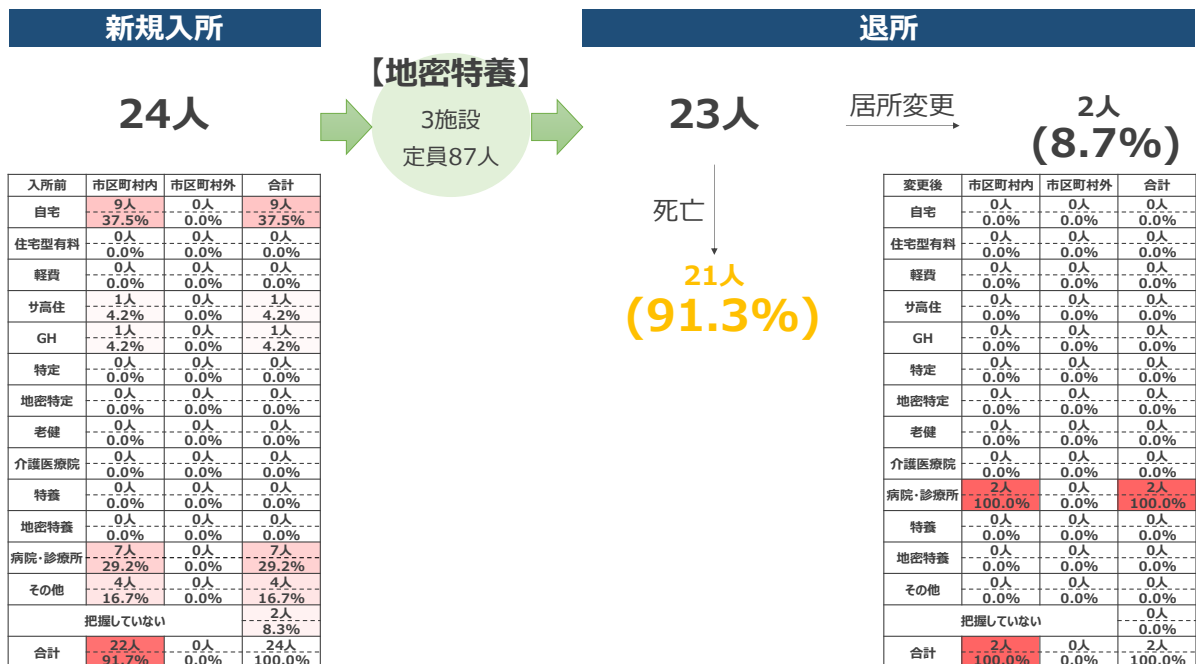
過去1年間の介護老人保健施設の入所及び退所の流れ



過去1年間の特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ



過去1年間の地域密着型特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ



3. 居所変更した理由

居所変更した理由をみると、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が14件と最も多くなっている。

サービス種別	生活支援	身体介護	認知症	医療的ケア	その他状態像の悪化	状態等の改善	居宅サービス利用を望まなかった	費用負担	本人の希望	その他	無回答
住宅型有料 (n=1)	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
軽費 (n=1)	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
サ高住 (n=5)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	3 60.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%
GH (n=2)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特定 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地密特定 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
老健 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護医療院 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特養 (n=5)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
地密特養 (n=3)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計 (n=18)	0 0.0%	2 11.1%	3 16.7%	14 77.8%	6 33.3%	3 16.7%	1 5.6%	3 16.7%	1 5.6%	2 11.1%	1 5.6%

4. 受け入れ可能な医療処置の種類

受け入れ可能な医療処置の種類をみると、「褥瘡^{じよくそう}の処置」が11件と最も多くなっている。

サービス種別	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	スーマの処置	酸素療法	レスピレーター	気管切開の処置	疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	カテーテル	喀痰吸引	インサリ注射	対応可能な医療処置はない
住宅型有料 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
軽費 (n=1)	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
サ高住 (n=5)	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%
GH (n=2)	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特定 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
地密特定 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
老健 (n=1)	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%
介護医療院 (n=0)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
特養 (n=5)	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	3 60.0%	0 0.0%	5 100.0%	5 100.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%
地密特養 (n=3)	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
合計 (n=18)	5 27.8%	0 0.0%	6 33.3%	7 38.9%	6 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 22.2%	4 22.2%	2 11.1%	11 61.1%	10 55.6%	3 16.7%	6 33.3%	3 16.7%

第 6 章 介護人材実態調査

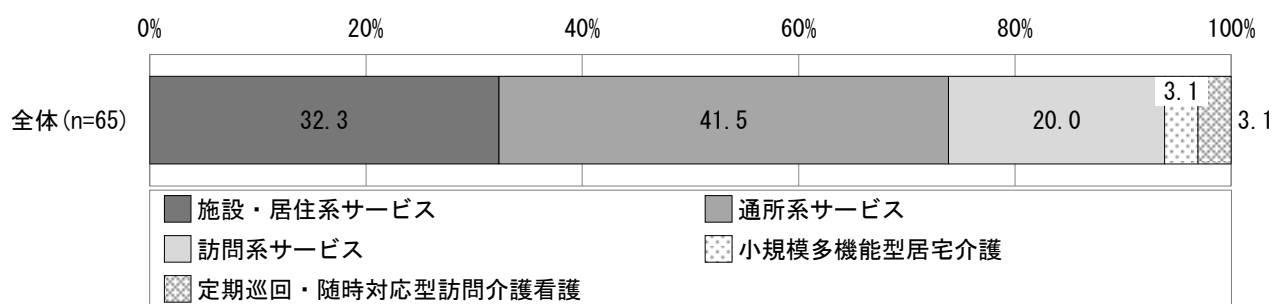
第6章 介護人材実態調査

1. 事業所調査

市内の介護施設及び介護サービス事業所（サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム含む）に対し、調査を行なった。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

全体では、「通所系サービス」が41.5%と最も高く、「施設・居住系サービス」が32.3%、「訪問系サービス」が20.0%と続いている。



問2 貴事業所に所属する介護職員について、お伺いします。

問2-1 従業員の人数と内訳

従業員数の合計および内訳の平均は、下表のとおりである。

従業員の人数						
	性別	常勤職員	非常勤職員	合計	うち派遣社員	うち外国人職員
	男性	2.9 人	1.2 人	4.1 人	0.0 人	0.2 人
	女性	7.0 人	6.7 人	13.7 人	0.2 人	0.8 人

問2-1 従業員の年齢内訳

従業員の年齢内訳の平均は、下表のとおりである。

従業員の年齢内訳							
	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
	0.1 人	1.5 人	2.3 人	3.8 人	4.0 人	3.6 人	2.5 人

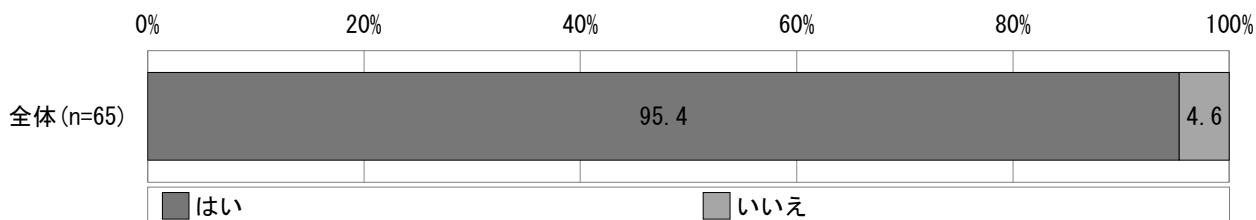
問2-2 資格毎の人数についてお答えください。

資格毎の人数の平均は、下表のとおりである。

資格ごとの人数											
	介護福祉士	介護職員 研修修了者 実務者	介護職員 研修修了者 初任者	社会福祉士 主事等 (社会福祉士等)	介護支援 専門員	保健師	看護師	准看護師	無資格の 介護職員	その他	
常勤	4.7人	0.6人	1.8人	0.3人	0.3人	0.0人	0.3人	0.3人	0.3人	0.9人	
非常勤	2.1人	0.4人	2.1人	0.1人	0.1人	0.0人	0.4人	0.3人	0.8人	1.1人	
合計	6.8人	1.0人	3.9人	0.4人	0.4人	0.0人	0.7人	0.6人	1.1人	2.0人	

問2-3 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

全体では、「はい」が95.4%、「いいえ」が4.6%となっている。



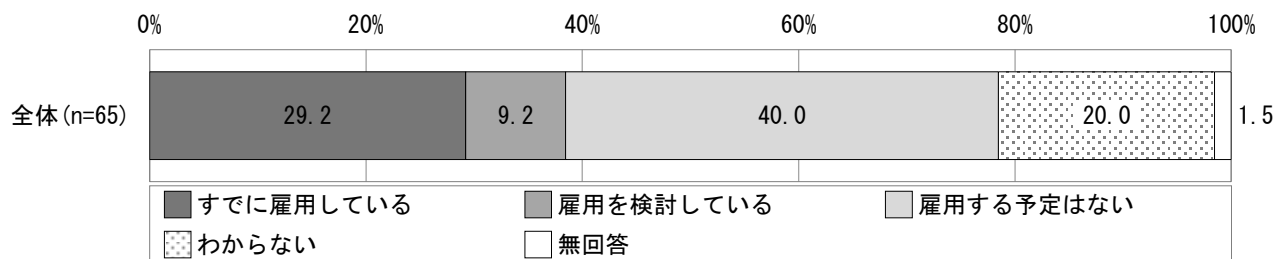
問2-4 過去1年間（令和7年1月1日～令和7年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を記入）
※問2-3で「はい」と回答した方に質問

過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数の平均は、下表のとおりである。

	採用者数	離職者数
常勤職員	0.9人	0.9人
非常勤職員	1.0人	0.7人
合計	1.9人	1.6人

問3 外国人人材の雇用についてお答えください。

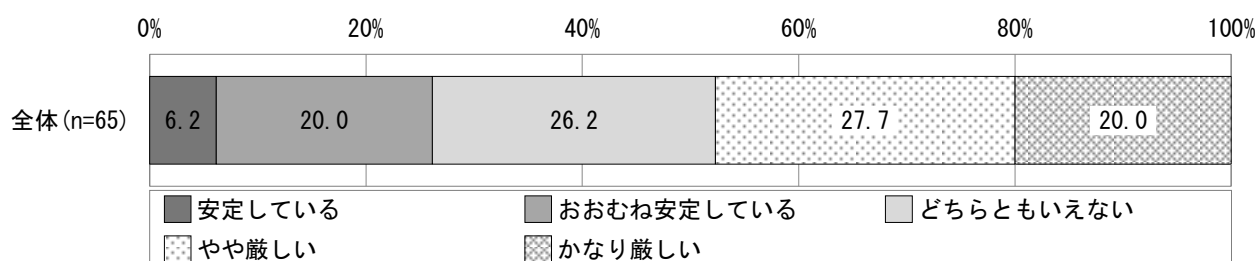
全体では、「雇用する予定はない」が40.0%と最も高く、「すでに雇用している」が29.2%、「わからない」が20.0%と続いている。



※「雇用する予定がある」との回答は見られない

問4 現在の事業所の経営状況について、最も近いものをお選びください。

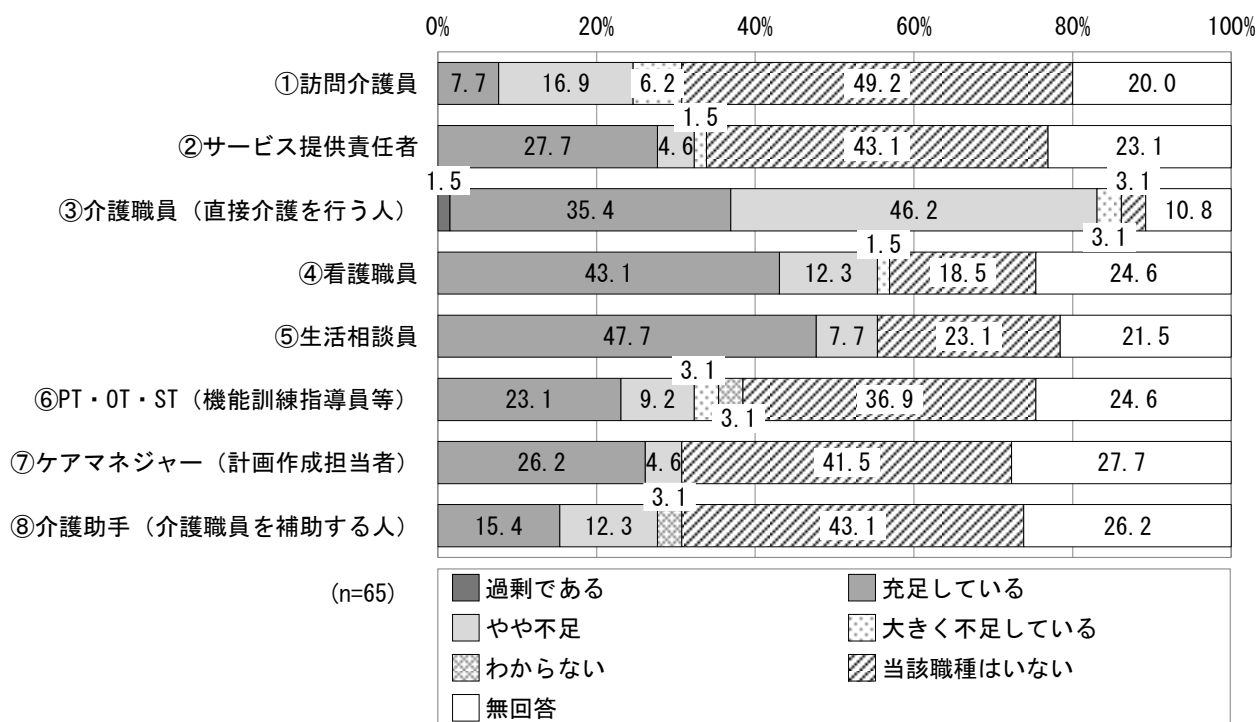
全体では、「やや厳しい」が27.7%と最も高く、「どちらともいえない」が26.2%、「安定している」と「おおむね安定している」を合わせた『安定』が26.2%と続いている。



問5 貴事業所の職員の過不足についてお答えください。(それぞれ1つ)

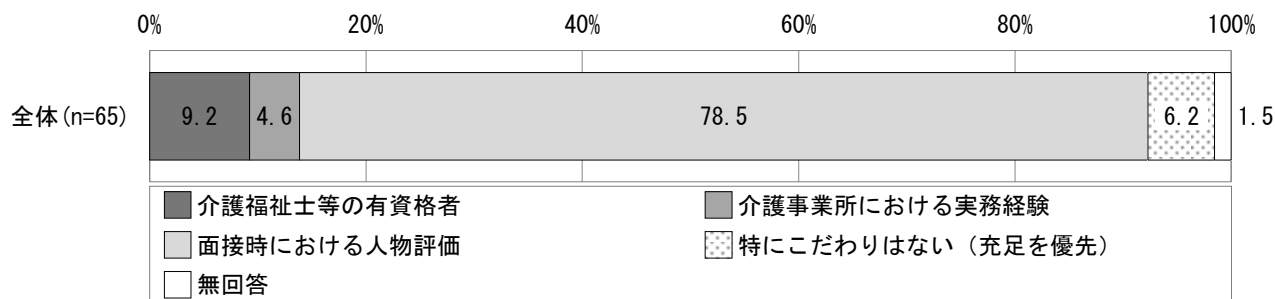
※資格保有者ではなく、その仕事(職種)に就く方でお考えください。

「充足している」の割合が最も高いのは、＜⑤生活相談員＞で47.7%となっている。
一方、「大きく不足している」の割合が最も高いのは、＜①訪問介護員＞で6.2%となっている。



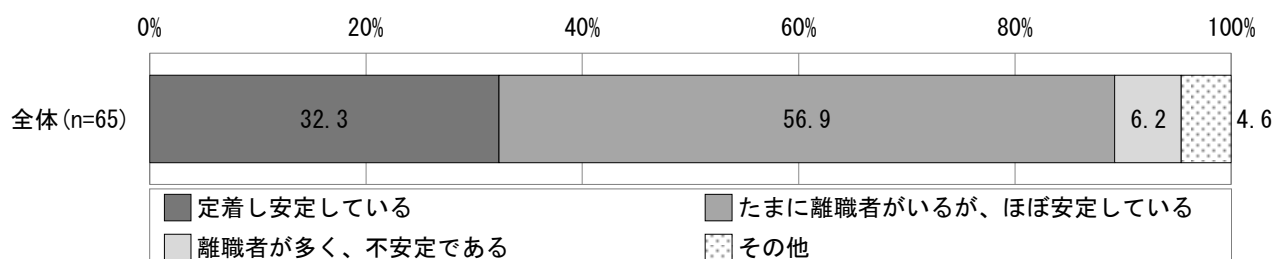
問6 貴事業所の介護職員採用において重視している点についてお答えください。

全体では、「面接時における人物評価」が78.5%と最も高く、「介護福祉士等の有資格者」が9.2%、「特にこだわりはない(充足を優先)」が6.2%と続いている。



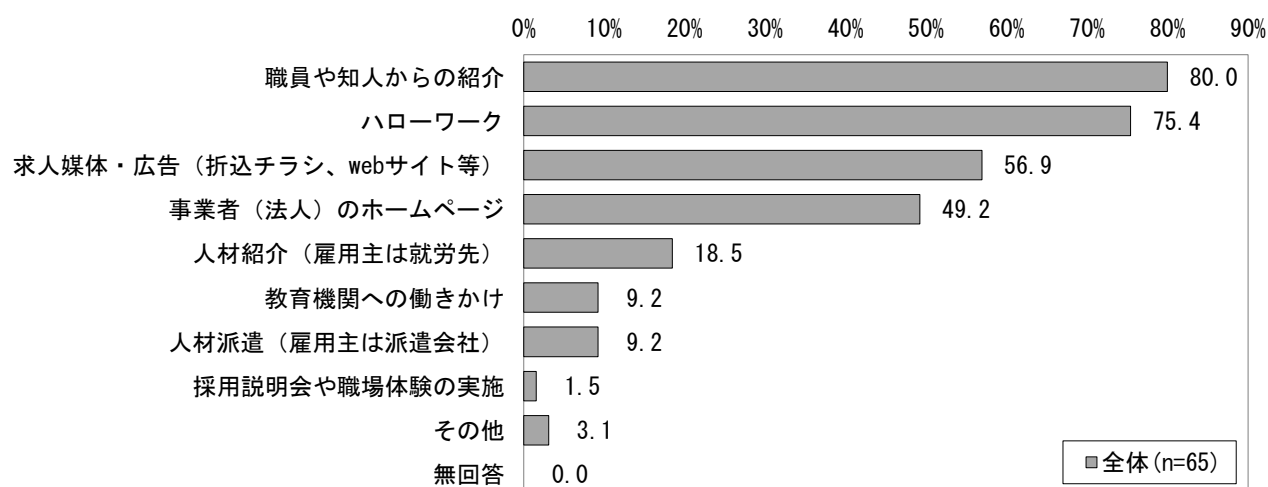
問7 この1年間における職員の定着について、おおむねどのような状況ですか。

全体では、「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」が56.9%と最も高く、「定着し安定している」が32.3%、「離職者が多く、不安定である」が6.2%と続いている。



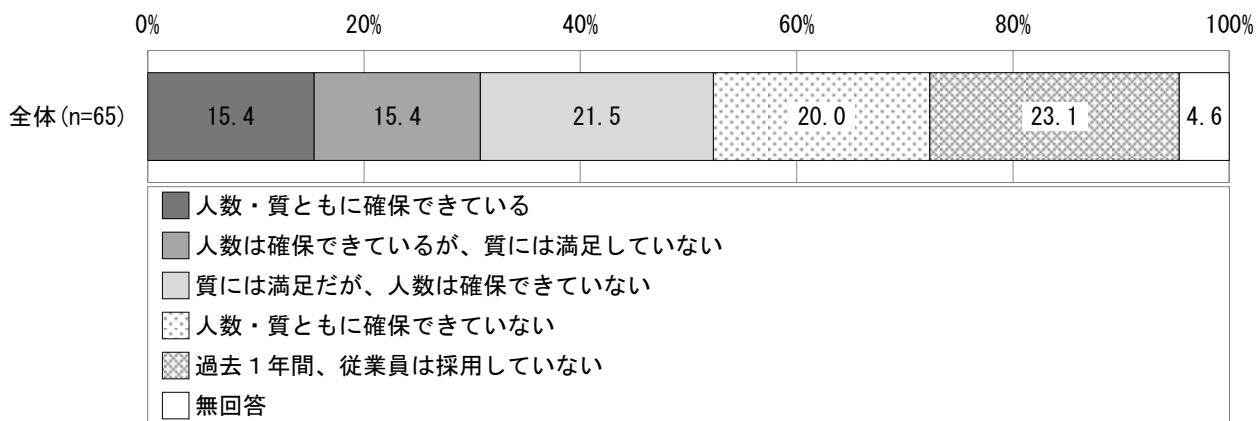
問8 採用時にどのような方法を活用していますか。(いくつでも)

全体では、「職員や知人からの紹介」が80.0%と最も高く、「ハローワーク」が75.4%、「求人媒体・広告（折込チラシ、webサイト等）」が56.9%と続いている。



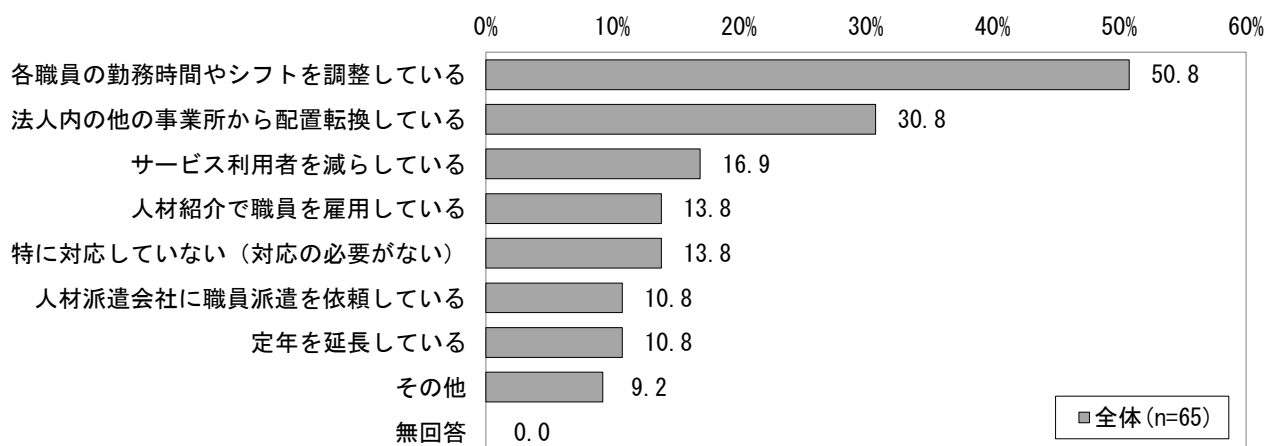
問9 過去1年間に採用した職員の人数や質をどのように評価していますか。

全体では、「過去1年間、従業員は採用していない」が23.1%と最も高く、「質には満足だが、人数は確保できていない」が21.5%、「人数・質ともに確保できていない」が20.0%と続いている。



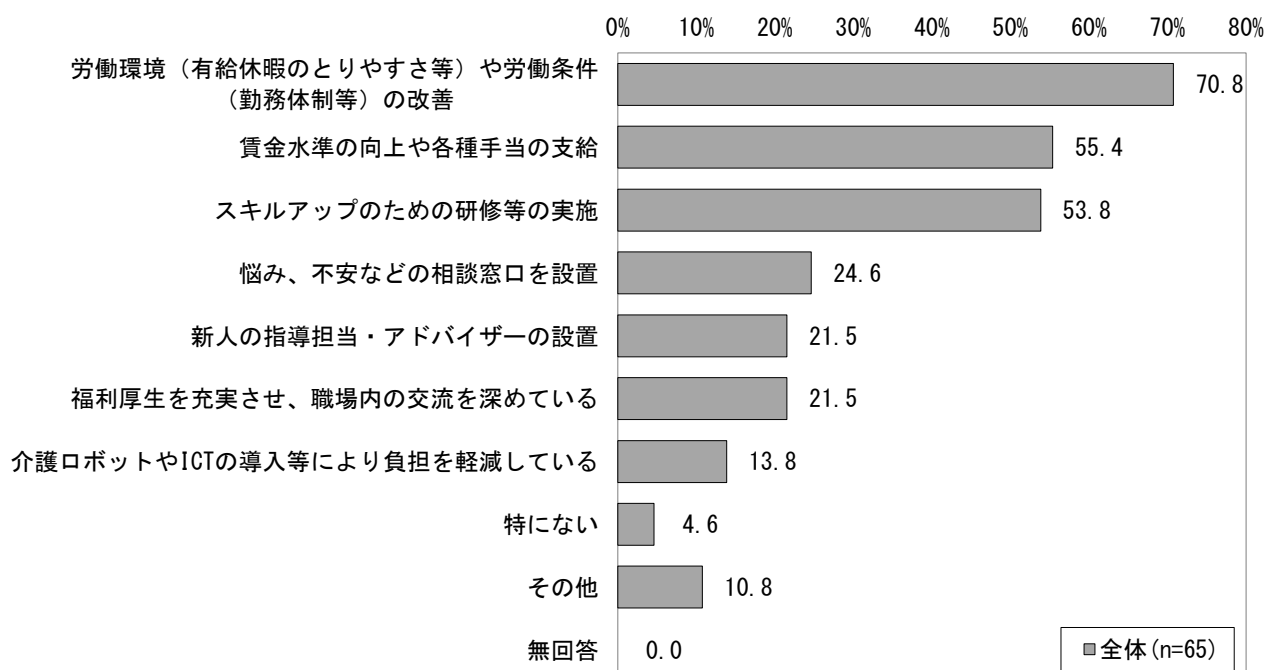
問10 職員が不足し、充足しない場合はどのように対応していますか。(いくつでも)

全体では、「各職員の勤務時間やシフトを調整している」が50.8%と最も高く、「法人内の他の事業所から配置転換している」が30.8%、「サービス利用者を減らしている」が16.9%と続いている。



問 11 職員の離職防止や定着促進のために、どのような取組をしていますか。(いくつでも)

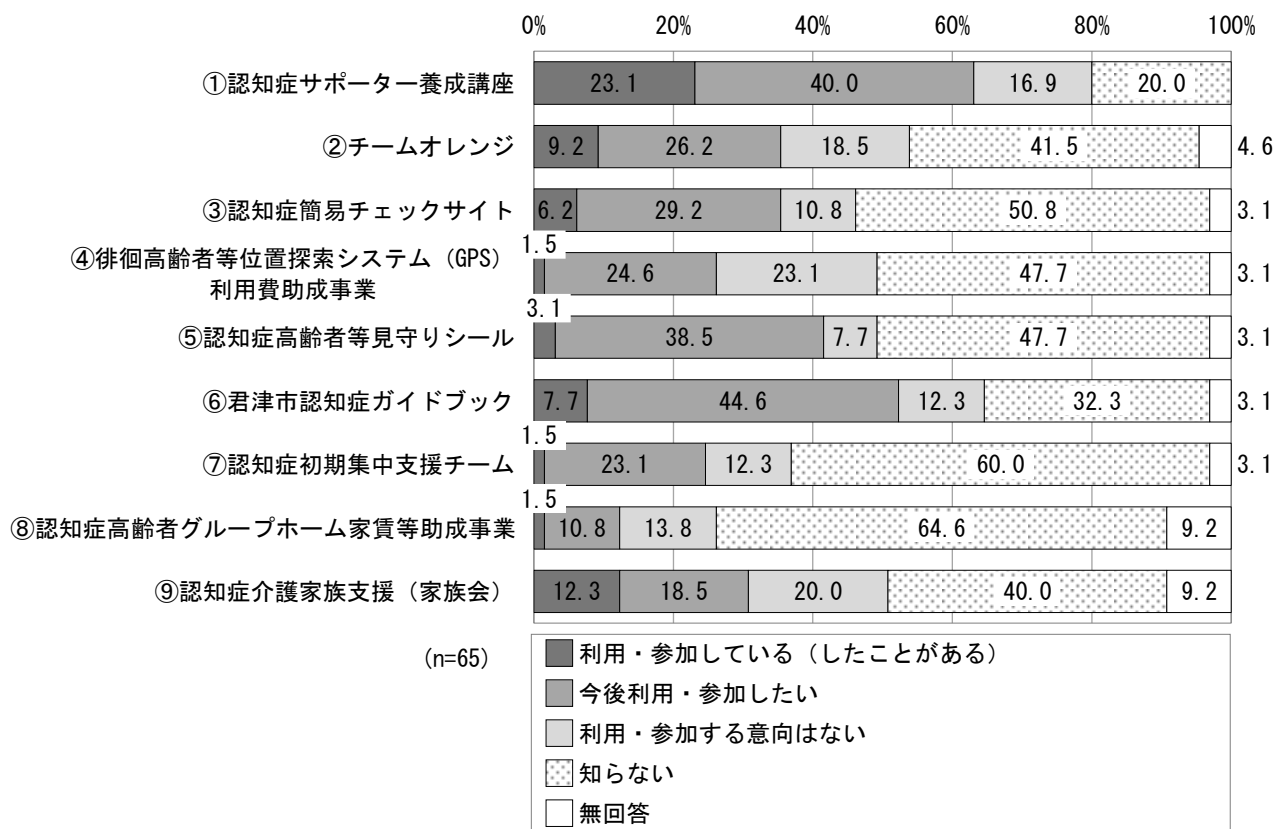
全体では、「労働環境（有給休暇のとりやすさ等）や労働条件（勤務体制等）の改善」が70.8%と最も高く、「賃金水準の向上や各種手当の支給」が55.4%、「スキルアップのための研修等の実施」が53.8%と続いている。



問 12 現在、市が提供している認知症施策や支援について、知っていますか。

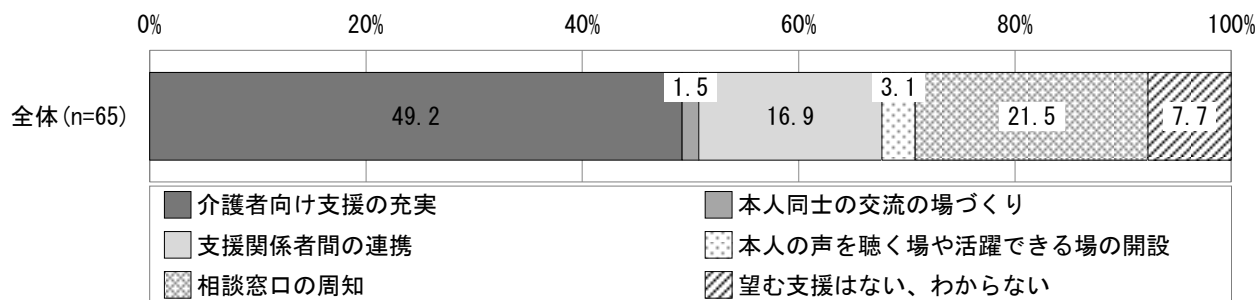
「利用・参加している（したことがある）」が最も高いのは、＜①認知症サポーター養成講座＞で、23.1%となっている。

一方、「知らない」が最も高いのは、＜⑧認知症高齢者グループホーム家賃等助成事業＞で、64.6%となっている。



問 13 認知症高齢者の充実に向けて、行政に特に支援してほしい内容を教えてください。

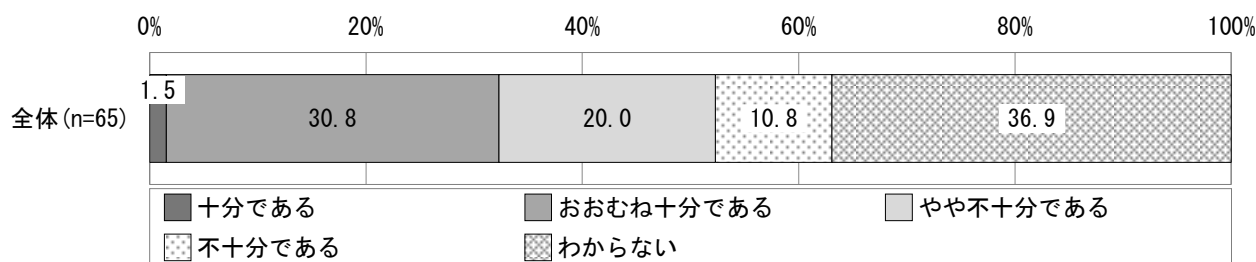
全体では、「介護者向け支援の充実」が49.2%と最も高く、「相談窓口の周知」が21.5%、「支援関係者間の連携」が16.9%と続いている。



※「認知症の普及啓発」「その他」との回答は見られない

問 14 認知症高齢者や家族の困りごとに対する、行政の支援や連携体制についてどのように感じていますか。

全体では、「わからない」が 36.9%と最も高く、「おおむね十分である」が 30.8%、「やや不十分である」が 20.0%と続いている。



問 15 採用や人材定着に関する課題やご意見をご回答ください。(自由記述)

サービス種別	回答
施設・居住系サービス	介護職員の年齢がだんだん上がってきているが、中途採用しようとしても若い職員の応募がほとんどない。又、外国人の採用を検討しているが、日々の業務に追われ職員教育できる余裕がない
施設・居住系サービス	千葉労働局管内の高校新卒求人倍率が3.66倍(R7.9末)となるなど新卒者の確保も非常に厳しい状況にある。介護保険の処遇改善加算等により賃金等の改善はされているものの、他業種にくらべ十分とはいえない。人材の確保、定着に向け更なる賃金アップなど労働環境の改善が必要
施設・居住系サービス	現在、職員の離職率が低いのは、風通しの良い相談のできる勤務環境があるからだと感じている。既に特定技能外国人を受け入れているが、施設の立地条件は幹線道路から離れ利便性に欠ける。そのような条件下でも雇用を推進していける外国人労働者専用の相談窓口があればいいと感じる(今後の定着は望めないのではないか不安です)
施設・居住系サービス	直接、雇用に結びつくかどうかはわかりませんが、介護に興味ある方向けの介護の講習会で、今年、受講生と話す機会ありまして、今後も、このような直接、介護に興味ある方が増えるような場に参加させていただけるとありがたいです
施設・居住系サービス	弊社の従業員の高齢化が進み、若い人が入社せず今後の課題となっている
施設・居住系サービス	ハローワークによる採用は非常に困難であり、ここ数年は紹介がない。やむを得ず紹介業者を利用すると高額な手数料が発生し、負担が大きい。定着してくれれば良いが、手数料の返還期限が過ぎた頃に退職してしまう
施設・居住系サービス	必要な介護職の人員に対して介護職の人員が圧倒的に不足していると感じます。そこをどうしていくかが課題です

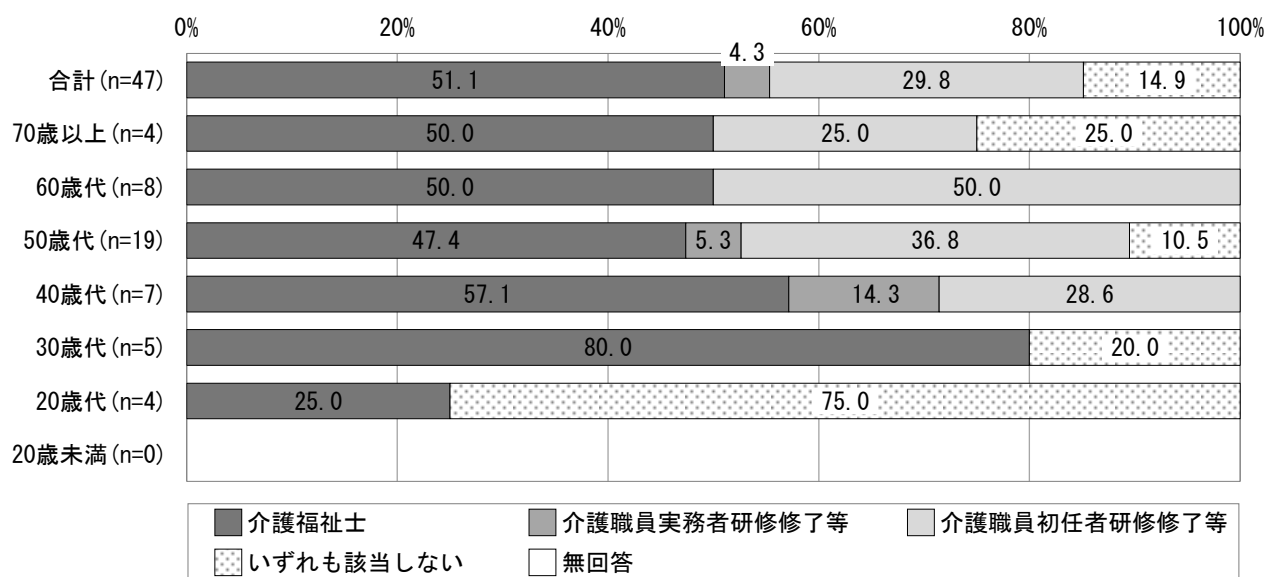
通所系サービス	千葉県の最低賃金は毎年上がっている中で介護報酬のアップが追いつきません。単独で事業を行っている通所介護事業所は経営的に厳しいと思います
通所系サービス	現在の職員の高齢化の不安
通所系サービス	利用者の減少で従業員の勤務が減少している
通所系サービス	介護業界は厳しい状況に置かれていると思います
通所系サービス	弊社は、従業員は定着しているが、高齢化が進み、若い人が入社せず今後の課題となっている
通所系サービス	人材定着については業務環境と賃金格差（近隣の施設の平均賃金水準）が課題かと
通所系サービス	利用者の獲得がうまく進まないこと（利用者の増減が売上げに直結）で稼働率が安定しないため、新たな人員採用や定着に向けた動きが難しい。若い年代の応募が少ないことも採用の厳しい部分であると感じている。できれば、中学、高校の職場実習なども考えてみたい
通所系サービス	小規模施設では、経営規模の制約から賃金改善に限界があり、大規模事業所との賃金格差が生じやすい。その結果、人材確保・雇用の継続が困難になっている。賃金水準を十分に引き上げられないことで、非常勤職員（パート）の年収が中途半端な水準にとどまりやすく、いわゆる「130万円の壁」を意識せざるを得ない状況となっている。扶養から外れるほどの収入増が見込めないため、労働時間の拡大を希望しても制限せざるを得ず、人手不足の解消につながりにくい
通所系サービス	採用に費用がかけれない
通所系サービス	今年度以前に離職者が出て以来、職員の採用が出来ていない状況が続いています。その上、必要な介護職の人員に対して介護職の人員が圧倒的に不足していると感じます。どうしたら人材確保ができるのかが課題です
訪問系サービス	介護職員の人手不足は、やりがいだけでは、やっていけないと思います。賃金の値上げを国がしっかり個人に渡して欲しい
訪問系サービス	介護業界は厳しい状況に置かれていると思います
訪問系サービス	問3について：10年以上前、永住権を持つ外国人を個別に4名ほど採用し勤務して貰っていた事がある。 認知症の方々への行政対応について：まず認定前の質問票上の「意味もなくウロウロすることがある」など馬鹿にした表記を改めるべきである。何十年も表記が変わらないまま使用されているのは、行政が本人に寄り添っていない証拠ではないかと考える
小規模多機能型 居宅介護	充足していても、ギリギリの人数のため、急な退職や休職があると不足してしまう。人件費の問題もある

2. 職員票（訪問系）

（1）資格保有の状況と雇用形態

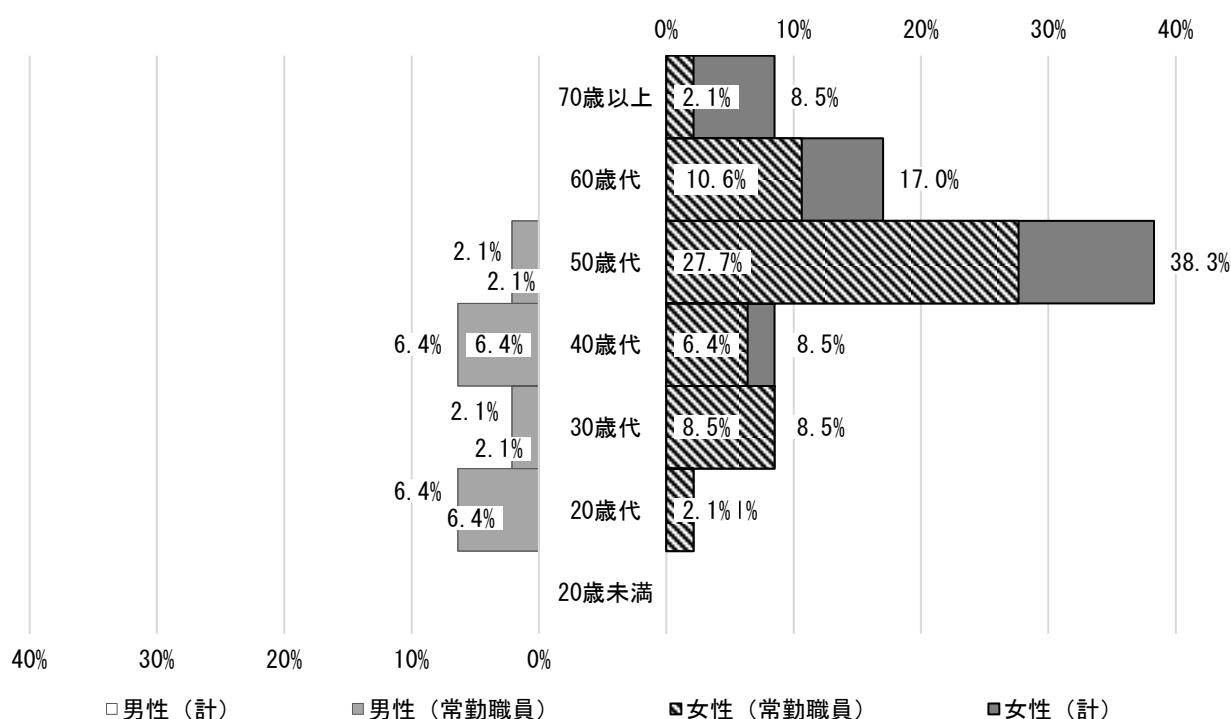
年齢別の資格保有の状況をみると、全体では、「介護福祉士」が51.1%と最も高くなっている。

年齢別の資格保有の状況



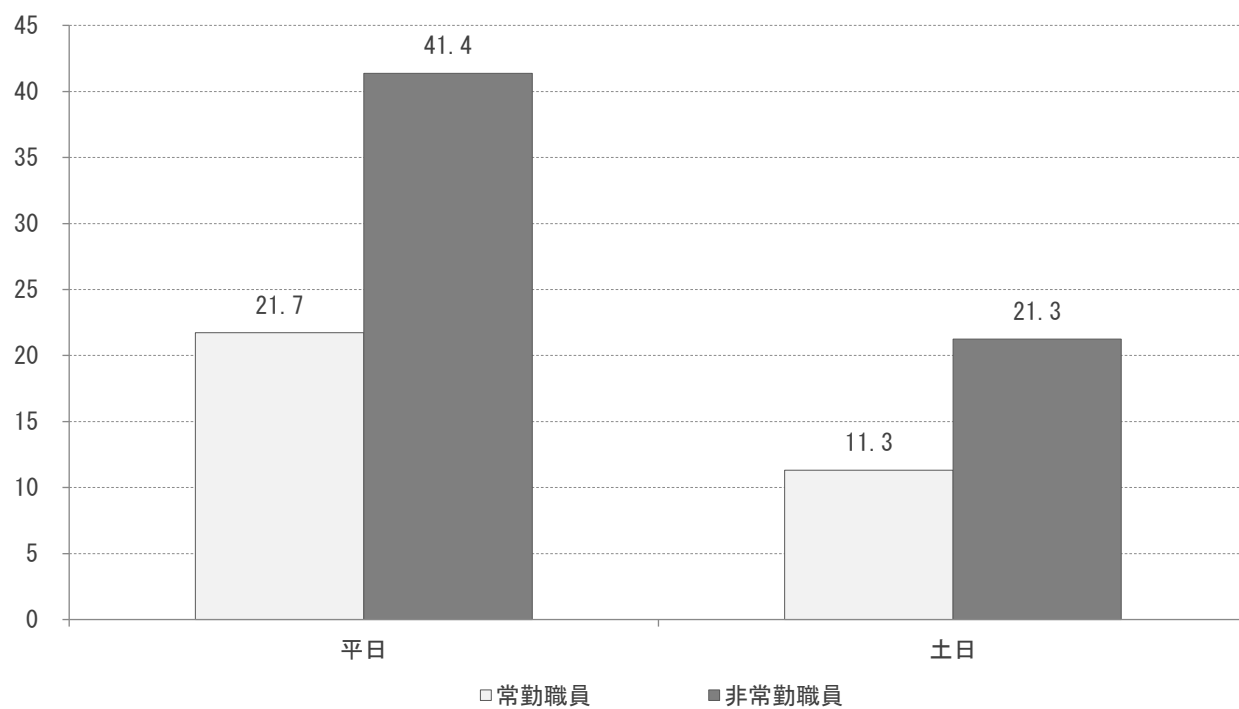
性別・年齢別の雇用形態をみると、50歳代の女性（常勤職員）が27.7%と最も高くなっている。

性別・年齢別の雇用形態の構成比（n=47）

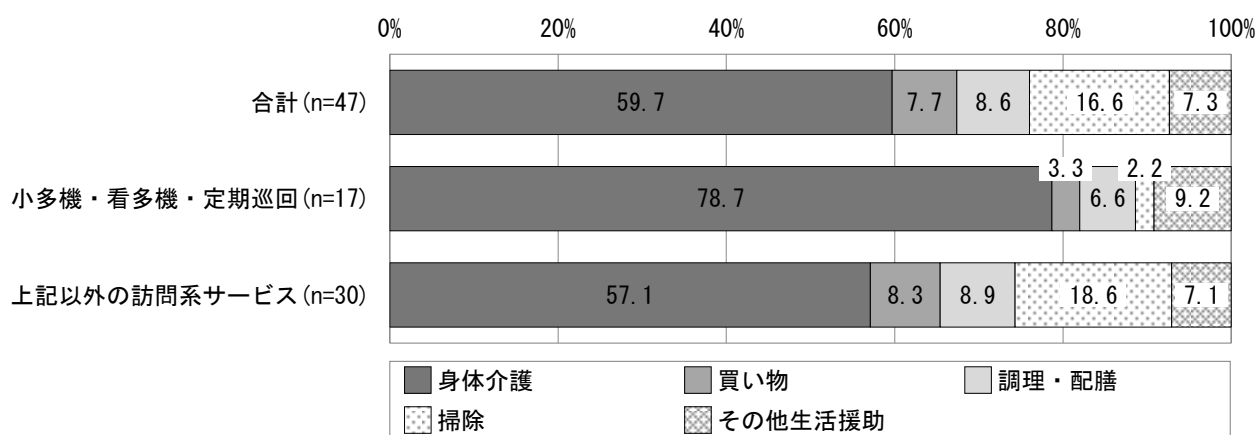


(2) 訪問介護サービス提供時間

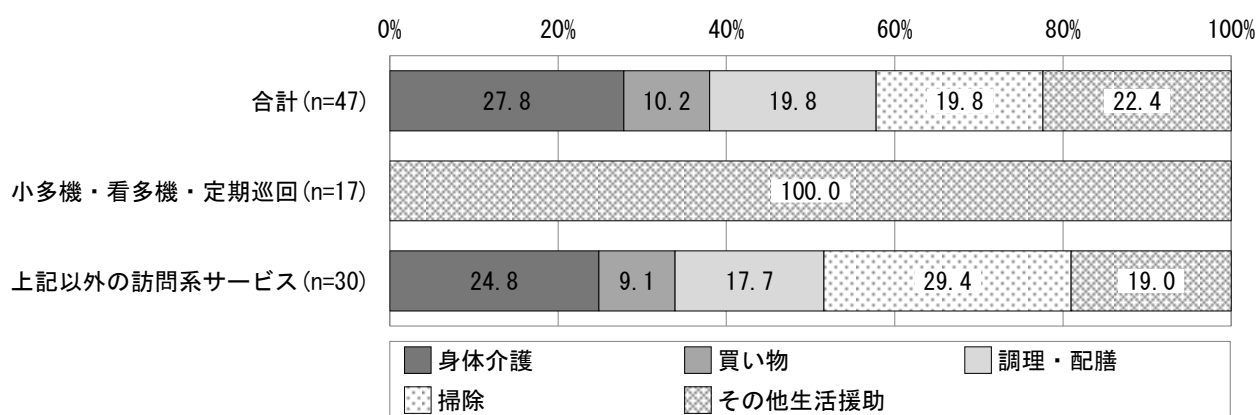
平日・土日別の職員1人・1日あたり
訪問介護サービス提供時間（身体介護、単位：分）



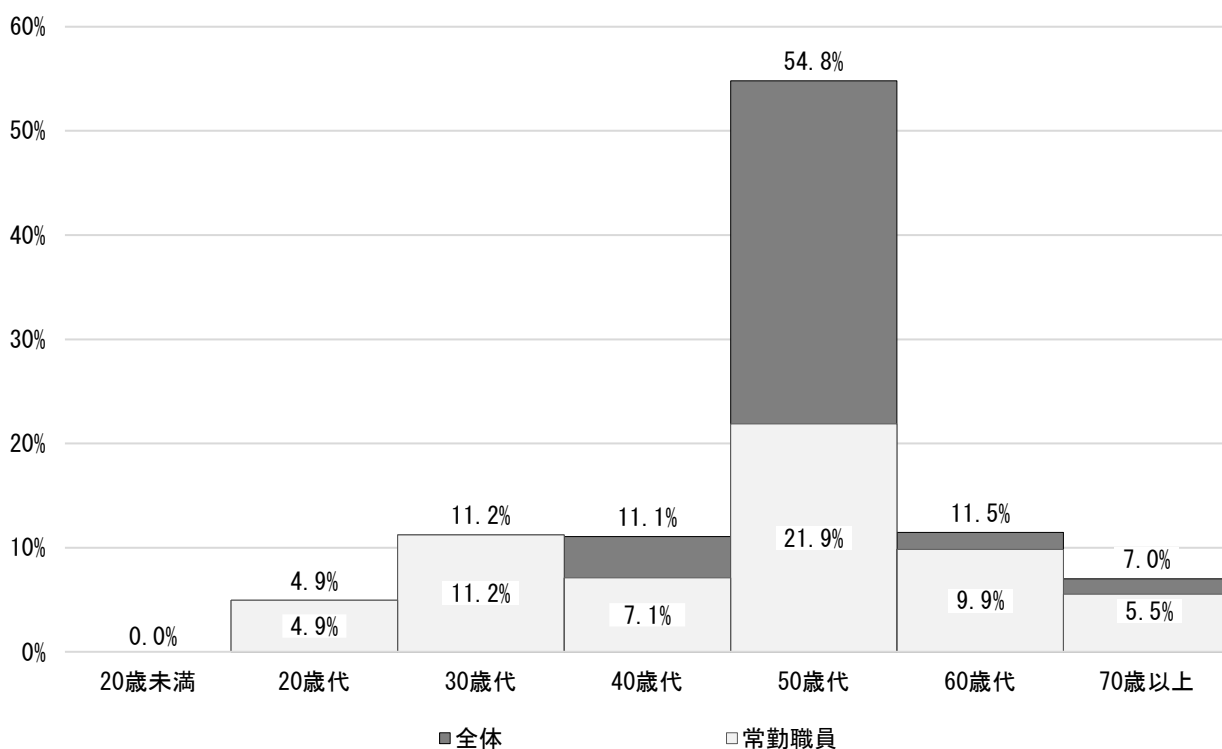
訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付）



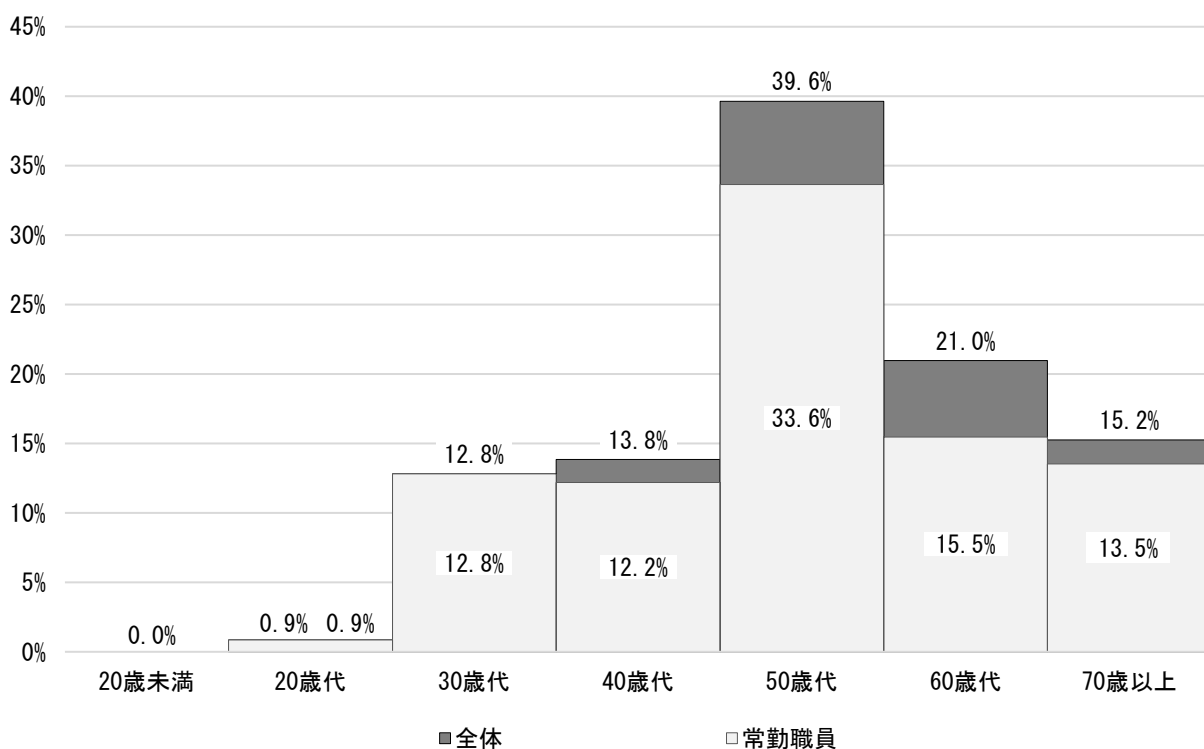
訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳（予防給付・総合事業）



職員の年齢別の訪問介護提供時間（身体介護）

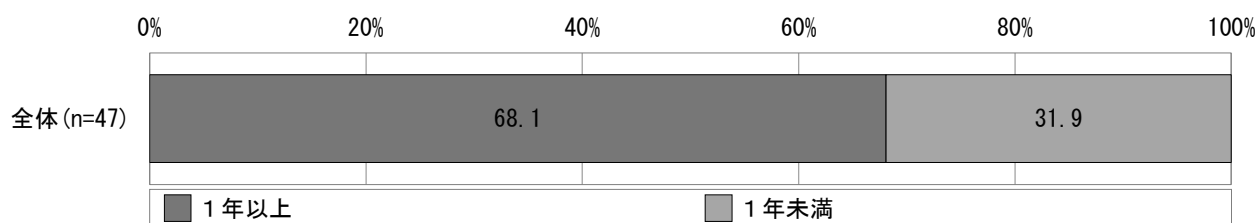


職員の年齢別の訪問介護提供時間（生活援助）



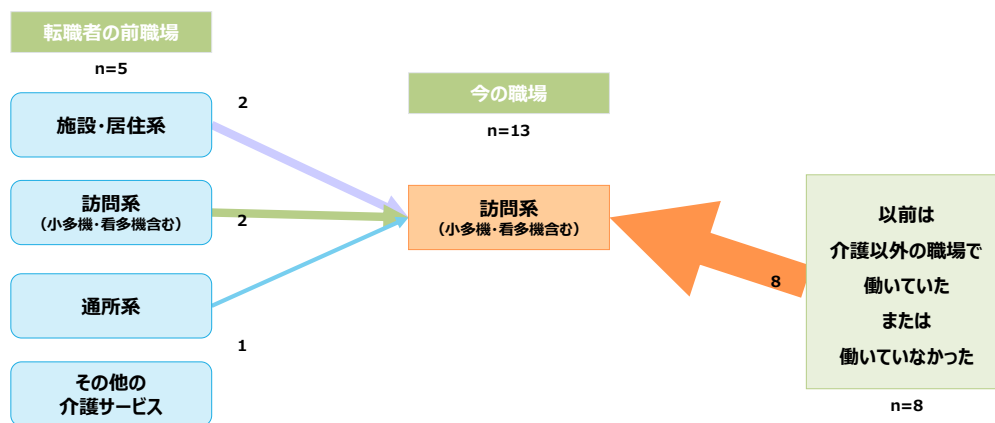
(3) 直前の職場

現在の事業所での勤務年数をみると、「1年以上」が68.1%、「1年未満」が31.9%となっている。



勤務年数が「1年未満」の直前の職場の変化は、以下のとおりである。

過去1年間の介護職員の職場の変化 (同一法人・グループ内での異動は除く)



(注) 上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方を集計対象としています。

高齢者の福祉と介護に関する
アンケート調査結果報告書
(第 10 期介護保険事業計画策定に係る
アンケート調査結果報告)

発行日／令和 8 年 3 月

発行／君津市

地域密着型サービス事業所の新規指定について

1 趣旨

地域密着型通所介護について、次のとおり事業者より指定申請書が市へ提出されたため、新規に事業所の指定をするものです。

なお、当該事業所については、既に千葉県が指定する要介護認定者を対象とする「通所介護」及び市が指定する要支援認定者等を対象とする「通所型サービス」を提供していますが、この度、通所介護を廃止し、令和 8 年 7 月 1 日付で地域密着型通所介護の新規指定を受けるものとなります。

2 地域密着型通所介護の概要

地域密着型通所介護は、市町村が指定監督する「地域密着型サービス」の一つで、要介護 1～5 の方を対象に、比較的小規模なデイサービスセンター（定員 18 名以下）への通所により、入浴・排せつ・食事等の介護やその他の日常生活上の世話や機能訓練のサービスを日帰りで提供する事業です。

3 法人名等

- | | |
|-------------|------------------------|
| (1) 事業所名 | らいおんハートリハビリデイサービス君津 |
| (2) サービスの種類 | 地域密着型通所介護 |
| (3) 利用定員 | 9 名 |
| (4) 事業所所在地 | 千葉県君津市台 2 丁目 1 番 4 号 |
| (5) 法人名 | 株式会社カスケード東京 |
| (6) 代表取締役 | 篠原 興道 |
| (7) 法人所在地 | 東京都港区海岸一丁目 2 番 3 号－104 |

4 指定予定年月日

令和 8 年 7 月 1 日

5 指定申請について

提出書類に不備がなく、市の条例及び規則で定める指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準について、満たしていることを確認しております。

6 君津市第9期介護保険事業計画における地域密着型通所介護事業の実績と見込み

地域密着型通所介護は、利用者の心身機能の維持とともに、社会的孤立感の解消や家族の身体的・精神的負担の軽減も図られるため、利用率の高いサービスとなっています。

■計画値■

項目		実績		見込	第9期計画		
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
地域密着型 通所介護	回/月	1,723	1,766	1,836	1,779	1,801	1,856
	人/月	149	159	174	184	188	193

7 参考 君津市内地域密着型通所介護事業所一覧

	事業所名	所在地
1	足湯の里	君津市内箕輪 1-10-11
2	リハビリ専門デイサービスメディカルL a b o 君津	君津市南子安 6-21-6
3	君津デイサービスはるか	君津市人見 1593-2
4	らいおんハートリハビリデイサービス君津 ※	君津市台 2-1-4
5	デイサービス集い	君津市常代 5-6-34
6	リハプライド きみつ	君津市中島 262-2
7	デイサービス羽々ぱたぱた	君津市中島 644-1
8	デイサービスこいと福寿草の家	君津市白駒 41-1

※新規指定予定。

君津市指定地域密着型サービスの人員、設備及び運営に関する
基準を定める規則 一部抜粋

(従業者の員数)

第 54 条の 2 条例第 7 条に規定する指定地域密着型通所介護の事業を行う者(以下「指定地域密着型通所介護事業者」という。))が当該事業を行う事業所(以下「指定地域密着型通所介護事業所」という。))ごとに置くべき従業者(以下この節から第 3 節までにおいて「地域密着型通所介護従業者」という。))の員数は、次のとおりとする。

(1) 生活相談員 指定地域密着型通所介護の提供日ごとに、当該指定地域密着型通所介護を提供している時間帯に生活相談員(専ら当該指定地域密着型通所介護の提供に当たる者に限る。))が勤務している時間数の合計数を当該指定地域密着型通所介護を提供している時間帯の時間数で除して得た数が 1 以上確保されるために必要と認められる数

(2) 看護師又は准看護師(以下この章において「看護職員」という。)) 指定地域密着型通所介護の単位ごとに、専ら当該指定地域密着型通所介護の提供に当たる看護職員が 1 以上確保されるために必要と認められる数

(3) 介護職員 指定地域密着型通所介護の単位ごとに、当該指定地域密着型通所介護を提供している時間帯に介護職員(専ら当該指定地域密着型通所介護の提供に当たる者に限る。))が勤務している時間数の合計数を当該指定地域密着型通所介護を提供している時間数(次項において「提供単位時間数」という。))で除して得た数が利用者(当該指定地域密着型通所介護事業者が法第 115 条の 45 第 1 項第 1 号ロに規定する第 1 号通所事業(地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律(平成 26 年法律第 83 号)第 5 条による改正前の法第 8 条の 2 第 7 項に規定する介護予防通所介護に相当するものとして市長が別に定めるものに限る。))に係る指定事業者の指定を併せて受け、かつ、指定地域密着型通所介護の事業と当該第 1 号通所事業とが同一の事業所において一体的に運営されている場合にあっては、当該事業所における指定地域密着型通所介護又は当該第 1 号通所事業の利用者。以下この節及び次節において同じ。))の数が 15 人までの場合にあっては 1 以上、15 人を超える場合にあっては 15 人を超える部分の数を 5 で除して得た数に 1 を加えた数以上確保されるために必要と認められる数

(4) 機能訓練指導員 1 以上

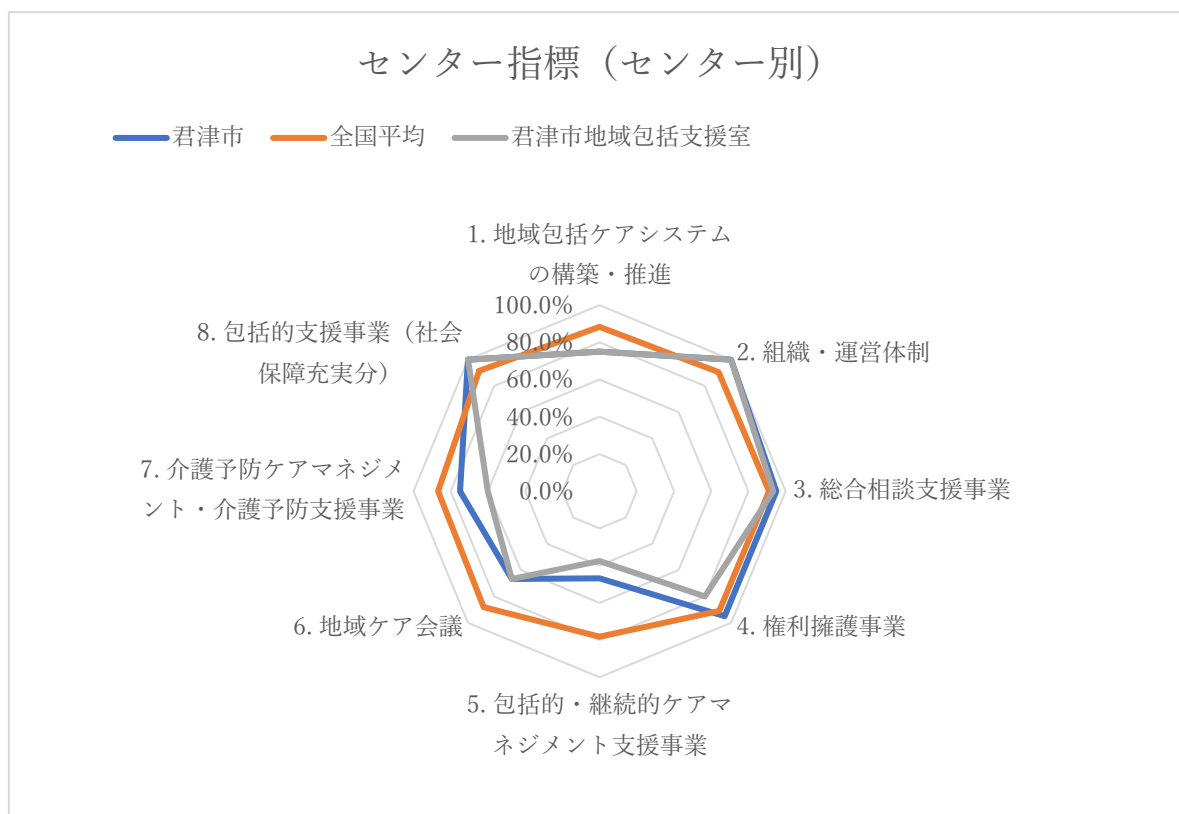
議題3 令和7年度地域包括支援センターの事業評価について

各センターと全国平均の比較（図：地域包括支援センターの取組状況（令和6年度））

(1) 君津市地域包括支援室

評価分野	君津市	全国平均	君津市地域包括支援室
1. 地域包括ケアシステムの構築・推進	75.0%	88.3%	75.0%
2. 組織・運営体制	100.0%	90.5%	100.0%
3. 総合相談支援事業	95.0%	91.1%	93.3%
4. 権利擁護事業	95.0%	91.0%	80.0%
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	46.9%	78.2%	37.5%
6. 地域ケア会議	66.7%	88.2%	66.7%
7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援事業	75.0%	86.8%	60.0%
8. 包括的支援事業（社会保障充実分）	100.0%	91.5%	100.0%

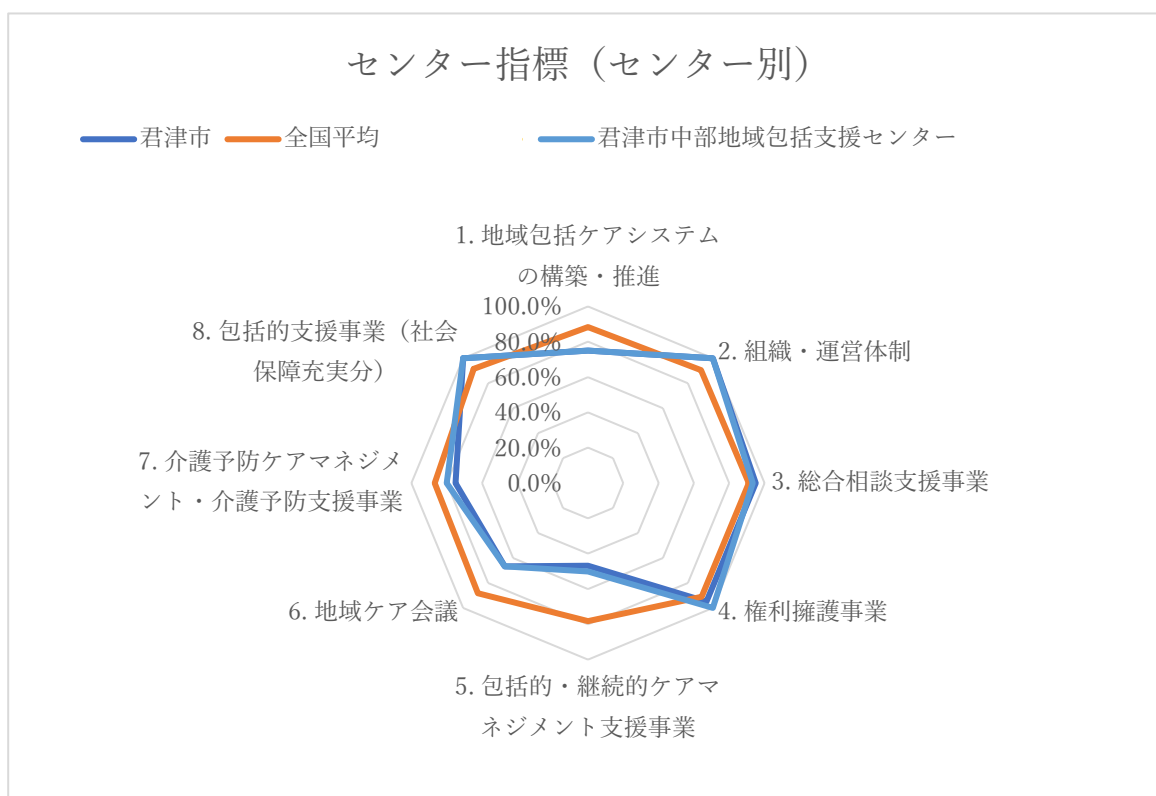
※令和6年度実績を令和7年度に評価したもの



(2) 君津市中部地域包括支援センター

評価分野	君津市	全国平均	君津市中部地域包括支援センター
1. 地域包括ケアシステムの構築・推進	75.0%	88.3%	75.0%
2. 組織・運営体制	100.0%	90.5%	100.0%
3. 総合相談支援事業	95.0%	91.1%	93.3%
4. 権利擁護事業	95.0%	91.0%	100.0%
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	46.9%	78.2%	50.0%
6. 地域ケア会議	66.7%	88.2%	66.7%
7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援事業	75.0%	86.8%	80.0%
8. 包括的支援事業（社会保障充実分）	100.0%	91.5%	100.0%

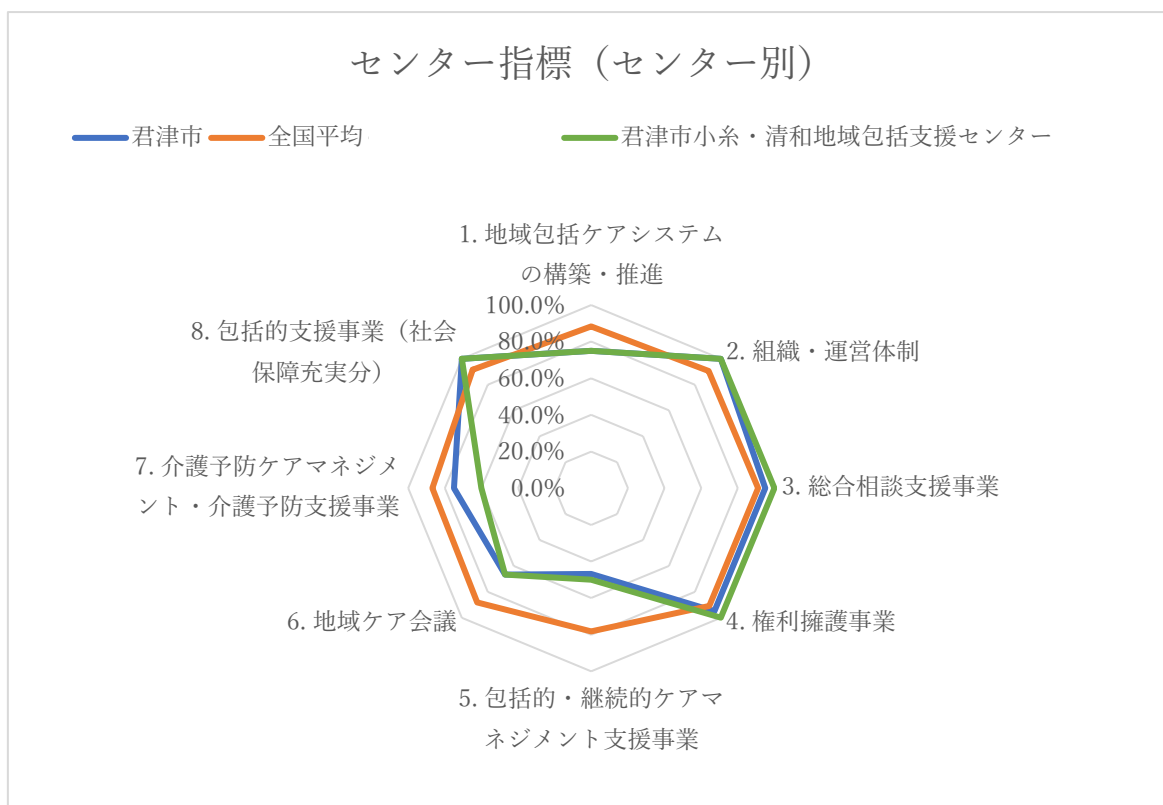
※令和6年度実績を令和7年度に評価したもの



(3) 君津市小糸・清和地域包括支援センター

評価分野	君津市	全国平均	君津市小糸・清和地域包括支援センター
1. 地域包括ケアシステムの構築・推進	75.0%	88.3%	75.0%
2. 組織・運営体制	100.0%	90.5%	100.0%
3. 総合相談支援事業	95.0%	91.1%	100.0%
4. 権利擁護事業	95.0%	91.0%	100.0%
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	46.9%	78.2%	50.0%
6. 地域ケア会議	66.7%	88.2%	66.7%
7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援事業	75.0%	86.8%	60.0%
8. 包括的支援事業（社会保障充実分）	100.0%	91.5%	100.0%

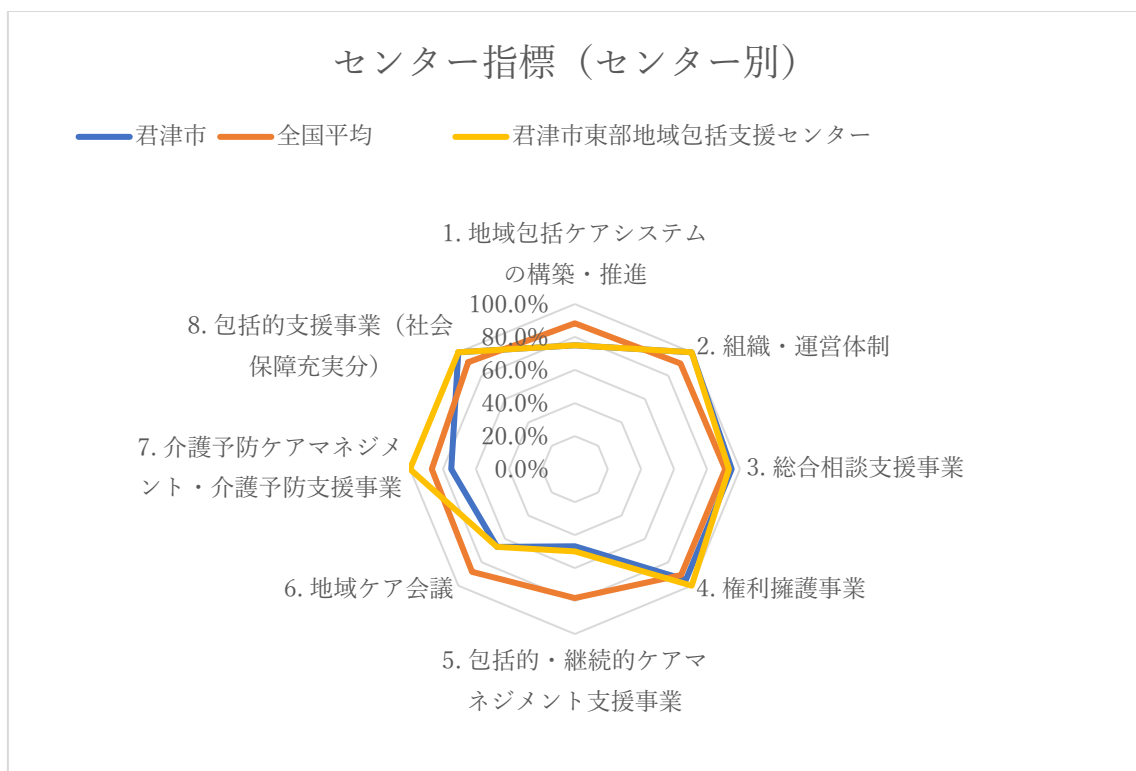
※令和6年度実績を令和7年度に評価したもの



(4) 君津市東部地域包括支援センター

評価分野	君津市	全国平均	君津市東部地域包括支援センター
1. 地域包括ケアシステムの構築・推進	75.0%	88.3%	75.0%
2. 組織・運営体制	100.0%	90.5%	100.0%
3. 総合相談支援事業	95.0%	91.1%	93.3%
4. 権利擁護事業	95.0%	91.0%	100.0%
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	46.9%	78.2%	50.0%
6. 地域ケア会議	66.7%	88.2%	66.7%
7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援事業	75.0%	86.8%	100.0%
8. 包括的支援事業（社会保障充実分）	100.0%	91.5%	100.0%

※令和6年度実績を令和7年度に評価したもの

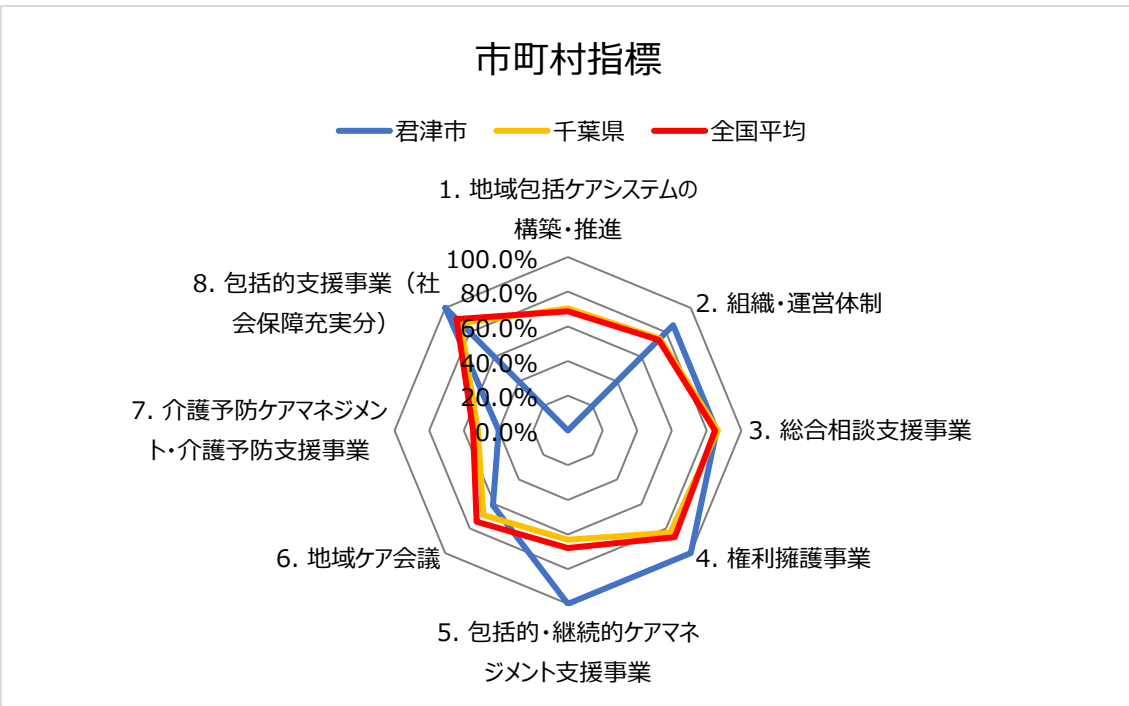


君津市と全国平均、千葉県平均の比較（市町村指標）

評価分野	市町村指標		
	君津市	千葉県	全国平均
1. 地域包括ケアシステムの構築・推進	0.0%	70.4%	68.7%
2. 組織・運営体制	85.7%	74.9%	73.9%
3. 総合相談支援事業	85.7%	86.5%	84.8%
4. 権利擁護事業	100.0%	83.3%	87.0%
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	100.0%	63.0%	67.8%
6. 地域ケア会議	61.1%	68.9%	74.4%
7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援事業	40.0%	52.0%	54.8%
8. 包括的支援事業（社会保障充実分）	100.0%	87.5%	90.8%

※令和 6 年度実績を令和 7 年度に評価したもの

※地域包括支援センターの指標とは異なります



地域包括支援センター別回答

※指標は原文通り
※段階的指標は赤字

	センター		君津市平均	全国調査結果	君津市地域 包括支援室	君津市東部 地域包括支 援センター	君津市中部 地域包括支 援センター	君津市小 糸・清和地 域包括支援 センター
1. 地域包括ケア システムの構築・ 推進	市町村全体を踏まえた担当圏域 の現状および将来像やニーズを 把握する	A 人口動態、市町村が行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の結果等の量的データによって、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握しているか	100.0%	94.4%	○	○	○	○
		B 介護保険事業計画、老人福祉計画、地域福祉計画等から、地域の高齢者に係る課題等を把握しているか	100.0%	93.2%	○	○	○	○
		C センターが行う実態調査によって、担当圏域の現状やニーズを把握しているか	0.0%	70.4%	×	×	×	×
		D 相談内容や地域ケア会議等の内容を分析し、担当圏域の地域課題を把握しているか	100.0%	95.3%	○	○	○	○
	平均点数・％（必須項目[白色セル]のみカウント）		75.0%	88.3%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
2. 組織・運営体制	市町村の実施方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る	A 市町村が定めるセンターの事業の実施方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか	100.0%	95.2%	○	○	○	○
		B 当該年度のセンターの事業計画に、前年度の事業評価における課題への適切な対応策を含めているか	100.0%	93.5%	○	○	○	○
		C 市町村の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ、センターの事業計画に重点目標を設定しているか	100.0%	87.2%	○	○	○	○
		D センターの事業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、必要な業務改善を行っているか	100.0%	87.8%	○	○	○	○
	センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う	A センター長等の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知しているか	100.0%	80.5%	○	○	○	○
		B センターの事業計画を共有する会議等の機会を設け、これに基づく職員個々の取組内容を確認しているか	100.0%	94.5%	○	○	○	○
		C センターの業務量を把握したうえで、業務の最適化を図るための対応を行なっているか	100.0%	83.7%	○	○	○	○
		D 特定の職員に業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行なっているか	100.0%	90.8%	○	○	○	○
		E 【市町村により選択】 センター業務にICTを活用するなど、センターの業務効率化に取り組んでいるか	100.0%	39.2%	○	○	○	○
	センター職員の人材確保および育成を図る	A センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っているか	100.0%	94.8%	○	○	○	○
		B センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場で研修を実施しているか	100.0%	93.6%	○	○	○	○
		C センターに在籍する全ての職員が、計画的に職場での仕事を離れて研修（Off-JT）に参加できるようにしているか	100.0%	90.5%	○	○	○	○
		D センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、メンタルヘルス対策を実施しているか	100.0%	90.9%	○	○	○	○
		E 【市町村により選択】 スーパービジョンまたはコンサルテーションが受けられる体制を整えているか	100.0%	31.2%	○	○	○	○
	市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整え実践する	A 個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか	100.0%	95.0%	○	○	○	○
		B 個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか	100.0%	79.0%	○	○	○	○
		C 市町村の方針に沿って、個人情報漏えいとセンターが受けた苦情に対して、対処および市町村への報告（共有）の体制を構築しているか	100.0%	92.0%	○	○	○	○
		D センターへの苦情内容をもとに業務を改善しているか	100.0%	99.0%	○	○	○	○
		E 【市町村により選択】 センターに対する利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントに適切に対応する体制をセンターとして整備しているか	75.0%	30.6%	○	○	×	○
	平均点数・％（必須項目[白色セル]のみカウント）		100.0%	91.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地域包括支援センター別回答

	センター			君津市平均	全国調査結果	君津市地域 包括支援室	君津市東部 地域包括支 援センター	君津市中部 地域包括支 援センター	君津市小 糸・清和地 域包括支援 センター
3. 総合相談支援 事業	地域包括支援ネットワークを構築する	A	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員、連絡先、特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか	100.0%	94.8%	○	○	○	○
		B	気になる高齢者等に関して、関係機関、民生委員、地域住民から連絡が寄せられるネットワーク体制を構築しているか	100.0%	99.7%	○	○	○	○
		C	相談経路を分析して、高齢者等への支援に必要な新たな支援機関等と連携しているか	100.0%	95.4%	○	○	○	○
		D	【市町村により選択】 高齢者福祉分野以外の関係機関・関係者と意見交換する機会を設けるなど、分野を横断した新たなネットワークを構築しているか	100.0%	49.1%	○	○	○	○
	市町村と相談事例を共有・分析し、支援に活かす	A	相談事例の分類方法に沿って、1年間の相談件数等を市町村に報告しているか	100.0%	98.8%	○	○	○	○
		B	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか	100.0%	77.1%	○	○	○	○
		C	相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から後方支援を得ているか	100.0%	99.2%	○	○	○	○
		D	相談内容を分析して、対応ルールの作成や研修の開催等を行い、職員の実践力の向上に活かしているか	100.0%	85.2%	○	○	○	○
	家族介護者支援に取り組む	A	夜間・早朝の窓口または平日以外の窓口（連絡先）を設置して住民に周知し、家族介護者等が相談しやすい環境を整えているか	100.0%	88.5%	○	○	○	○
		B	支援が必要な家族介護者を早期に発見するための取組を行っているか。	75.0%	92.8%	○	○	×	○
		C	家族介護者に対するアセスメントを行い、状態やニーズに応じて適切な社会資源に関する情報を提供しているか	100.0%	96.5%	○	○	○	○
		D	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか	100.0%	96.7%	○	○	○	○
		E	【市町村により選択】 家族介護者に対する予防的な取組を行なっているか	50.0%	46.9%	×	○	×	○
	複合的な課題を持つ世帯の相談に適切に対応する	A	相談者とともに複合的な課題を整理してニーズを明確にしているか	100.0%	94.9%	○	○	○	○
		B	ニーズに応じて適切な社会資源につなげ、必要に応じてつなげた社会資源と協働しているか	100.0%	97.3%	○	○	○	○
		C	相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容等の実態を把握しているか	100.0%	71.5%	○	○	○	○
		D	相談内容を分析して、複合的な課題を持つ世帯の相談対応の改善に活かしているか	50.0%	79.6%	×	×	○	○
	平均点数・％（必須項目[白色セル]のみカウント）			95.0%	90.9%	93.3%	93.3%	93.3%	100.0%
4. 権利擁護事業	高齢者等の権利擁護のための普及啓発や対応を行う	A	市町村から共有されている成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準を確認しているか	100.0%	80.6%	○	○	○	○
		B	消費者被害に関する情報を、民生委員、介護支援専門員、ホームヘルパー等へ提供しているか	75.0%	82.9%	×	○	○	○
		C	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、適切に対応しているか	100.0%	95.1%	○	○	○	○
		D	高齢者虐待事例および高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか	100.0%	98.6%	○	○	○	○
		E	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論、報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか	100.0%	97.9%	○	○	○	○
		F	【市町村により選択】 センターに在籍するすべての職員が高齢者等の権利擁護に関する研修を受講しているか	100.0%	40.9%	○	○	○	○
	平均点数・％（必須項目[白色セル]のみカウント）			95.0%	91.0%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%

地域包括支援センター別回答

	センター		君津市平均	全国調査結果	君津市地域 包括支援室	君津市東部 地域包括支 援センター	君津市中部 地域包括支 援センター	君津市小 糸・清和地 域包括支援 センター
5. 包括的・継続 的ケアマネジメン ト支援事業	担当圏域の居宅介護支援事業所の 状況を把握し、地域のケアマ ネジャーの支援ニーズに基づい た対応を行う	A 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門 員、介護支援専門員の人数等）を把握しているか	100.0%	92.7%	○	○	○	○
		B 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類・件数を把握した上で、 研修会、事例検討会、地域ケア会議等を開催しているか	100.0%	89.7%	○	○	○	○
		C 担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例： 医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか	0.0%	88.4%	×	×	×	×
		D 介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予 防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか	75.0%	88.8%	×	○	○	○
		E 介護支援専門員を対象にした研修会や事例検討会等の開催計画を策定し、年度当 初に指定居宅介護支援事業所に示しているか	100.0%	69.0%	○	○	○	○
	市町村の方針に則り、介護予防 サービス計画の検証を行う	A 市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する新規の介護予防 サービス計画を確認しているか	0.0%	72.0%	×	×	×	×
		B 市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する更新の介護予防 サービス計画を確認しているか	0.0%	70.6%	×	×	×	×
		C 市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サー ビス計画を抽出し、その検証をしているか	0.0%	44.8%	×	×	×	×
		D 【市町村により選択】 市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サー ビス計画を抽出し、地域ケア会議でその検証をしているか	0.0%	26.1%	×	×	×	×
	平均点数・％（必須項目[白色セル]のみカウント）		46.9%	78.2%	37.5%	50.0%	50.0%	50.0%
6. 地域ケア会議	センター主催の個別ケースを検 討する地域ケア会議において、 多様な視点から個別事例の検討 を行い、対応策を講じる	A センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者、地域の 関係機関に対して周知しているか	100.0%	88.5%	○	○	○	○
		B センター主催の地域ケア会議において、多職種等と連携して、自立支援・重度化 防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか	100.0%	93.8%	○	○	○	○
		C 市町村が共有した地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センター が主催する地域ケア会議で適切に対応しているか	100.0%	96.3%	○	○	○	○
		D 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングする ルールや仕組みを構築・実行しているか	100.0%	82.8%	○	○	○	○
		E センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で 共有しているか	100.0%	88.1%	○	○	○	○
	地域ケア会議において、地域課 題を把握し、適切に対応する	A センター主催の地域ケア会議（地域ケア個別会議）において、地域課題の可能性 がある課題を抽出しているか	100.0%	89.7%	○	○	○	○
		B センター主催の地域ケア会議（地域ケア推進会議）において、地域課題や自立促 進要因について共有し、その後の対応を検討しているか	0.0%	83.7%	×	×	×	×
		C センター主催の地域ケア会議（地域ケア推進会議）において把握した地域課題や 対応等を、市町村に報告しているか	0.0%	89.1%	×	×	×	×
		D 地域課題の整理・分析・対応等を行なうために、市町村レベルの地域ケア会議 （地域ケア推進会議）等に参加または資料提出しているか	0.0%	81.7%	×	×	×	×
	平均点数・％（必須項目[白色セル]のみカウント）		66.7%	88.2%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%

地域包括支援センター別回答

	センター			君津市平均	全国調査結果	君津市地域 包括支援室	君津市東部 地域包括支 援センター	君津市中部 地域包括支 援センター	君津市小 糸・清和地 域包括支援 センター
7. 介護予防ケア マネジメント・介 護予防支援	介護予防ケアマネジメント・介 護予防支援を適切に実施する	A	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関して、市町村から示された基本方針を、センター職員及び介護支援専門員に周知しているか	75.0%	89.7%	○	○	○	×
		B	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけているか	100.0%	97.8%	○	○	○	○
		C	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか	25.0%	65.9%	×	○	×	×
		D	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録および進行管理を行っているか	100.0%	94.5%	○	○	○	○
		E	市町村から示された介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針を遵守しているか	75.0%	88.7%	×	○	○	○
		F	【市町村により選択】 介護予防ケアマネジメントの成果を把握するために、要支援者または事業対象者の日常生活の自立度の変化について、定期的な評価を行っているか	100.0%	24.7%	○	○	○	○
	平均点数・％（必須項目〔白色セル〕のみカウント）			75.0%	86.8%	60.0%	100.0%	80.0%	60.0%
	8. 包括的支援事 業（社会保障充 実分）	事業間連携を推進する	A	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対して、相談を行っているか	100.0%	87.3%	○	○	○
B			生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターおよび協議体とともに、地域における高齢者のニーズや社会資源について協議を行っているか	100.0%	88.1%	○	○	○	○
C			認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターと、支援対象者に関する情報共有を図っているか	100.0%	95.7%	○	○	○	○
D			包括的支援事業の充実のために、医療関係者と合同の事例検討会や勉強会に参加しているか	100.0%	95.0%	○	○	○	○
E			【市町村により選択】 生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターや協議体と協働して地域活動を促進しているか	100.0%	46.9%	○	○	○	○
平均点数・％（必須項目〔白色セル〕のみカウント）			100.0%	91.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

市町村指標

※指標は原文通り
※段階的指標は赤字

	市町村		君津市	全国実施割合
1. 地域包括ケアシステムの構築・推進	市町村の目指している地域包括ケアシステムの構築において、市町村が計画的にセンターを活用する	A 市町村および日常生活圏域の高齢者等に関する分析結果や地域課題等をもとに、センター数や設置形態等を協議し見直しているか	×	63.9%
		B 市町村における介護保険事業全体の取組状況を踏まえ、センターが担う業務を協議しているか	×	78.6%
		C 市町村の総合評価結果や評価分野別評価結果をもとに、センター機能を強化するための取組の見直しを行っているか	×	65.5%
		平均点数・％（必須項目〔白色セル〕のみカウント）		0.0%
				68.7%
2. 組織・運営体制	評価結果およびそれをもとにした運営協議会の議論やセンターとの協議を踏まえて、事業の実施方針や支援・指導方針を策定し、それを実施できる予算を確保する	A （各）センターの総合評価結果や評価分野別評価結果をもとに、センター機能を強化するため、センターごとの運営方針や支援・指導方針を協議しているか	○	70.4%
		B 前年度の評価結果に関する運営協議会での検討を踏まえて、センターの事業の実施方針や支援・指導方針を策定しているか	○	72.4%
		C センターが実施方針に則った事業運営ができるように、運営予算を毎年見直し、確保しているか	×	84.7%
		D 年度ごとのセンターの事業計画の策定にあたり、センターと協議を行っているか	○	83.1%
	実施方針に基づいてセンターが効果的に運営できるように、人員配置や人材育成に取り組む	A センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っているか	×	69.3%
		B 評価結果やヒアリングなどからセンターのニーズを把握し、それをもとにセンター職員の資質向上のための研修を計画しているか	○	63.1%
		C センターの業務効率化を目的に、センター業務にICTを導入しているか	○	57.0%
		D 【市町村により選択】 センターの人員確保の現状を踏まえ、複数圏域で合算した3職種の配置とするなど柔軟な職員配置に取り組んでいるか	○	89.0%
	高齢者等が必要な時にセンターを利用できるように、センターの周知を行う	A 市町村の広報紙とホームページなどでセンターを周知しているか	○	95.9%
		B 介護サービス情報公表システムでセンターを周知しているか	○	64.2%
		C その他、対象に応じた様々な方法でセンターを周知しているか	○	36.2%
	センターが個人情報保護等に留意しながら運営できるように体制支援を行う	A 個人情報保護に関する市町村の取扱方針をセンターと共有しているか	○	94.8%
		B 個人情報漏えいが起こった際の対応策をセンターと共有しているか	○	85.1%
		C 苦情内容の記録等、苦情対応に関する市町村の方針をセンターと共有しているか	○	87.3%
		D 利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントにセンターが対応できるよう支援しているか	○	71.6%
	平均点数・％（必須項目〔白色セル〕のみカウント）		85.7%	73.9%

市町村指標

3. 総合相談支援事業	センターが総合相談支援事業を適切に実践できるよう、総合相談支援体制の構築に取り組む	A	総合相談支援事業に関するセンターの後方支援体制を構築しているか	○	90.0%	
		B	センターに対して、夜間・早朝または平日以外の窓口（連絡先）の設置を義務づけ、市町村やセンターのホームページ等で周知しているか	○	72.5%	
		C	センターからの相談事例に関する支援要請に対応しているか	○	97.1%	
		D	市町村レベルの関係団体（民生委員等）の会議に定期的に参加しているか	○	88.1%	
	センターにおける相談件数や相談内容を把握して、相談支援体制の改善を図る	A	センターにおける相談事例の分類方法を定め、相談件数や相談内容の特徴を把握しているか	○	96.4%	
		B	センターが対応した家族介護者等からの相談について、相談件数や相談内容の特徴を把握しているか	○	93.1%	
		C	センターと協議しつつ、センターにおいて受けた相談事例の終結条件を定めているか	×	56.6%	
	平均点数・％（必須項目[白色セル]のみカウント）			85.7%	84.8%	
	4. 権利擁護事業	センターが権利擁護事業を遂行するための体制構築に取り組む	A	成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準をセンターと共有しているか	○	83.9%
			B	高齢者虐待事例及び高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れを整理し、センターと共有しているか	○	95.3%
C			センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか	○	97.0%	
D			消費生活に関する相談窓口及び警察に対して、センターとの連携についての協力依頼を行っているか	○	71.9%	
平均点数・％（必須項目[白色セル]のみカウント）			100.0%	87.0%		
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	センターが包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を適切に行うための体制を支援する	A	日常生活圏域ごとの居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等）を把握し、センターに情報提供しているか	○	80.1%	
		B	介護支援専門員を対象に、包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関するアンケートや意見収集を行い、センターに情報提供を行っているか	○	55.0%	
		C	地域の介護支援専門員の実践力向上を図ることなどを目的とした、地域ケア会議や事例検討等を行うことができるように、センター職員を対象とした研修会を開催しているか	○	59.3%	
		D	センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類し、経年的に件数を把握するとともに、そのニーズに応じた介護支援専門員を対象とした研修会等を計画しているか	○	60.9%	
		E	介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を市町村が設けているか	○	83.7%	
	平均点数・％（必須項目[白色セル]のみカウント）			100.0%	67.8%	

市町村指標

6. 地域ケア会議	地域ケア会議のすべての機能を発揮する地域ケア会議の体系を構築し、すべての機能を果たす	A	各レベルに（一つのレベルであっても多様な機能を果たす）地域ケア会議を設置し、それぞれが連動する体系をつくっているか	×	89.3%
		B	地域課題や自立促進要因を把握・整理・仕分けする場を設けているか	×	77.4%
		C	地域ケア会議と他の会議や事業とが連動する体系をつくっているか	○	85.2%
		D	地域ケア会議の5つの機能（①個別課題解決機能、②ネットワーク構築機能、③地域課題発見機能、④地域づくり・資源開発機能、⑤政策形成機能）すべてが果たされているか	○	66.4%
		E	地域ケア会議の運営を評価して体系を見直しているか	○	68.6%
	地域ケア会議の運営の仕組みを構築し、関係者に周知する	A	地域ケア会議の体系や目的、機能、構成員、スケジュール等の開催計画をセンターや関係機関に示しているか	○	80.2%
		B	地域ケア会議の運営に関してセンターとの役割分担と連携方法を関係者と共有しているか	○	81.3%
		C	センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターと共有するとともに、市町村が主催する地域ケア会議で対応しているか	○	85.3%
		D	地域ケア会議の議事録や検討事項を構成員全員が共有するための仕組みを構築しているか	○	80.6%
	地域ケア会議を有効に活用する	A	地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか	○	92.9%
		B	生活援助の訪問回数が多いケアプラン（生活援助中心のケアプラン）の検証を行い、対応策を講じているか	×	54.2%
		C	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築し、かつ、実行しているか	○	67.6%
		D	高齢者の自立を促進する要因や阻害要因を把握して、それをもとに、高齢者の自立に資する事業（総合事業や生活支援体制整備事業等）の見直しを行っているか	×	66.3%
		E	複数の個別事例から地域課題を明らかにし、市町村主催の地域ケア推進会議で検討することで、政策形成につなげているか	×	61.1%
	地域ケア会議の運営において、センター等と協働する	A	センター主催の個別事例について検討する地域ケア会議（地域ケア個別会議）に参加しているか	○	91.4%
		B	センター主催の地域課題について検討する地域ケア会議（地域ケア推進会議）に参加しているか	×	76.3%
		C	センター主催の地域ケア会議で検討された内容を把握しているか	○	92.9%
		D	センター主催及び市町村主催も含めた地域ケア会議の検討内容をとりまとめて、住民向けに公表しているか	×	22.6%
	平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）			61.1%	74.4%

市町村指標

7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援事業	センターや介護支援専門員が介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施できるよう体制を構築する	A 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援に関する実態を踏まえ、自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関する市町村の基本方針を定め、センターと共有しているか	○		72.2%
		B センター、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源に関する情報を提供しているか	○		88.0%
		C 利用者のセルフマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターと共有しているか	×		41.9%
		D 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援におけるセンターの人員体制と実施件数を把握し、人員配置を見直しているか	×		70.1%
		E 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定について、公平性・中立性確保のための指針を作成し、センターと共有しているか	○		60.2%
		F 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を居宅介護支援事業所に指定または委託する際のセンターの関与について、市町村の指針をセンターと共有しているか	○		60.4%
	介護予防支援の実態を踏まえ、介護予防サービス計画の検証方法を定め運営する	A 介護予防支援の実態を踏まえ、介護予防サービス計画の検証方法について、センターと協議して方針を打ち出しているか	×		41.4%
		B 居宅介護支援事業所に対して、介護予防サービス計画の検証方法に関する方針を示しているか	×		33.8%
		C 介護予防サービス計画の検証を実施した結果について、センターや居宅介護支援事業所等と共有しているか	×		35.0%
		D 介護予防サービス計画の検証を通じて、介護予防支援や介護予防サービス計画の作成に課題がないかを整理し、課題があった場合には、課題解消のための取組を行っているか	×		45.2%
	平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）		40.0%	54.8%	
8. 包括的支援事業（社会保障充実分）	包括的支援事業（社会保障充実分）を推進するために、センターの活動を位置づけ、その支援を行う	A 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口とセンターとの連携・調整が図られるよう、連携のための会議等の開催といった情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか	○		92.1%
		B 生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターや協議体とセンターの連携・調整が図られるよう、連携のための会議等の開催といった情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか	○		90.5%
		C 認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターとセンターとの連携・調整が図られるよう、連携のための会議等の開催といった情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか	○		93.2%
		D センターが行う包括的支援事業の充実のために、医療関係者とセンターの合同の事例検討会や講演会等の開催または開催支援を行っているか	○		87.0%
	平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）		100.0%	90.8%	

令和8年度
君津市地域包括支援センター
事業計画・収支予算

君津市福祉部高齢者支援課

令和8年度 君津市地域包括支援室 事業計画書

センター名		君津市地域包括支援室		
実施期間		令和8年4月1日から令和9年3月31日まで		
担当地区データ		地区人口 (R8.3.31 現在)	高齢者人口 (R8.3.31 現在)	高齢化率 (R8.3.31 現在)
		24,485 人	7,386 人	30.16%
担当職員	職種	人数	担当業務	
	社会福祉士等	2	センターの統括（管理者）、総合相談業務、権利擁護及び虐待防止業務、その他	
	保健師等	2	総合相談業務、介護予防事業、その他	
	主任介護支援専門員	2	総合相談業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務、その他	
	事務職	1	一般庶務、事務管理	
	社会福祉士(会計年度)	1	介護予防事業(要介護状態になる恐れのある高齢者への訪問)	
	看護師(会計年度)	1	介護予防事業(要介護状態になる恐れのある高齢者への訪問)	
		目 標		担当地区の課題
総合		・地域包括ケアシステムの構築・深化に向けた中核的な機関として、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。 ・包括的に相談を受け止め、重層的支援体制の整備に取り組む。		・高齢化率は、市内他地区と比べ低い方ではあるが、独り暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が多く、家族の協力が得られにくいことがある。 ・自治会に入っていない世帯も多く、地域とのつながりが比較的希薄な面がある。
		業務別目標		取組概要
業務別	総合相談支援	・地域の高齢者の様々な相談を受け止め、地域包括支援室に相談をすると、あらゆるサービスの調整まで可能になるといったワンストップサービス拠点としての機能を果たす。 ・高齢者の総合相談窓口であることを広く市民に知ってもらうための周知活動を行う。		・高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を的確に把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度につなげて継続的に支援する。 ・広報きみつや君津市ホームページへの掲載、自治会回覧、まちづくりふれあい講座の開催等により、地域包括支援センターの役割や介護保険制度のより一層の理解を図る。
	権利擁護	・消費者被害防止に向け、情報の提供や成年後見制度の活用を支援する。 ・高齢者虐待の発見・通報があった場合、関係機関と連携し、適切かつ速やかに対応する。		・認知機能の低下により契約行為等が行えず、また、支援する親族が不在のケースに対して、成年後見制度や日常生活自立支援事業の紹介や活用に向けた支援を行う。 ・関係機関への情報提供や情報共有を行う。 ・高齢者虐待については、市や県のマニュアルに基づき、状況を迅速に把握し、関係機関と連携して、被虐待者の保護を図る。 ・虐待をする養護者に対して必要な支援を行い、虐待の再発防止を図る。
	包括的・継続的ケアマネジメント	・地域ケア会議等を実施し、地域課題の把握や自立に向けての方策を検討する。 ・困難事例等に対応する介護支援専門員を支援する。 ・地域の介護支援専門員が業務を円滑に実施できるよう支援する。		・自立支援型地域ケア会議を年6回開催し、対象者のQOLの向上及び関係者のスキルアップ等の支援と、モニタリングを実施する。地域ケア会議の実施方法等について検討し、地域ケア会議の意義について改めて周知するなど、事例の提供がしやすい環境を作る。 ・介護支援専門員への相談に応じ、必要に応じて同行や関係行政機関との連携等を支援する。 ・地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議を開催し、介護支援専門員のスキルアップを支援する。
	介護予防事業	・生活機能低下の恐れのある高齢者に対して介護予防を普及啓発し、要介護・要支援状態となることを未然に防ぐ。		・要介護状態になる恐れのある高齢者に対し、訪問相談や介護予防に関する制度等の周知活動を実施する。 ・リハビリ専門職等と連携し、介護予防等の講座を開催する。

業 務 別	指定介護予防支援事業	- 要支援者ができる限り在宅で自立した日常生活を継続できるように、適切なサービスを提供し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援する。 - 一人ひとりの身体状況や環境等を考慮し、利用者が主体的に介護予防に取り組めるよう適切な支援を行う。 - 介護保険サービスだけでなく、地域の資源等の活用も視野に入れて支援を行う。
	その他	＜地域包括支援センター運営事業委託事業＞ - 基幹型として、市内の地域包括支援センターとの連絡調整、連携、統括、支援及び指導を行う。 【以下、基幹型包括として実施する事業】 ＜在宅医療・介護連携推進事業＞ - 在宅医療・介護連携推進事業の実施に向けた調整を行う。 ＜包括的支援事業・任意事業事務費＞ - 認知症への正しい知識と理解の普及啓発を行う。 ＜認知症総合支援事業費＞ - 認知症の方及びその家族が抱える課題について、支援を行うとともに、地域で支えあう体制づくりに取り組む。 - 認知症施策推進計画の策定に取り組む。 ＜介護予防・生活支援サービス事業費＞ - 住民主体型サービス事業の補助制度の周知 ＜その他＞ - ハラスメントの防止 - BCP - 感染症対策 【重点項目】 ＜生活支援体制整備事業費＞ - 第1層、第2層生活支援コーディネーターと各地域包括支援センターとの連携を推進する。 ＜その他＞ - 虐待の防止 - 職員研修の受講予定

令和 8 年度 君津市地域包括支援室 収支予算書

1 収支見通し

年間収入	187,805,000 円
年間支出	187,805,000 円
年間収支	0 円

2 介護予防支援事業

(収入)

内 容	金額 (円)	説 明
介護予防支援事業収入	7,478,000	初回 7,575 円×27 件 204,525 円 初回＋委託連携 10,638 円×45 件 478,710 円 継続 4,512 円×1,506 件 6,795,072 円
合 計	7,478,000	

(支出)

内 容	金額 (円)	説 明
指定介護予防支援事業	4,676,000	旅費 50,000 円 消耗品費 8,000 円 役務費 80,000 円 委託料 介護予防サービス計画作成 4,486,000 円 初回＋委託連携 10,638 円× 45 件 継続 4,512 円×888 件 負担金(研修費) 52,000 円
地域包括支援センター 運営事業委託事業	2,802,000	2,802,000 円 ※地域包括支援センター委託料 (95,880,000 円) のうち、一部 (2,802,000 円) を充当
合 計	7,478,000	

3 包括的支援事業等

(収入)

内 容	金額 (円)	説 明
介護保険料、国庫補助金、 県補助金等	180,327,000	
合 計	180,327,000	

(支出)

内 容	金額 (円)	説 明
一般職員人件費	60,343,000	給料 30,352,000 円 手当 17,572,000 円 共済費 9,143,000 円 負担金(公務災害補償基金) 50,000 円 負担金(総合事務組合負担金) 3,226,000 円
介護予防・生活支援 サービス事業費	940,000	補助金 940,000 円
一般介護予防事業費	6,191,000	報酬 3,488,000 円 職員手当等 1,352,000 円 共済費 848,000 円 旅費 147,000 円 需要費 42,000 円 委託料 314,000 円
家族介護支援事業費	198,000	報償費 96,000 円 需用費 47,000 円 役務費 3,000 円 負担金補助及び交付金 52,000 円
認知症対応型共同生活介護 事業所家賃等助成事業費	366,000	役務費 1,000 円 負担金補助及び交付金 365,000 円
生活支援体制整備事業費	12,119,000	報償費 30,000 円 旅費 11,000 円 需要費 5,000 円 役務費 68,000 円 委託料 12,000,000 円 負担金補助及び交付金 5,000 円
在宅医療・ 介護連携推進事業費	1,775,000	報償費 160,000 円 旅費 4,000 円 需要費 10,000 円 役務費 18,000 円 委託料 1,517,000 円 使用料及び賃借料 66,000 円
認知症総合支援事業費	419,000	報償費 170,000 円 旅費 22,000 円 需要費 2,000 円 役務費 69,000 円 負担金補助及び交付金 156,000 円
包括的支援事業・ 任意事業事務費 ・ケア会議 ・認知症サポーター関係	369,000	報償費 270,000 円 旅費 15,000 円 需要費 45,000 円 役務費 39,000 円
包括的支援事業 ・ケアプラン作成員 ・認知症ネットワーク	4,529,000	給料・手当・共済費 4,463,000 円 役務費 66,000 円
地域包括支援センター 運営事業委託事業	93,078,000	委託料 93,078,000 円
合 計	180,327,000	

令和8年度 君津市中部地域包括支援センター 事業計画

センター名		君津市中部地域包括支援センター		
実施期間		令和8年4月1日から令和9年3月31日まで		
担当地区データ		地区人口（R8.3.31）	高齢者人口（R8.3.31）	高齢化率（R8.3.31）
		34,757人	10,234人	29.4%
担当職員	職種	人数	担 当 業 務	
	社会福祉士等（介護支援専門員）	3（1）	センターの統括（管理者）、総合相談業務、権利擁護及び虐待防止業務	
	保健師等（看護師）	1（1）	総合相談業務、介護予防事業	
	主任介護支援専門員	1	総合相談業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務	
	事務職	1	健全経営の為の事務管理（経理等含む）	
		目 標		担当地区の課題
総 合		・地域包括ケアシステムの構築及び深化に向けて、介護・医療・福祉等の地域の関係機関とのネットワークの構築や利用可能な地域資源の把握に努め、高齢者の健康保持と生活安定の為に必要な相談・援助を行う。 ・包括的に相談を受け止め、重層的支援体制の整備に取り組む。		・市街地と郊外の両地域を抱えている特性から、高齢者世帯や独居高齢者世帯が増えており、課題も多様化し、移動手段等の社会資源の不足がみられる。 ・自治会に未加入者もみられ、個別ニーズや地域課題を掘り起こす際に難しい側面がある。
		業務別目標		取組概要
業 務 別	総合相談支援	・地域に住む高齢者等に関するさまざまな相談を受け止め、地域包括支援センターに相談すると、あらゆるサービスの調整まで可能になるといったワンストップサービス拠点としての機能を果たす。 ・高齢者の総合相談窓口であることを広く市民に知ってもらうための周知活動を行う。		・高齢者の心身の状況や生活実態と必要な支援を把握し、地域における保険・医療・福祉サービス、関係機関や制度利用につなげる。 ・地域包括支援ネットワーク構築を促進する。 ・高齢者の身近な相談所であることを周知するために、包括支援センターだよりの発行を継続し、地域包括支援センターの役割や介護保険制度のより一層の理解を図る。
	権利擁護	・成年後見、高齢者虐待、消費者被害等の法律や制度を理解し、警察等の関係機関とネットワーク化、解決に努める。 ・高齢者虐待の発見、通報があった場合、君津市高齢者虐待対応連携マニュアルに基づき、市に迅速に連絡し、指導の下適切に対応する。 ・認知症への正しい知識と理解の普及啓発を行い、認知症高齢者を地域で見守る体制作りを図る。		・成年後見制度等の利用が必要と思われる高齢者の親族等に対して、制度の説明や申し立てに当たっての関係機関の紹介などを行う。 ・虐待の早期発見及び再発防止の為、精神疾患や認知症、経済的な理由、訪問拒否等によりサービスにつながらないケースなどに早期介入できるように民生委員、居宅介護支援事業所他、関係機関と連携を図る。 ・状況に応じ速やかに対応すると共に、養護者に対しても必要な支援を行い、虐待の再発防止を図る。 ・認知症サポーター養成講座の受講への働きかけと開催。 ・消費者被害の防止の為の情報収集を行い、民生委員会議で報告する等の啓発活動を行う。
	包括的・継続的ケアマネジメント	・地域ケア会議を実施し、個別ニーズや地域課題を見出すと共に、解決に向けての方策を検討する。 ・困難事例等に対応する介護支援専門員を支援し、多職種連携等の環境整備を行う。		・困難事例を対象とした個別地域ケア会議を開催し、地域課題の抽出と解決を図る。君津市地域包括支援室主催の自立支援型地域ケア会議への出席・協力を行う。 ・介護支援専門員のスキルアップ、資質向上の研修会の機会を設ける。地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会等を開催する。 ・介護支援専門員からの相談に対して、同行訪問、情報提供等を行うなど、心のケアに努め、困難ケースを協働で解決に向けサポートをする。
	介護予防事業	・介護予防活動に関する市民向けの講座等の実施、市民向けの介護予防の普及・啓発を図る。 ・生活機能の低下の恐れのある高齢者の予防及び日常生活支援を目的に、適切なサービスが提供されるようケアマネジメントを行う。		・高齢者の集う場を訪問し、介護予防の講座を開催する。 ・要介護状態になる恐れのある高齢者に予防や生活支援を行い、悪化を防止する。健康長寿の為の健康づくりのポイント等のパンフレットを活用する。

	指定介護 予防支援 事業	・要支援者ができる限り在宅で自立した日常生活を継続できるよう、適切なサービスを提供し住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。	・一人一人の心身の状況や置かれている環境等を考慮し、介護サービス計画の作成をする。 ・地域で自立した生活が送れるよう支援する。
	その他	・市の方針や公益性を充分認識し、公正・中立の下、事業を行う。 ・認知症の方やその家族を支援する相談業務を行う。 ・日常生活上の支援を行う為の体制整備を行う。 ・ハラスメントの防止 ・業務継続計画の見直しを行う（都度）。 ・虐待の防止 【重点項目】 ・複合的、複雑化した相談にも対応し、適切な機関につなげることで高齢者や家族が孤独な思いをすること、孤立化することを防ぐ。 ・迅速且つ的確な対応ができるために包括職員の更なるスキルアップをする。職員の資質向上のための研修体制の整備を行う。	・委託包括として、直営の地域包括支援室の指導を受け、東部地域包括支援センター・小糸清和地域包括支援センターと連携し市の方針等を共通認識の下、事業を実施する。 ・必要に応じて市の認知症初期集中支援チームへ繋げると共に連携して支援を行う。 ・家族介護者が参加する場を利用し、認知症の人を介護している家族等の相談支援を行う。 ・市及び第一層、第二層の生活支援コーディネーターと協働し、月 1 回連絡会を開催し必要な取り組みを実施していく。 ・君津市人材育成基本方針に従い、定期的にハラスメント研修を受講し、職員への周知啓発と意識向上に努める。 - また、利用者等からの著しい迷惑行為（カスタマーハラスメント）についても必要な措置を講じる。 ・感染症や非常災害の発生時において、事業運営の継続的な実施や非常体制で早期の運営再開を図る為の業務継続計画に従い必要な措置を講じる。定期的に業務継続計画の見直しを行い、必用に応じて業務継続計画の変更を行う。 ・利用者等の人権の擁護、虐待の発生又はその再発を防止するため、次のとおり必要な措置を講じるものとする。 - ア 虐待防止対策を検討する委員会を定期的に開催するとともに、その結果について担当職員に周知徹底を図る。 - イ 虐待防止のための指針を整備する。 - ウ 虐待を防止するための定期的な研修を実施する。 - エ ア、イ、ウに掲げる措置を適切に実施するための担当者を設置する。 ・支援が必要な高齢者像をしっかりと捉え、また、複合的課題を有するケースなどへも十分に対応できるよう、関係機関とのネットワーク作りや連携を強化する。 ・包括職員は外部研修へ積極的に参加する。研修に参加した職員は、研修内容や学びを記録・回覧し、ミーティング時に発表をすることで他職員への周知を図る。 ・法人内、センター内での研修やケースカンファレンスを通して職員の資質向上に努める。 ・新任の職員の受講計画 - 千葉県地域包括支援センター職員初任者研修 - キャラバン・メイト養成研修 ・現任の職員の受講計画 - 千葉県地域包括支援センター職員現任者研修 - キャラバン・メイトスキルアップ研修 - 認知症地域支援推進員研修 各種専門職に関する研修

令和8年度 君津市中部地域包括支援センター 収支予算書

1 収支見通し

年間収入	51,495,000 円
年間支出	51,495,000 円
年間収支	0 円

2 介護予防支援事業

(収入)

内 容	金額 (円)	説 明
介護予防支援事業収入	16,173,000	初回 7,575 円×38 件=287,850 円 初回+委託連携 10,638 円×100 件=1,063,800 円 継続 4,512 円×3,285 件=14,821,920 円
合 計	16,173,000	

(支出)

内 容	金額 (円)	説 明
介護予防支援事業支出	16,173,000	人件費 2,867,000 円 給与 2,100,000 円 賞与 350,000 円 法定福利費 417,000 円 事務経費 186,000 円 車両費支出 40,000 円 通信費支出 70,000 円 事務用品・消耗品費 70,000 円 予備費 6,000 円 業務委託費支出 13,120,000 円
合 計	16,173,000	

3 包括的支援事業等

(収入)

内 容	金額 (円)	説 明
委託料収入	35,322,000	包括的支援事業等委託料
合 計	35,322,000	

(支出)

内 容	金額 (円)	説 明
包括的支援事業等支出	35,322,000	人件費 32,041,000 円
		給与 23,400,000 円
		賞与 3,900,000 円
		法定福利費 4,741,000 円
		事務諸経費 3,281,000 円
		通信費支出 620,000 円
		水道光熱費支出 180,000 円
		保険料支出 114,000 円
		ソフト保守費支出 600,000 円
		事務用品費支出 (器具・備品等)
		100,000 円
		車両費支出 700,000 円
		燃料費支出 200,000 円
		事務機保守費支出 300,000 円
		P C機器支出 250,000 円
		研修研究費支出 (旅費含む)
		120,000 円
		予備費支出 (交際費・センター保守)
		37,000 円
		バイタルリンク利用料
		60,000 円
合 計	35,322,000	

令和 8 年度 君津市小糸・清和地域包括支援センター 事業計画書

センター名		君津市小糸・清和地域包括支援センター		
実施期間		令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで		
担当地区データ		地区人口（R8. 3. 31 現在）	高齢者人口（R8. 3. 31 現在）	高齢化率（R8. 3. 31 現在）
		9, 370 人	4, 407 人	47%
担当職員	職種	人数	担当業務	
	社会福祉士等	1	総合相談業務、権利擁護及び虐待防止業務、その他	
	保健師等	2	総合相談業務、介護予防事業、その他	
	主任介護支援専門員	1	管理者（センターの統括）総合相談業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務、その他	
	事務職	1	一般庶務、事務管理	
総合		目標		担当地区の課題
		・地域特性を生かした住民主体の地域包括ケアシステムの構築に取り組み、地域のすべての人が尊厳を持ち自分らしく安心して暮らし続けられる地域共生社会づくりを支援する。		地区別高齢化率は小糸地区 42. 8%、清和地区 59. 9% であり、急速な高齢化にサービス不足が危惧される。住民の要望を確認し不足する資源の開発に努め、人と人のつながりが強い関係性を活かした小糸・清和地区における地域包括ケアシステムの構築が必要。
		業務別目標		取組概要
業務別	総合相談支援	・地域の総合相談窓口として高齢者や家族からの様々な相談を受け、ワンストップ機能を果たし適切な機関・制度・サービスにつなげられるよう支援する。 ・高齢者の総合相談の窓口であることを地域住民に知ってもらうために周知活動を行う。		・高齢者の身近な相談窓口であることを周知するため、パンフレットを作成し、夜間、休日の相談体制を記載し、地域住民に周知を図る。 ・民生委員児童委員の定例会に参加し連携を強化する。自治会とも関係性を強化していく。 ・毎月、生活支援コーディネーターと定例会を開催し相談や情報交換を行い社会資源開発に取り組む。 ・相談ケースは三職種が情報共有して適切な対応を行い、それぞれの専門性を生かして解決にあたる。 ・重層的な課題が存在する困難事例についてはセンター全体で対応策を検討し、関係機関と連携して高齢者等の生活が成り立つよう必要な支援を行う。
	権利擁護	・身近に家族がいない高齢世帯、独居高齢者に成年後見制度の活用支援や、消費者被害防止に取り組む。 ・高齢者虐待の発見・通報があった場合、「君津市高齢者虐待対応連携マニュアル」に基づき、市に速やかに連絡し指導の下適切に対応する。		・成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用が必要な高齢者に適切に対応し、制度の理解を深める活動を行っていく。 ・消費者被害は、被害の早期発見ができるよう関係機関と連携し、周知啓発を行っていく。 ・高齢者虐待については、「君津市高齢者虐待対応連携マニュアル」に基づき、市と連携して対応する。
	包括的・継続的ケアマネジメント	・地域ケア会議を開催し個別事例の課題解決を検討することを通じて、地域課題を把握する。 ・介護支援専門員の困難事例に対する支援を行い、地域全体の関係機関の連携体制を作り、ケアマネジメント環境を整備する。		・困難事例など個々のケアマネジャーへの相談支援を行い、課題整理や解決を図る。 ・自立支援型地域ケア会議に参加し高齢者の QOL 向上及び関係者のスキルアップ等を支援する。 ・ケアマネジャーの地域ケア会議への参加を通して、ケアマネジメントの資質向上を支援し、民生委員や地域関係者との顔の見える関係づくりを行う。

	介護予防事業	・地域の高齢者の自主性及び主体性を引き出すために、あらゆる機会を通じ、介護予防の周知に努める。 ・地域に元気な高齢者を増やす。	・介護予防の重要性に対する理解を深めるため、公民館、自治会、シニアクラブ等に出前講座により介護予防活動の普及を行う。 ・介護予防講座を開催し、知識を得て体操を行い、会話し楽しめる居場所づくりを行う。
	指定介護予防支援事業	・要支援者が住み慣れた地域で自立した日常生活が継続でき、安心して暮らし続けることができるよう適切なサービスを提供し支援する。	・介護保険における要支援者に対して、介護予防サービス等の適切な利用を行い、要介護状態にならないよう自立支援型のケアプランを作成する。また、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整などを行う。
	その他	・認知症の人が、住み慣れた環境で暮らし続けることができるようにするため、医療機関、介護サービス事業所や初期集中支援チーム等の支援機関をつなぐ連携支援や、認知症の人とその家族を支援する相談業務等を行う。 ・地域包括支援室、中部及び東部地域包括支援センターとの連携を図り、円滑に事業の運営を行う。 【重点項目】 ○事業継続計画の持続について ○生活支援コーディネーターとの連携強化 ○重層的支援体制整備事業との連携 ○虐待の防止（命を守り人権を守る） ○社会資源リストの作成 ・ハラスメントの防止 ・サロン活動 ・SNS ・職員研修の受講予定	・地域での行事や介護予防教室等を通じて、認知症の理解を深めるため普及啓発に努める。 ・地域ケア会議や事例検討会等を通じて医療機関、介護サービス事業所等の関係機関とのネットワークづくりに取り組む。 ・センター長会議等での情報共有、困難事例等の対処方針等の確認・連携を図り事業を実施する。 ・感染症や災害が発生した際、継続的な事業運営の実施と早期の運営再開を図るための計画を策定し、当該業務継続計画に従い、必要な措置を講じる。 ・毎月、定例会を開催し情報交換により地域課題を把握する。 ・ケアマネジャーと合同研修を行い互いの業務を理解し、顔の見える関係づくりを行う。 ・福祉相談支援センターきみつとの速やかな連携。 ・虐待の発生及び再発を防止するための対策について、「君津市高齢者虐待対応連携マニュアル」に基づき、速やかに当該高齢者の状況を把握し、適切な対応をとる。 ・地域の社会資源リスト作成により情報共有しネットワーク構築に取り組む。 ・地域活動者が使える情報を提供する。 ・ハラスメント研修等を通じ、職員への啓発と意識向上に努める。また、利用者からの著しい迷惑行為についても必要な措置を講じる。 ・地域の人が集い楽しめる場所づくりを行う。 ・年に3回程、サロン活動を開催する。 ・地域の特徴や当地域包括支援センターの活動内容を発信する。 ・職員の受講計画 千葉県地域包括支援センター職員新任・現任研修 千葉県キャラバンメイト養成研修 千葉県キャラバンメイトスキルアップ研修 認知症地域支援推進員研修 各種事業担当者研修

令和8年度 君津市小糸・清和地域包括支援センター 収支予算書

1 収支見通し

年間収入予想	37,176,000 円
年間支出見込	37,176,000 円
年間収支予想	0

2 介護予防支援事業

(収入)

内 容	見込額 (円)	説 明
介護予防支援事業収入	6,897,000	初回 7,575 円×3 件×12 月=272,700 円 初回+委託連携 10,638 円×1 件×12 月=127,656 円 継続 4,512 円×120 件×12 月=6,497,280 円
合 計	6,897,000	

(支出)

内 容	見込額 (円)	説 明
介護予防支援事業支出	6,897,000	人件費 1,338,050 円 給与 1,040,404 円 賞与 153,850 円 法定福利費 143,796 円 事務諸経費 446,645 円 水道光熱費支出 89,550 円 消耗器具備品費支出 21,931 円 事務消耗品費支出 100,808 円 通信運搬費支出 230,356 円 諸会費支出 4,000 円 業務委託費 2,459,406 円 初回 7,575 円×10 件=75,750 円 初回+委託連携 10,638 円×12 件=127,656 円 継続 4,512 円×500 件=2,256,000 円 施設整備等 2,652,899 円 設備資金借入金元金償還支出 2,304,000 円 ファイナンス・リース債務返済支出 348,899 円
合 計	6,897,000	

3 包括の支援事業等

(収入)

内 容	見込額 (円)	説 明
委託料収入	30,279,000	包括の支援事業等委託料
合 計	30,279,000	

(支出)

内 容	見込額 (円)	説 明
包括の支援事業等支出	30,279,000	人件費 26,473,537 円
		給与 20,808,084 円
		賞与 2,933,327 円
		法定福利費 2,732,126 円
		事務諸経費 3,364,463 円
		水道光熱費支出 299,799 円
		消耗器具備品費支出 73,424 円
		賃借料支出 1,131,240 円
		車両費支出 231,596 円
		福利厚生費支出 214,238 円
		旅費交通費支出 30,339 円
		研修研究費支出 20,000 円
		事務消耗品費支出 337,551 円
		通信運搬費支出 750,841 円
		業務委託費支出 205,590 円
		租税公課支出 16,850 円
		渉外費支出 12,995 円
		諸会費支出 40,000 円
		退職給付引当金 441,000 円
		退職給付引当金支出 441,000 円
合 計	30,279,000	

令和 8 年度 君津市東部地域包括支援センター 事業計画書

センター名		君津市東部地域包括支援センター		
実施期間		令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで		
担当地区データ		地区人口（R 8.3.3 1）	高齢者人口（R 8.3. 3 1）	高齢化率（R 8.3. 3 1）
		9, 6 5 4 人	4, 7 1 3 人	4 8. 8 %
担当職員	職 種	人数	担 当 業 務	
	社会福祉士等	1 人	総合相談業務、権利擁護業務	
	保健師等	1 人	総合相談業務、介護予防ケアマネジメント業務	
	主任介護支援専門員	2 人	総合相談業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務	
	事務職	1 人	事務管理	
		目 標		担当地区の課題
総 合		・高齢化が進む中山間地域において、地域住民が住み慣れた地域で継続して生活をしていけるよう、中核的な役割を担い手として、地域の特性を踏まえ、地域づくりを支援し、地域包括ケアシステムを目指していく。		・上総地区の高齢化率は 52.3%、小櫃地区は 42.7%と高い高齢化率である一方、生産年齢の人口減少が進んでいる。 ・当該地域における居宅介護支援事業所や介護サービス事業所等のフォーマルサービスが不足している。 ・公共交通機関へのアクセスの不便さがあり、医療機関の受診や買物、地域活動等、生活そのものの維持が難しくなっている。
		業務別目標		取組概要
業 務 別	総合相談支援	・総合相談窓口として、地域住民からの相談をワンストップサービス機能の拠点として、適切な保健、医療、介護、福祉サービスに繋げ、連携しながら支援していく。 ・地域住民が日々の生活における困りごとや心配なことを気軽に安心して相談できるよう、地域の方々や関係機関に対して、地域包括支援センターの理解を深めてもらう。		・地域包括支援センターに寄せられる複合化・複雑化した相談に対し、地域包括支援センター職員の専門性を活かして対応し、相談内容によっては関係機関や制度に繋げ、継続的にフォローしていく。 ・小櫃公民館で開催されるサロン活動「いいね」や「介護家族のひろば」、「あそんべ食堂」等に参加、協力し、適宜、参加者からの相談に応じる。 ・地域住民が集う場において、リーフレット等を活用し、地域包括支援センターの役割や業務内容について理解してもらう。 ・毎月開催する生活支援コーディネーターとの連絡会や民生委員定例会等において、地域包括支援センターの役割等について理解を深めていく。
	権利擁護	・高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保持しながら安心して生活を継続できるよう、虐待防止や成年後見制度活用、消費者被害防止、意思決定支援等を通じて、高齢者の権利擁護について、専門的な視点で支援していく。		・高齢者虐待に該当する事案が発生した場合は、君津市や千葉県の高齢者虐待対応マニュアルに則り、行政や他の関係機関と緊密に連携し、迅速に対応する。 ・判断能力の低下等により意思決定が困難な方や親族が不在のケースについては、必要に応じて成年後見制度、日常生活自立支援事業等の必要な機関の紹介等を行い、本人の権利擁護と尊厳ある生活の継続を支援していく。 ・中学生、高校生等に対して、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解について学ぶ機会を作っていく。

	ケアマネジメント 包括的・継続的	・地域ケア会議の開催を通して、個別課題の分析や解決、地域課題の把握と解決に繋げていく。 ・地域の介護支援専門員が円滑に業務を行えるよう、医療、介護、地域資源等との連携ネットワークの構築を図る。 ・困難事例や多問題ケースに対し後方支援を行う。	・地域ケア会議を開催し、地域課題の抽出や政策提言に繋げる。 ・自立支援型地域ケア会議へ参加し、高齢者のADL・QOLの向上及び関係機関の質の向上につながるよう支援する。 ・地域のケアマネジャーとの事例検討会を通して地域のケアマネジャーのスキルアップに繋げ、利用者のADL、QOLの向上を目指す。 ・複合化、複雑化した困難ケースへの同行訪問、助言を継続的に支援する。
	介護予防事業	・高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、介護予防の推進を図る。また、心身の機能の維持・向上のみではなく、社会参加や地域とのつながりを通じて、重度化防止及びQOLの向上を目指す。	・高齢者の自立支援、重度化防止を重視した介護予防に関する出前講座を開催する。 ・フレイルなどの筋力低下状態にある高齢者に対して、相談受付や必要な助言を行い、高齢者の社会参加・地域活動への参加推進を図り、認知症予防、閉じこもりの予防を目指す。
	指定介護予防 支援事業	・本人の意欲や強みを活かしながら、多職種及び地域資源等との連携を図り、生活機能の維持、向上を目指した適切な支援を行う。	・利用者の心身の状況や生活環境、活動、参加等に着目した介護予防サービス計画を作成し、適切な介護予防ケアマネジメントを実施する。
	その他	・地域包括支援室、中部地域包括支援センター、小糸・清和地域包括支援センターと連携し、円滑に事業運営を行う。 【重点項目】 ・重層的支援体制を整備、推進する。 ・生活支援体制整備事業の更なる推進に向け、地域の方々が住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう、地域包括ケアシステムの進化、推進を図り、多様な主体との連携、支え合い体制を構築する。	・地域包括支援センターの専門職別連絡会やセンター長会議に参加して、情報共有や各事業の実施状況等、情報の共有を図っていく。 ・高齢者のみならず、生活困窮、障害、引きこもり、8050問題等、属性を問わない複雑化・複合化した課題を抱える地域住民に対して、関係機関と連携をしながら、包括的な支援体制を構築する。 ・生活支援コーディネーターとの連絡会を毎月開催し、包括が担当しているケース相談や情報交換を行う。 ・市内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員との事例検討の研修会に生活支援コーディネーターに参加してもらい、関係構築や顔つなぎを行う。 ・生活支援コーディネーター等と連携し、地域住民による通いの場の立ち上げや地域活動への参加の支援を行い、介護予防、孤立防止等を推進する。

令和8年度 君津市東部地域包括支援センター 収支予算書

1 収支見通し

年間収入予想	36,544,000 円
年間支出見込	36,544,000 円
年間収支予想	0 円

2 介護予防支援事業

(収入)

内 容	見込額 (円)	説 明
介護予防支援事業収入	6,265,000	初回 7,575 円×4 件×12 月=363,600 円 継続 4,512 円×109 件×12 月=5,901,696 円
合 計	6,265,000	

(支出)

内 容	見込額 (円)	説 明
介護予防支援事業支出	6,265,000	人件費 1,370,000 円 給与 907,000 円 賞与 263,000 円 法定福利費 200,000 円 事務諸経費 4,895,000 円 賃借料支出 368,000 円 車両費支出 80,000 円 通信運搬具費支出 60,000 円 業務委託費支出 4,297,000 円 (初回 7,575×2 件×12 月) (継続 4,512×76 件×12 月) 保険料支出 90,000 円
合 計	6,265,000	

3 包括的支援事業等

(収入)

内 容	見込額 (円)	説 明
委託料収入	30,279,000	包括的支援事業等委託料
合 計	30,279,000	

(支出)

内 容	見込額 (円)	説 明
包括的支援事業等支出	30,279,000	人件費 26,810,000 円
		給与 18,115,000 円
		賞与 5,230,000 円
		法定福利費 3,465,000 円
		事務諸経費 3,469,000 円
		賃借料支出 653,000 円
		車両費支出 160,000 円
		福利厚生費支出 130,000 円
		職員被服費支出 55,000 円
		旅費交通費支出 20,000 円
		研修研究費支出 110,000 円
		事務消耗品費支出 291,000 円
		印刷製本費支出 110,000 円
		水道光熱費支出 155,000 円
		通信運搬具費支出 405,000 円
		会議費支出 10,000 円
		広報費支出 170,000 円
		手数料支出 10,000 円
		保険料支出 270,000 円
		賃借料支出 170,000 円
		租税公課支出 10,000 円
		諸会費支出 40,000 円
		雑支出 10,000 円
		ファイナンス・リース債務の返済支出 240,000 円
		退職給付引当資産支出 450,000 円
合 計	30,279,000	

令和 8 年度介護保険料の特例について

【要点】

- ・ 税制改正により保険料収入の不足可能性が生じるため税制改正前の所得の計算を行う。
- ・ 非課税の範囲内で給与を調整した方は非課税と扱うよう減免を適用する。

1. 背景：給与所得控除の引き上げ

令和 7 年度税制改正において、物価高騰対策や就労調整（いわゆる「年収の壁」）への対応として給与所得控除の最低保障額が 55 万円から 65 万円へと 10 万円引き上げられた。この改正により、給与収入のある一部の方の合計所得金額が下がることとなった。

2. 介護保険制度への影響

現在、第 9 期介護保険事業計画（令和 6～8 年度）の期間中であり、保険料率は 3 年間の給付費と収入のバランスで既に設定されており、このタイミングで意図せず保険料収入が減少することで、収入不足になる保険者が出てくる可能性が生じる。

3. 介護保険法施行令の改正

この収入不足を回避するため、介護保険法施行令が改正され令和 8 年度の保険料算定に限り、「税制改正がなかったものとみなして」算定を行う特例が設けられた。

4. 就労調整をした方への特例減免

上記に該当するもののうち、令和 8 年度（令和 7 年分）も引き続き住民税非課税となるよう、意図して控除の引上げ分の範囲の就労調整（改正後の非課税範囲内での収入の増加）を行った場合については、課税・非課税の判定を住民税非課税者として判定する保険料段階まで減免できることと国より示されたことから、君津市においては非課税と扱うよう減免を適用する。

なお、減免にあたっては申請手続きが不要となるようシステム上での自動判定で対応する。

5. 周知

納入通知書や広報、ホームページへ掲載予定。